ちば

平成 29 年度

第 54 回

県政に関する世論調査

報　告　書

平成 30 年 5 月

千　葉　県

はしがき

この調査は、県民の皆さまの生活意識や、県政に対してどのような関心や、期待などを持っておられるかを把握し、県政推進の基礎資料とするため、昭和５０年度から実施しています。

平成１８年度からは年２回実施しており、今回は平成２９年度第１回目の調査で、県内在住の満１８歳以上の男女３，０００名を対象に、昨年１２月から今年１月にかけて、郵送法で実施しました。

具体的内容としては、環境と生活、健康、福祉、観光、千葉県の農林水産物、防災に関する取り組み、地方分権、広報・広聴活動について意識調査を行い、さらに、「県政への要望」について調査を実施しました。

この報告書が、県の施策立案や諸事業の推進などに活用されるだけでなく、広く県民の生活意識や県政に関心を寄せる方々にご活用いただければ幸いです。

終わりに、この調査にご協力いただきました県民の皆さまを始め、関係の方々に厚くお礼申し上げます。

平成３０年５月

千葉県総合企画部長　今泉　光幸

目　　次

調査の概要 ---------- 1

調査の結果　調査結果の解説 ---------- 11

1　環境と生活について ---------- 11
（１）今後の居住意向 ---------- 11
（１－１）住み続けたい理由 ---------- 14
（１－２）移りたい理由 ---------- 16
（２）生活環境について ---------- 18
（３）生活環境全般の満足度 ---------- 23
（４）自然・周辺環境について ---------- 25
（５）自然・周辺環境全般の満足度 ---------- 29
（６）基盤整備について ---------- 31
（７）現在の生活の満足度 ---------- 35
（８）犯罪が起こりにくいまちづくりについて ---------- 46
（９）「もの」を大切にする社会づくりについて ---------- 48
（10）住生活全般の満足度 ---------- 50
（11）普段の生活で行っている環境保全の取組 ---------- 52
（12）市民活動団体やボランティア活動の関心度 ---------- 58
（13）市民活動団体の活動への参加経験 ---------- 60
（14）ボランティア活動経験 ---------- 62
（15）この１年間の文化芸術に触れた頻度 ---------- 64

2　健康について ---------- 66
（１）健康づくりに取り組むことができる環境 ---------- 66
（２）健康づくりのための運動 ---------- 68
（３）安心して受診できる医療体制 ---------- 70
（４）かかりつけ医の有無 ---------- 72

3　福祉について ---------- 76
（１）安心して子育てできる環境 ---------- 76
（２）お年寄りが安心して暮らせる高齢者施策について ---------- 78
（３）安心して暮らせる地域社会づくりについて ---------- 80
（４）「共生社会」の認知度 ---------- 82

4　観光について ---------- 84
（１）千葉県の魅力 ---------- 84
（２）県内で旅行に行きたいエリア ---------- 86
（３）県内を観光する際に事前に知りたい情報 ---------- 88

（４）この１年間に県内を観光した際の不満---------- 90
（５）県産品をお土産や贈答品として使う場合、贈るもの---------- 92

５　千葉県の農林水産物について---------- 94
（１）千葉県産農林水産物の購入意向 ---------- 94
（１－１）千葉県産農林水産物を購入したいと思う理由 ---------- 96
（１－２）千葉県産農林水産物を購入したいと思わない理由 ---------- 98
（２）環境にやさしい農産物の認知度---------- 100
（３）「千葉ブランド水産物」の認知度---------- 102

６　防災に関する取り組みについて---------- 104
（１）大地震や風水害への不安 ----------104
（２）「避難勧告」「避難指示」の意味や違いの認知度 ----------106
（３）飲料水や食料の備蓄状況 ---------- 108
（４）災害伝言板・災害用伝言ダイヤルの認知度---------- 110
（５）地震の被害を防ぐための対策---------- 112

７　地方分権について---------- 114
（１）地方分権を今後さらに進めていくべきか否か ----------114
（１－１）「地方分権」で期待する主な効果 ----------116

８　広報・広聴活動について---------- 118
（１）県の施策や政策などについての関心度 ----------118
（２）県政に関する情報を得る手段 ----------120
（３）県広報紙「ちば県民だより」の閲読状況 ----------122
（３－１）「ちば県民だより」の入手場所について ----------124
（３－２）「ちば県民だより」の内容について ----------126
（４）千葉県ホームページの利用頻度 ----------128
（４－１）千葉県ホームページの情報・内容のわかりやすさ ----------130
（５）県の広報番組の視聴状況 ----------132
（６）情報の入手媒体 ----------134
（６－１）SNS の種類----------136
（７）県の知りたい情報 ----------138
（８）県政への意見の反映 ----------140
（８－１）県に対し意見を述べる方法 ----------142

９　県政への要望---------- 144
（１）県政への要望---------- 144
（１－１）各政策への具体的な要望 ----------151

10　自由回答---------- 163

（付）調査票および単純集計結果 ---------- 171

調　査　の　概　要

１．調査の目的

この調査は、県民の生活と県政の主要分野にわたる県民の関心、要望、意向などをとらえ、県政推進の基礎資料とすることを目的とする。

２．調査の項目

（１）県民意識調査

①環境と生活について
②健康について
③福祉について
④観光について
⑤千葉県の農林水産物について
⑥防災に関する取り組みについて
⑦地方分権について
⑧広報・広聴活動について

（２）県政への要望

３．調査の設計

（１）調査地域　　千葉県全域
（２）調査対象　　満18歳以上の男女個人
（３）標本数　　3,000人
（４）抽出方法　　層化二段無作為抽出法

※層化二段無作為抽出法とは、行政単位と地域によって県内をブロックごとに分類し（層化）、各層に調査地点を人口に応じて比例配分し、国勢調査における調査区域及び住民基本台帳を利用して（二段）、各地点ごとに一定数のサンプル抽出を行うものである。

（５）調査方法　　郵送法（郵送配付－郵送回収）
（６）調査時期　　平成29年12月22日～平成30年１月17日

４．調査機関

株式会社　エスピー研

５．回収結果

標本数	（Ａ）	3,000件
総回収数	（Ｂ）	1,456件
有効回収数	（Ｃ）	1,456件
無効回収数		0件
回収率	（Ｂ／Ａ）	48.53%
有効回収率	（Ｃ／Ａ）	48.53%

標本抽出方法

調査対象　：　千葉県内の市町村に居住する満18歳以上の男女個人
標 本 数　：　3,000人
地 点 数　：　市　部　　193地点
　　郡　部　　7地点
　　計　　200地点
抽 出 法　：　層化二段無作為抽出法

［層　　化］

１．県内を、次の11地域に分類した。

地域名	該当市郡名
①千葉地域	千葉市、市原市
②葛南地域	市川市、船橋市、習志野市、八千代市、浦安市
③東葛飾地域	松戸市、野田市、柏市、流山市、我孫子市、鎌ケ谷市
④印旛地域	成田市、佐倉市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、印旛郡
⑤香取地域	香取市、香取郡
⑥海匝地域	銚子市、旭市、匝瑳市
⑦山武地域	東金市、山武市、大網白里市、山武郡
⑧長生地域	茂原市、長生郡
⑨夷隅地域	勝浦市、いすみ市、夷隅郡
⑩安房地域	館山市、鴨川市、南房総市、安房郡
⑪君津地域	木更津市、君津市、富津市、袖ケ浦市

２．各地域内においては、
　さらに市部、郡部に分け、層とした。

（注）ここでいう市とは、
　　平成29年４月１日現在市制施行の
　　地域をさす。

［標本数の配分］

各地域・市郡規模別の層における満18歳以上の人口（平成29年４月１日現在の推定数）に対して、3,000の標本数を比例配分した。

［抽　　出］

１．平成27年国勢調査時に設定された調査区を、第１次抽出単位となる調査単位として使用した。

２．調査地点の抽出は、調査地点が２地点以上に割り当てられた層については、

$$\left(\frac{\text{層における調査区数の合計}}{\text{層で算出された調査地点数}} = \text{抽出間隔}\right)$$

を算出し、等間隔抽出法によって抽出した。

３．抽出に際しての各層内における市町村の配列順序は、平成27年国勢調査時の「標準地域コード一覧」に従った。

４．調査地点における対象者の抽出は、調査地点の範囲内（町・丁目・番地等を指定）を、住民基本台帳から等間隔抽出法によって抽出した。

以上の結果、各地域・市郡別（層別）の標本数・調査地点数は、次のとおりである。

地域＼市郡	市部	郡部	計
①千葉地域	1,053,469 600 40	0 0 0	1,053,469 600 40
②葛南地域	1,388,053 780 52	0 0 0	1,388,053 780 52
③東葛飾地域	1,255,918 705 47	0 0 0	1,255,918 705 47
④印旛地域	575,540 330 22	36,918 15 1	612,458 345 23
⑤香取地域	68,718 45 3	31,279 15 1	99,997 60 4
⑥海匝地域	146,113 75 5	0 0 0	146,113 75 5
⑦山武地域	141,152 75 5	42,448 30 2	183,600 105 7
⑧長生地域	78,444 45 3	53,644 30 2	132,088 75 5
⑨夷隅地域	51,210 30 2	15,385 15 1	66,595 45 3
⑩安房地域	106,050 60 4	7,408 0 0	113,458 60 4
⑪君津地域	279,610 150 10	0 0 0	279,610 150 10
計	5,144,277 2,895 193	187,082 105 7	5,331,359 3,000 200

（注）上段は満18歳以上の人口（平成29年４月１日現在）、中段は標本数、下段は調査地点数である。

調査地点一覧

地域	調査地点名	標本数	地域	調査地点名	標本数
①千葉地域	千葉市中央区市場町	15	①千葉地域	市原市五井中央西２丁目	15
	千葉市中央区旭町	15		市原市八幡北町１丁目	15
	千葉市中央区中央港１丁目	15		市原市ちはら台南５丁目	15
	千葉市中央区弁天１丁目	15		市原市桜台４丁目	15
	千葉市中央区大森町	15		市原市久保	15
	千葉市中央区仁戸名町	15	②葛南地域	市川市北方２丁目	15
	千葉市中央区今井３丁目	15		市川市大和田１丁目	15
	千葉市花見川区花園町	15		市川市菅野１丁目	15
	千葉市花見川区幕張町２丁目	15		市川市鬼高３丁目	15
	千葉市花見川区朝日ケ丘４丁目	15		市川市大洲１丁目	15
	千葉市花見川区幕張本郷５丁目	15		市川市宮久保６丁目	15
	千葉市花見川区作新台２丁目	15		市川市高谷３丁目	15
	千葉市花見川区柏井町	15		市川市市川南４丁目	15
	千葉市稲毛区轟町４丁目	15		市川市曽谷１丁目	15
	千葉市稲毛区小仲台６丁目	15		市川市妙典６丁目	15
	千葉市稲毛区萩台町	15		市川市曽谷７丁目	15
	千葉市稲毛区小仲台７丁目	15		市川市塩焼３丁目	15
	千葉市稲毛区長沼町	15		市川市中国分４丁目	15
	千葉市若葉区桜木５丁目	15		市川市末広２丁目	15
	千葉市若葉区若松町	15		市川市湊新田１丁目	15
	千葉市若葉区東寺山町	15		市川市欠真間２丁目	15
	千葉市若葉区千城台西１丁目	15		市川市新井３丁目	15
	千葉市若葉区下田町	15		船橋市本町７丁目	15
	千葉市緑区おゆみ野中央３丁目	15		船橋市宮本６丁目	15
	千葉市緑区茂呂町	15		船橋市日の出２丁目	15
	千葉市緑区あすみが丘３丁目	15		船橋市本郷町	15
	千葉市美浜区真砂５丁目	15		船橋市西船３丁目	15
	千葉市美浜区打瀬１丁目	15		船橋市山手３丁目	15
	千葉市美浜区稲毛海岸４丁目	15		船橋市夏見６丁目	15
	千葉市美浜区高浜５丁目	15		船橋市前貝塚町	15
	千葉市美浜区幸町１丁目	15		船橋市藤原７丁目	15
	市原市西国分寺台１丁目	15		船橋市二和西２丁目	15
	市原市山木	15		船橋市みやぎ台２丁目	15
	市原市潤井戸	15		船橋市坪井東５丁目	15
	市原市今津朝山	15		船橋市南三咲２丁目	15

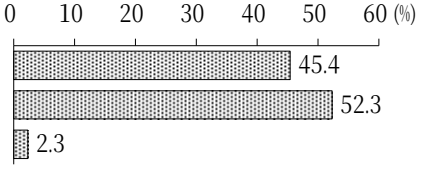
地域	調査地点名	標本数	地域	調査地点名	標本数
②葛南地域	船橋市芝山７丁目	15	③東葛飾地域	松戸市串崎南町	15
	船橋市習志野台５丁目	15		松戸市殿平賀	15
	船橋市飯山満町２丁目	15		松戸市六高台７丁目	15
	船橋市薬円台６丁目	15		野田市山崎新町	15
	船橋市三山１丁目	15		野田市宮崎	15
	船橋市前原西８丁目	15		野田市岩名（大字）	15
	習志野市津田沼４丁目	15		野田市船形	15
	習志野市秋津４丁目	15		柏市柏３丁目	15
	習志野市奏の杜３丁目	15		柏市豊四季台４丁目	15
	習志野市泉町２丁目	15		柏市柏（大字）	15
	習志野市実籾３丁目	15		柏市新柏１丁目	15
	八千代市高津東４丁目	15		柏市豊四季	15
	八千代市ゆりのき台７丁目	15		柏市若柴	15
	八千代市村上団地３街区	15		柏市北柏３丁目	15
	八千代市勝田台１丁目	15		柏市南逆井３丁目	15
	八千代市八千代台北10丁目	15		柏市光ケ丘２丁目	15
	八千代市八千代台北１丁目	15		柏市南柏中央	15
	浦安市当代島１丁目	15		柏市小青田	15
	浦安市海楽２丁目	15		柏市藤ケ谷	15
	浦安市堀江６丁目	15		流山市平和台１丁目	15
	浦安市美浜２丁目	15		流山市向小金４丁目	15
	浦安市日の出１丁目	15		流山市南流山３丁目	15
③東葛飾地域	松戸市仲井町２丁目	15		流山市西初石５丁目	15
	松戸市小山	15		流山市十太夫	15
	松戸市南花島２丁目	15		流山市東深井	15
	松戸市稔台８丁目	15		我孫子市我孫子２丁目	15
	松戸市二十世紀が岡柿の木町	15		我孫子市つくし野２丁目	15
	松戸市古ケ崎４丁目	15		我孫子市天王台２丁目	15
	松戸市常盤平陣屋前	15		我孫子市中峠	15
	松戸市常盤平４丁目	15		鎌ケ谷市新鎌ケ谷１丁目	15
	松戸市河原塚	15		鎌ケ谷市初富本町１丁目	15
	松戸市西馬橋幸町	15		鎌ケ谷市丸山１丁目	15
	松戸市新松戸２丁目	15		鎌ケ谷市くぬぎ山５丁目	15
	松戸市中和倉	15	④印旛地域	成田市不動ケ岡	15
	松戸市小金原３丁目	15		成田市加良部５丁目	15
	松戸市五香７丁目	15		成田市中台１丁目	15

地域	調査地点名	標本数	地域	調査地点名	標本数
④印旛地域	成田市公津の杜４丁目	15	⑦山武地域	東金市田間２丁目	15
	成田市西三里塚	15		東金市幸田	15
	佐倉市宮前１丁目	15		山武市埴谷	15
	佐倉市染井野５丁目	15		大網白里市大網	15
	佐倉市王子台６丁目	15		大網白里市南横川	15
	佐倉市上座	15		山武郡九十九里町片貝	15
	佐倉市上志津	15		山武郡横芝光町宮川	15
	四街道市栗山	15	⑧長生地域	茂原市長清水	15
	四街道市四街道１丁目	15		茂原市上永吉	15
	四街道市千代田３丁目	15		茂原市緑ケ丘４丁目	15
	八街市文違	15		長生郡一宮町一宮	15
	八街市八街ヘ	15		長生郡白子町八斗	15
	八街市滝台	15	⑨夷隅地域	勝浦市植野	15
	印西市原山２丁目	15		いすみ市大野	15
	印西市西の原３丁目	15		夷隅郡大多喜町泉水	15
	印西市安食卜杭	15	⑩安房地域	館山市国分	15
	白井市堀込３丁目	15		館山市正木	15
	白井市富塚	15		鴨川市北風原	15
	富里市御料	15		南房総市千倉町南朝夷	15
	印旛郡酒々井町酒々井	15	⑪君津地域	木更津市朝日２丁目	15
⑤香取地域	香取市磯山	15		木更津市新田３丁目	15
	香取市八日市場	15		木更津市羽鳥野６丁目	15
	香取市山倉	15		木更津市本郷１丁目	15
	香取郡多古町多古	15		君津市中野１丁目	15
⑥海匝地域	銚子市愛宕町（大字）	15		君津市人見（大字）	15
	銚子市小浜町	15		君津市西原	15
	旭市川口	15		富津市千種新田	15
	旭市米込	15		富津市竹岡	15
	匝瑳市野手	15		袖ケ浦市蔵波台２丁目	15

回答者の属性

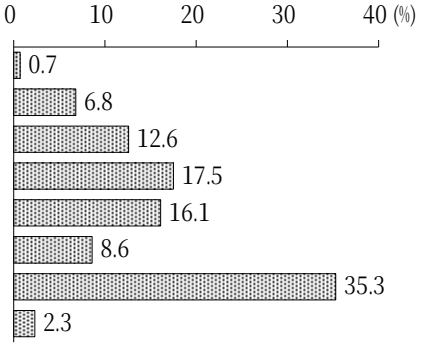
１．性

	基数	構成比
１　男性	661	45.4
２　女性	761	52.3
（無回答）	34	2.3
全　体	1,456	100.0



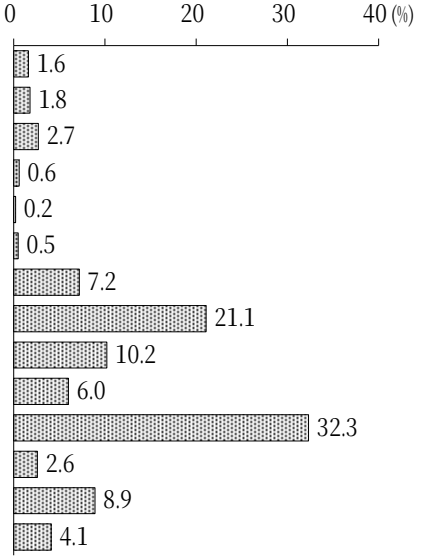
2．年　　代

	基数	構成比
1　18～19歳	10	0.7
2　20代	99	6.8
3　30代	184	12.6
4　40代	255	17.5
5　50代	235	16.1
6　60～64歳	125	8.6
7　65歳以上	514	35.3
（無回答）	34	2.3
全　体	1,456	100.0



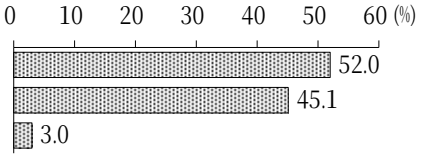
3．本人職業

		基数	構成比
自営業	1　農林漁業	23	1.6
	2　商工サービス業	26	1.8
	3　自由業	40	2.7
従業者家族	4　農林漁業	9	0.6
	5　商工サービス業	3	0.2
	6　自由業	7	0.5
勤め人	7　管理職	105	7.2
	8　専門技術・事務職	307	21.1
	9　販売・サービス職	149	10.2
	10　労務職	88	6.0
無職	11　主婦・主夫	471	32.3
	12　学生	38	2.6
	13　その他	130	8.9
（無回答）		60	4.1
全　体		1,456	100.0



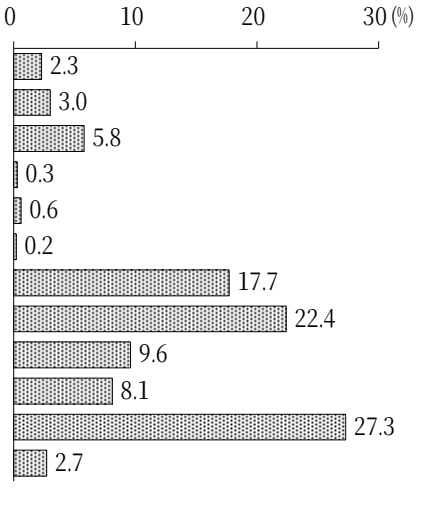
4．世帯内の地位

	基数	構成比
1　主として家計を支えている	757	52.0
2　家計を支えていない	656	45.1
（無回答）	43	3.0
全　体	1,456	100.0



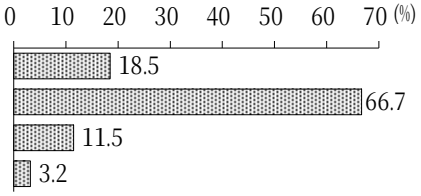
5．世帯主職業

		基数	構成比
自営業	1　農林漁業	15	2.3
	2　商工サービス業	20	3.0
	3　自由業	38	5.8
従業者家族	4　農林漁業	2	0.3
	5　商工サービス業	4	0.6
	6　自由業	1	0.2
勤め人	7　管理職	116	17.7
	8　専門技術職・事務職	147	22.4
	9　販売・サービス職	63	9.6
	10　労務職	53	8.1
11　無職		179	27.3
（無回答）		18	2.7
全　体		656	100.0



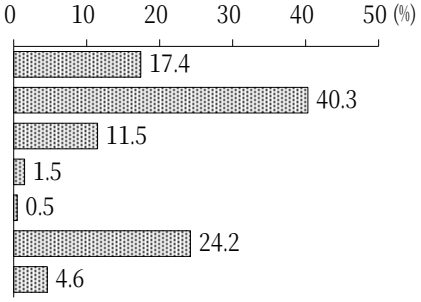
６．未既婚

	基数	構成比
１　未婚	270	18.5
２　既婚（配偶者有）	971	66.7
３　既婚（配偶者離死別）	168	11.5
（無回答）	47	3.2
全　体	1,456	100.0



７．子どもの人数

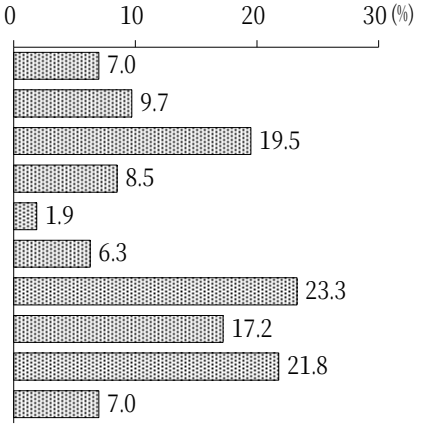
	基数	構成比
１　１人	253	17.4
２　２人	587	40.3
３　３人	168	11.5
４　４人	22	1.5
５　５人以上	7	0.5
６　子どもはいない	352	24.2
（無回答）	67	4.6
全　体	1,456	100.0



８．子どもの成長段階

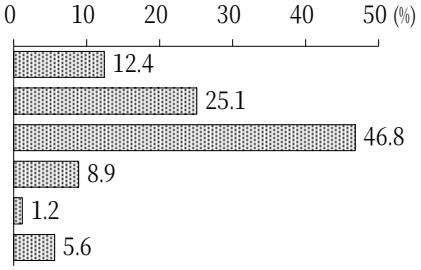
※１人の回答者が複数回答で行う設問であるため、基数・構成比ともに選択項目の合計が全体数を上回る。

	基数	構成比
１　０～２歳の子ども	73	7.0
２　３歳以上の未就学の子ども	101	9.7
３　小学校･中学校在学中の子ども	202	19.5
４　高校在学中の子ども	88	8.5
５　短大・高専・各種学校・専修学校在学中の子ども	20	1.9
６　大学・大学院在学中の子ども	65	6.3
７　学校を終えた未婚の子ども	242	23.3
８　結婚した子ども	178	17.2
９　同居している子どもはいない	226	21.8
（無回答）	73	7.0
全体（上記「７.子どもの人数」の１から５の計）	1,037	-



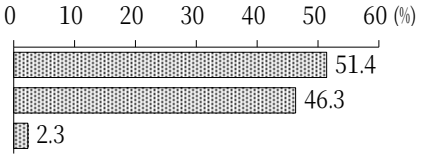
９．家族構成

	基数	構成比
１　単身	181	12.4
２　夫婦のみ	366	25.1
３　二世代世帯（親と子）	682	46.8
４　三世代世帯（親と子と孫）	129	8.9
５　その他	17	1.2
（無回答）	81	5.6
全　体	1,456	100.0



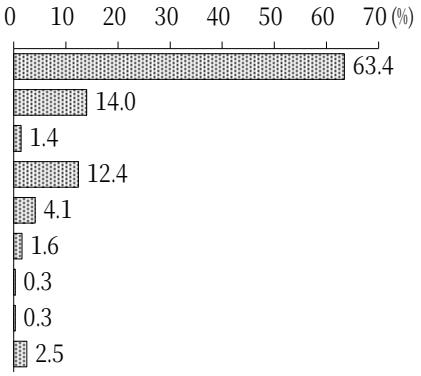
10．高齢者の同居の有無

	基数	構成比
１　いる（対象者本人を含む）	749	51.4
２　いない	674	46.3
（無回答）	33	2.3
全　体	1,456	100.0



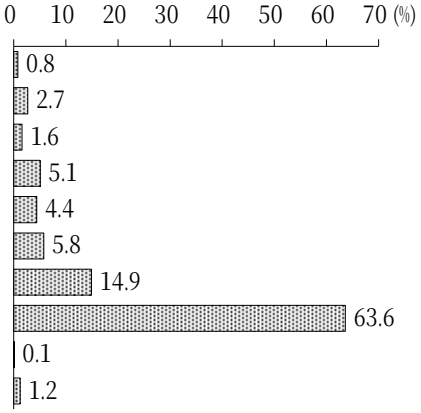
11. 住　　宅

		基数	構成比
持家	1　持家（一戸建）	923	63.4
	2　分譲マンション	204	14.0
持家以外	3　民間の借家（一戸建）	20	1.4
	4　賃貸のアパート･マンション	181	12.4
	5　公社･UR都市機構･県市町村営住宅	59	4.1
	6　社宅などの給与住宅	24	1.6
	7　住み込み・寮・寄宿舎	4	0.3
	8　その他	5	0.3
（無回答）		36	2.5
全　体		1,456	100.0



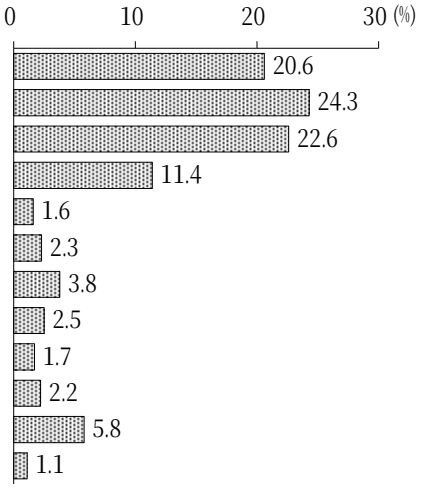
12. 県内居住年数

	基数	構成比
1　1年未満	11	0.8
2　1年～3年未満	39	2.7
3　3年～5年未満	23	1.6
4　5年～10年未満	74	5.1
5　10年～15年未満	64	4.4
6　15年～20年未満	84	5.8
7　20年～30年未満	217	14.9
8　30年以上	926	63.6
9　わからない	1	0.1
（無回答）	17	1.2
全　体	1,456	100.0



13. 地　　域

	基数	構成比
1　千葉地域	300	20.6
2　葛南地域	354	24.3
3　東葛飾地域	329	22.6
4　印旛地域	166	11.4
5　香取地域	24	1.6
6　海匝地域	33	2.3
7　山武地域	56	3.8
8　長生地域	37	2.5
9　夷隅地域	25	1.7
10　安房地域	32	2.2
11　君津地域	84	5.8
（無回答）	16	1.1
全　体	1,456	100.0



（報告書の見方）

本報告書を読む際に、次の点に留意してください。

（１）比率はすべて百分比で表し、小数点以下第２位を四捨五入して算出した。このために、百分比の合計が100%にならないことがある。

（２）基数となるべき実数はｎとして掲載した。その比率は件数を100%として算出した。

（３）１人の回答者が複数回答で行う設問では、その比率の合計が100%を上回ることがある。

（４）分かりやすく実態に合わせた設問にするため、前回調査の設問から表現等を変更したものがある。

（５）地域別、性・年齢別の分析において、サンプル数の少ない属性の分析については、グラフ上で数値が高いものでも有意差がなく、分析で触れていない場合がある。

（６）この調査の標本誤差は次の式によって得られる。但し、信頼度を95%とする。

$$b = 2\sqrt{2\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b　＝標本誤差
N　＝母集団数
n　＝比率算出の基数（サンプル数）
P　＝回答比率

次に、本調査の標本誤差の早見表をあげる。

基数（ｎ）＼回答比率（Ｐ）		10%または90%前後	20%または80%前後	30%または70%前後	40%または60%前後	50%前後
総　　数	1,456人	± 2.22%	± 2.96%	± 3.40%	± 3.63%	± 3.71%
千葉地域	300	± 4.90%	± 6.53%	± 7.48%	± 8.00%	± 8.16%
葛南地域	354	± 4.51%	± 6.01%	± 6.89%	± 7.36%	± 7.52%
東葛飾地域	329	± 4.68%	± 6.24%	± 7.15%	± 7.64%	± 7.80%
印旛地域	166	± 6.59%	± 8.78%	± 10.06%	± 10.75%	± 10.98%
香取地域	24	± 17.32%	± 23.09%	± 26.46%	± 28.28%	± 28.87%
海匝地域	33	± 14.77%	± 19.69%	± 22.56%	± 24.12%	± 24.62%
山武地域	56	± 11.34%	± 15.12%	± 17.32%	± 18.52%	± 18.90%
長生地域	37	± 13.95%	± 18.60%	± 21.31%	± 22.78%	± 23.25%
夷隅地域	25	± 16.97%	± 22.63%	± 25.92%	± 27.71%	± 28.28%
安房地域	32	± 15.00%	± 20.00%	± 22.91%	± 24.49%	± 25.00%
君津地域	84	± 9.26%	± 12.34%	± 14.14%	± 15.12%	± 15.43%
男　　性	661	± 3.30%	± 4.40%	± 5.04%	± 5.39%	± 5.50%
女　　性	761	± 3.08%	± 4.10%	± 4.70%	± 5.02%	± 5.13%

調査の結果　調査結果の解説

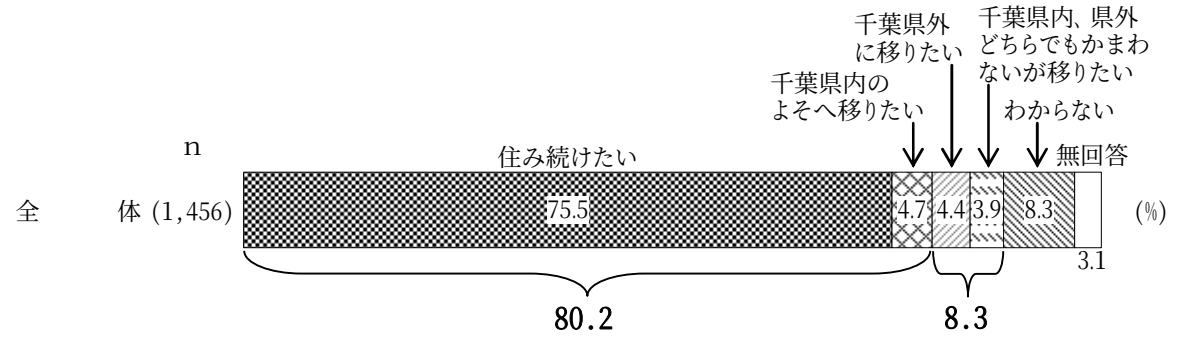
1　環境と生活について

（1）今後の居住意向

◇「住み続けたい」が７割台半ば

問１　あなたは、現在お住まいの地域に、ずっと住み続けたいと思いますか。（○は１つ）

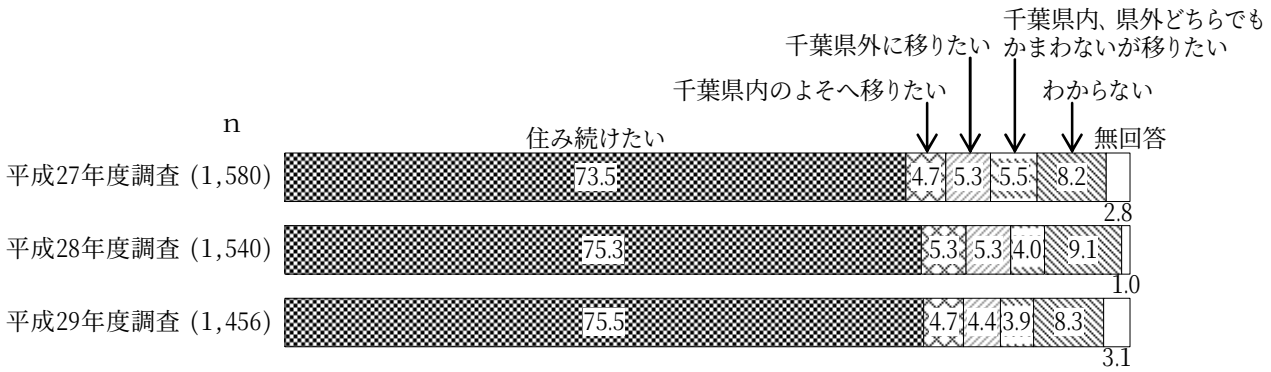
＜図表１－１＞今後の居住意向



現在お住まいの地域の今後の居住意向を聞いたところ、「住み続けたい」（75.5%）が７割台半ばで、これと「千葉県内のよそへ移りたい」（4.7%）を合わせた『千葉県内に住み続けたい（計）』（80.2%）が８割で高くなっている。

一方、「千葉県外に移りたい」（4.4%）と「千葉県内、県外どちらでもかまわないが移りたい」（3.9%）を合わせた『移りたい（計）』（8.3%）は約１割である。（図表１－１）

〔参考〕平成27年度・平成28年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



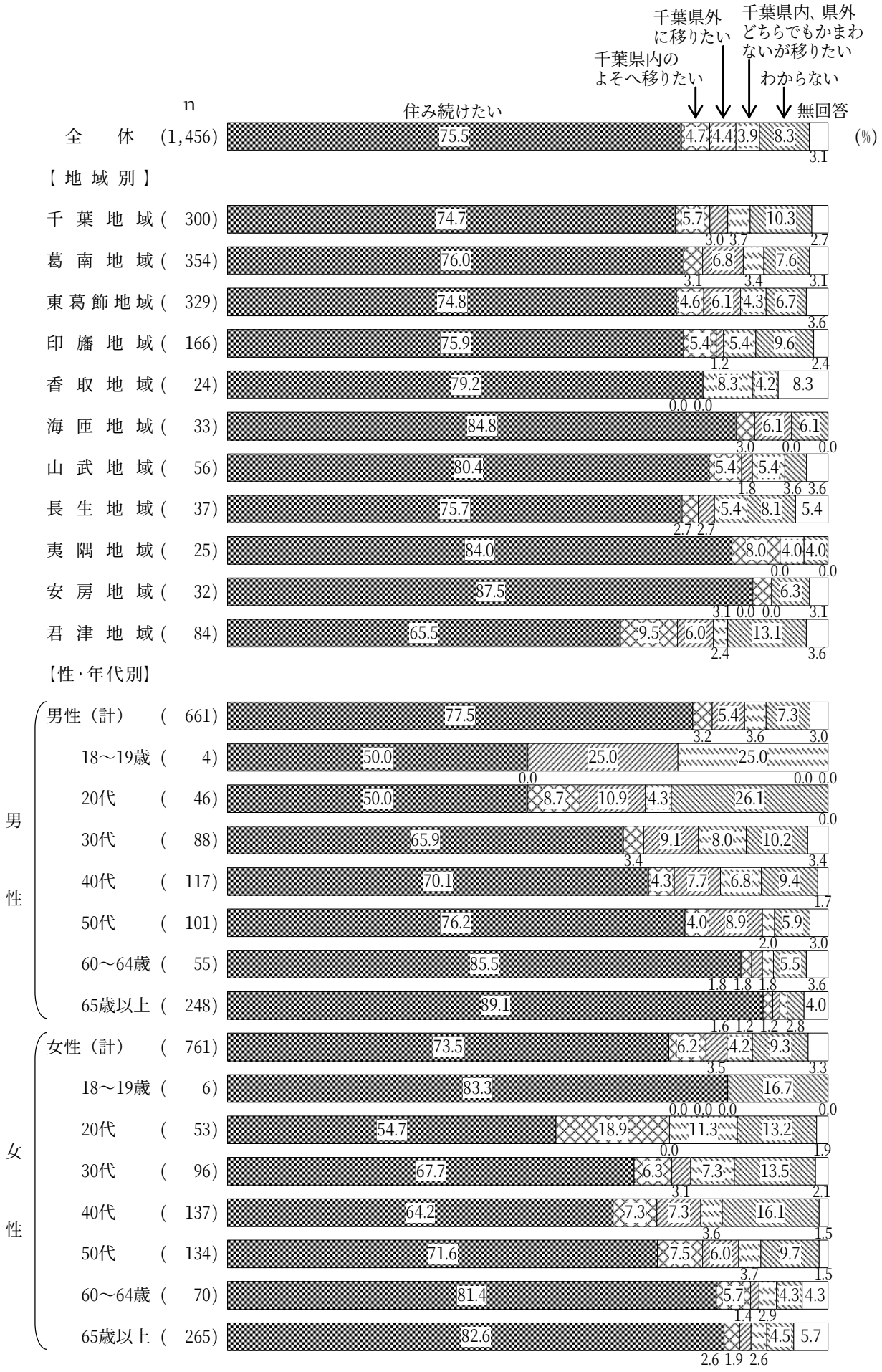
【地域別】

地域別にみると、「住み続けたい」は“安房地域”（87.5%）が約９割、“海匝地域”（84.8%）と“夷隅地域”（84.0%）が８割台半ばで高くなっている。（図表１－２）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「住み続けたい」は男性の60～64歳（85.5%）、65歳以上（89.1%）と女性の60～64歳（81.4%）、65歳以上（82.6%）が８割台で高くなっている。（図表１－２）

＜図表１－２＞今後の居住意向／地域別、性・年代別

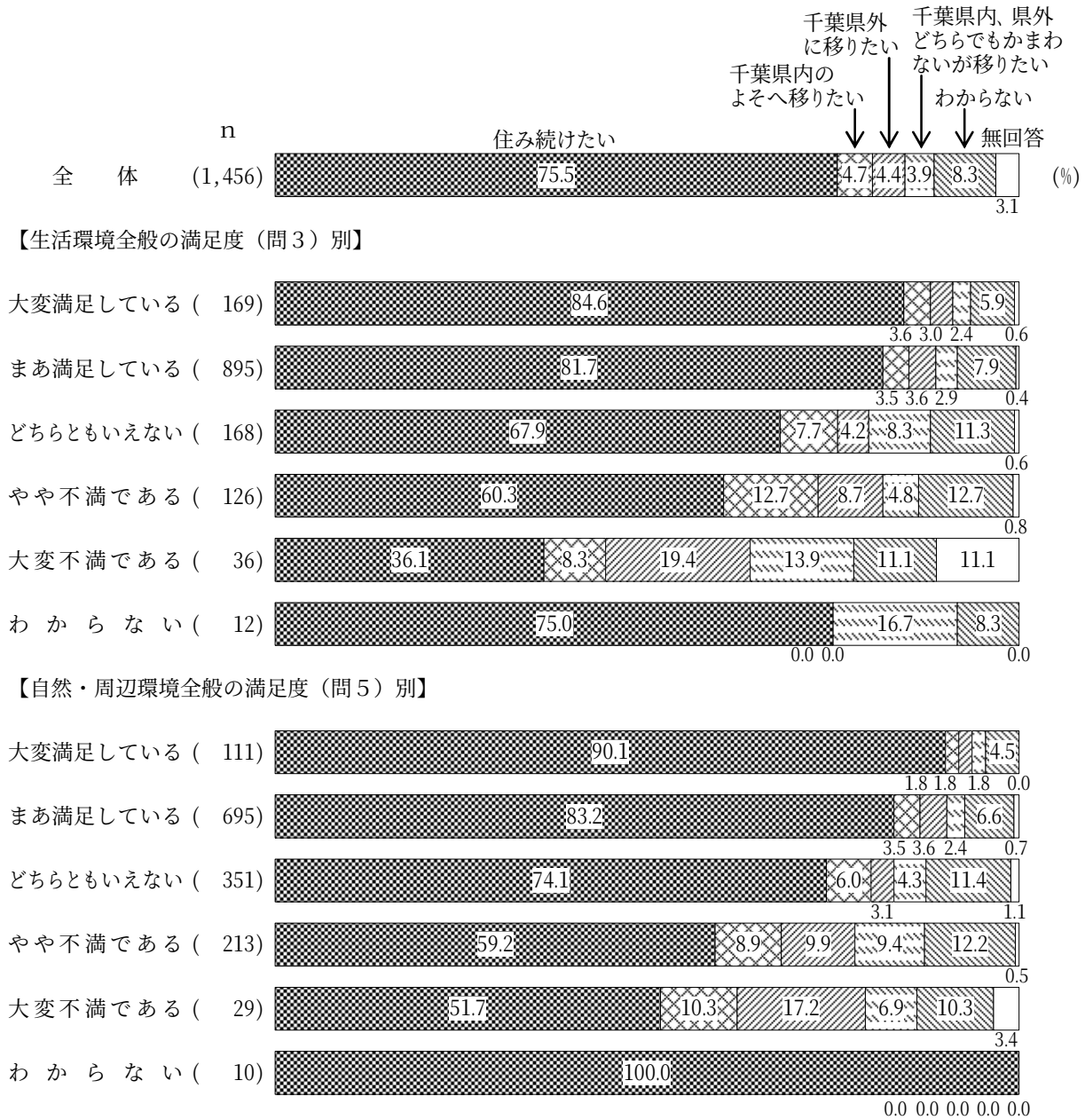


＜今後の居住意向と各環境の満足度＞

居住意向について、今回の調査における、問３「生活環境全般の満足度」と問５「自然・周辺環境全般の満足度」の設問間のクロス集計を行ったところ、生活環境全般の満足度、自然・周辺環境全般の満足度が高いほど、「住み続けたい」という回答の割合が高くなる傾向にある。

（図表１－３）

＜図表１－３＞今後の居住意向と各環境の満足度



（１－１）住み続けたい理由

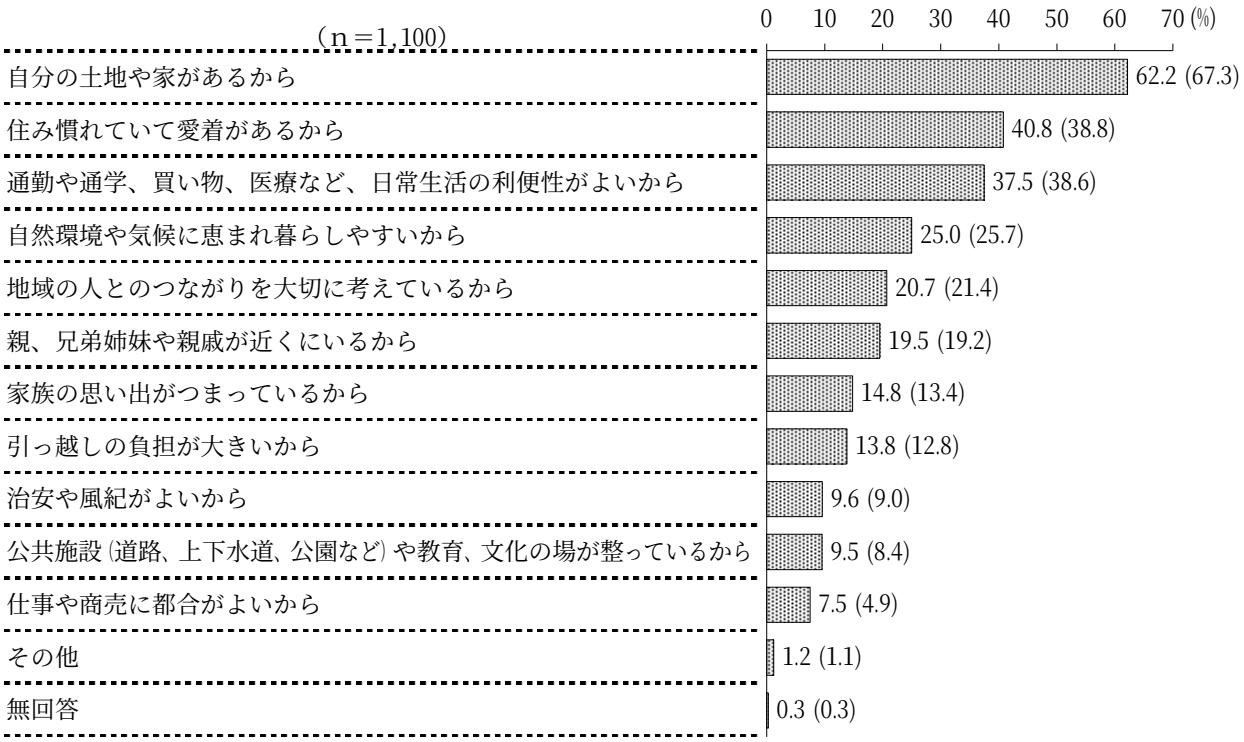
◇「自分の土地や家があるから」が６割を超える

（問１で「住み続けたい」とお答えの方に）

問１－１　あなたが現在お住まいの地域に、ずっと住み続けたいと思う理由は何ですか。

（○は３つまで）

＜図表１－４＞住み続けたい理由（３つまでの複数回答）



注）（　）の数字は平成28年度の同様の項目による調査結果　ｎ＝1,159

「住み続けたい」と回答した1,100人を対象に、住み続けたい理由を３つまで選んでもらったところ、「自分の土地や家があるから」（62.2%）が６割を超えて最も高く、以下、「住み慣れていて愛着があるから」（40.8%）、「通勤や通学、買い物、医療など、日常生活の利便性がよいから」（37.5%）が続く。（図表１－４）

【地域別】

地域別にみると、「住み慣れていて愛着があるから」は“君津地域”（58.2%）が約６割で高くなっている。

「通勤や通学、買い物、医療など、日常生活の利便性がよいから」は“葛南地域”（53.2%）が５割を超え、“千葉地域”（46.9%）が４割台半ばで高くなっている。

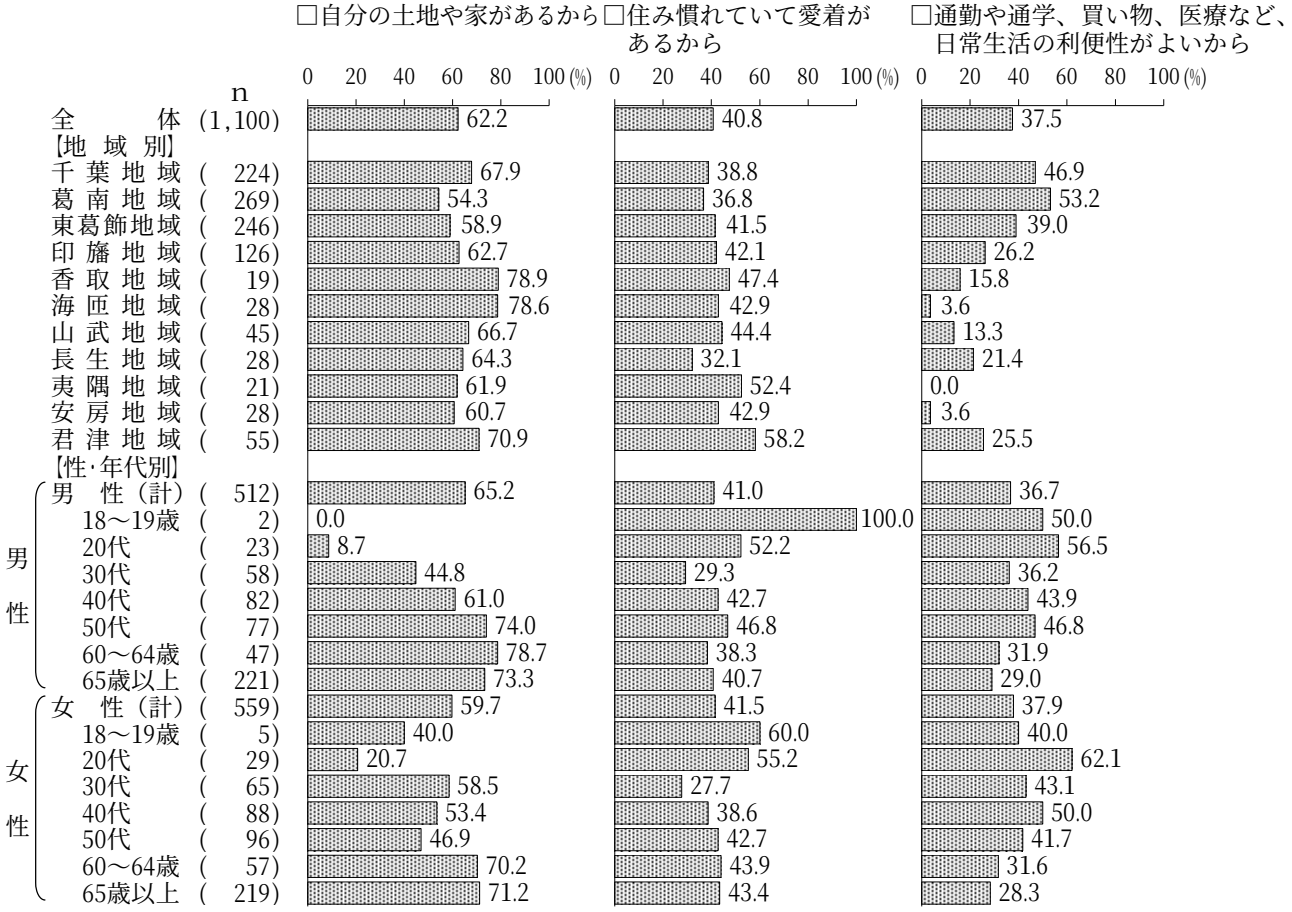
「自然環境や気候に恵まれ暮らしやすいから」は“安房地域”（53.6%）が５割台半ば、“夷隅地域”（47.6%）が約５割で高くなっている。（図表１－５）

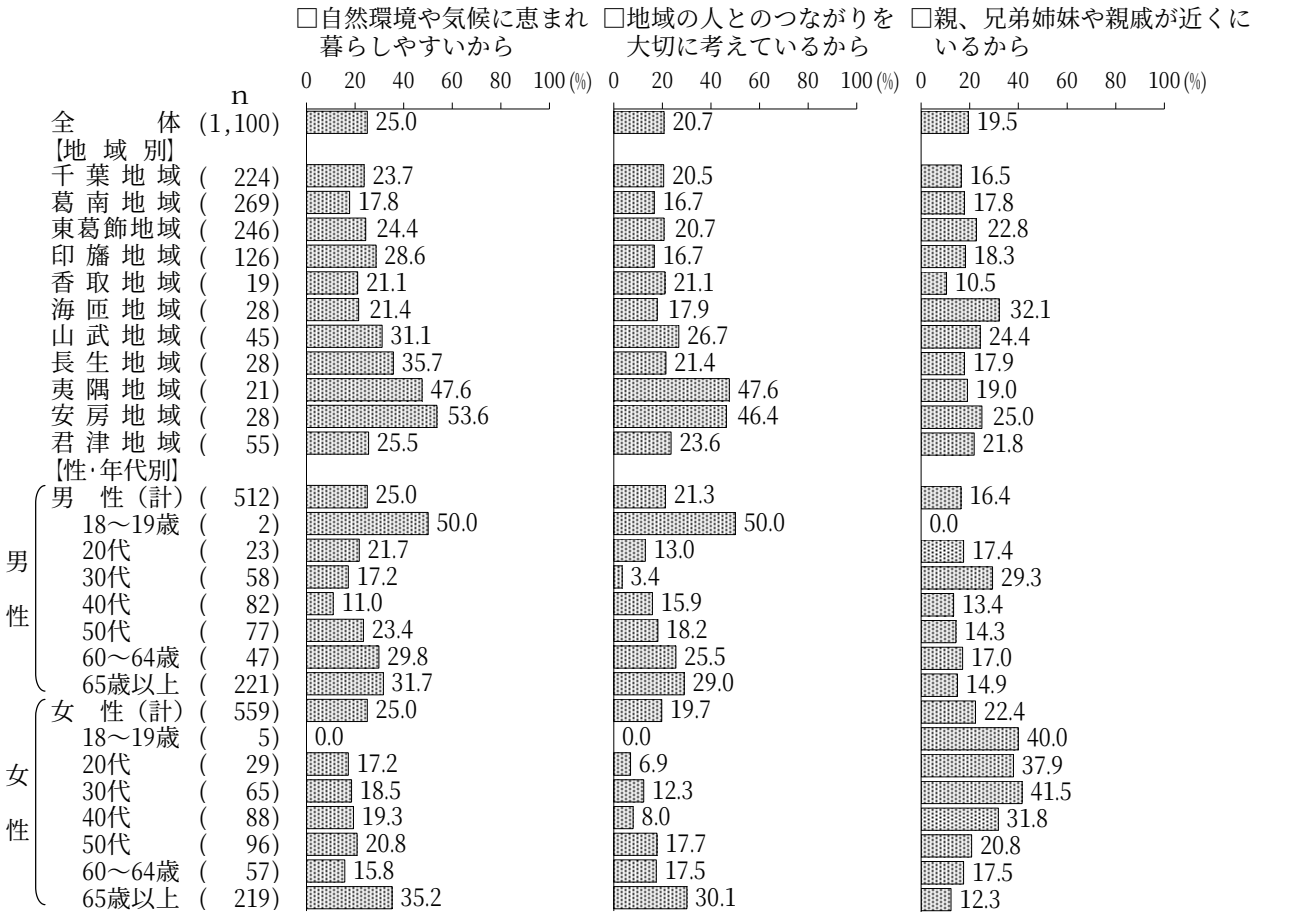
【性・年代別】

性・年代別にみると、「自分の土地や家があるから」は男性の60～64歳（78.7%）が約８割、男性の50代（74.0%）が７割台半ばで高くなっている。

「通勤や通学、買い物、医療など、日常生活の利便性がよいから」は女性の20代（62.1%）が６割を超えて高くなっている。（図表１－５）

＜図表１－５＞住み続けたい理由（３つまでの複数回答）／地域別、性・年代別（上位６項目）





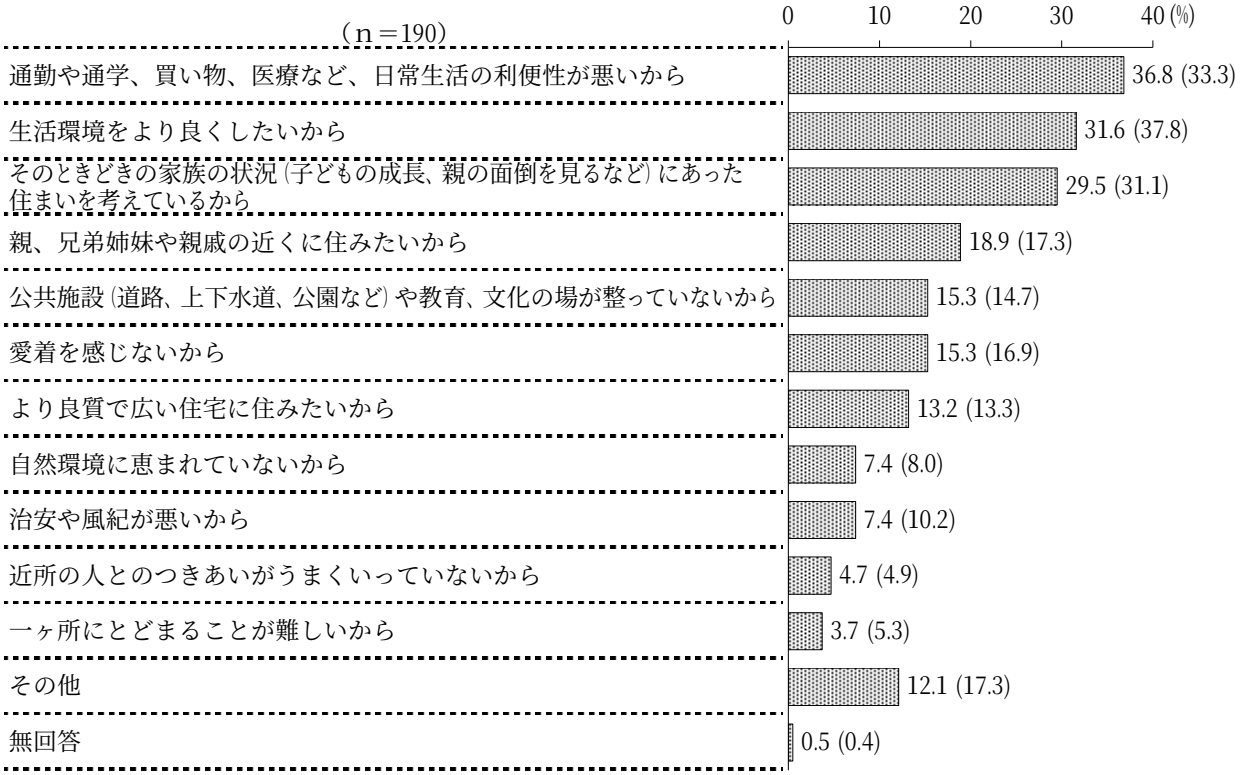
（１－２）移りたい理由

◇「通勤や通学、買い物、医療など、日常生活の利便性が悪いから」が３割台半ば

（問１で「千葉県内のよそへ移りたい」、「千葉県外に移りたい」、「千葉県内、県外どちらでもかまわないが移りたい」のいずれかをお答えの方に）

問１－２　あなたが現在お住まいの地域から移りたいと思う理由は何ですか。（○は３つまで）

＜図表１－６＞移りたい理由（３つまでの複数回答）

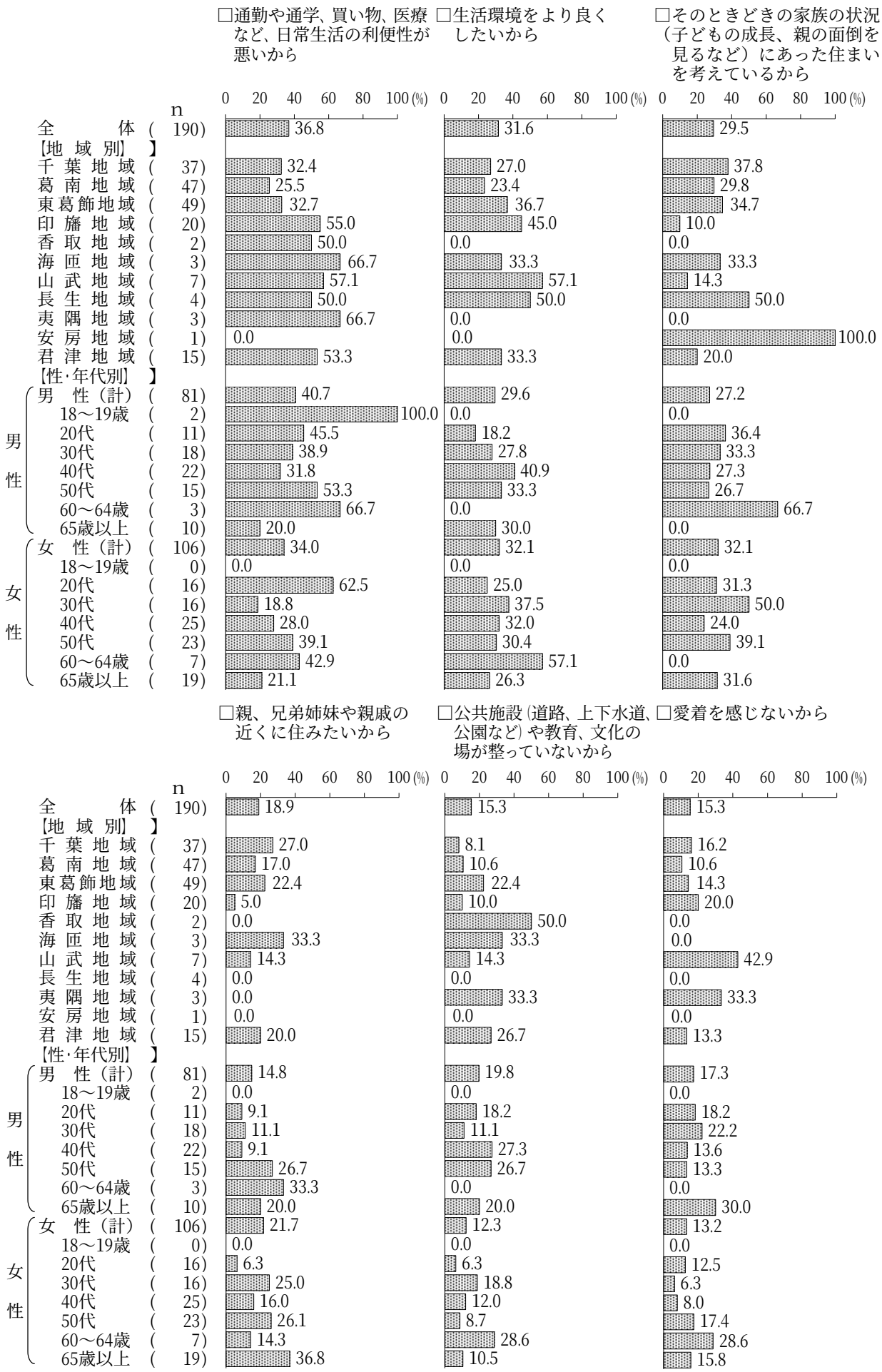


注）（　）の数字は平成28年度の同様の項目による調査結果　ｎ＝225

「千葉県内のよそへ移りたい」、「千葉県外に移りたい」、「千葉県内、県外どちらでもかまわないが移りたい」と回答した190人を対象に、移りたい理由を３つまで選んでもらったところ、「通勤や通学、買い物、医療など、日常生活の利便性が悪いから」（36.8%）が３割台半ばで最も高く、以下、「生活環境をより良くしたいから」（31.6%）、「そのときどきの家族の状況にあった住まいを考えているから」（29.5%）が続く。（図表１－６）

※サンプル数が少ない（有意差がない）ため、【地域別】と【性・年代別】における属性の分析は触れていない。（10ページ「報告書の見方（５）」を参照）

＜図表１－７＞移りたい理由（３つまでの複数回答）／地域別、性・年代別（上位６項目）



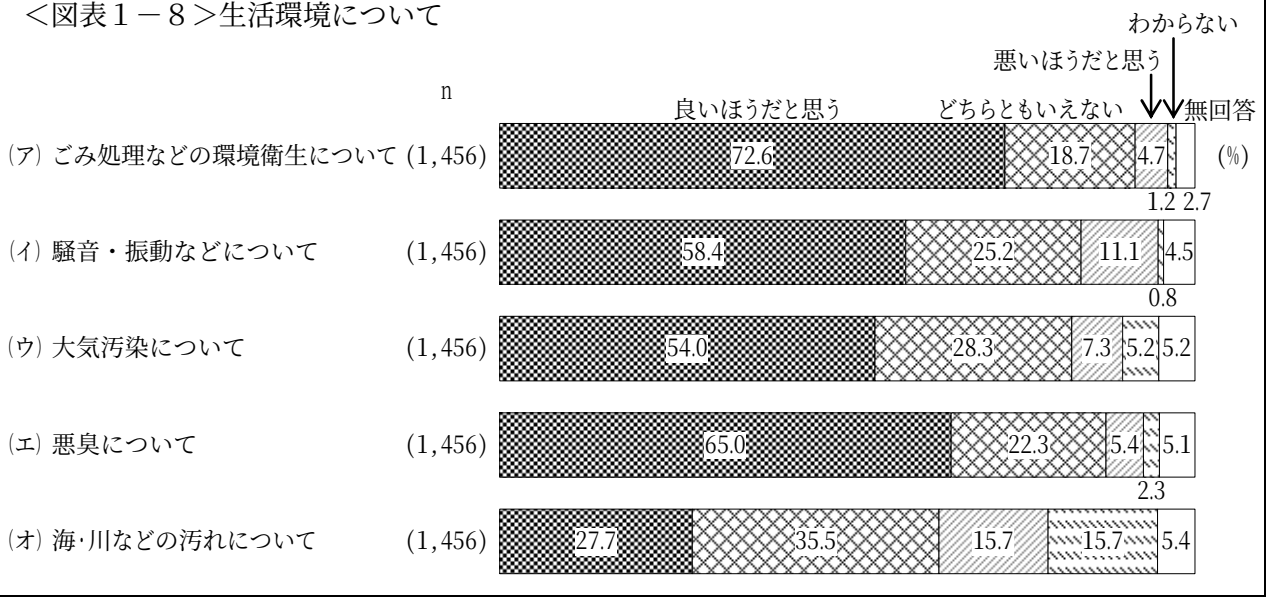
（2）生活環境について

◇「良いほうだと思う」が最も高いのは〈ごみ処理などの環境衛生について〉で７割を超える

問２　あなたは、現在お住まいの地域の生活環境についてどう思いますか。

（○はそれぞれ１つずつ）

＜図表１－８＞生活環境について



生活環境に関する５つの項目について、それぞれの良し悪しを聞いたところ、「良いほうだと思う」が最も高いのは「（ア）ごみ処理などの環境衛生について」（72.6%）が７割を超えており、以下、「（エ）悪臭について」（65.0%）が６割台半ば、「（イ）騒音・振動などについて」（58.4%）が約６割で続く。

一方、「悪いほうだと思う」は、「（オ）海・川などの汚れについて」（15.7%）が１割台半ば、「（イ）騒音・振動などについて」（11.1%）が１割を超えている。（図表１－８）

【地域別】

地域別にみると、「（イ）騒音・振動などについて」の「良いほうだと思う」は“ 夷隅地域 ”（88.0%）が約９割、“ 安房地域 ”（78.1%）が約８割で高くなっている。

「（ウ）大気汚染について」の「良いほうだと思う」は“ 安房地域 ”（81.3%）が８割を超え、“ 夷隅地域 ”（76.0%）が７割台半ばで高くなっている。

「（オ）海・川などの汚れについて」の「良いほうだと思う」は“ 夷隅地域 ”（60.0%）が６割で高くなっている。（図表１－９）

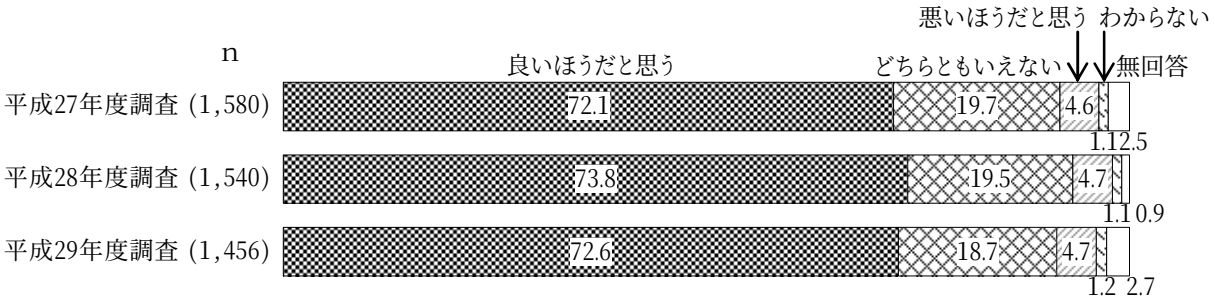
【性・年代別】

性・年代別にみると、「（ウ）大気汚染について」の「良いほうだと思う」は女性の60～64歳（70.0%）が７割で高くなっている。

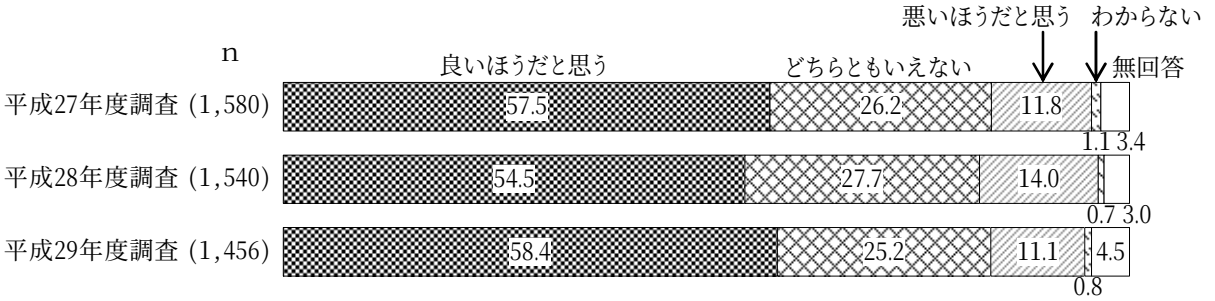
「（エ）悪臭について」の「良いほうだと思う」は女性の60～64歳（78.6%）が約８割で高くなっている。（図表１－９）

〔参考〕平成27年度・平成28年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）

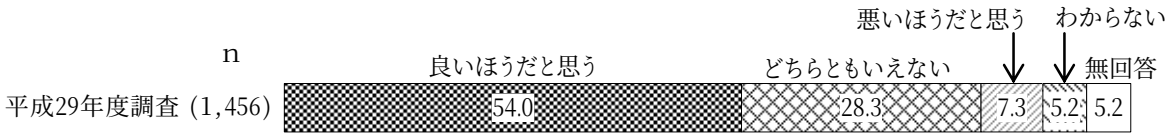
（ア）ごみ処理などの環境衛生について



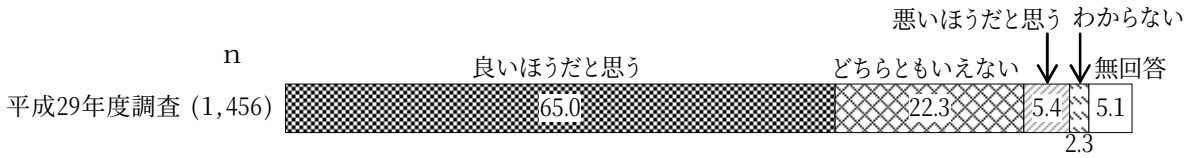
（イ）騒音・振動などについて



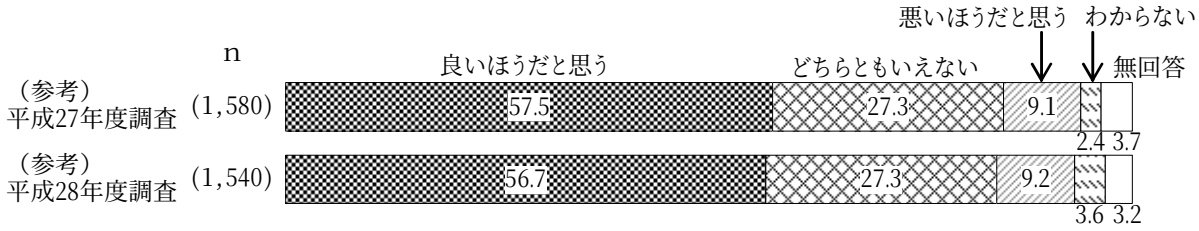
（ウ）大気汚染について



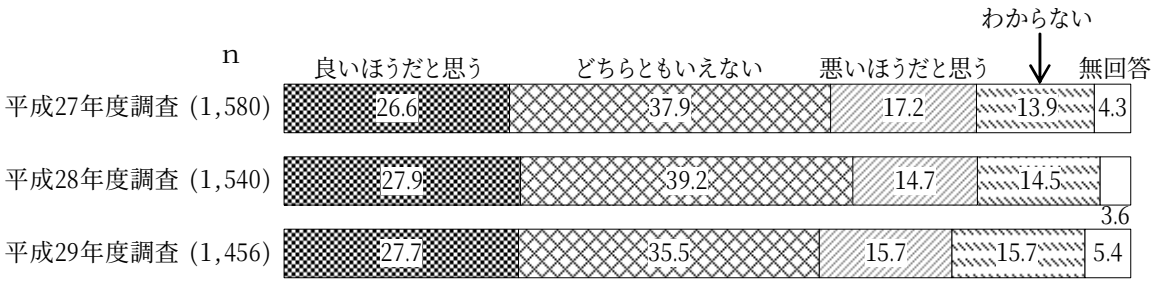
（エ）悪臭について



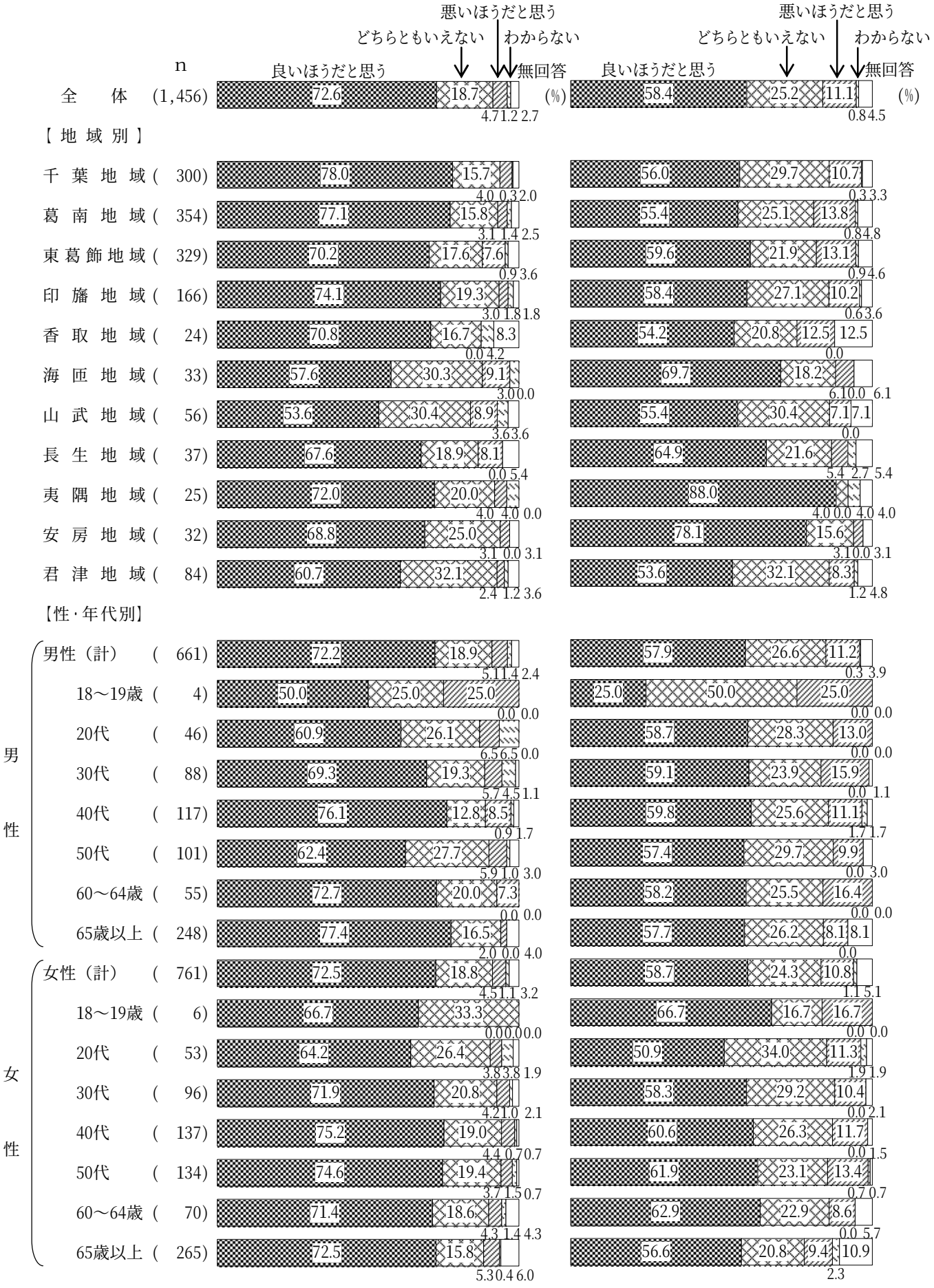
（参考）大気汚染・悪臭などについて

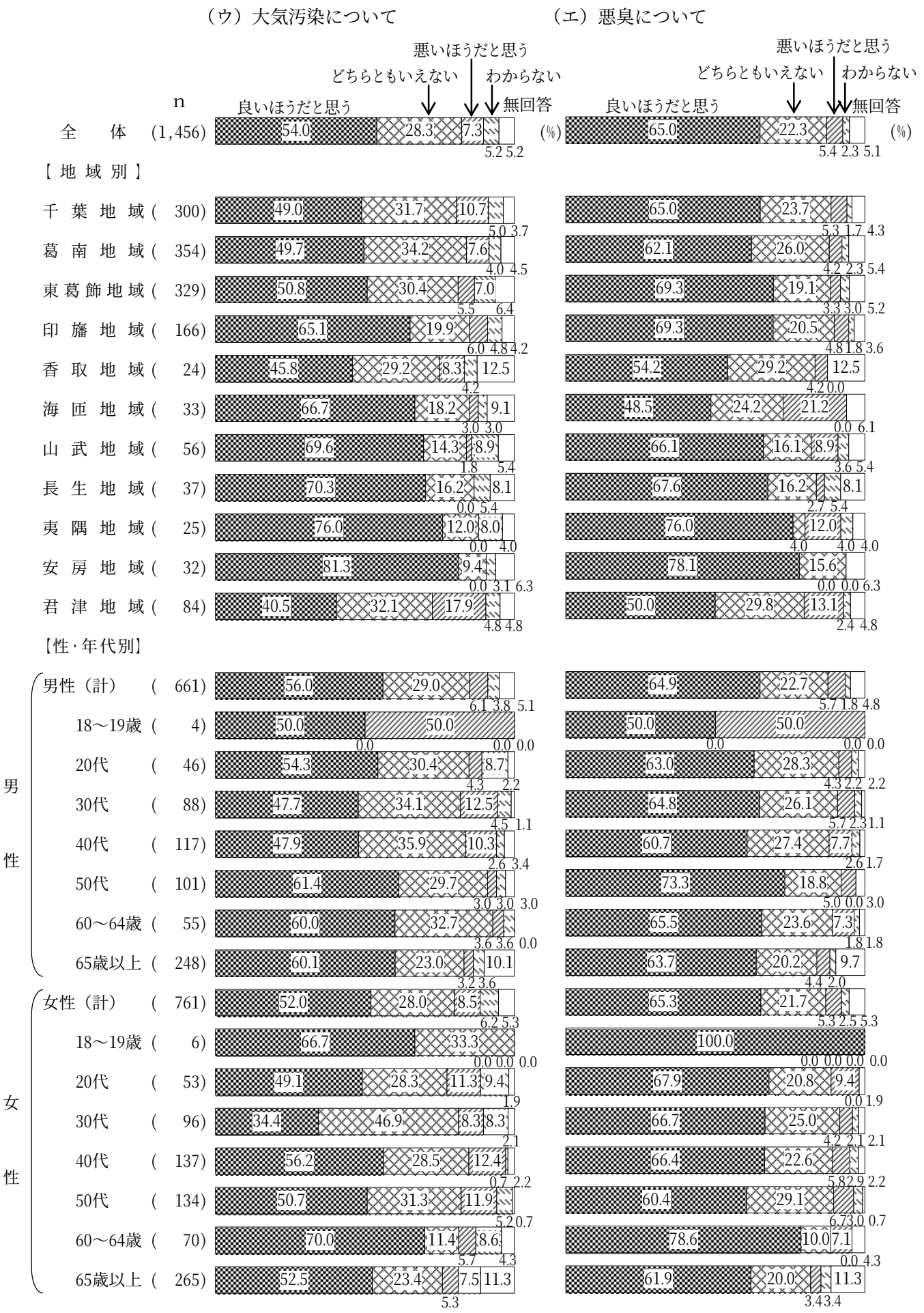


（オ）海・川などの汚れについて

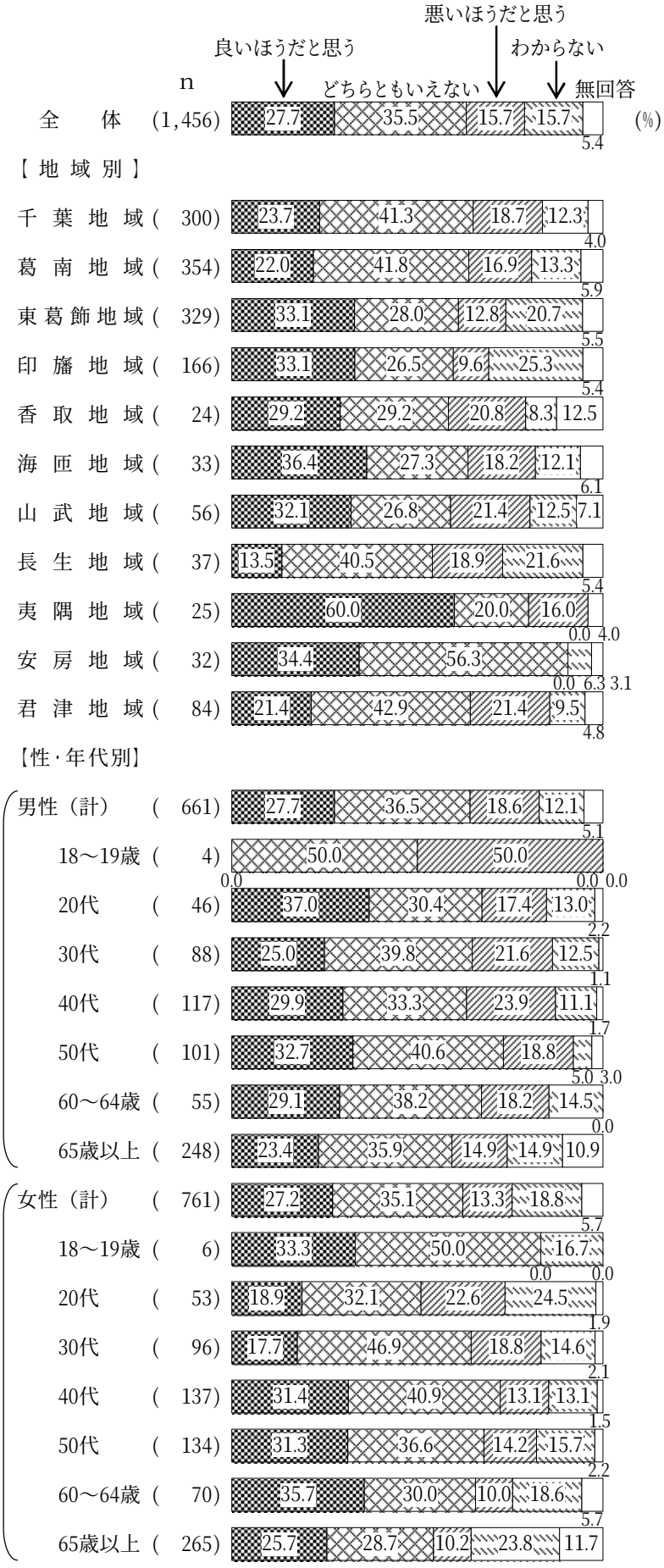


＜図表１－９＞生活環境について／地域別、性・年代別




（ウ）大気汚染について
（エ）悪臭について
悪いほうだと思う
どちらともいえない
わからない
良いほうだと思う
無回答
n
(%)
全　体 (1,456) 54.0 28.3 7.3 5.2 5.2 | 65.0 22.3 5.4 2.3 5.1
【地域別】
千葉地域 (300) 49.0 31.7 10.7 5.0 3.7 | 65.0 23.7 5.3 1.7 4.3
葛南地域 (354) 49.7 34.2 7.6 4.0 4.5 | 62.1 26.0 4.2 2.3 5.4
東葛飾地域 (329) 50.8 30.4 7.0 5.5 6.4 | 69.3 19.1 3.3 3.0 5.2
印旛地域 (166) 65.1 19.9 6.0 4.8 4.2 | 69.3 20.5 4.8 1.8 3.6
香取地域 (24) 45.8 29.2 8.3 4.2 12.5 | 54.2 29.2 4.2 0.0 12.5
海匝地域 (33) 66.7 18.2 3.0 3.0 9.1 | 48.5 24.2 21.2 0.0 6.1
山武地域 (56) 69.6 14.3 8.9 1.8 5.4 | 66.1 16.1 8.9 3.6 5.4
長生地域 (37) 70.3 16.2 8.1 0.0 5.4 | 67.6 16.2 2.7 5.4 8.1
夷隅地域 (25) 76.0 12.0 8.0 0.0 4.0 | 76.0 12.0 4.0 4.0 4.0
安房地域 (32) 81.3 9.4 0.0 3.1 6.3 | 78.1 15.6 0.0 0.0 6.3
君津地域 (84) 40.5 32.1 17.9 4.8 4.8 | 50.0 29.8 13.1 2.4 4.8
【性・年代別】
男性
男性（計） (661) 56.0 29.0 6.1 3.8 5.1 | 64.9 22.7 5.7 1.8 4.8
18～19歳 (4) 50.0 50.0 0.0 0.0 0.0 | 50.0 50.0 0.0 0.0 0.0
20代 (46) 54.3 30.4 8.7 4.3 2.2 | 63.0 28.3 4.3 2.2 2.2
30代 (88) 47.7 34.1 12.5 4.5 1.1 | 64.8 26.1 5.7 2.3 1.1
40代 (117) 47.9 35.9 10.3 2.6 3.4 | 60.7 27.4 7.7 2.6 1.7
50代 (101) 61.4 29.7 3.0 3.0 3.0 | 73.3 18.8 5.0 0.0 3.0
60～64歳 (55) 60.0 32.7 3.6 3.6 0.0 | 65.5 23.6 7.3 1.8 1.8
65歳以上 (248) 60.1 23.0 10.1 3.2 3.6 | 63.7 20.2 9.7 4.4 2.0
女性
女性（計） (761) 52.0 28.0 8.5 6.2 5.3 | 65.3 21.7 5.3 2.5 5.3
18～19歳 (6) 66.7 33.3 0.0 0.0 0.0 | 100.0 0.0 0.0 0.0 0.0
20代 (53) 49.1 28.3 11.3 9.4 1.9 | 67.9 20.8 9.4 0.0 1.9
30代 (96) 34.4 46.9 8.3 8.3 2.1 | 66.7 25.0 4.2 2.1 2.1
40代 (137) 56.2 28.5 12.4 0.7 2.2 | 66.4 22.6 5.8 2.9 2.2
50代 (134) 50.7 31.3 11.9 5.2 0.7 | 60.4 29.1 6.7 3.0 0.7
60～64歳 (70) 70.0 11.4 8.6 5.7 4.3 | 78.6 10.0 7.1 0.0 4.3
65歳以上 (265) 52.5 23.4 7.5 5.3 11.3 | 61.9 20.0 3.4 3.4 11.3
女性

（オ）海・川などの汚れについて

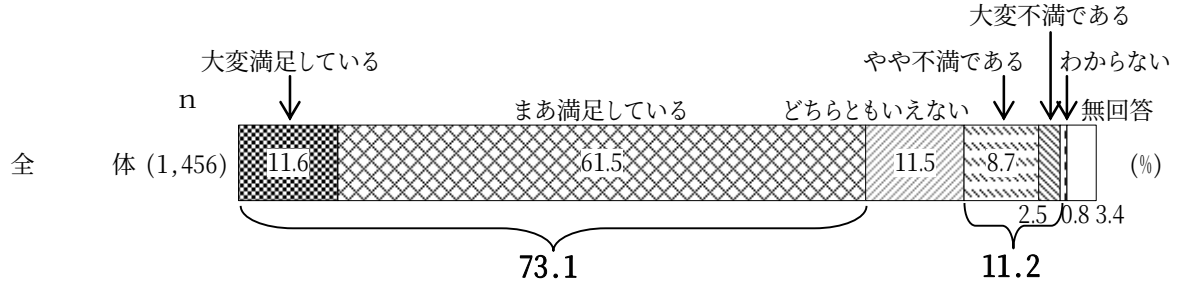


（３）生活環境全般の満足度

◇『満足している（計）』が７割を超える

問３　あなたは、問２の（ア）～（オ）のような生活環境全般についてどうお感じですか。
（○は１つ）

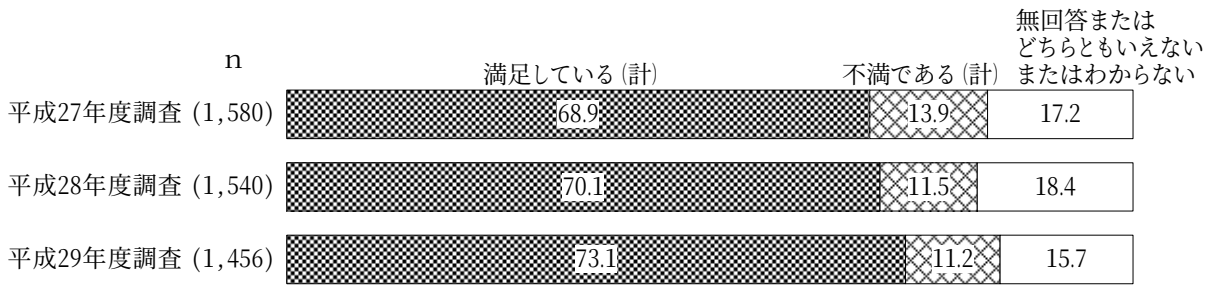
＜図表１－10＞生活環境全般の満足度



生活環境全般に関する５つの項目の全体について、その満足度を聞いたところ、「大変満足している」（11.6%）と「まあ満足している」（61.5%）を合わせた『満足している（計）』（73.1%）が７割を超えて高くなっている。

一方、「やや不満である」（8.7%）と「大変不満である」（2.5%）を合わせた『不満である（計）』（11.2%）は１割を超えている。（図表１－10）

〔参考〕平成27年度・平成28年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



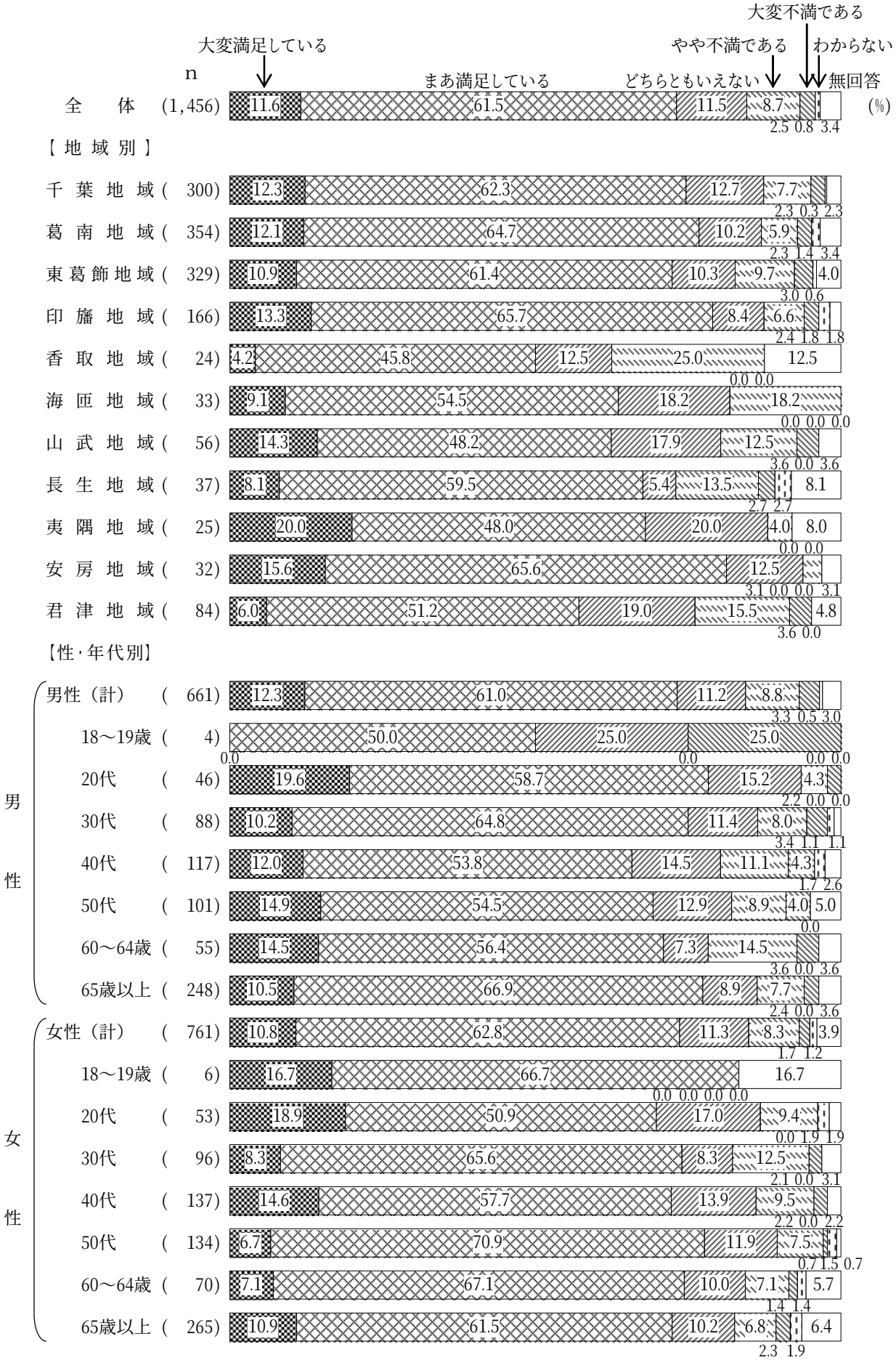
【地域別】

地域別にみると、『不満である（計）』ば“香取地域”（25.0%）が２割台半ば、“君津地域”（19.1%）が約２割で高くなっている。（図表１－11）

【性・年代別】

性・年代別にみると、大きな傾向の違いはみられない。（図表１－11）

＜図表１－11＞生活環境全般の満足度／地域別、性・年代別



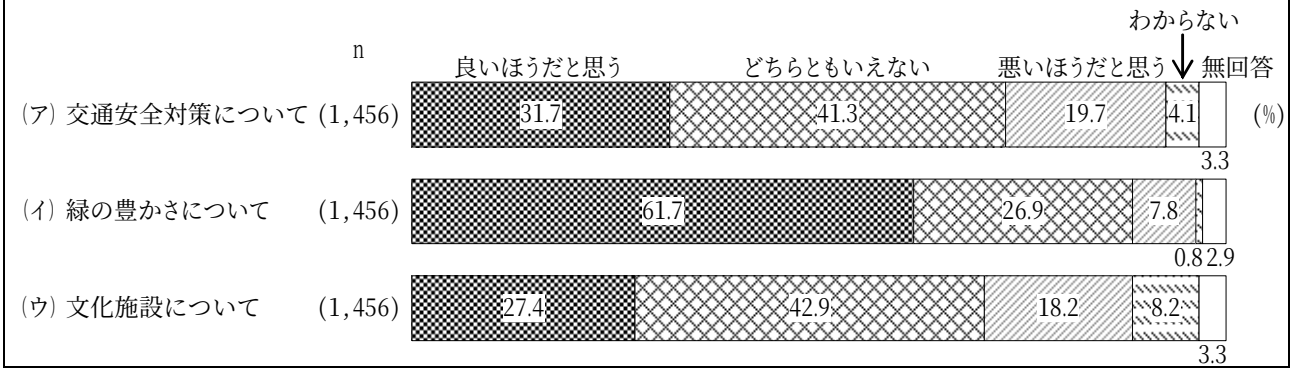
（4）自然・周辺環境について

◇「良いほうだと思う」が最も高いのは〈緑の豊かさについて〉で６割を超える

問４　あなたは、現在お住まいの地域の自然・周辺環境についてどう思いますか。

（○はそれぞれ１つずつ）

＜図表１－12＞自然・周辺環境について



自然・周辺環境に関する３つの項目について、それぞれの良し悪しを聞いたところ、「良いほうだと思う」が最も高いのは「(イ) 緑の豊かさについて」(61.7%) が６割を超えており、以下、「(ア) 交通安全対策について」(31.7%) が３割を超え、「(ウ) 文化施設について」(27.4%) が約３割で続く。

【地域別】

地域別にみると、「(イ) 緑の豊かさについて」の「良いほうだと思う」は“安房地域”(87.5%) が約９割、“夷隅地域”(84.0%) が８割台半ば、“長生地域”(81.1%) が８割を超えて高くなっている。

「(ウ) 文化施設について」の「良いほうだと思う」は“葛南地域”(33.6%) が３割台半ば、“印旛地域”(31.3%) が３割を超えて高くなっている。(図表１－13)

【性・年代別】

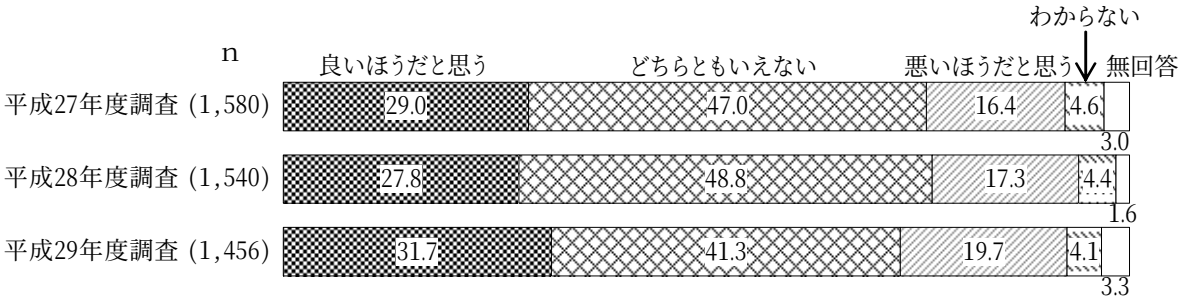
性・年代別にみると、「(ア) 交通安全対策について」の「良いほうだと思う」は女性の65歳以上 (41.9%) が４割を超えて高くなっている。

一方、「悪いほうだと思う」は男性の30代 (34.1%) が３割台半ば、女性の30代 (33.3%) が３割を超えて高くなっている。

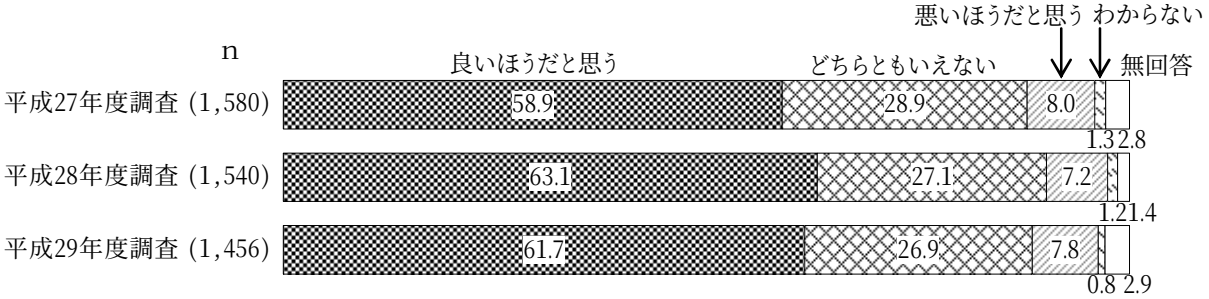
「(イ) 緑の豊かさについて」の「良いほうだと思う」は男性の20代 (73.9%) が７割台半ば、女性の50代 (70.1%) が７割で高くなっている。(図表１－13)

〔参考〕平成27年度・平成28年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）

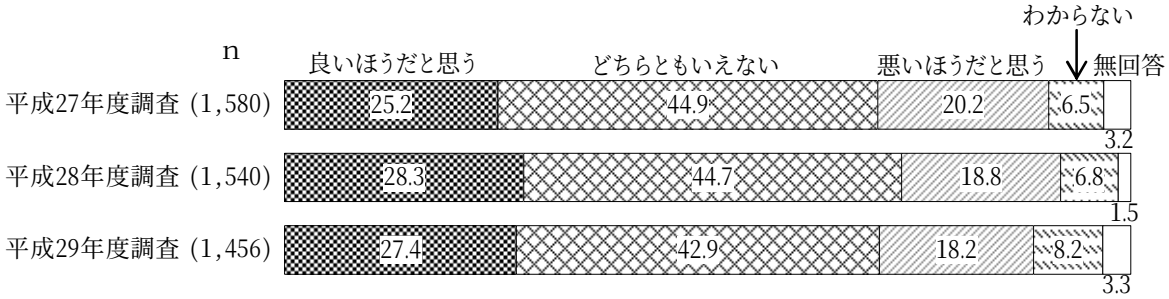
（ア）交通安全対策について



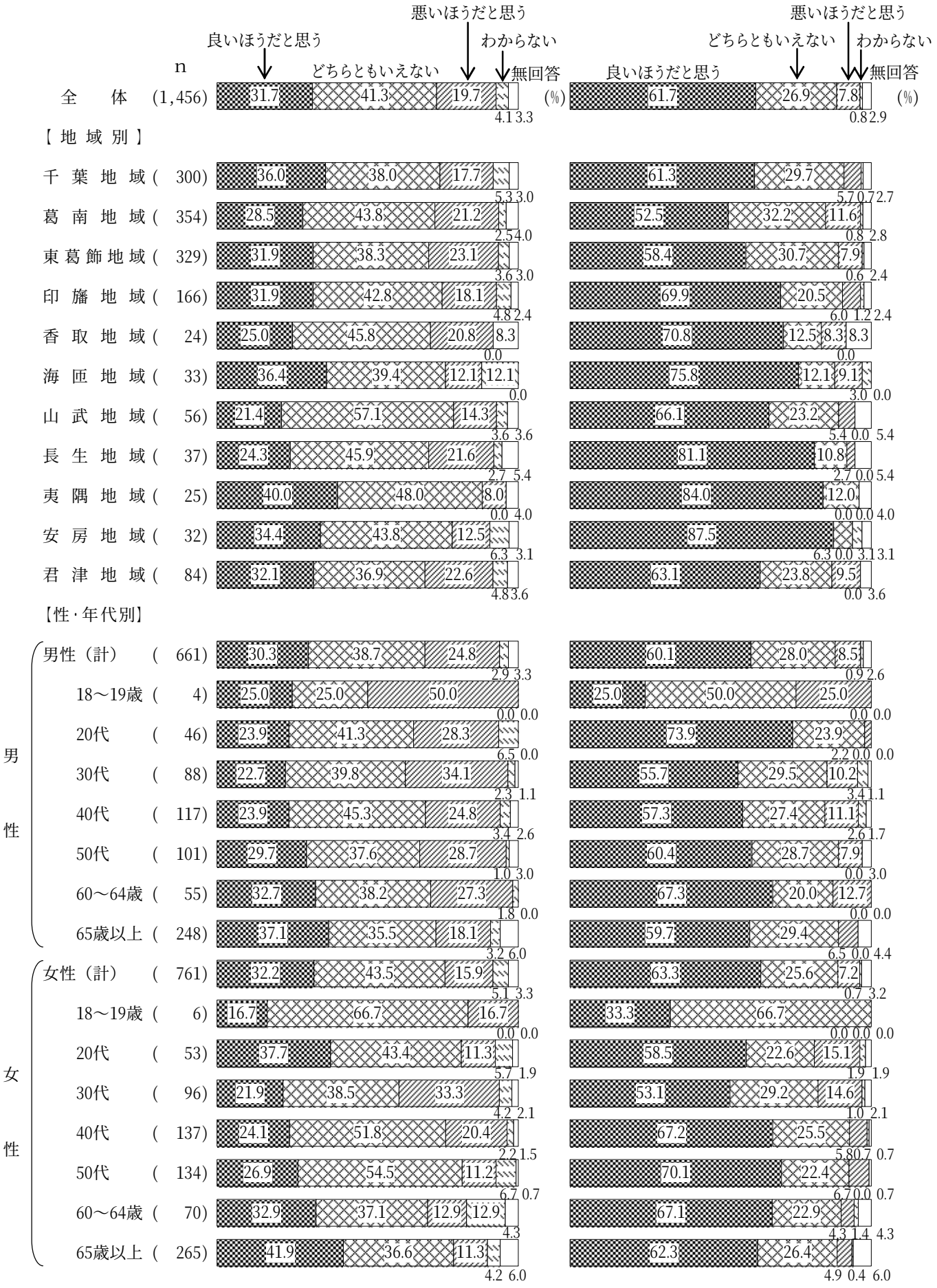
（イ）緑の豊かさについて



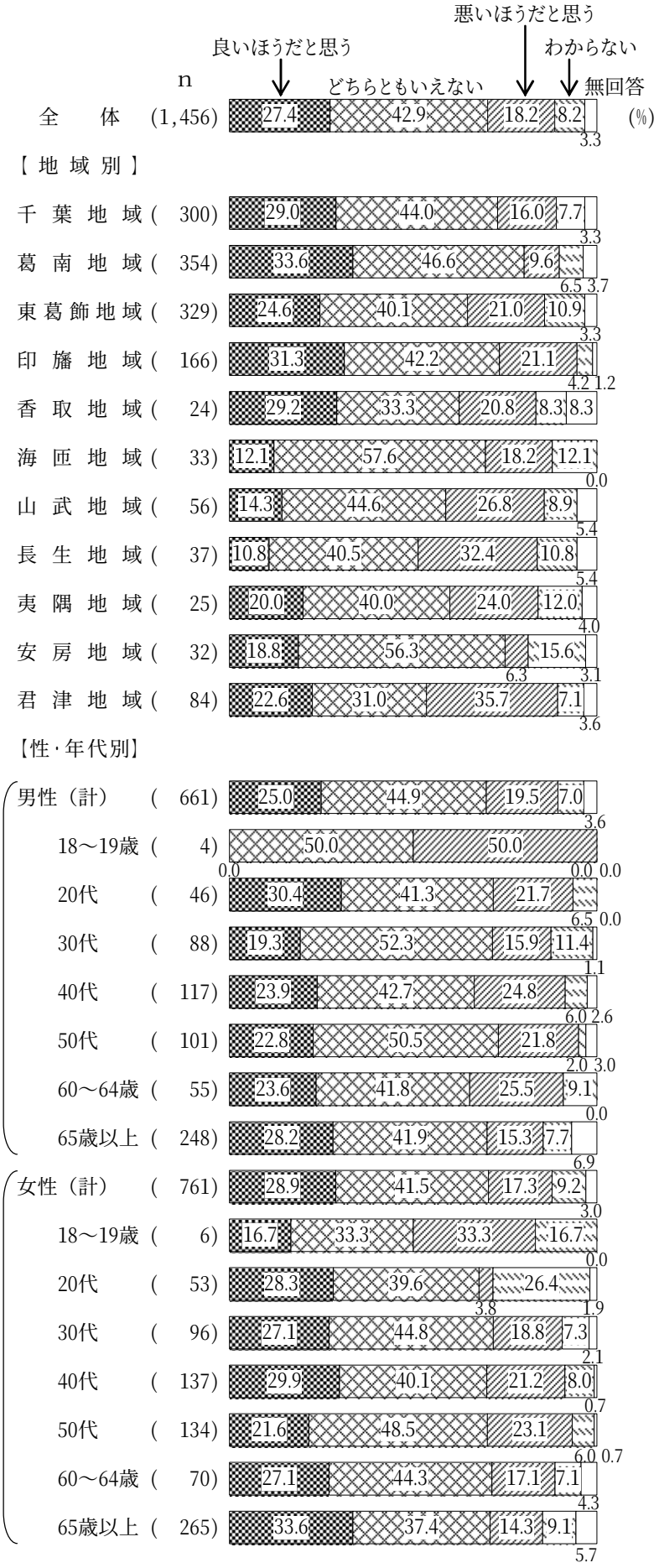
（ウ）文化施設について



＜図表１－13＞自然・周辺環境について／地域別、性・年代別



（ウ）文化施設について

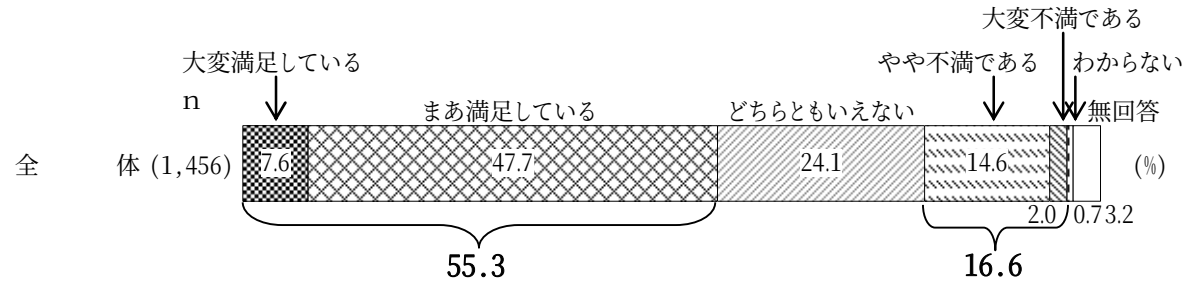

悪いほうだと思う
良いほうだと思う
わからない
n
どちらともいえない
無回答
全　体 (1,456) 27.4 42.9 18.2 8.2 3.3 (%)
【地域別】
千葉地域 (300) 29.0 44.0 16.0 7.7 3.3
葛南地域 (354) 33.6 46.6 9.6 6.5 3.7
東葛飾地域 (329) 24.6 40.1 21.0 10.9 3.3
印旛地域 (166) 31.3 42.2 21.1 4.2 1.2
香取地域 (24) 29.2 33.3 20.8 8.3 8.3
海匝地域 (33) 12.1 57.6 18.2 12.1 0.0
山武地域 (56) 14.3 44.6 26.8 8.9 5.4
長生地域 (37) 10.8 40.5 32.4 10.8 5.4
夷隅地域 (25) 20.0 40.0 24.0 12.0 4.0
安房地域 (32) 18.8 56.3 6.3 15.6 3.1
君津地域 (84) 22.6 31.0 35.7 7.1 3.6
【性・年代別】
男性
男性（計） (661) 25.0 44.9 19.5 7.0 3.6
18～19歳 (4) 50.0 50.0 0.0 0.0 0.0
20代 (46) 30.4 41.3 21.7 6.5 0.0
30代 (88) 19.3 52.3 15.9 11.4 1.1
40代 (117) 23.9 42.7 24.8 6.0 2.6
50代 (101) 22.8 50.5 21.8 2.0 3.0
60～64歳 (55) 23.6 41.8 25.5 9.1 0.0
65歳以上 (248) 28.2 41.9 15.3 7.7 6.9
女性
女性（計） (761) 28.9 41.5 17.3 9.2 3.0
18～19歳 (6) 16.7 33.3 33.3 16.7 0.0
20代 (53) 28.3 39.6 3.8 26.4 1.9
30代 (96) 27.1 44.8 18.8 7.3 2.1
40代 (137) 29.9 40.1 21.2 8.0 0.7
50代 (134) 21.6 48.5 23.1 6.0 0.7
60～64歳 (70) 27.1 44.3 17.1 7.1 4.3
65歳以上 (265) 33.6 37.4 14.3 9.1 5.7

（５）自然・周辺環境全般の満足度

◇『満足している（計)』が５割台半ば

問５　あなたは、問４の（ア）～（ウ）のような自然・周辺環境全般についてどうお感じですか。
（○は１つ）

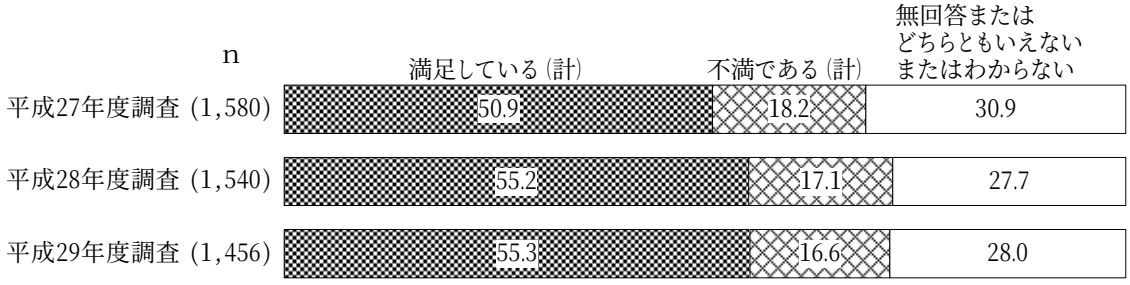
＜図表１－14＞自然・周辺環境全般の満足度



自然・周辺環境に関する３つの項目の全体について、その満足度を聞いたところ、「大変満足している」（7.6%）と「まあ満足している」（47.7%）を合わせた『満足している（計)』（55.3%）が５割台半ばで高くなっている。

一方、「やや不満である」（14.6%）と「大変不満である」（2.0%）を合わせた『不満である（計)』（16.6%）は１割台半ばとなっている。（図表１－14）

〔参考〕平成27年度・平成28年度調査の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



【地域別】

地域別にみると、『満足している（計)』は“千葉地域”（61.0%）が６割を超えて高くなっている。

一方、『不満である（計)』は“君津地域”（28.6%）が約３割で高くなっている。（図表１－15）

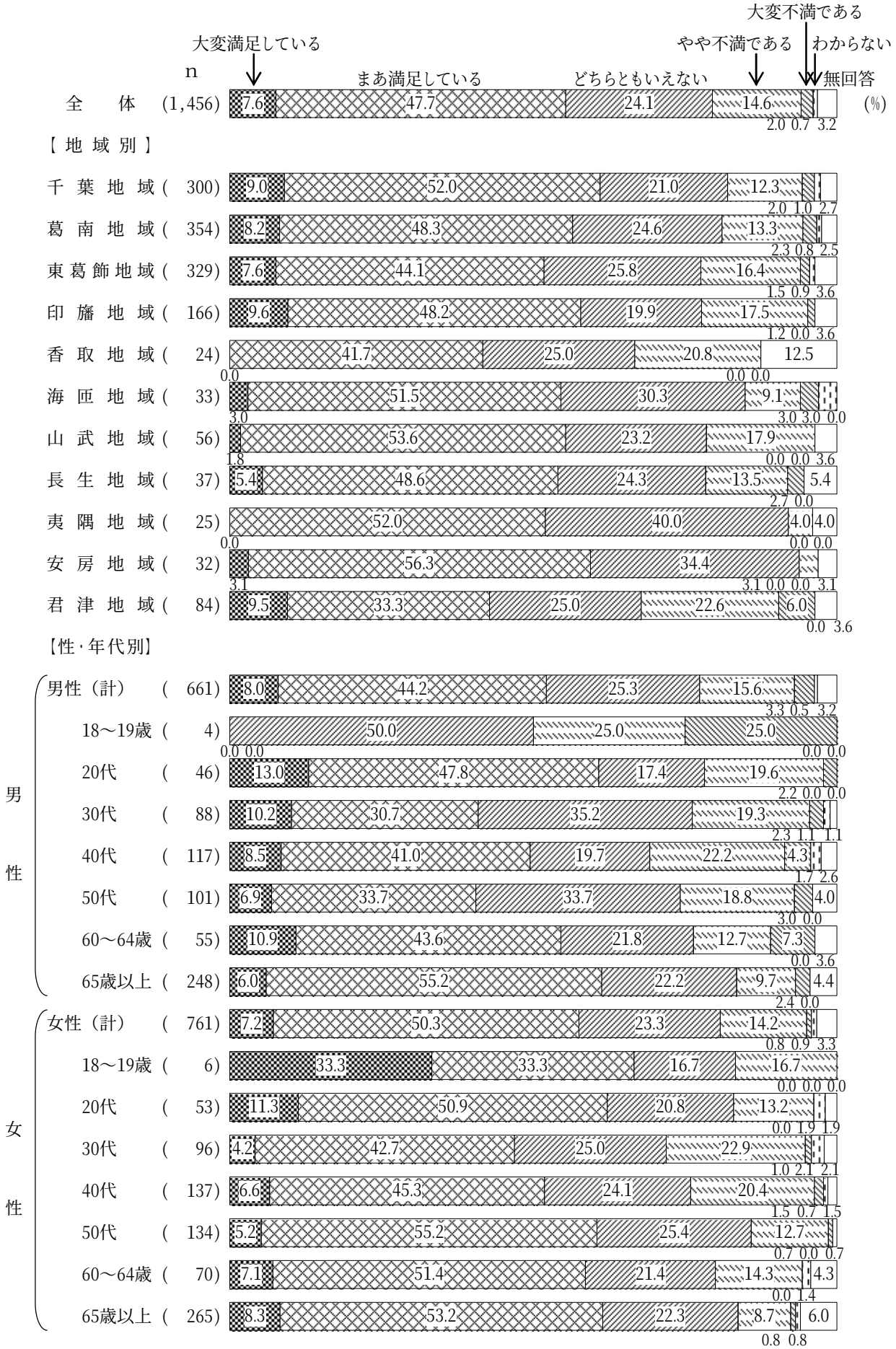
【性・年代別】

性・年代別にみると、『満足している（計)』は男性の65歳以上（61.2%）と女性の20代（62.2%）、65歳以上（61.5%）が６割を超えて高くなっている。

一方、『不満である（計)』は男性の40代（26.5%）が２割台半ばで高くなっている。

（図表１－15）

＜図表１－15＞自然・周辺環境全般の満足度／地域別、性・年代別



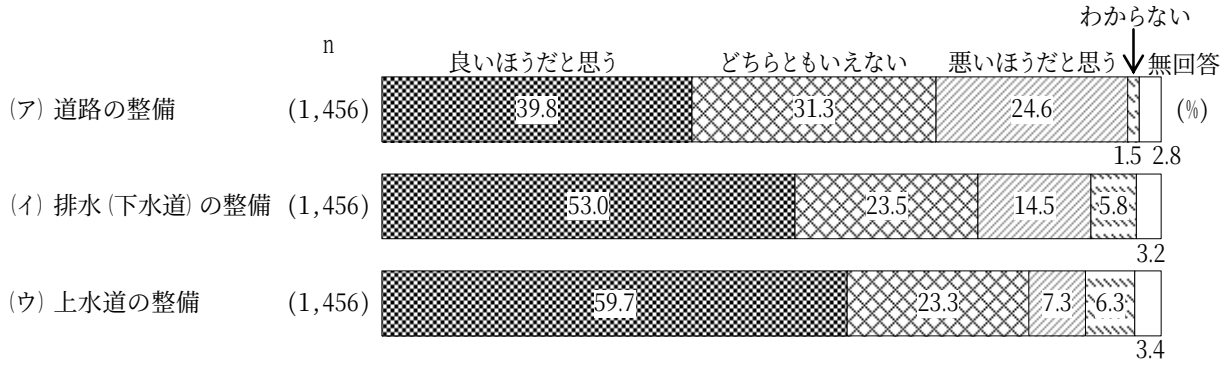
（６）基盤整備について

◇「良いほうだと思う」が最も高いのは〈上水道の整備〉で約６割

問６　あなたは、現在お住まいの地域の基盤整備についてどう思いますか。

（○はそれぞれ１つずつ）

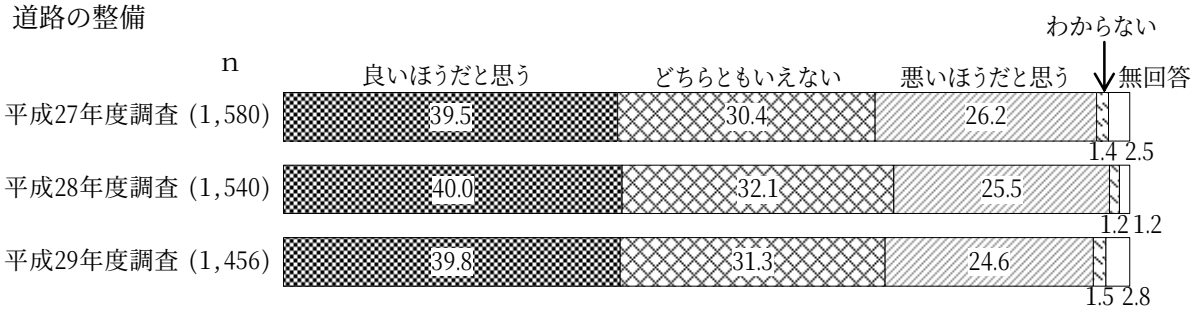
＜図表１－16＞基盤整備について



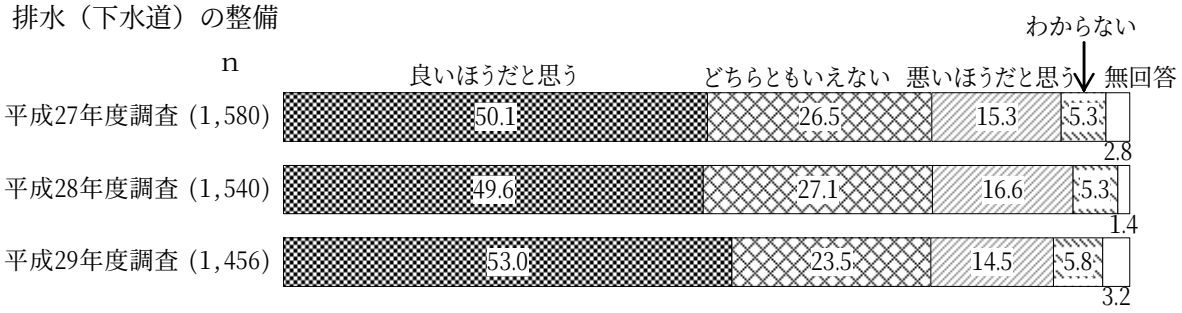
基盤整備に関する３つの項目について、それぞれの良し悪しを聞いたところ、「良いほうだと思う」が最も高いのは、「（ウ）上水道の整備」（59.7%）が約６割となっており、以下、「（イ）排水（下水道）の整備」（53.0%）が５割を超え、「（ア）道路の整備」（39.8%）が約４割で続く。（図表１－16）

〔参考〕平成27年度・平成28年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）

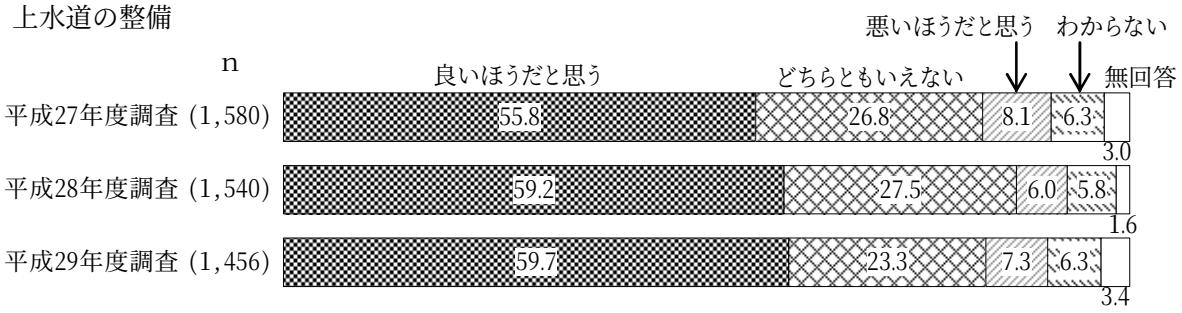
（ア）道路の整備



（イ）排水（下水道）の整備



（ウ）上水道の整備



【地域別】

地域別にみると、「（ア）道路の整備」の「良いほうだと思う」は“千葉地域”（49.7%）が約５割で高くなっている。

「（イ）排水（下水道）の整備」の「良いほうだと思う」は“千葉地域”（65.0%）が６割台半ば、“東葛飾地域”（62.0%）が６割を超えて高くなっている。

一方、「悪いほうだと思う」は“安房地域”（37.5%）が約４割、“香取地域”（29.2%）が約３割で高くなっている。

「（ウ）上水道の整備」の「良いほうだと思う」は“東葛飾地域”（67.2%）が約７割で高くなっている。（図表１－17）

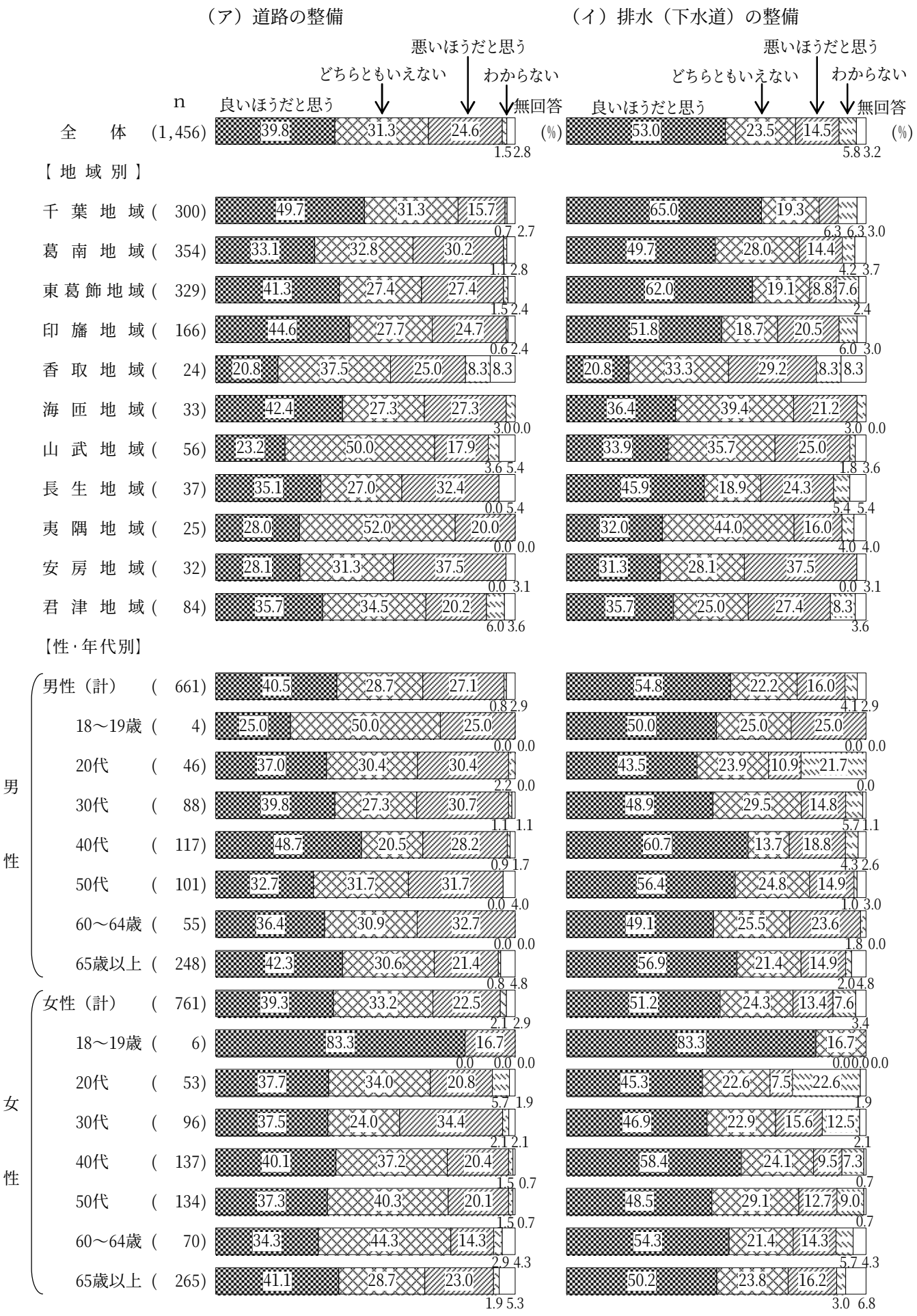
【性・年代別】

性・年代別にみると、「（ア）道路の整備」の「良いほうだと思う」は男性の40代（48.7%）が約５割で高くなっている。

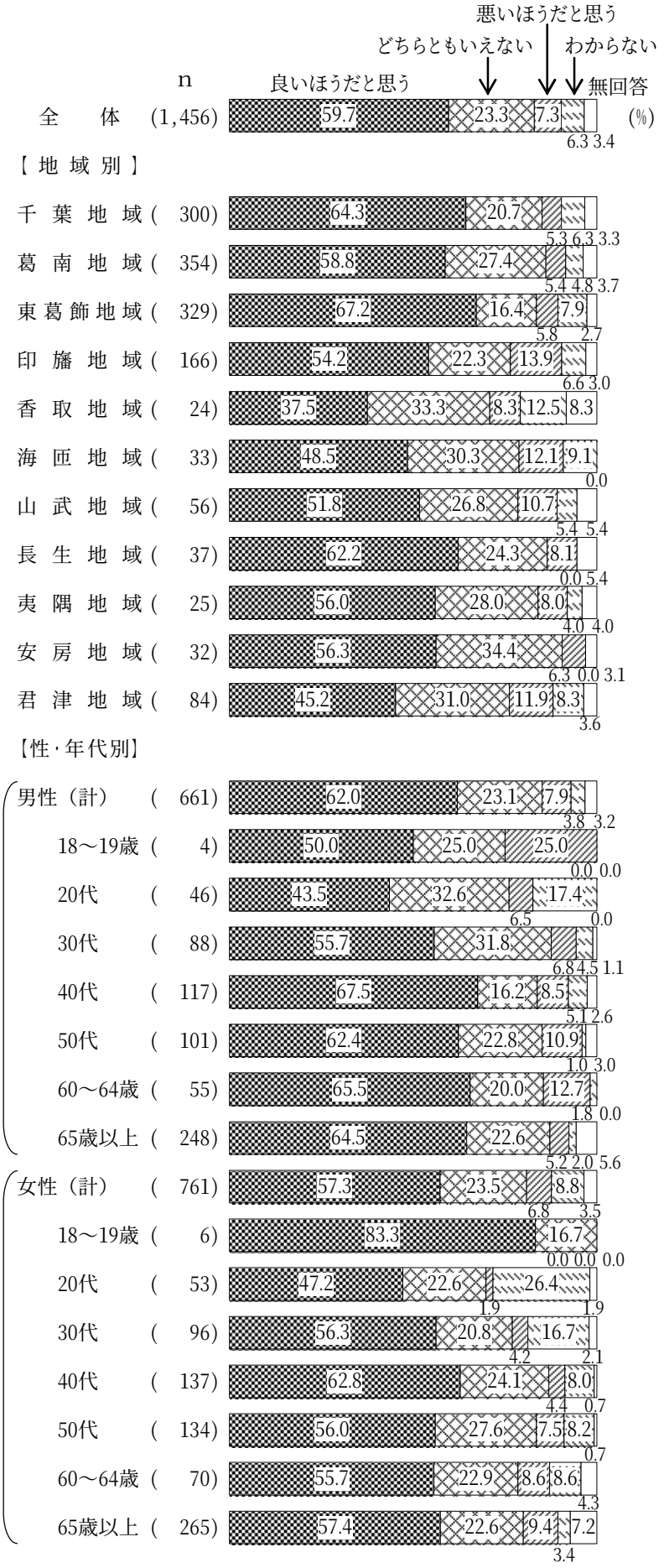
一方、「悪いほうだと思う」は女性の30代（34.4%）が３割台半ばで高くなっている。

（図表１－17）

＜図表１－17＞基盤整備について／地域別、性・年代別



（ウ）上水道の整備

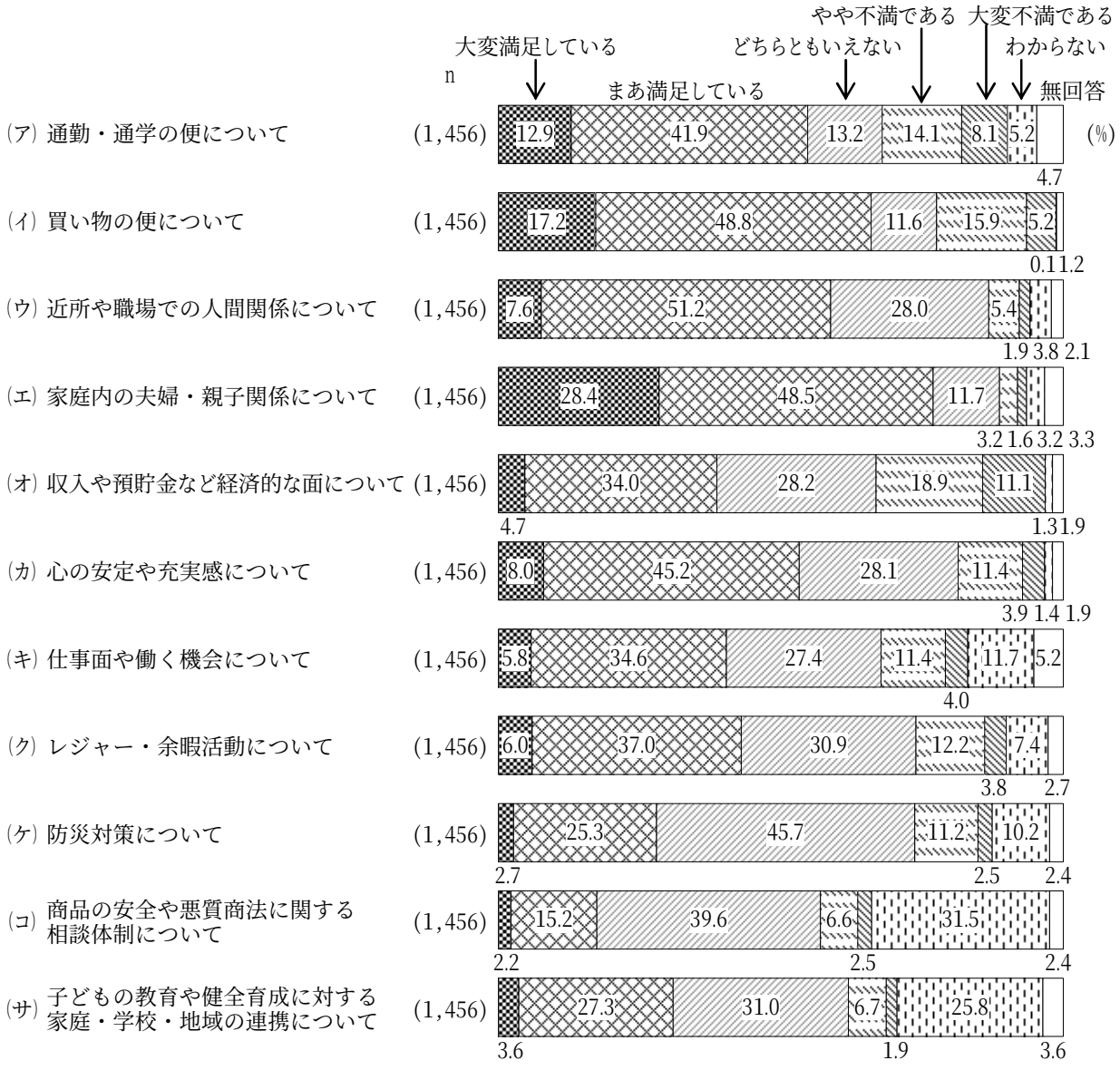

悪いほうだと思う
どちらともいえない
わからない
n
良いほうだと思う
無回答
全　体 (1,456) 59.7 23.3 7.3 6.3 3.4 (%)
【地域別】
千葉地域 (300) 64.3 20.7 5.3 6.3 3.3
葛南地域 (354) 58.8 27.4 5.4 4.8 3.7
東葛飾地域 (329) 67.2 16.4 7.9 5.8 2.7
印旛地域 (166) 54.2 22.3 13.9 6.6 3.0
香取地域 (24) 37.5 33.3 8.3 12.5 8.3
海匝地域 (33) 48.5 30.3 12.1 9.1 0.0
山武地域 (56) 51.8 26.8 10.7 5.4 5.4
長生地域 (37) 62.2 24.3 8.1 0.0 5.4
夷隅地域 (25) 56.0 28.0 8.0 4.0 4.0
安房地域 (32) 56.3 34.4 6.3 0.0 3.1
君津地域 (84) 45.2 31.0 11.9 8.3 3.6
【性・年代別】
男性
男性（計） (661) 62.0 23.1 7.9 3.8 3.2
18～19歳 (4) 50.0 25.0 25.0 0.0 0.0
20代 (46) 43.5 32.6 17.4 6.5 0.0
30代 (88) 55.7 31.8 6.8 4.5 1.1
40代 (117) 67.5 16.2 8.5 5.1 2.6
50代 (101) 62.4 22.8 10.9 1.0 3.0
60～64歳 (55) 65.5 20.0 12.7 1.8 0.0
65歳以上 (248) 64.5 22.6 5.2 2.0 5.6
女性
女性（計） (761) 57.3 23.5 8.8 6.8 3.5
18～19歳 (6) 83.3 16.7 0.0 0.0 0.0
20代 (53) 47.2 22.6 26.4 1.9 1.9
30代 (96) 56.3 20.8 16.7 4.2 2.1
40代 (137) 62.8 24.1 8.0 4.4 0.7
50代 (134) 56.0 27.6 7.5 8.2 0.7
60～64歳 (70) 55.7 22.9 8.6 8.6 4.3
65歳以上 (265) 57.4 22.6 9.4 7.2 3.4

（7）現在の生活の満足度

◇『満足している（計）』が最も高いのは〈家庭内の夫婦・親子関係について〉で７割台半ば

問７　あなたは、現在の生活について、どの程度満足していますか。（○はそれぞれ１つずつ）

＜図表１－18＞現在の生活の満足度



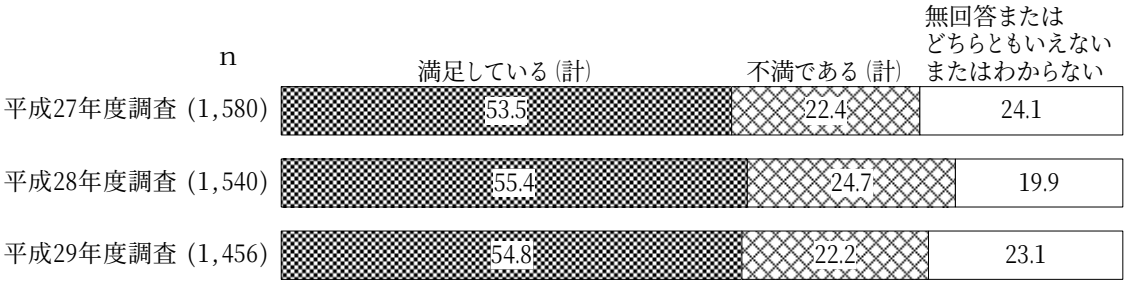
現在の生活に関する11個の項目について、それぞれの満足度を聞いたところ、「大変満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している（計）』が最も高いのは、「（エ）家庭内の夫婦・親子関係について」（76.9%）が７割台半ばとなっており、以下、「（イ）買い物の便について」（66.0%）が６割台半ば、「（ウ）近所や職場での人間関係について」（58.8%）が約６割で続く。

一方、「やや不満である」と「大変不満である」を合わせた『不満である（計）』が最も高いのは、「（オ）収入や預貯金など経済的な面について」（30.0%）が３割となっており、以下、「（ア）通勤・通学の便について」（22.2%）と「（イ）買い物の便について」（21.1%）が２割を超えて続く。

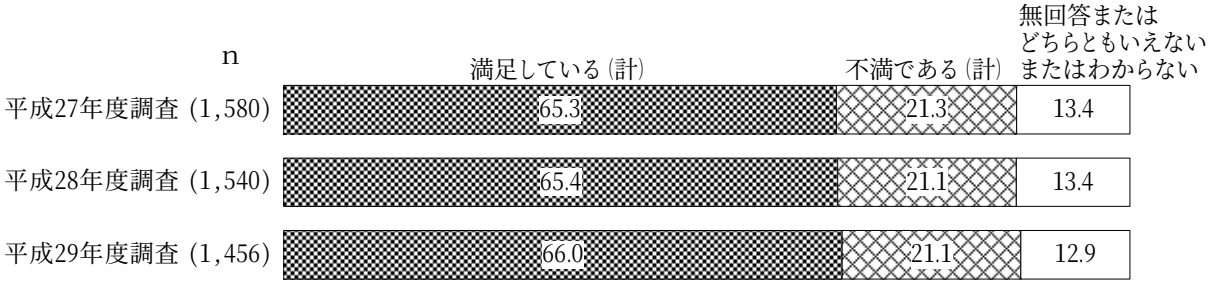
（図表１－18）

〔参考〕平成27年度・平成28年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）

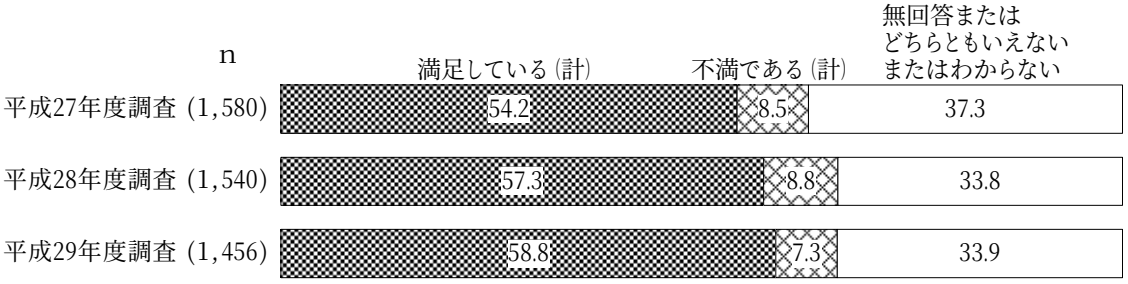
（ア）通勤・通学の便について



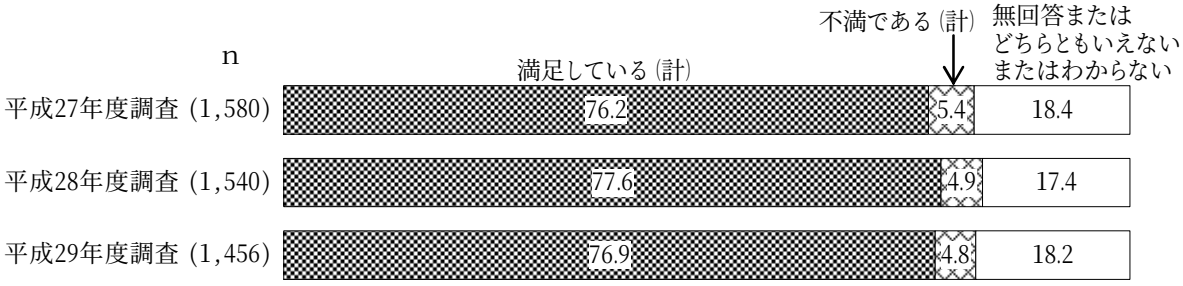
（イ）買い物の便について



（ウ）近所や職場での人間関係について

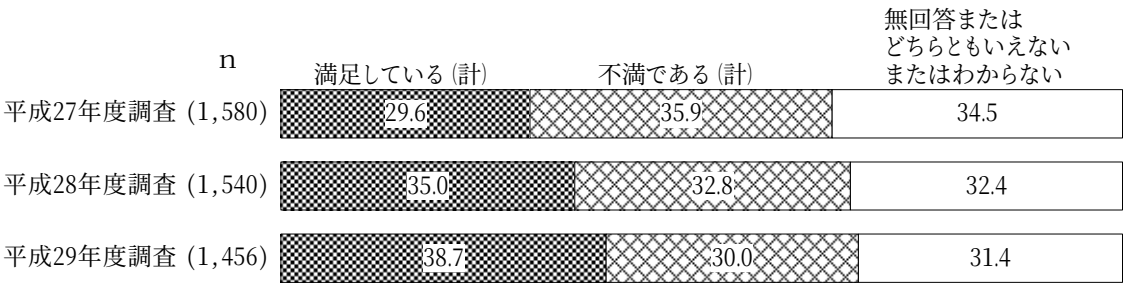


（エ）家庭内の夫婦・親子関係について

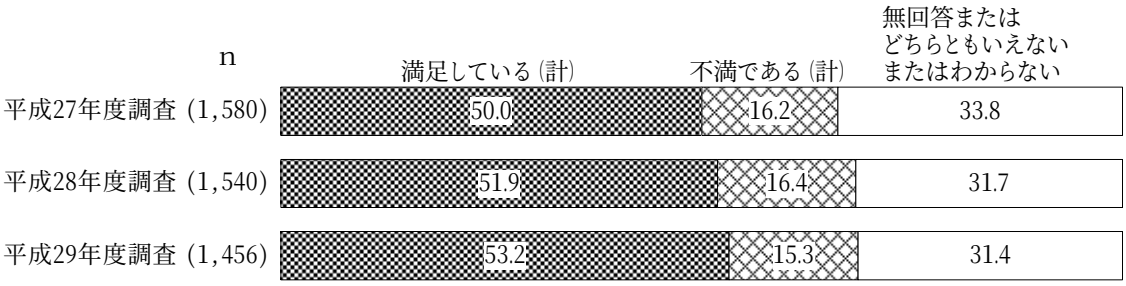


〔参考〕平成27年度・平成28年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）

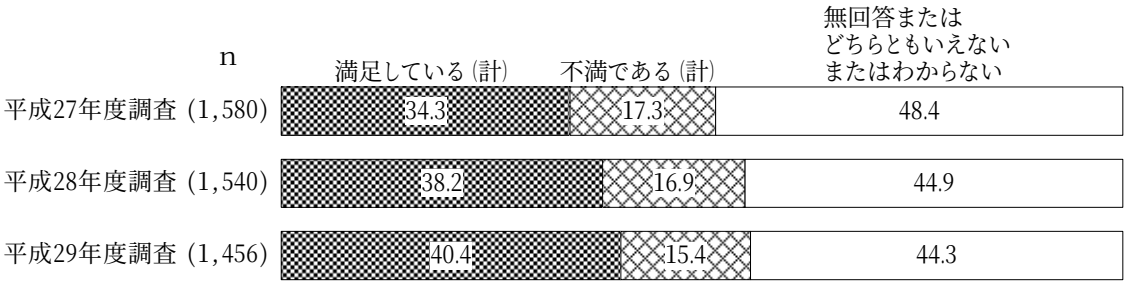
（オ）収入や預貯金など経済的な面について



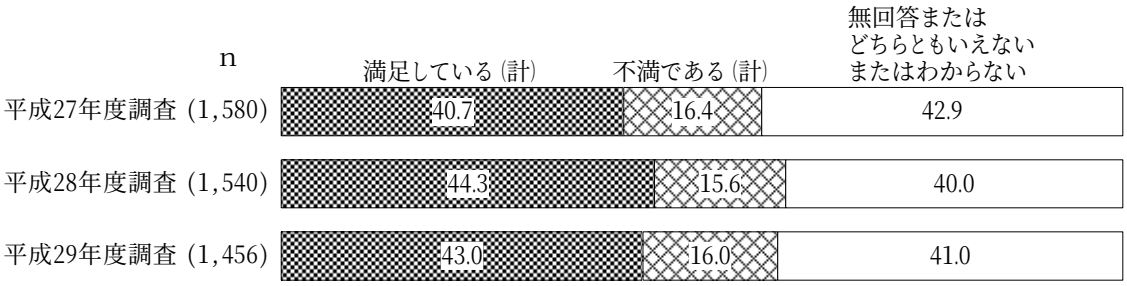
（カ）心の安定や充実感について



（キ）仕事面や働く機会について

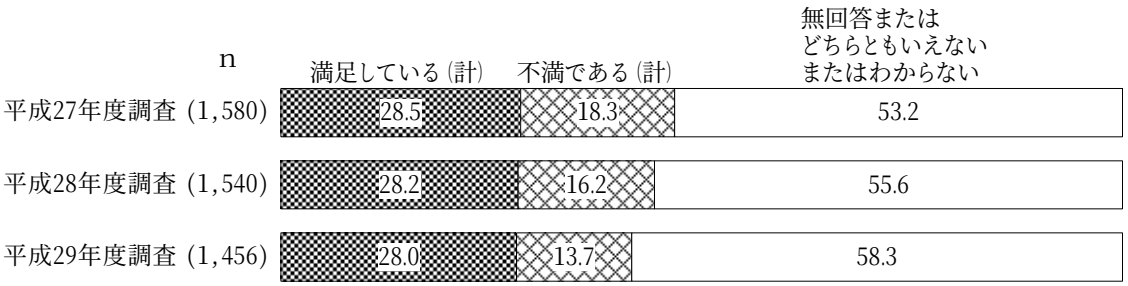


（ク）レジャー・余暇活動について

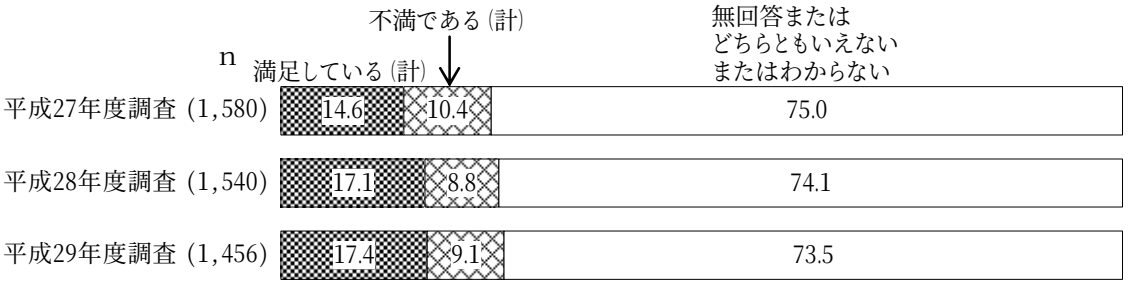


〔参考〕平成27年度・平成28年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）

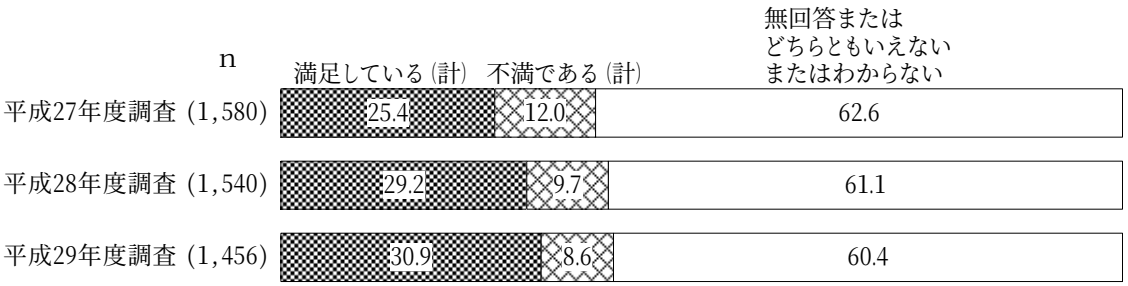
（ケ）防災対策について



（コ）商品の安全や悪質商法に関する相談体制について



（サ）子どもの教育や健全育成に対する家庭・学校・地域の連携について



【地域別】

地域別にみると、「（ア）通勤・通学の便について」の『満足している（計）』は“葛南地域”（65.5%）が６割台半ば、“千葉地域”（63.3%）が６割を超えて高くなっている。

「（イ）買い物の便について」の『満足している（計）』は“葛南地域”（76.0%）が７割台半ばで高くなっている。

一方、『不満である（計）』は“夷隅地域”（68.0%）が約７割、“海匝地域”（51.5%）が５割を超えて高くなっている。

「（キ）仕事面や働く機会について」の『満足している（計）』は“葛南地域”（49.4%）が約５割で高くなっている。

一方、『不満である（計）』は“夷隅地域”（40.0%）が４割、“長生地域”（29.7%）、“安房地域”（28.1%）が約３割で高くなっている。

「（ク）レジャー・余暇活動について」の『満足している（計）』は“葛南地域”（54.8%）が５割台半ばで高くなっている。

一方、『不満である（計）』は“夷隅地域”（40.0%）が４割で高くなっている。

「（サ）子どもの教育や健全育成に対する家庭・学校・地域の連携について」の『満足している（計）』は“香取地域”（50.0%）が５割で高くなっている。（図表１－19）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「（ア）通勤・通学の便について」の『満足している（計）』は男性の50代（65.3%）と女性の30代（65.6%）、40代（63.5%）が６割台半ばで高くなっている。

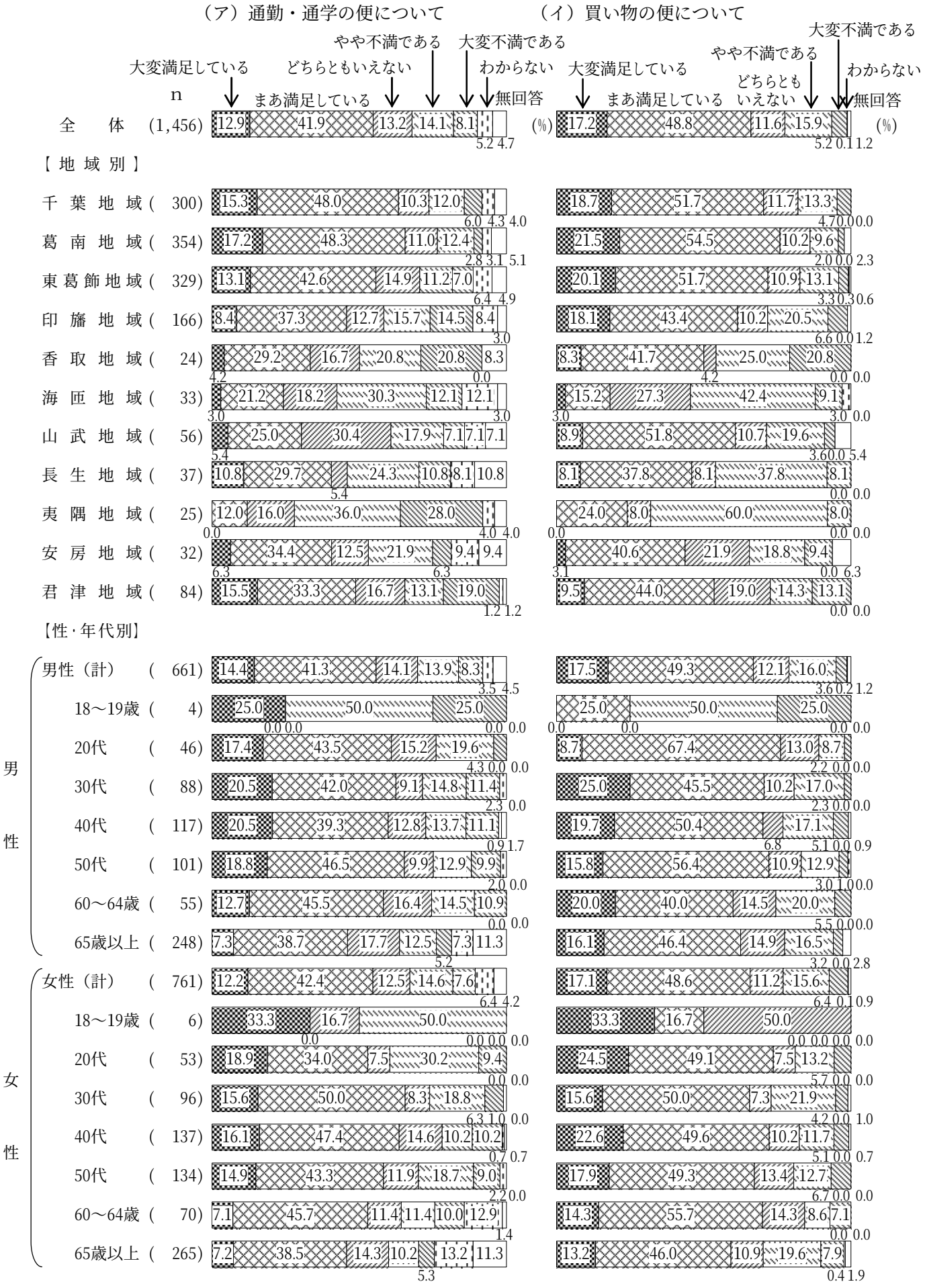
一方、『不満である（計）』は女性の20代（39.6%）が約４割で高くなっている。

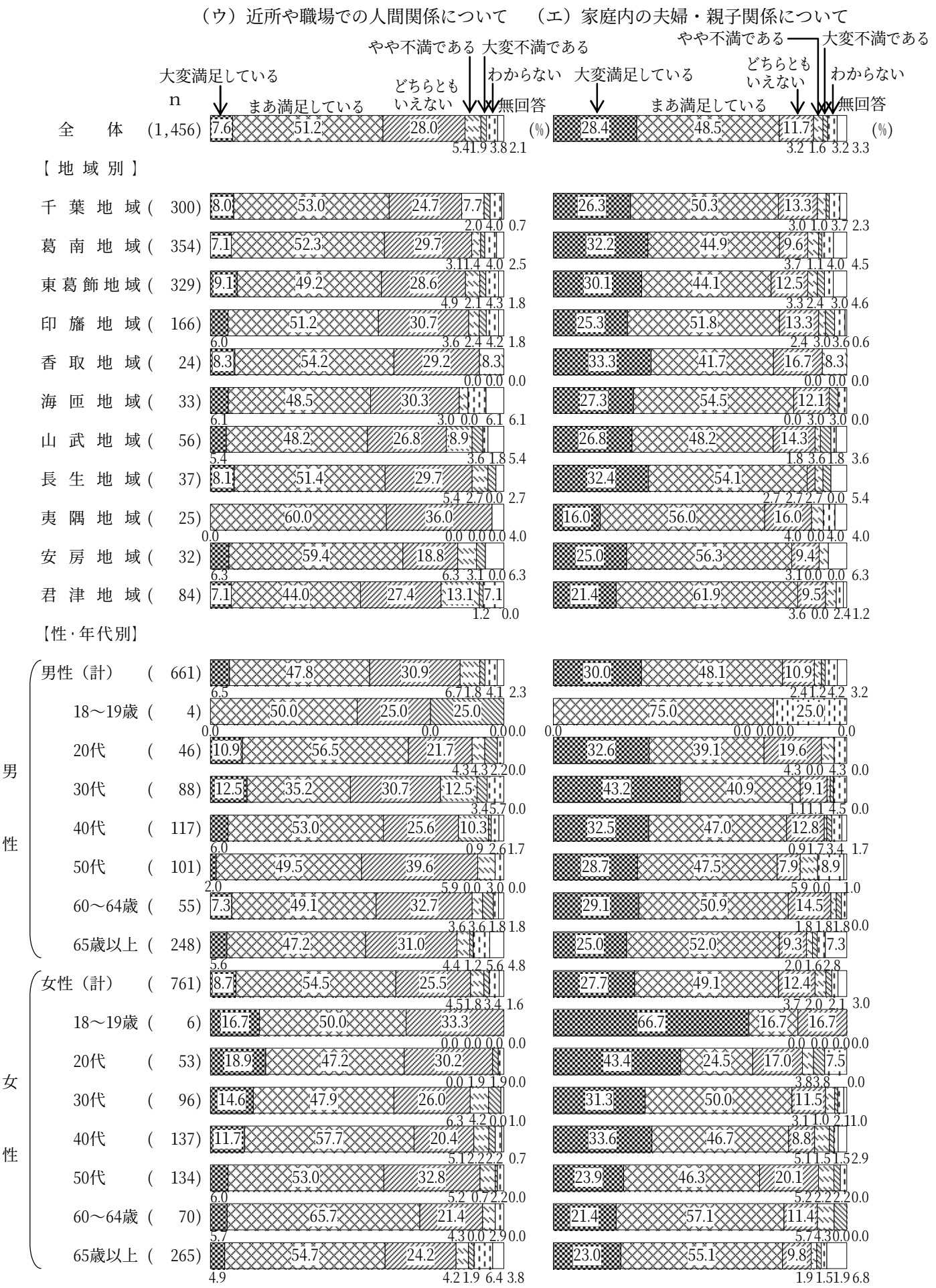
「（ウ）近所や職場での人間関係について」の『満足している（計）』は女性の60～64歳（71.4%）が７割を超え、男性の20代（67.4%）と女性の40代（69.4%）が約７割で高くなっている。

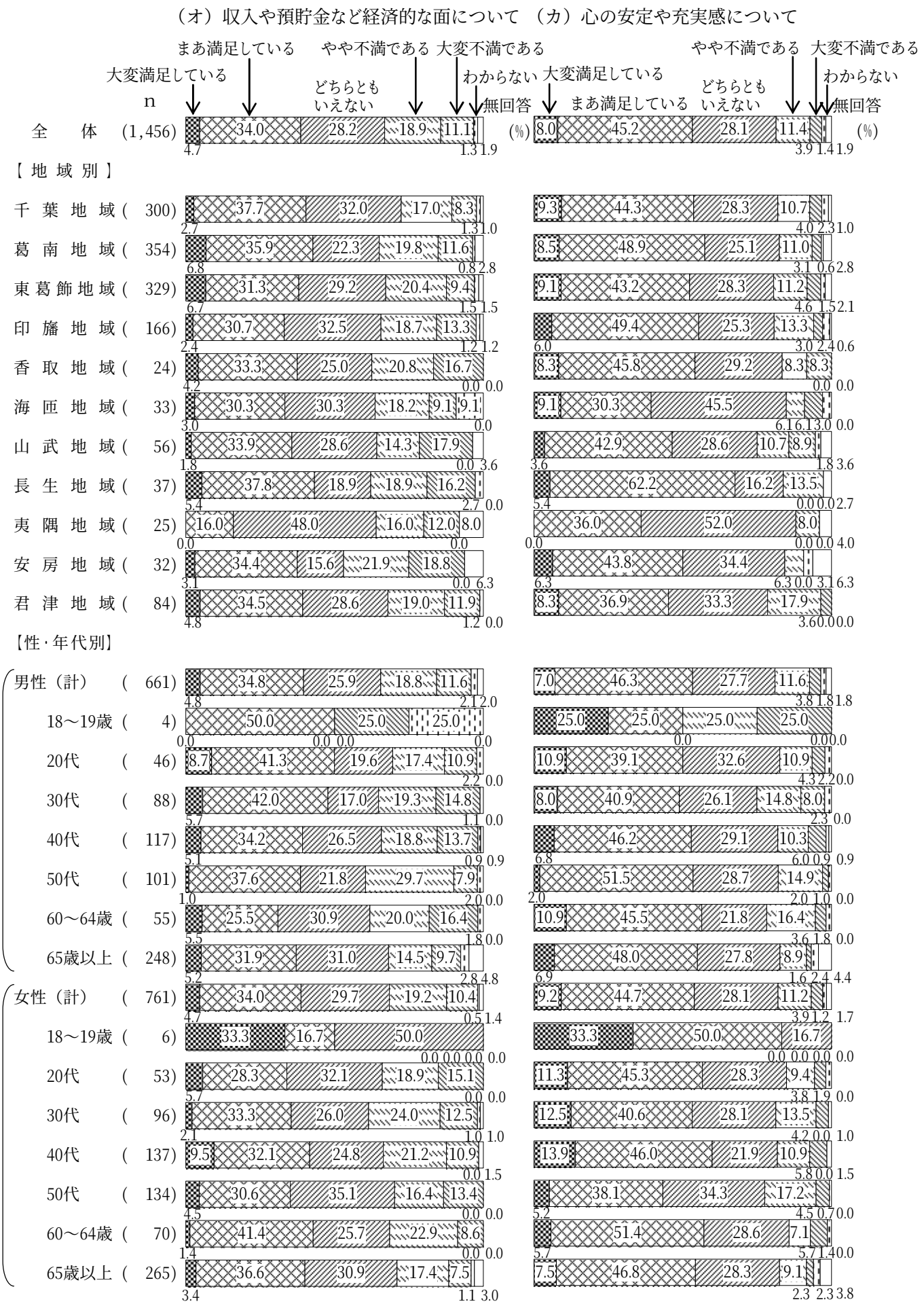
「（キ）仕事面や働く機会について」の『満足している（計）』は女性の20代（58.5%）が約６割、男性の50代（54.5%）が５割台半ばで高くなっている。

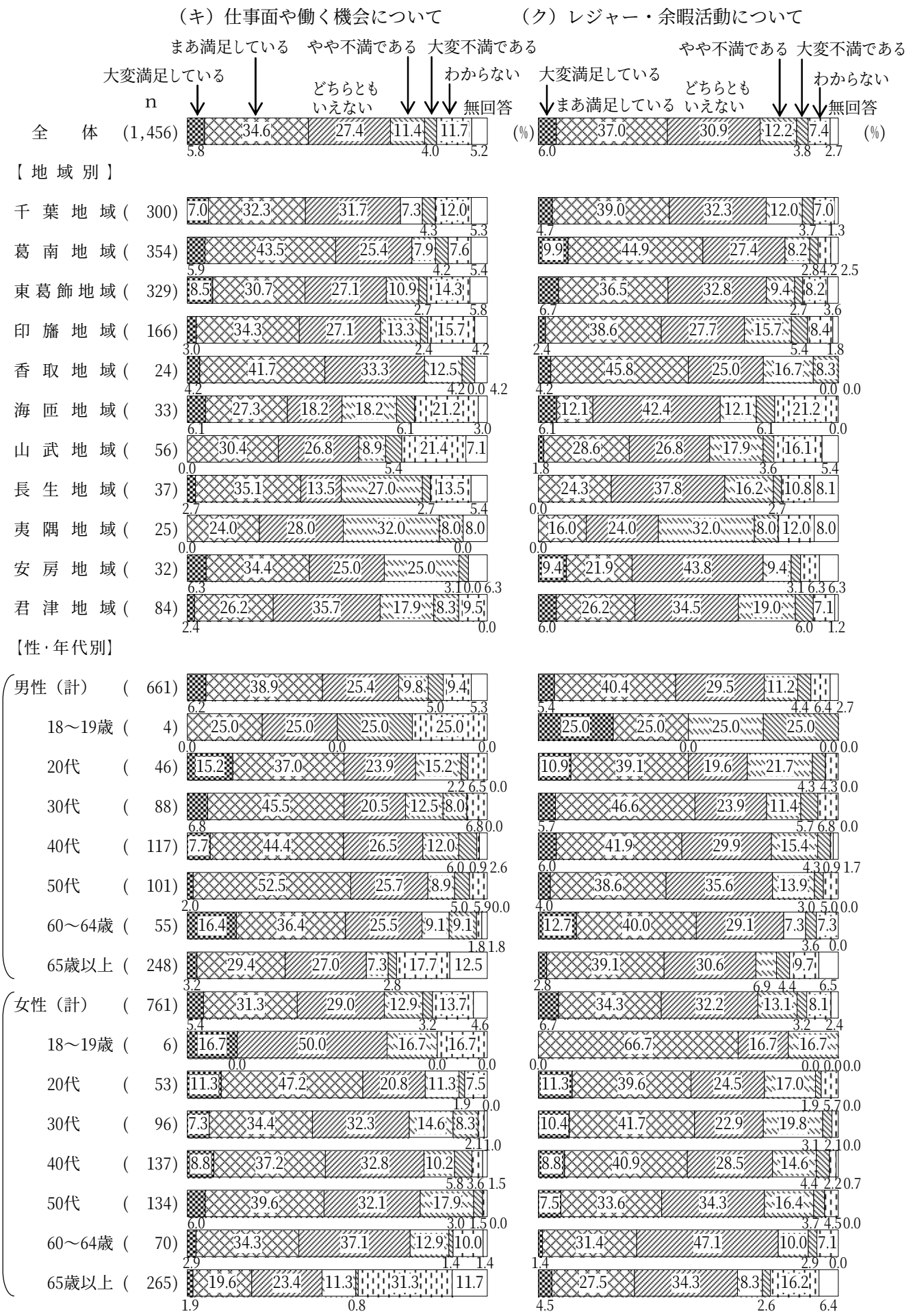
「（ケ）防災対策について〉の『満足している（計）』は男性の60～64歳（41.8%）が４割を超えて高くなっている。（図表１－19）

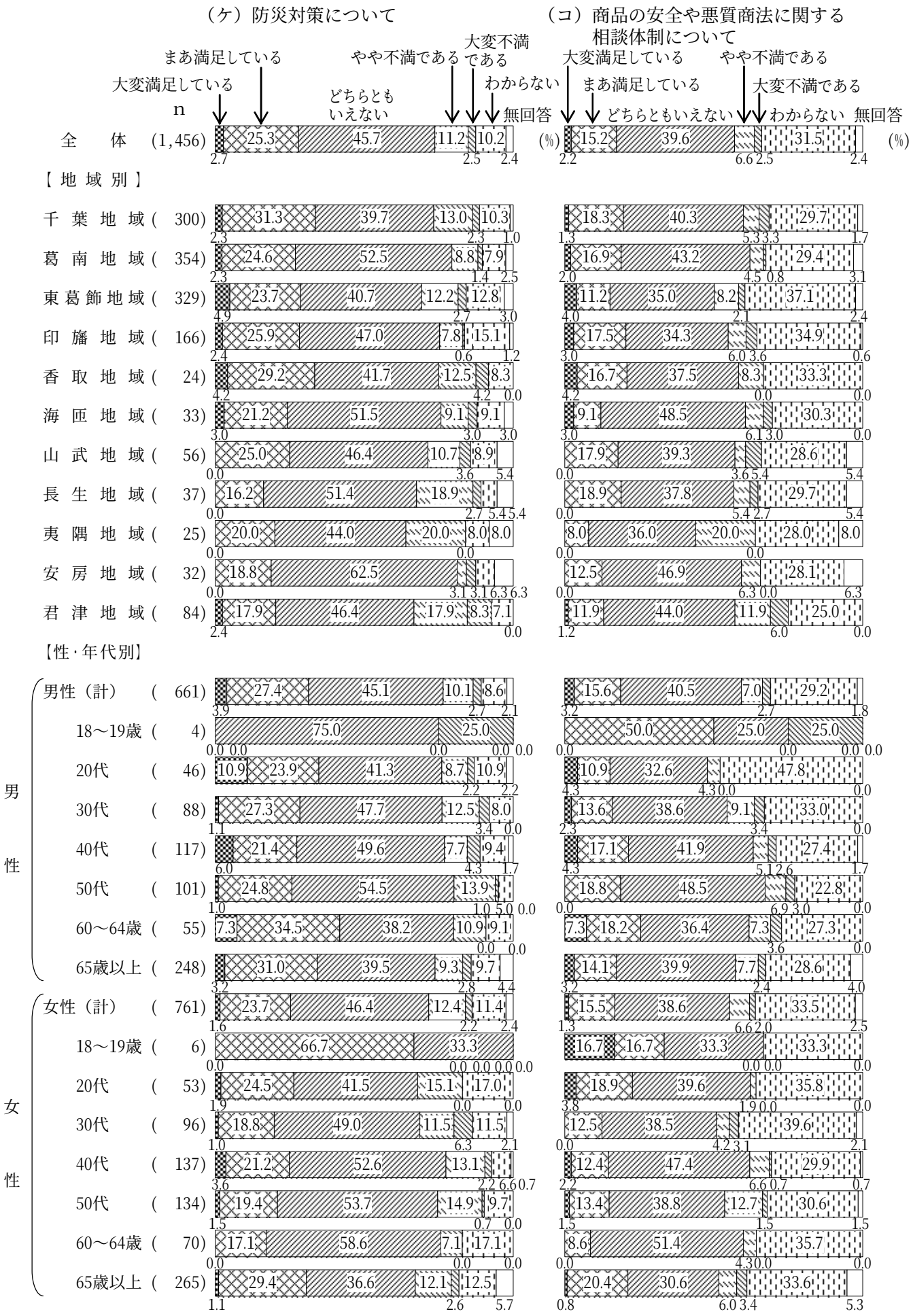
＜図表１－19＞現在の生活の満足度／地域別、性・年代別



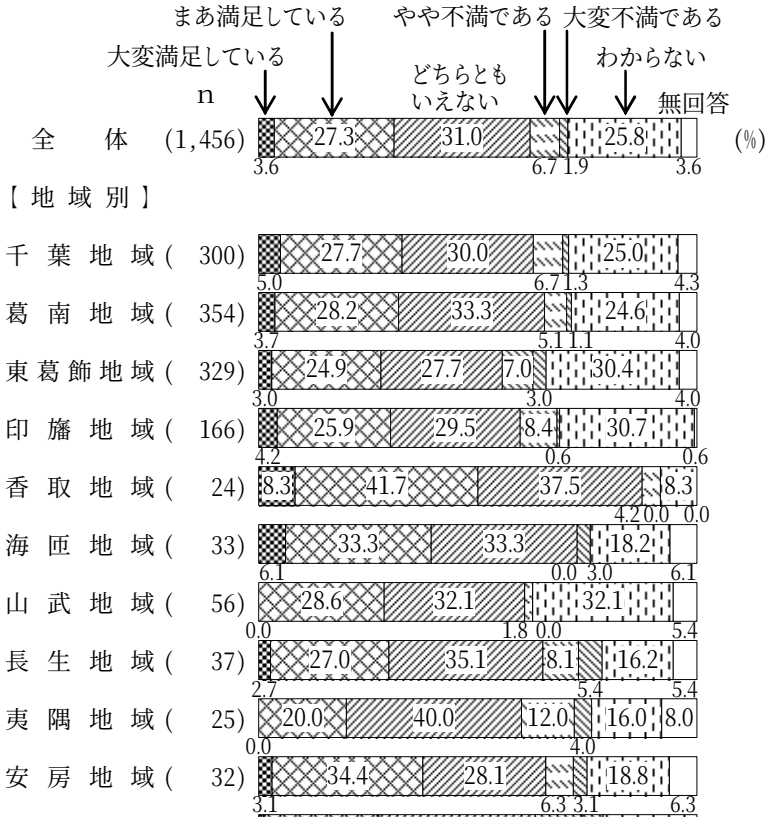

（ウ）近所や職場での人間関係について
（エ）家庭内の夫婦・親子関係について
大変満足している
まあ満足している
どちらともいえない
やや不満である
大変不満である
わからない
無回答
n
全　体 (1,456)
【地域別】
千葉地域 (300)
葛南地域 (354)
東葛飾地域 (329)
印旛地域 (166)
香取地域 (24)
海匝地域 (33)
山武地域 (56)
長生地域 (37)
夷隅地域 (25)
安房地域 (32)
君津地域 (84)
【性・年代別】
男性（計） (661)
18～19歳 (4)
20代 (46)
30代 (88)
40代 (117)
50代 (101)
60～64歳 (55)
65歳以上 (248)
女性（計） (761)
18～19歳 (6)
20代 (53)
30代 (96)
40代 (137)
50代 (134)
60～64歳 (70)
65歳以上 (265)
男性
女性
(%)


（オ）収入や預貯金など経済的な面について
（カ）心の安定や充実感について
まあ満足している
やや不満である
大変不満である
大変満足している
どちらともいえない
わからない
無回答
n
全　体 (1,456)
(%)
【地域別】
千葉地域(300)
葛南地域(354)
東葛飾地域(329)
印旛地域(166)
香取地域(24)
海匝地域(33)
山武地域(56)
長生地域(37)
夷隅地域(25)
安房地域(32)
君津地域(84)
【性･年代別】
男性（計） (661)
18～19歳 (4)
20代 (46)
30代 (88)
40代 (117)
50代 (101)
60～64歳 (55)
65歳以上 (248)
女性（計） (761)
18～19歳 (6)
20代 (53)
30代 (96)
40代 (137)
50代 (134)
60～64歳 (70)
65歳以上 (265)
男性
女性


（キ）仕事面や働く機会について
（ク）レジャー・余暇活動について
まあ満足している
やや不満である
大変不満である
大変満足している
どちらともいえない
わからない
無回答
n
全体 (1,456)
(%)
【地域別】
千葉地域 (300)
葛南地域 (354)
東葛飾地域 (329)
印旛地域 (166)
香取地域 (24)
海匝地域 (33)
山武地域 (56)
長生地域 (37)
夷隅地域 (25)
安房地域 (32)
君津地域 (84)
【性・年代別】
男性（計） (661)
18～19歳 (4)
20代 (46)
30代 (88)
40代 (117)
50代 (101)
60～64歳 (55)
65歳以上 (248)
女性（計） (761)
18～19歳 (6)
20代 (53)
30代 (96)
40代 (137)
50代 (134)
60～64歳 (70)
65歳以上 (265)
男性
女性


（ケ）防災対策について
大変満足している
まあ満足している
どちらともいえない
やや不満である
大変不満である
わからない
無回答
n
全　体 (1,456) 25.3 45.7 11.2 2.5 10.2 2.4 2.7
【地域別】
千葉地域 (300) 31.3 39.7 13.0 2.3 10.3 1.0 2.3
葛南地域 (354) 24.6 52.5 8.8 1.4 7.9 2.5 2.3
東葛飾地域 (329) 23.7 40.7 12.2 2.7 12.8 3.0 4.9
印旛地域 (166) 25.9 47.0 7.8 0.6 15.1 1.2 2.4
香取地域 (24) 29.2 41.7 12.5 4.2 8.3 0.0 4.2
海匝地域 (33) 21.2 51.5 9.1 3.0 9.1 3.0 3.0
山武地域 (56) 25.0 46.4 10.7 3.6 8.9 5.4 0.0
長生地域 (37) 16.2 51.4 18.9 2.7 5.4 5.4 0.0
夷隅地域 (25) 20.0 44.0 20.0 0.0 8.0 8.0 0.0
安房地域 (32) 18.8 62.5 3.1 3.1 6.3 6.3 0.0
君津地域 (84) 17.9 46.4 17.9 8.3 7.1 0.0 2.4
【性・年代別】
男性（計） (661) 27.4 45.1 10.1 2.7 8.6 2.1 3.9
18～19歳 (4) 75.0 25.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0
20代 (46) 10.9 23.9 41.3 8.7 10.9 2.2 2.2
30代 (88) 27.3 47.7 12.5 3.4 8.0 0.0 1.1
40代 (117) 21.4 49.6 7.7 4.3 9.4 1.7 6.0
50代 (101) 24.8 54.5 13.9 1.0 5.0 0.0 1.0
60～64歳 (55) 7.3 34.5 38.2 10.9 9.1 0.0 0.0
65歳以上 (248) 31.0 39.5 9.3 2.8 9.7 4.4 3.2
女性（計） (761) 23.7 46.4 12.4 2.2 11.4 2.4 1.6
18～19歳 (6) 66.7 33.3 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0
20代 (53) 24.5 41.5 15.1 0.0 17.0 0.0 1.9
30代 (96) 18.8 49.0 11.5 6.3 11.5 2.1 1.0
40代 (137) 21.2 52.6 13.1 2.2 6.6 0.7 3.6
50代 (134) 19.4 53.7 14.9 0.7 9.7 0.0 1.5
60～64歳 (70) 17.1 58.6 7.1 0.0 17.1 0.0 0.0
65歳以上 (265) 29.4 36.6 12.1 2.6 12.5 5.7 1.1
男性
女性
（コ）商品の安全や悪質商法に関する相談体制について
大変満足している
まあ満足している
どちらともいえない
やや不満である
大変不満である
わからない
無回答
(%)
全　体 15.2 39.6 6.6 31.5 2.5 2.4 2.2
【地域別】
千葉地域 18.3 40.3 5.3 29.7 3.3 1.7 1.3
葛南地域 16.9 43.2 4.5 29.4 0.8 3.1 2.0
東葛飾地域 11.2 35.0 8.2 2.1 37.1 2.4 4.0
印旛地域 17.5 34.3 6.0 34.9 3.6 0.6 3.0
香取地域 16.7 37.5 8.3 0.0 33.3 0.0 4.2
海匝地域 9.1 48.5 6.1 30.3 3.0 0.0 3.0
山武地域 17.9 39.3 3.6 28.6 5.4 5.4 0.0
長生地域 18.9 37.8 5.4 29.7 2.7 5.4 0.0
夷隅地域 8.0 36.0 20.0 28.0 0.0 8.0 0.0
安房地域 12.5 46.9 6.3 28.1 0.0 6.3 0.0
君津地域 11.9 44.0 11.9 25.0 6.0 0.0 1.2
【性・年代別】
男性（計） 15.6 40.5 7.0 29.2 2.7 1.8 3.2
18～19歳 50.0 25.0 25.0 0.0 0.0 0.0 0.0
20代 10.9 32.6 4.3 47.8 0.0 0.0 4.3
30代 13.6 38.6 9.1 33.0 3.4 0.0 2.3
40代 17.1 41.9 5.1 27.4 2.6 1.7 4.3
50代 18.8 48.5 6.9 22.8 3.0 0.0 0.0
60～64歳 7.3 18.2 36.4 7.3 27.3 0.0 3.6
65歳以上 14.1 39.9 7.7 28.6 2.4 4.0 3.2
女性（計） 15.5 38.6 6.6 33.5 2.0 2.5 1.3
18～19歳 16.7 16.7 33.3 33.3 0.0 0.0 0.0
20代 18.9 39.6 1.9 35.8 0.0 0.0 3.8
30代 12.5 38.5 4.2 39.6 3.1 2.1 0.0
40代 12.4 47.4 6.6 29.9 0.7 0.7 2.2
50代 13.4 38.8 12.7 30.6 1.5 1.5 1.5
60～64歳 8.6 51.4 4.3 35.7 0.0 0.0 0.0
65歳以上 20.4 30.6 6.0 33.6 3.4 5.3 0.8

（サ）子どもの教育や健全育成に対する家庭・学校・地域の連携について

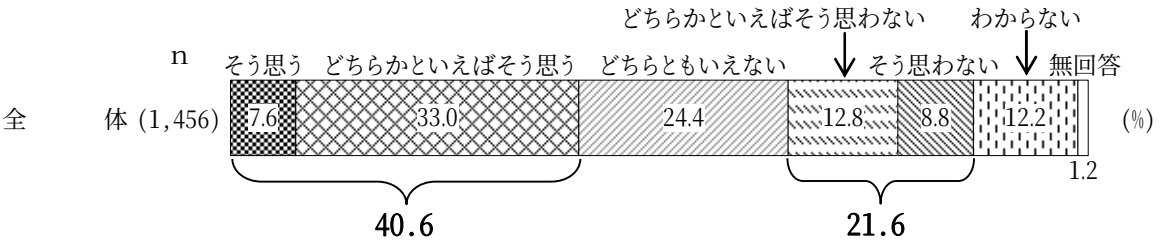


（８）犯罪が起こりにくいまちづくりについて

◇『そう思う（計)』が４割

問８　あなたは、現在お住まいの地域で、犯罪が起こりにくいまちづくりが進められていると思いますか。(○は１つ)

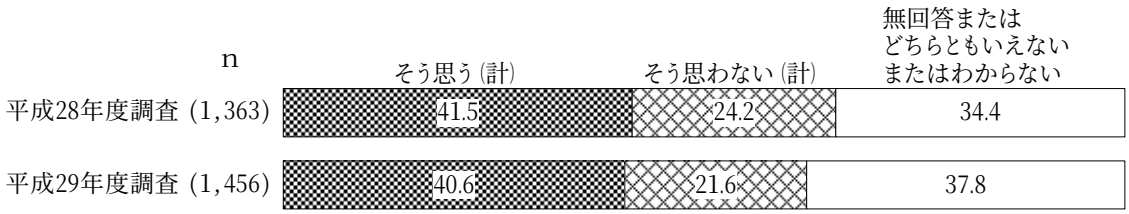
＜図表１－20＞犯罪が起こりにくいまちづくりの進捗



お住まいの地域で、犯罪が起こりにくいまちづくりが進められていると思うか聞いたところ、「そう思う」(7.6%）と「どちらかといえばそう思う」(33.0%）を合わせた『そう思う（計)』(40.6%）が４割で高くなっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」(12.8%）と「そう思わない」(8.8%）を合わせた『そう思わない（計)』(21.6%）は２割を超えている。(図表１－20)

〔参考〕平成28年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



※平成28年度調査は、「第５３回県政に関する世論調査」の調査結果を掲載

【地域別】

地域別にみると、『そう思う（計)』は“夷隅地域”(60.0%）が６割で高くなっている。

一方、『そう思わない（計)』は“君津地域”(31.0%）が３割を超えて高くなっている。

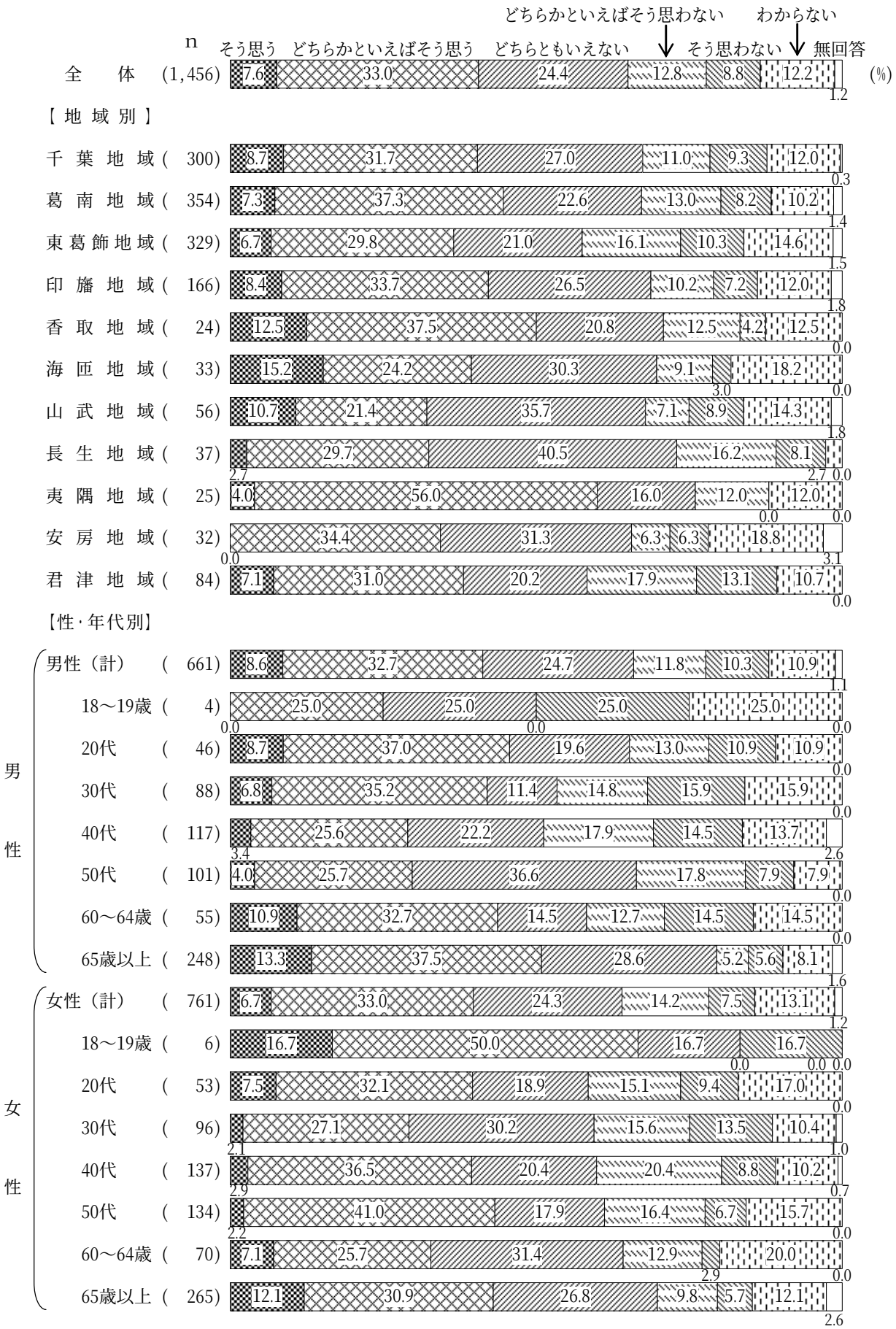
(図表１－21)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う（計)』は男性の65歳以上（50.8%）が５割で高くなっている。

一方、『そう思わない（計)』は男性の40代（32.4%）が３割を超え、男性の30代（30.7%）が３割で高くなっている。(図表１－21)

＜図表１－21＞犯罪が起こりにくいまちづくりの進捗／地域別、性・年代別

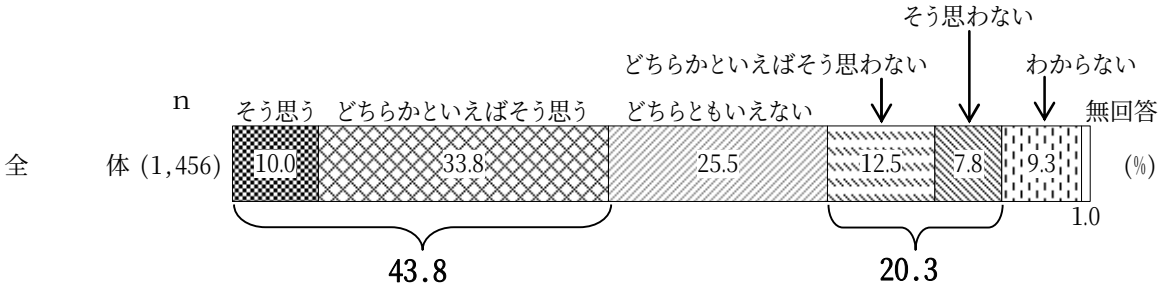


（9）「もの」を大切にする社会づくりについて

◇『そう思う（計）』が４割台半ば

問９　あなたは、ごみの減量化や製品の再利用により、「もの」を大切にする社会づくりが進められていると思いますか。（○は１つ）

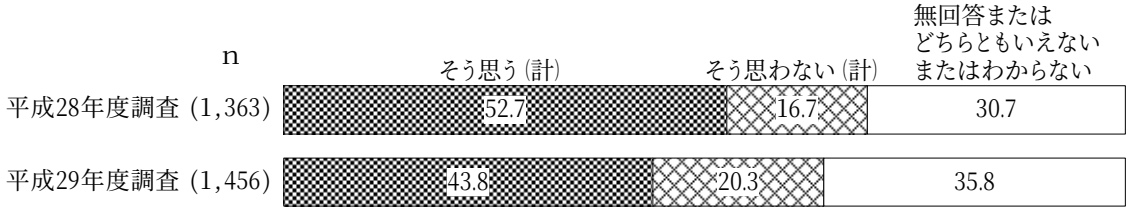
＜図表１－22＞「もの」を大切にする社会づくりの進捗



「もの」を大切にする社会づくりが進められていると思うか聞いたところ、「そう思う」（10.0%）と「どちらかといえばそう思う」（33.8%）を合わせた『そう思う（計）』（43.8%）が４割台半ばで高くなっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」（12.5%）と「そう思わない」（7.8%）を合わせた『そう思わない（計）』（20.3%）は２割となっている。（図表１－22）

〔参考〕平成28年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



※平成28年度調査は、「第５３回県政に関する世論調査」の調査結果を掲載

【地域別】

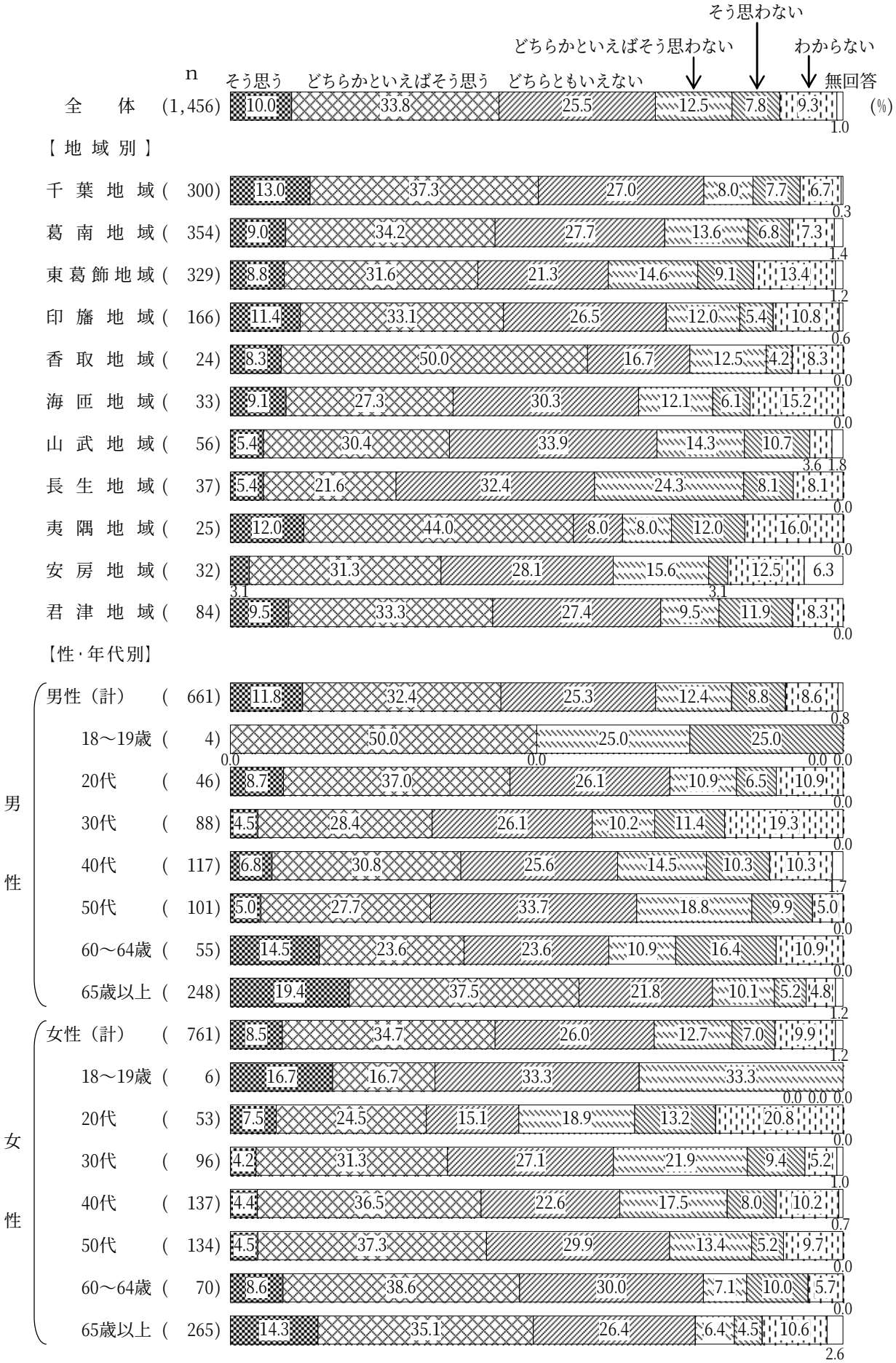
地域別にみると、『そう思う（計）』は“香取地域”（58.3%）が約６割、“夷隅地域”（56.0%）が５割台半ばで高くなっている。（図表１－23）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う（計）』は男性の65歳以上（56.9%）が５割台半ばで高くなっている。

一方、『そう思わない（計）』は女性の20代（32.1%）、30代（31.3%）が３割を超えて高くなっている。（図表１－23）

＜図表１－23＞「もの」を大切にする社会づくりの進捗／地域別、性・年代別

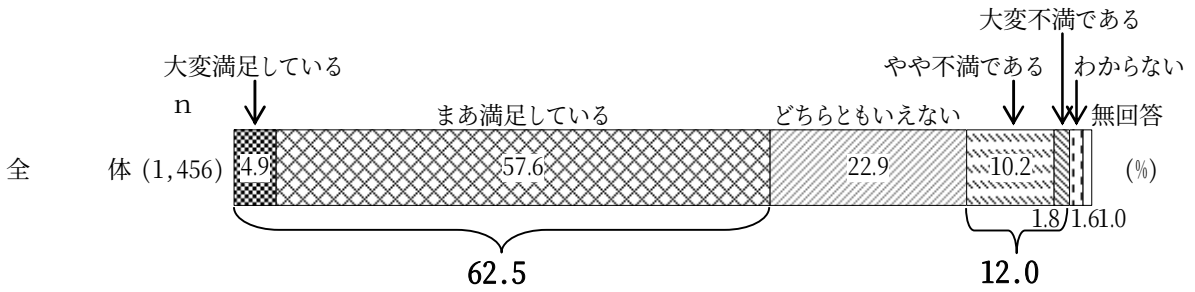


（10）住生活全般の満足度

◇『満足している（計）』が６割を超える

問10　あなたは、現在の住生活全般（住まい・環境・地域社会）についてどうお感じですか。
（○は１つ）

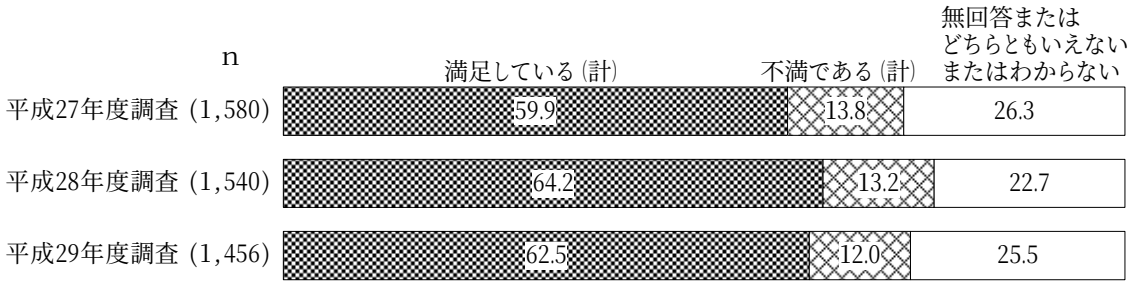
＜図表１－24＞住生活全般の満足度



現在の住生活全般（住まい・環境・地域社会）について、その満足度を聞いたところ、「大変満足している」（4.9%）と「まあ満足している」（57.6%）を合わせた『満足している（計）』（62.5%）が６割を超えて高くなっている。

一方、「やや不満である」（10.2%）と「大変不満である」（1.8%）を合わせた『不満である（計）』（12.0%）は１割を超えている。（図表１－24）

〔参考〕平成27年度・平成28年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



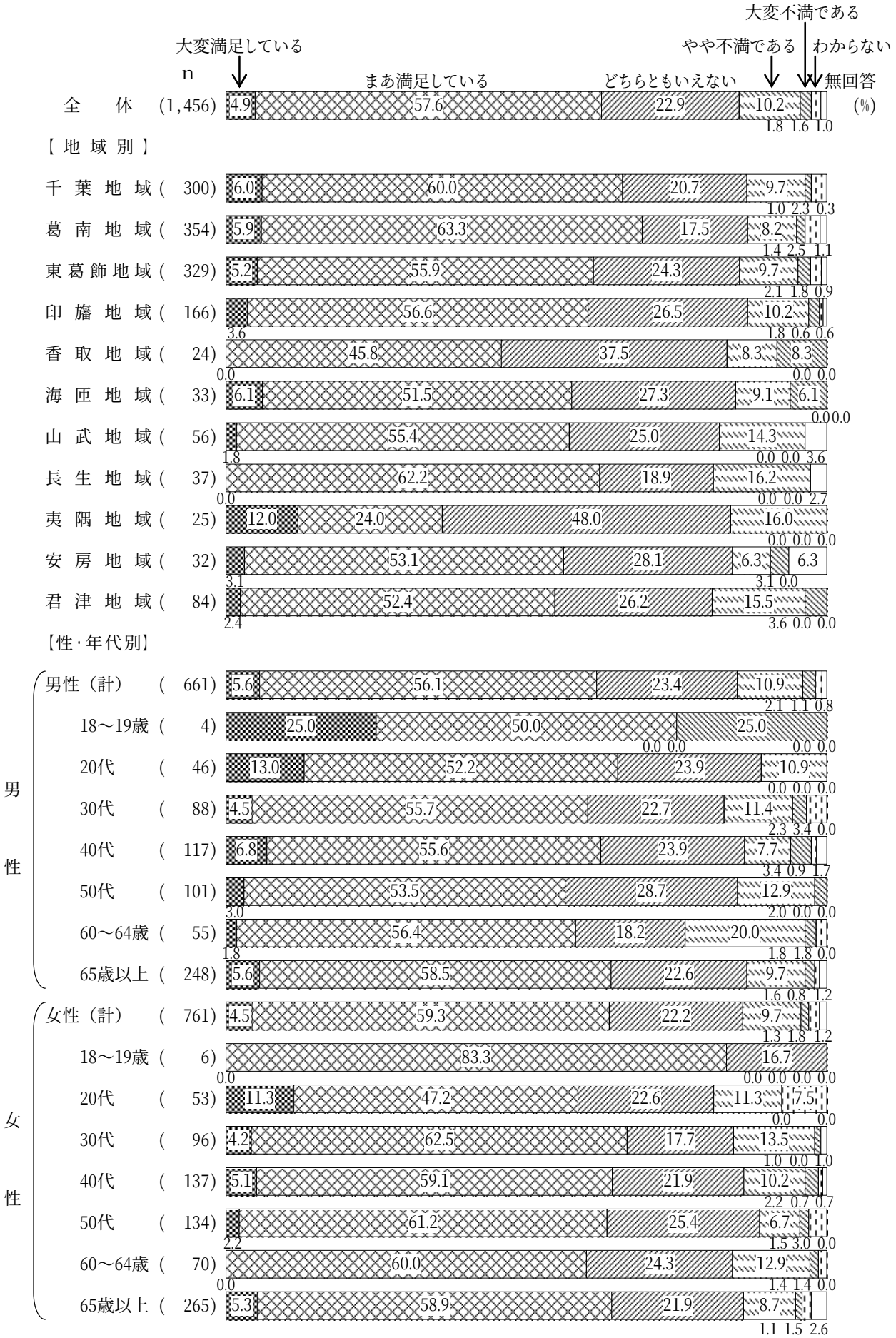
【地域別】

地域別にみると、『満足している（計）』は“葛南地域”（69.2%）が約７割で高くなっている。
（図表１－25）

【性・年代別】

性・年代別にみると、大きな傾向の違いはみられない。（図表１－25）

＜図表１－25＞住生活全般の満足度／地域別、性・年代別



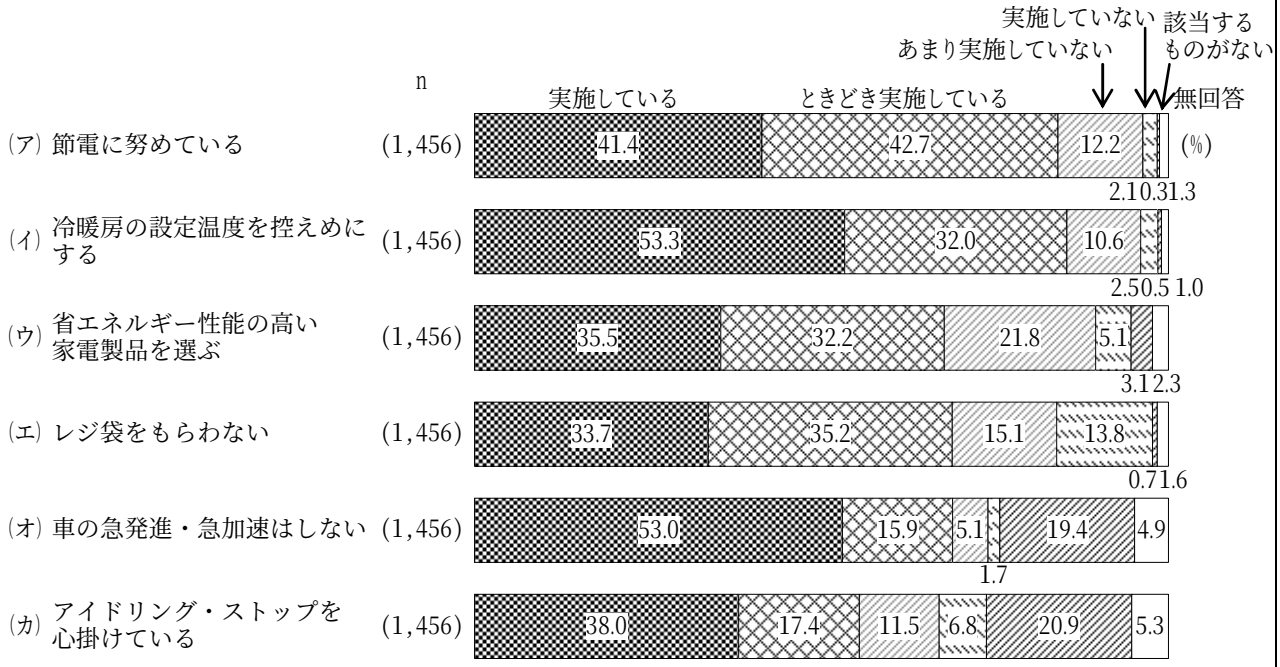
（11）普段の生活で行っている環境保全の取組

◇「実施している」が高いのは〈冷暖房の設定温度を控えめにする〉と〈車の急発進・急加速はしない〉で５割を超える

問11　あなたは、普段の生活で環境に配慮した次のような取り組みを行っていますか。

（○はそれぞれ１つずつ）

＜図表１－26＞普段の生活で行っている環境保全の取組

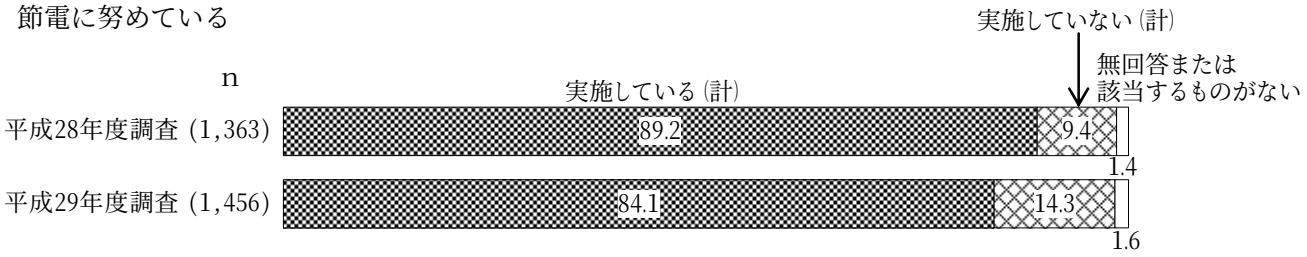


普段の生活で行っている環境保全の取組に関する６つの項目について、それぞれの実施状況を聞いたところ、「実施している」は「（イ）冷暖房の設定温度を控えめにする」（53.3%）と「（オ）車の急発進・急加速はしない」（53.0%）が５割を超えて高く、以下、「（ア）節電に努めている」（41.4%）が４割を超え、「（カ）アイドリング・ストップを心掛けている」（38.0%）が約４割で続く。

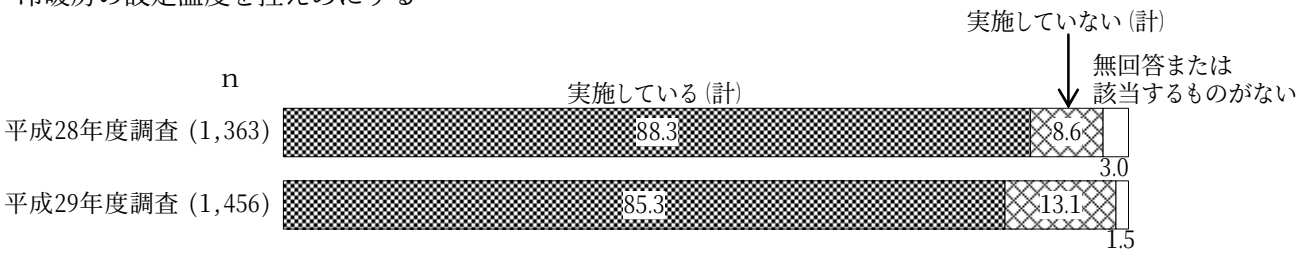
一方、「あまり実施していない」と「実施していない」を合わせた『実施していない（計）』は「（エ）レジ袋をもらわない」（28.9%）が約３割、「（ウ）省エネルギー性能の高い家電製品を選ぶ」（26.9%）が２割台半ばとなっている。（図表１－26）

〔参考〕平成28年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）
※平成28年度調査は、「第５３回県政に関する世論調査」の調査結果を掲載

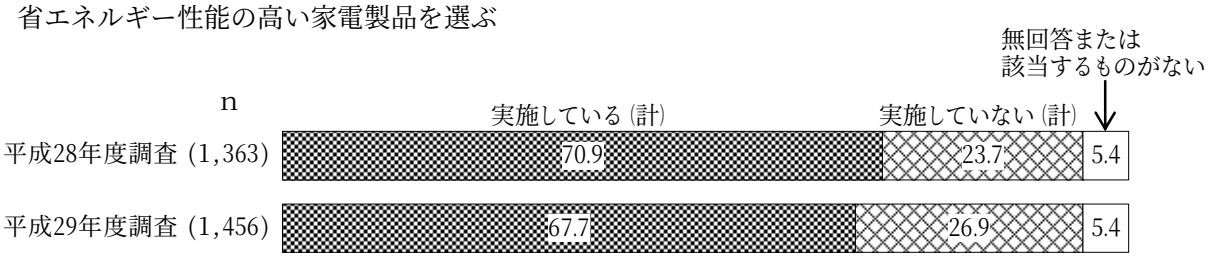
（ア）節電に努めている



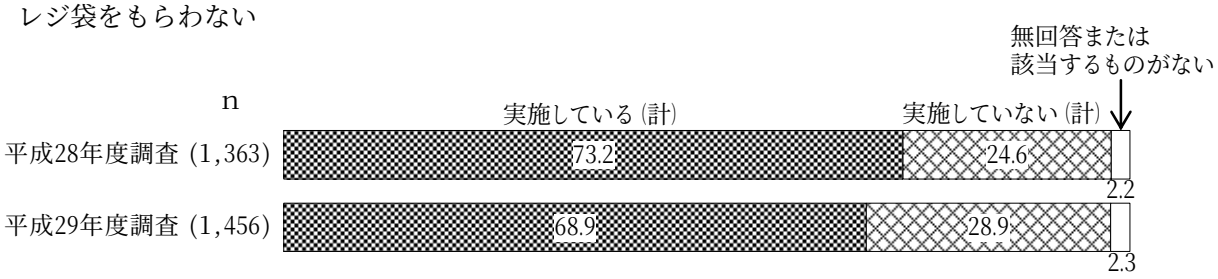
（イ）冷暖房の設定温度を控えめにする



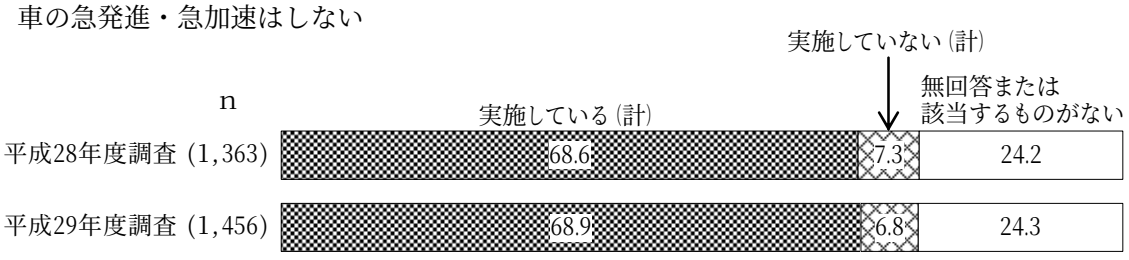
（ウ）省エネルギー性能の高い家電製品を選ぶ



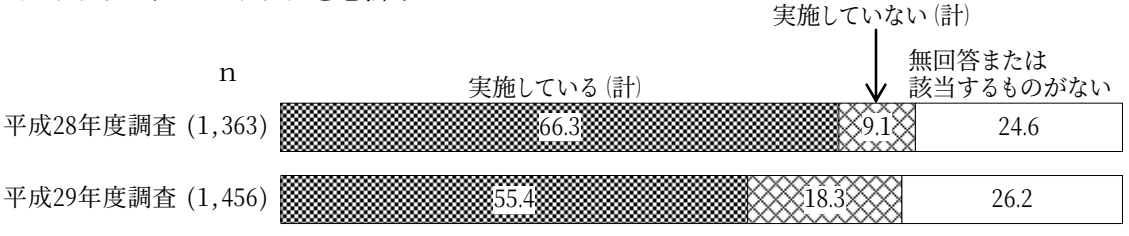
（エ）レジ袋をもらわない



（オ）車の急発進・急加速はしない



（カ）アイドリング・ストップを心掛けている



【地域別】

地域別にみると、「（オ）車の急発進・急加速はしない」の「実施している」は“安房地域”（68.8%）と“夷隅地域”（68.0%）が約７割で高くなっている。

「（カ）アイドリング・ストップを心掛けている」の「実施している」は“安房地域”（53.1%）が５割を超えて高くなっている。（図表１－27）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「（ア）節電に努めている」の「実施している」は女性の65歳以上（56.2%）が５割台半ばで高くなっている。

「（イ）冷暖房の設定温度を控えめにする」の「実施している」は女性の60～64歳（65.7%）が６割台半ば、女性の50代（61.9%）、65歳以上（63.0%）が６割を超えて高くなっている。

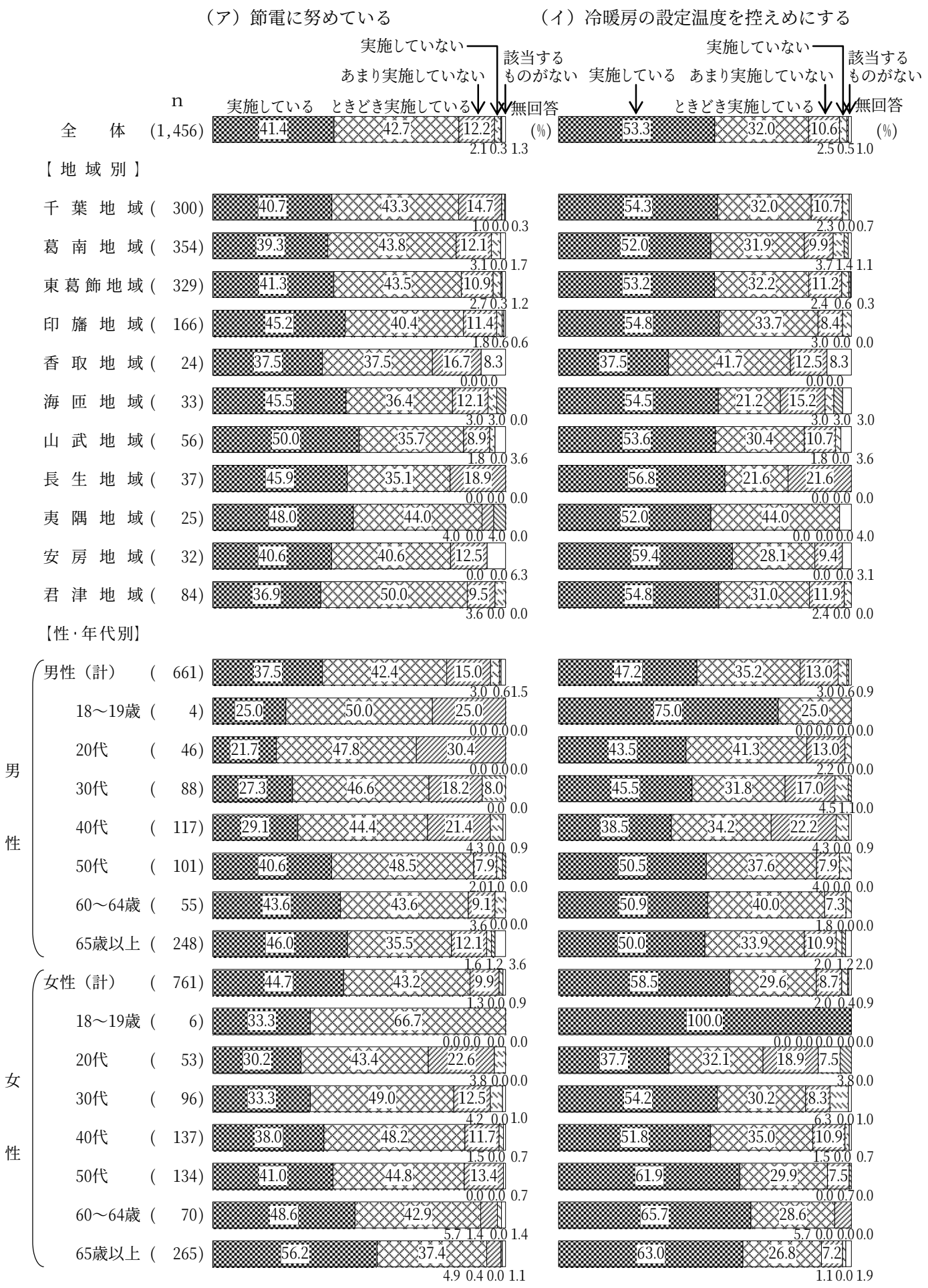
「（ウ）省エネルギー性能の高い家電製品を選ぶ」の「実施している」は女性の65歳以上（47.2%）が約５割で高くなっている。

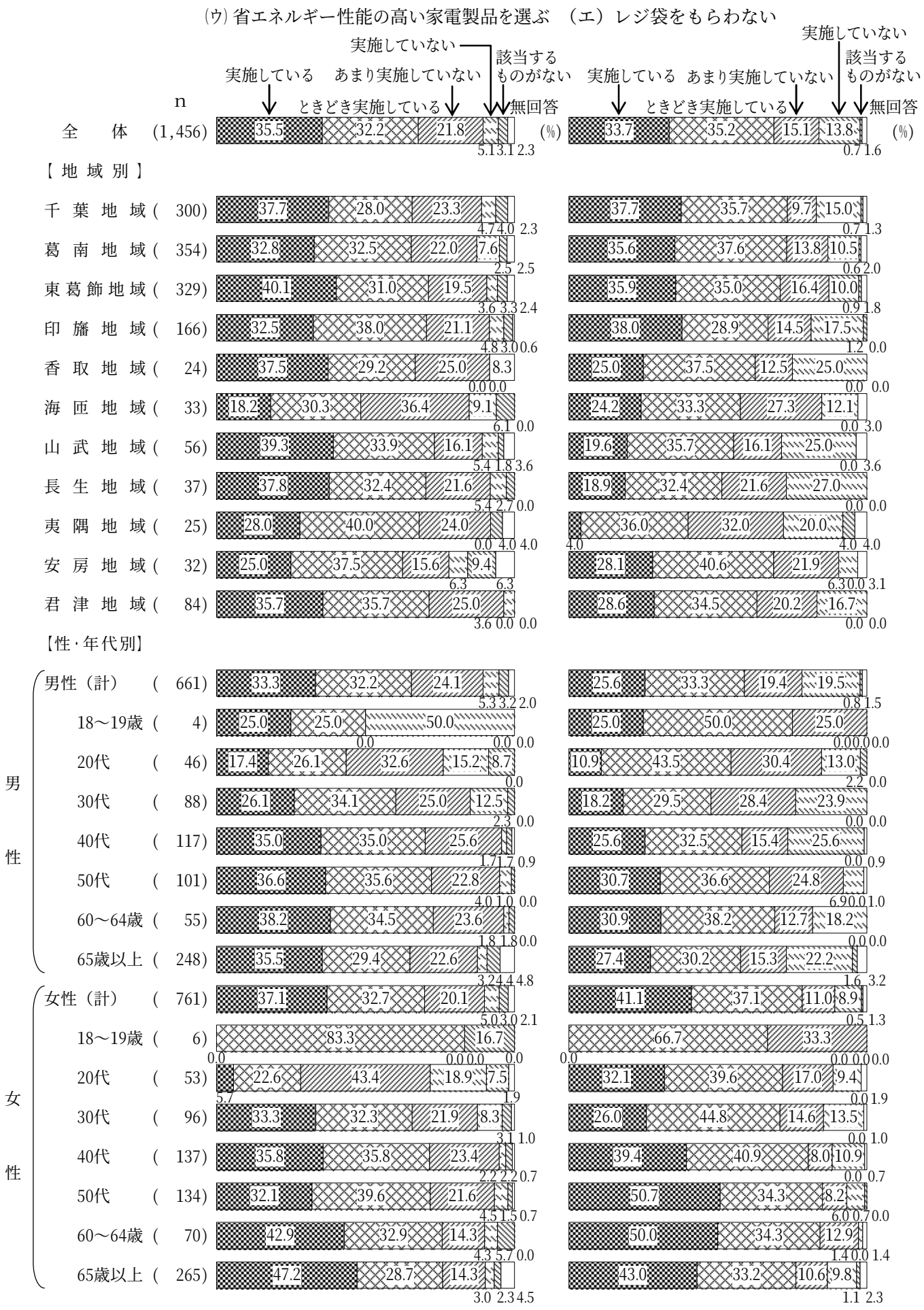
「（エ）レジ袋をもらわない」の「実施している」は女性の50代（50.7%）、60～64歳（50.0%）が５割、女性の65歳以上（43.0%）が４割を超えて高くなっている。

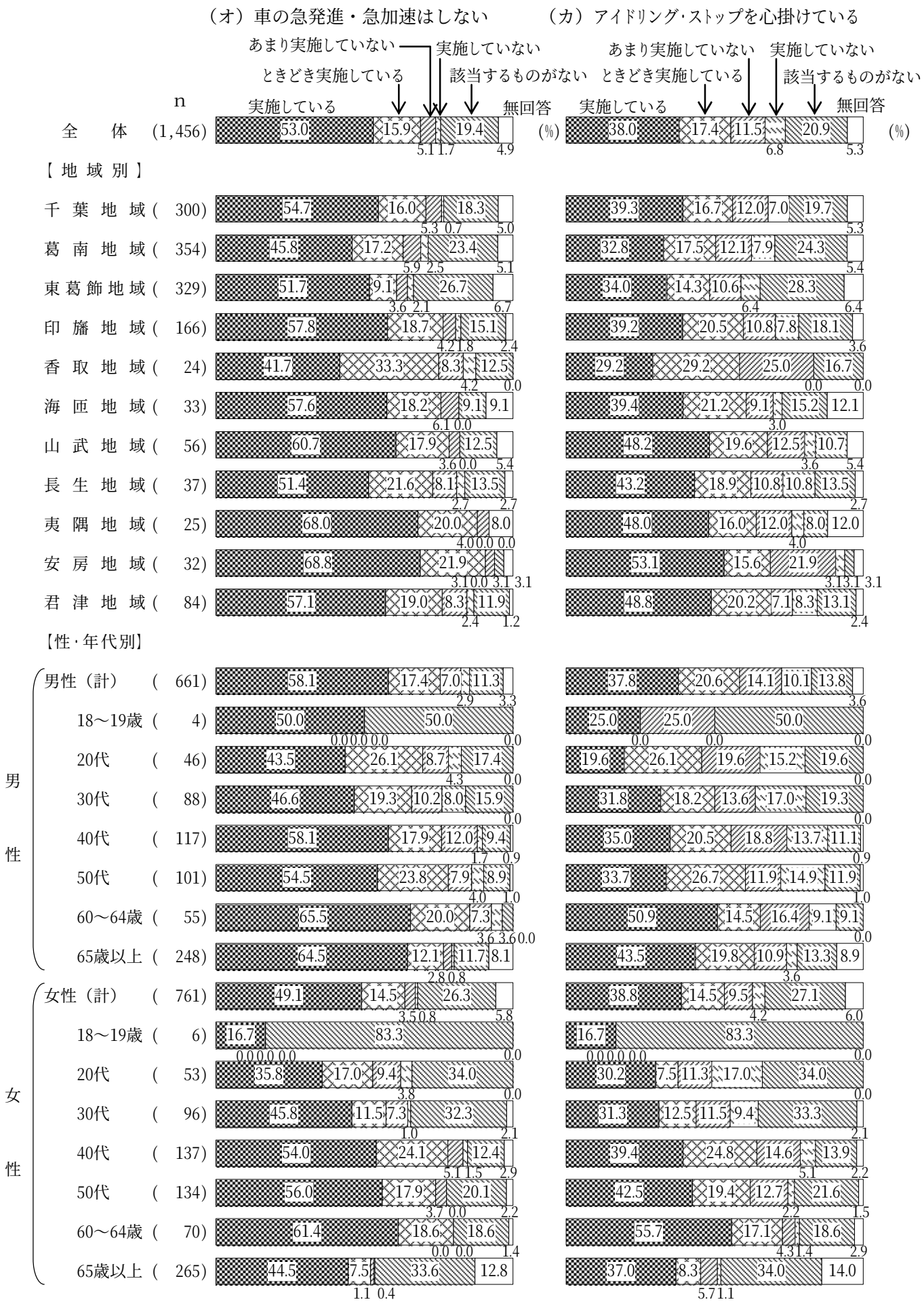
「（オ）車の急発進・急加速はしない」の「実施している」は男性の60～64歳（65.5%）、65歳以上（64.5%）が６割台半ばで高くなっている。

「（カ）アイドリング・ストップを心掛けている」の「実施している」は女性の60～64歳（55.7%）が５割台半ば、男性の60～64歳（50.9%）が５割で高くなっている。（図表１－27）

＜図表１－27＞普段の生活で行っている環境保全の取組／地域別、性・年代別




(ウ) 省エネルギー性能の高い家電製品を選ぶ
(エ) レジ袋をもらわない
実施している
ときどき実施している
あまり実施していない
実施していない
該当するものがない
無回答
n
(%)
全体 (1,456) 35.5 32.2 21.8 5.1 3.1 2.3 | 33.7 35.2 15.1 13.8 0.7 1.6
【地域別】
千葉地域 (300) 37.7 28.0 23.3 4.7 4.0 2.3 | 37.7 35.7 9.7 15.0 0.7 1.3
葛南地域 (354) 32.8 32.5 22.0 7.6 2.5 2.5 | 35.6 37.6 13.8 10.5 0.6 2.0
東葛飾地域 (329) 40.1 31.0 19.5 3.6 3.3 2.4 | 35.9 35.0 16.4 10.0 0.9 1.8
印旛地域 (166) 32.5 38.0 21.1 4.8 3.0 0.6 | 38.0 28.9 14.5 17.5 1.2 0.0
香取地域 (24) 37.5 29.2 25.0 8.3 0.0 0.0 | 25.0 37.5 12.5 25.0 0.0 0.0
海匝地域 (33) 18.2 30.3 36.4 9.1 6.1 0.0 | 24.2 33.3 27.3 12.1 0.0 3.0
山武地域 (56) 39.3 33.9 16.1 5.4 1.8 3.6 | 19.6 35.7 16.1 25.0 0.0 3.6
長生地域 (37) 37.8 32.4 21.6 5.4 2.7 0.0 | 18.9 32.4 21.6 27.0 0.0 0.0
夷隅地域 (25) 28.0 40.0 24.0 0.0 4.0 4.0 | 4.0 36.0 32.0 20.0 4.0 4.0
安房地域 (32) 25.0 37.5 15.6 9.4 6.3 6.3 | 28.1 40.6 21.9 6.3 0.0 3.1
君津地域 (84) 35.7 35.7 25.0 3.6 0.0 0.0 | 28.6 34.5 20.2 16.7 0.0 0.0
【性・年代別】
男性
男性（計） (661) 33.3 32.2 24.1 5.3 3.2 2.0 | 25.6 33.3 19.4 19.5 0.8 1.5
18～19歳 (4) 25.0 25.0 50.0 0.0 0.0 0.0 | 25.0 50.0 25.0 0.0 0.0 0.0
20代 (46) 17.4 26.1 32.6 15.2 8.7 0.0 | 10.9 43.5 30.4 13.0 2.2 0.0
30代 (88) 26.1 34.1 25.0 12.5 2.3 0.0 | 18.2 29.5 28.4 23.9 0.0 0.0
40代 (117) 35.0 35.0 25.6 1.7 1.7 0.9 | 25.6 32.5 15.4 25.6 0.0 0.9
50代 (101) 36.6 35.6 22.8 4.0 1.0 0.0 | 30.7 36.6 24.8 6.9 0.0 1.0
60～64歳 (55) 38.2 34.5 23.6 1.8 1.8 0.0 | 30.9 38.2 12.7 18.2 0.0 0.0
65歳以上 (248) 35.5 29.4 22.6 3.2 4.4 4.8 | 27.4 30.2 15.3 22.2 1.6 3.2
女性
女性（計） (761) 37.1 32.7 20.1 5.0 3.0 2.1 | 41.1 37.1 11.0 8.9 0.5 1.3
18～19歳 (6) 83.3 16.7 0.0 0.0 0.0 0.0 | 66.7 33.3 0.0 0.0 0.0 0.0
20代 (53) 22.6 43.4 18.9 7.5 5.7 1.9 | 32.1 39.6 17.0 9.4 0.0 1.9
30代 (96) 33.3 32.3 21.9 8.3 3.1 1.0 | 26.0 44.8 14.6 13.5 0.0 1.0
40代 (137) 35.8 35.8 23.4 2.2 2.2 0.7 | 39.4 40.9 8.0 10.9 0.0 0.7
50代 (134) 32.1 39.6 21.6 4.5 1.5 0.7 | 50.7 34.3 8.2 6.0 0.7 0.0
60～64歳 (70) 42.9 32.9 14.3 4.3 5.7 0.0 | 50.0 34.3 12.9 1.4 0.0 1.4
65歳以上 (265) 47.2 28.7 14.3 3.0 2.3 4.5 | 43.0 33.2 10.6 9.8 1.1 2.3


（オ）車の急発進・急加速はしない
（カ）アイドリング･ストップを心掛けている
あまり実施していない
ときどき実施している
実施していない
該当するものがない
n
実施している
無回答
(%)
全　体 (1,456) 53.0 15.9 5.1 1.7 19.4 4.9 | 38.0 17.4 11.5 6.8 20.9 5.3
【地域別】
千葉地域 (300) 54.7 16.0 5.3 0.7 18.3 5.0 | 39.3 16.7 12.0 7.0 19.7 5.3
葛南地域 (354) 45.8 17.2 5.9 2.5 23.4 5.1 | 32.8 17.5 12.1 7.9 24.3 5.4
東葛飾地域 (329) 51.7 9.1 3.6 2.1 26.7 6.7 | 34.0 14.3 10.6 6.4 28.3 6.4
印旛地域 (166) 57.8 18.7 4.2 1.8 15.1 2.4 | 39.2 20.5 10.8 7.8 18.1 3.6
香取地域 (24) 41.7 33.3 8.3 4.2 12.5 0.0 | 29.2 29.2 25.0 16.7 0.0 0.0
海匝地域 (33) 57.6 18.2 6.1 9.1 0.0 9.1 | 39.4 21.2 9.1 15.2 3.0 12.1
山武地域 (56) 60.7 17.9 3.6 12.5 0.0 5.4 | 48.2 19.6 12.5 3.6 10.7 5.4
長生地域 (37) 51.4 21.6 8.1 2.7 13.5 2.7 | 43.2 18.9 10.8 10.8 13.5 2.7
夷隅地域 (25) 68.0 20.0 4.0 0.0 8.0 0.0 | 48.0 16.0 12.0 4.0 8.0 12.0
安房地域 (32) 68.8 21.9 3.1 0.0 3.1 3.1 | 53.1 15.6 21.9 3.1 3.1 3.1
君津地域 (84) 57.1 19.0 8.3 2.4 11.9 1.2 | 48.8 20.2 7.1 8.3 13.1 2.4
【性･年代別】
男性
男性（計） (661) 58.1 17.4 7.0 2.9 11.3 3.3 | 37.8 20.6 14.1 10.1 13.8 3.6
18～19歳 (4) 50.0 0.0 0.0 50.0 0.0 0.0 | 25.0 0.0 25.0 0.0 50.0 0.0
20代 (46) 43.5 26.1 8.7 4.3 17.4 0.0 | 19.6 26.1 19.6 15.2 19.6 0.0
30代 (88) 46.6 19.3 10.2 8.0 15.9 0.0 | 31.8 18.2 13.6 17.0 19.3 0.0
40代 (117) 58.1 17.9 12.0 1.7 9.4 0.9 | 35.0 20.5 18.8 13.7 11.1 0.9
50代 (101) 54.5 23.8 7.9 4.0 8.9 1.0 | 33.7 26.7 11.9 14.9 11.9 1.0
60～64歳 (55) 65.5 20.0 3.6 7.3 3.6 0.0 | 50.9 14.5 16.4 9.1 9.1 0.0
65歳以上 (248) 64.5 12.1 2.8 11.7 0.8 8.1 | 43.5 19.8 10.9 3.6 13.3 8.9
女性
女性（計） (761) 49.1 14.5 3.5 0.8 26.3 5.8 | 38.8 14.5 9.5 4.2 27.1 6.0
18～19歳 (6) 16.7 83.3 0.0 0.0 0.0 0.0 | 16.7 83.3 0.0 0.0 0.0 0.0
20代 (53) 35.8 17.0 9.4 3.8 34.0 0.0 | 30.2 7.5 11.3 17.0 34.0 0.0
30代 (96) 45.8 11.5 7.3 1.0 32.3 2.1 | 31.3 12.5 11.5 9.4 33.3 2.1
40代 (137) 54.0 24.1 12.4 5.1 1.5 2.9 | 39.4 24.8 14.6 5.1 13.9 2.2
50代 (134) 56.0 17.9 3.7 0.0 20.1 2.2 | 42.5 19.4 12.7 2.2 21.6 1.5
60～64歳 (70) 61.4 18.6 0.0 0.0 18.6 1.4 | 55.7 17.1 4.3 1.4 18.6 2.9
65歳以上 (265) 44.5 7.5 1.1 0.4 33.6 12.8 | 37.0 8.3 5.7 1.1 34.0 14.0

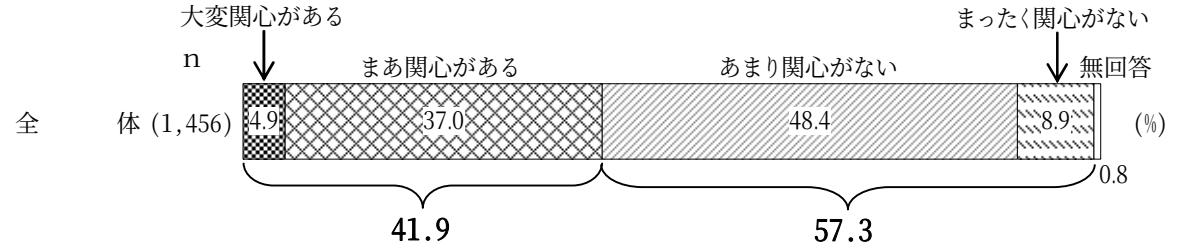
（12）市民活動団体やボランティア活動の関心度

◇『関心がある（計）』が４割を超える

問12　あなたは、市民活動団体の活動や、ボランティア活動に関心がありますか。（○は１つ）

※　ここでいう「市民活動団体」とは、市民の自発性に基づき、福祉や子育て支援、まちづくり、環境等様々な分野の地域課題の解決のために、自立的・継続的に社会貢献活動を行う営利を目的としない団体（行政が認証したＮＰＯ法人やボランティア団体等任意団体）のことです。

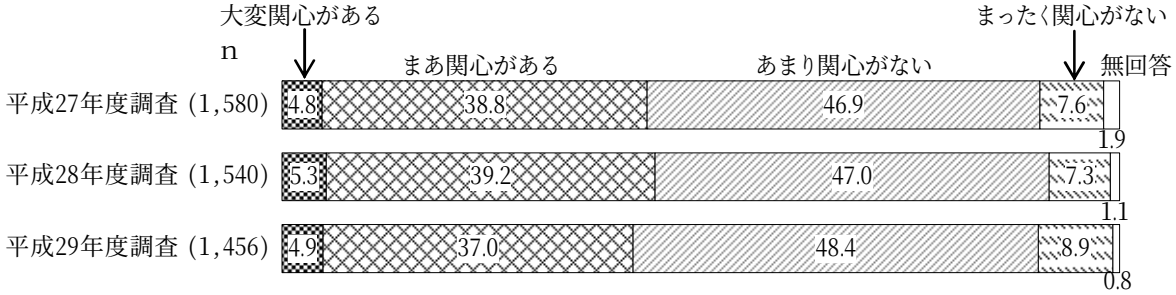
＜図表１－28＞市民活動団体やボランティア活動の関心度



市民活動団体の活動や、ボランティア活動の関心度を聞いたところ、「大変関心がある」（4.9%）と「まあ関心がある」（37.0%）を合わせた『関心がある（計）』（41.9%）が４割を超えている。

一方、「あまり関心がない」（48.4%）と「まったく関心がない」（8.9%）を合わせた『関心がない（計）』（57.3%）は約６割となっている。（図表１－28）

〔参考〕平成27年度・平成28年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



【地域別】

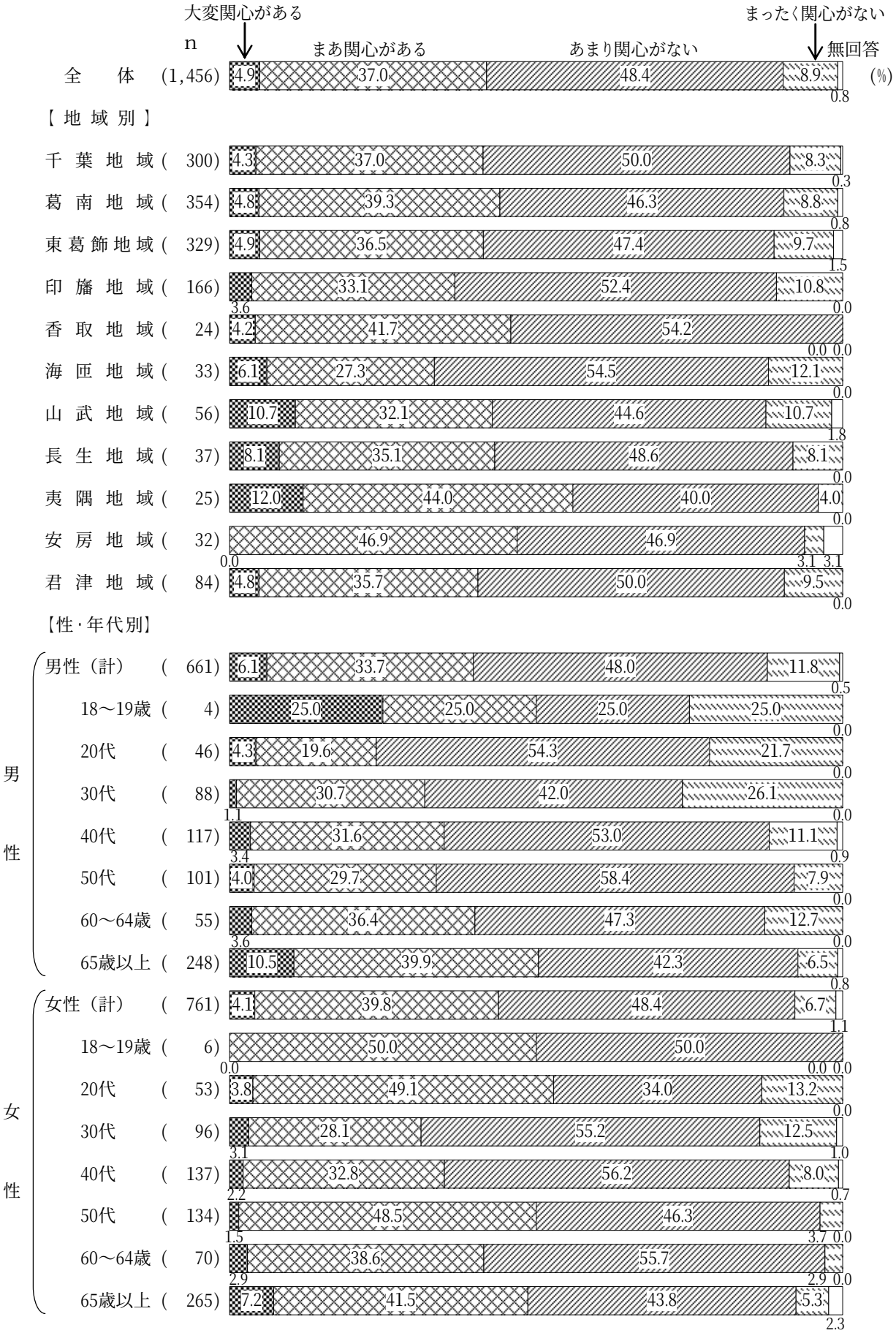
地域別にみると、『関心がある（計）』は“ 夷隅地域 ”（56.0%）が５割台半ばで高くなっている。（図表１－29）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『関心がある（計）』は女性の20代（52.9%）が５割を超え、男性の65歳以上（50.4%）と女性の50代（50.0%）が５割で高くなっている。

一方、『関心がない（計）』は男性の20代（76.0%）が７割台半ば、男性の30代（68.1%）と女性の30代（67.7%）が約７割で高くなっている。（図表１－29）

＜図表１－29＞市民活動団体やボランティア活動の関心度／地域別、性・年代別



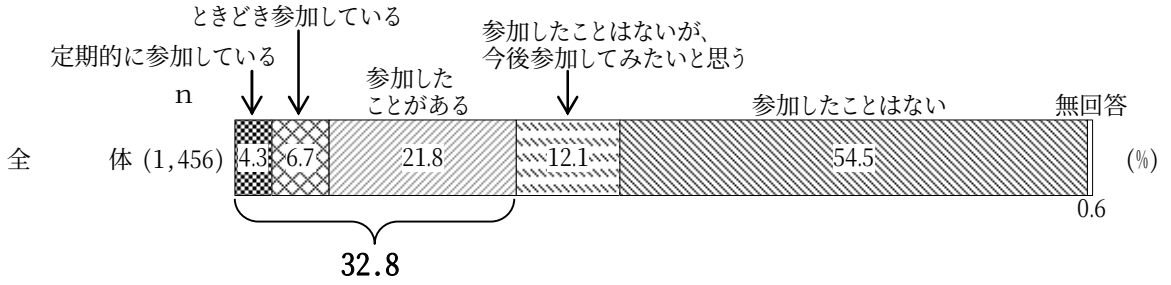
（13）市民活動団体の活動への参加経験

◇『参加したことがある（計）』が３割を超える

問13　あなたは、市民活動団体の活動に参加したことがありますか。（○は１つ）

※　ここでいう「参加」とは、団体の会員やボランティアとしての参加のみならず、団体への資金・物品・技術・場所等の提供・寄付などの支援を通しての参加や、団体が提供するサービスの利用・イベントへの参加なども含みます。

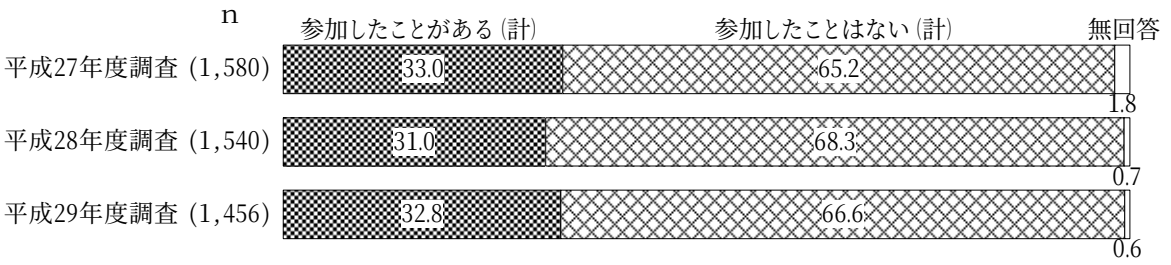
＜図表１－30＞市民活動団体の活動への参加経験



市民活動団体の活動への参加経験を聞いたところ、「定期的に参加している」（4.3%）と「ときどき参加している」（6.7%）、「参加したことがある」（21.8%）の３つを合わせた『参加したことがある（計）』（32.8%）が３割を超えている。

一方、「参加したことはないが、今後参加してみたいと思う」（12.1%）は１割を超えており、「参加したことはない」（54.5%）は５割台半ばとなっている。（図表１－30）

〔参考〕平成27年度・平成28年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



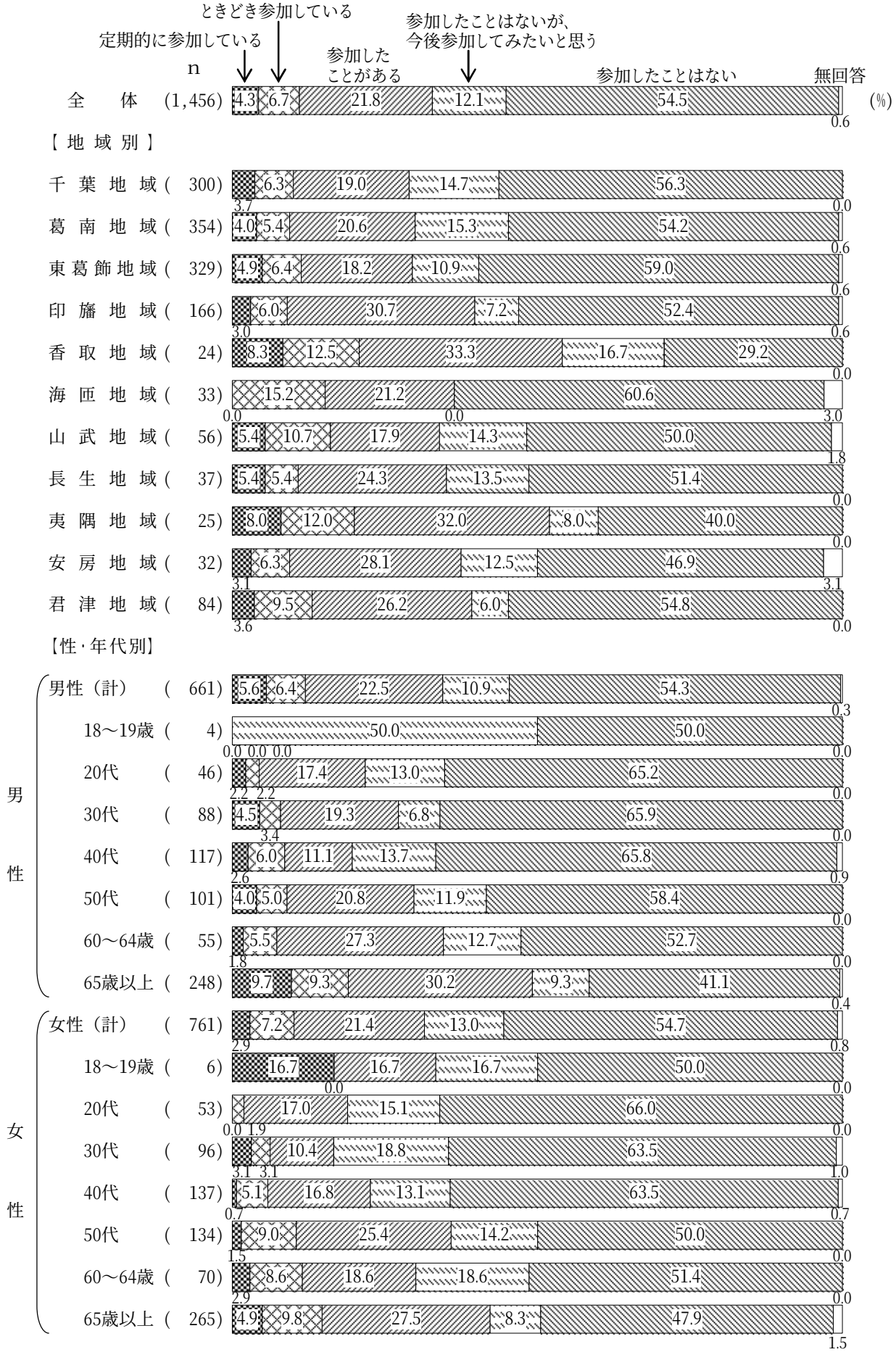
【地域別】

地域別にみると、『参加したことがある（計）』は“香取地域”（54.1%）が５割台半ば、“夷隅地域”（52.0%）が５割を超えて高くなっている。（図表１－31）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『参加したことがある（計）』は男性の65歳以上（49.2%）が約５割、女性の65歳以上（42.2%）が４割を超えて高くなっている。（図表１－31）

＜図表１－31＞市民活動団体の活動への参加経験／地域別、性・年代別



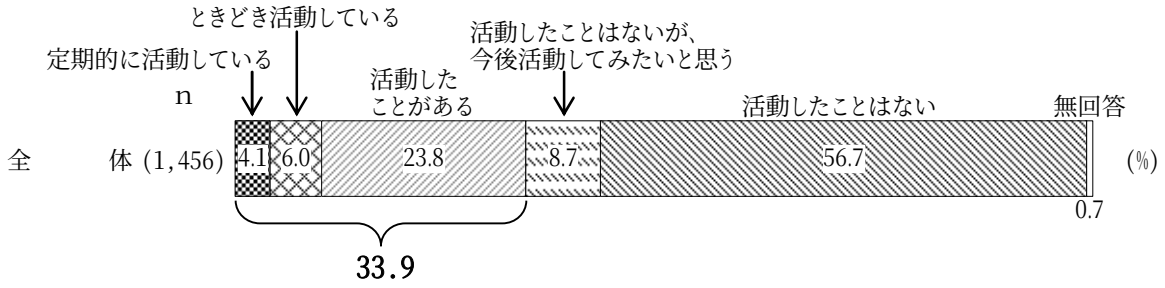
（14）ボランティア活動経験

◇『活動したことがある（計）』が３割台半ば

問14　あなたは、ボランティアとして活動したことがありますか。（○は１つ）

※　ここでいう「ボランティア活動」とは、市民の自発性に基づき地域や社会に貢献する活動のことであり、市民活動団体が行うボランティア活動への参加のみならず、個人として行うものを含むボランティア活動全般を指します。

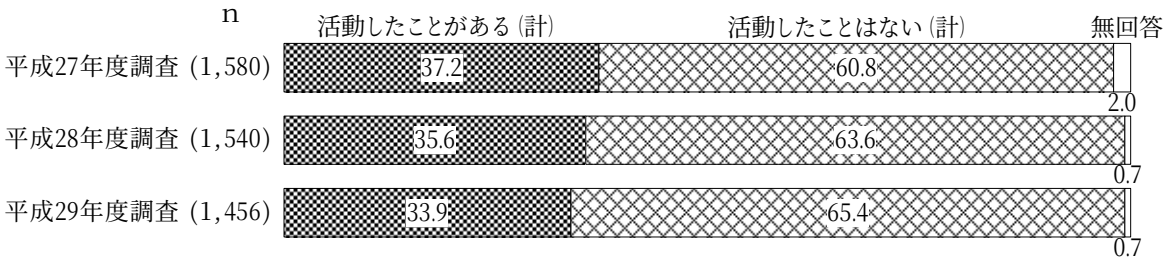
＜図表１－32＞ボランティア活動経験



ボランティアとして活動したことがあるか聞いたところ、「定期的に活動している」（4.1%）と「ときどき活動している」（6.0%）、「活動したことがある」（23.8%）の３つを合わせた『活動したことがある（計）』（33.9%）が３割台半ばとなっている。

一方、「活動したことはないが、今後活動してみたいと思う」（8.7%）は約１割、「活動したことはない」（56.7%）は５割台半ばとなっている。（図表１－32）

〔参考〕平成27年度・平成28年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



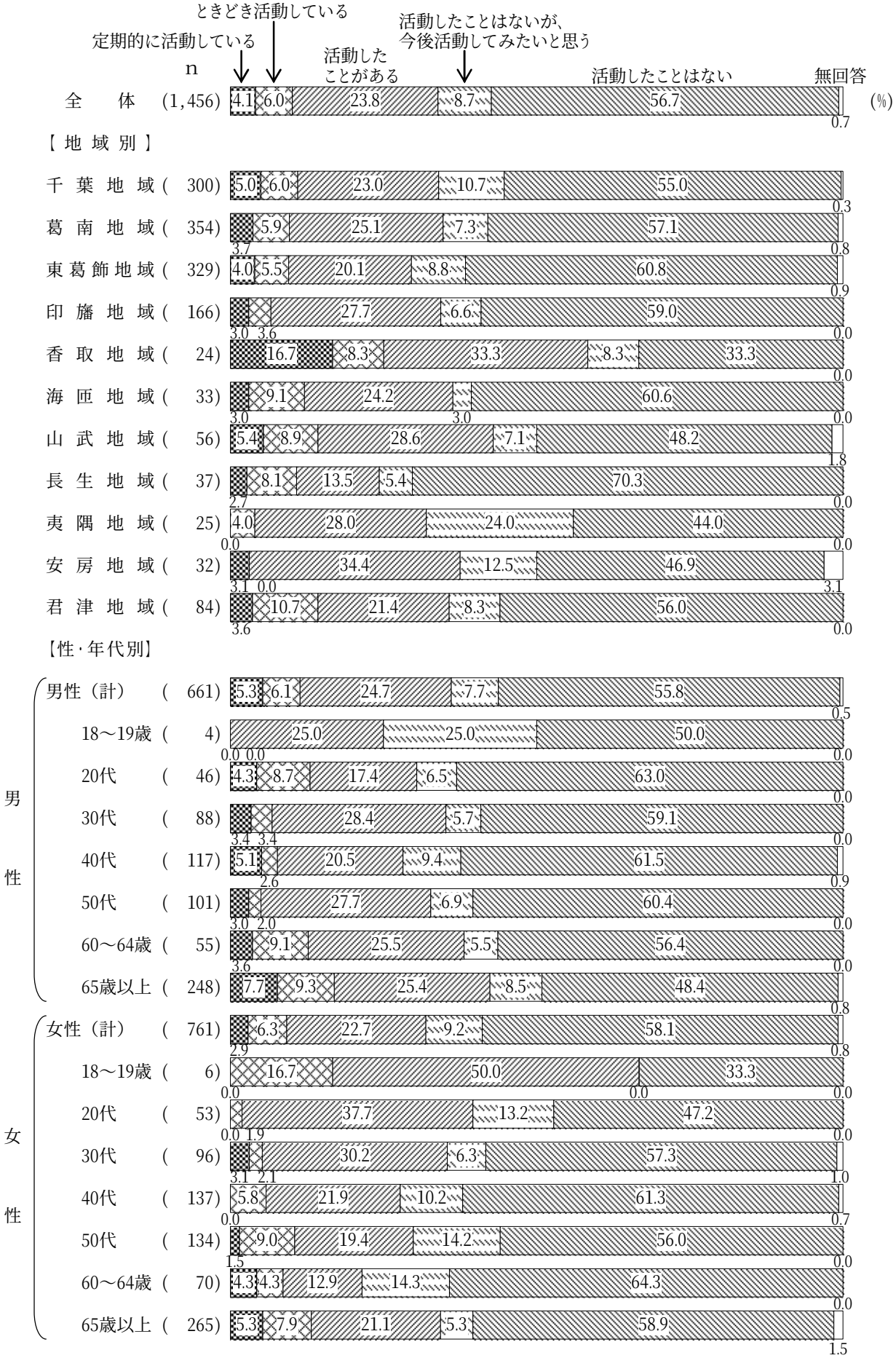
【地域別】

地域別にみると、『活動したことがある（計）』は“香取地域”（58.3%）が約６割で高くなっている。（図表１－33）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『活動したことがある（計）』は男性の65歳以上（42.4%）が４割を超えて高くなっている。（図表１－33）

＜図表１－33＞ボランティア活動経験／地域別、性・年代別



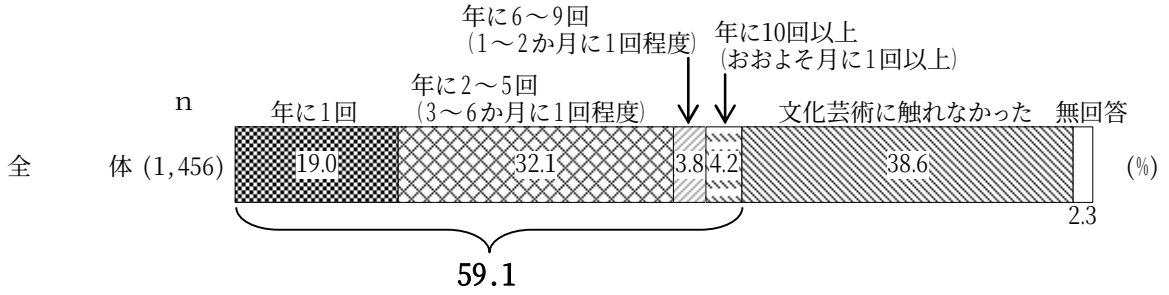
（15）この１年間の文化芸術に触れた頻度

◇『触れたことがある（計）』が約６割

問15　あなたは、県内の施設などでこの１年間で何回くらい文化芸術に触れましたか。（○は１つ）

※　ここでいう「文化芸術」とは、映画（アニメ含む）、音楽（クラシックやポップス等）、美術、茶道・華道、芸能、文化財など幅広いジャンルの文化のことで、舞台公演・展覧会等の鑑賞、祭り等への参加、演奏・創作活動、文化財保存活動、史跡めぐりなどです。

＜図表１－34＞この１年間の文化芸術に触れた頻度



この１年間で何回くらい文化芸術に触れたか聞いたところ、「年に１回」（19.0%）と「年に２～５回（３～６か月に１回程度）」（32.1%）、「年に６～９回（１～２か月に１回程度）」（3.8%）、「年に10回以上（おおよそ月に１回以上）」（4.2%）の４つを合わせた『触れたことがある（計）』（59.1%）は約６割で高くなっている。

一方、「文化芸術に触れなかった」（38.6%）は約４割となっている。（図表１－34）

【地域別】

地域別にみると、『触れたことがある（計）』は“香取地域”（83.4%）が８割を超えて高くなっている。

一方、「文化芸術に触れなかった」は“海匝地域”（57.6%）が約６割で高くなっている。

（図表１－35）

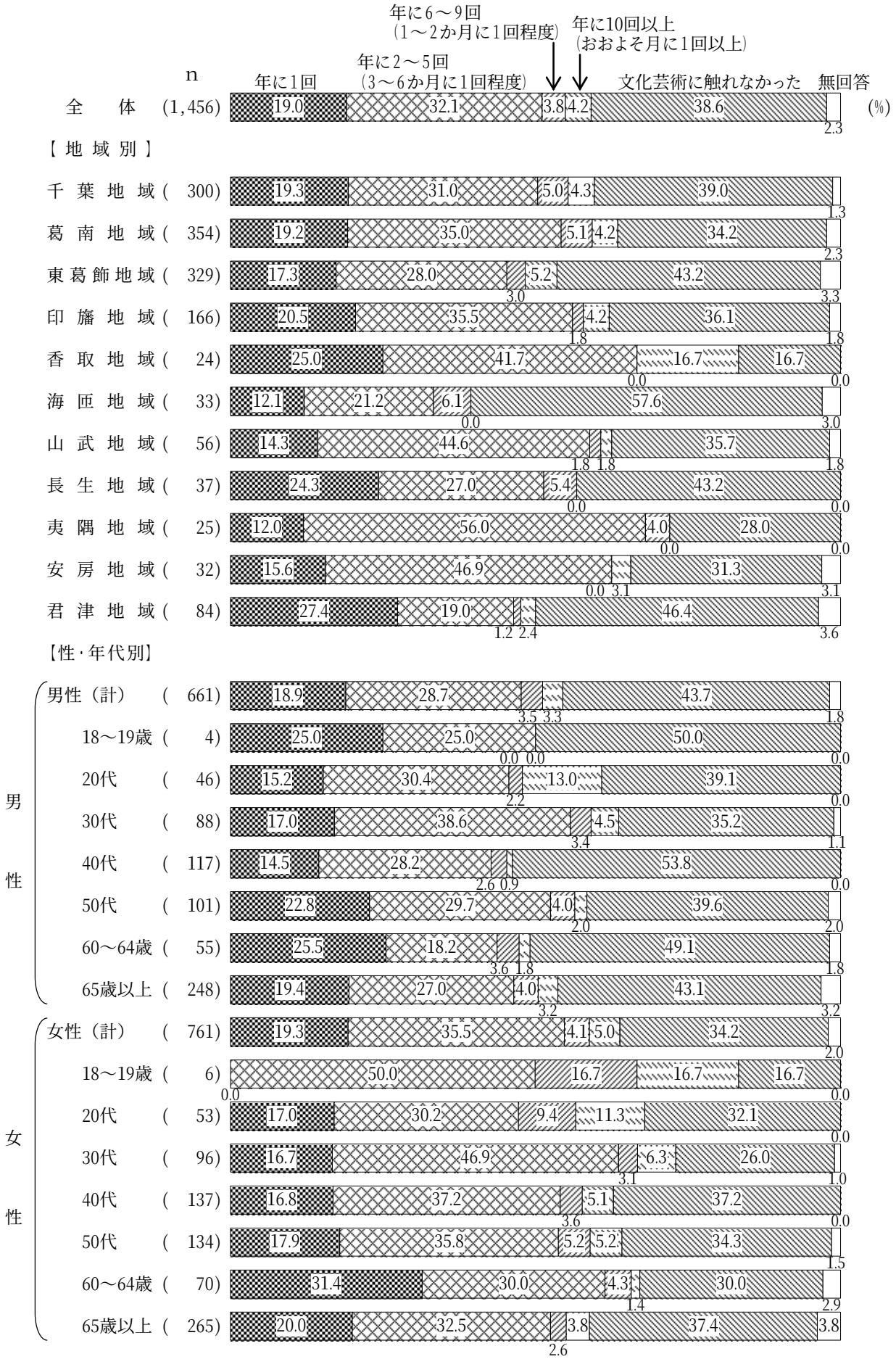
【性・年代別】

性・年代別にみると、『触れたことがある（計）』は女性の30代（73.0%）が７割を超え、女性の20代（67.9%）、60～64歳（67.1%）が約７割で高くなっている。

一方、「文化芸術に触れなかった」は男性の40代（53.8%）が５割台半ばで高くなっている。

（図表１－35）

＜図表１－35＞この１年間の文化芸術に触れた頻度／地域別、性・年代別



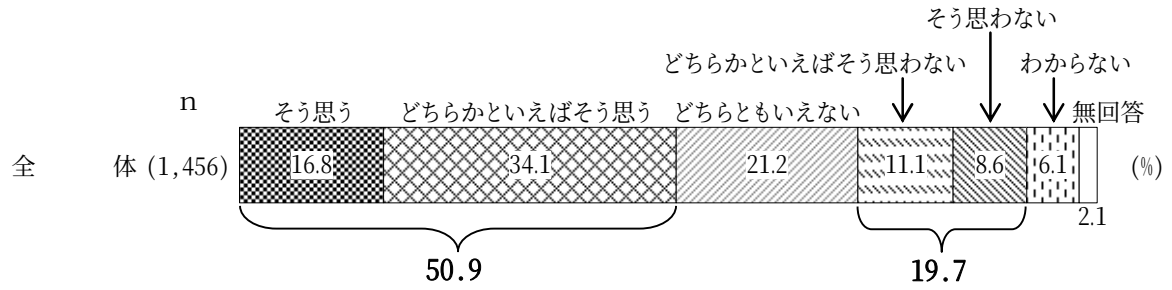
2　健康について

（1）健康づくりに取り組むことができる環境

◇『そう思う（計）』が５割

問16　あなたは、自分が積極的に健康づくりに取り組むことができる環境にあると思いますか。
（○は１つ）

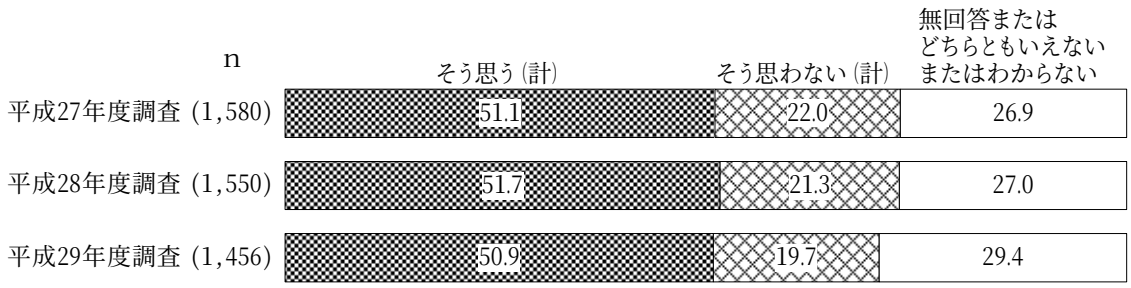
＜図表２－１＞健康づくりに取り組むことができる環境



自分が積極的に健康づくりに取り組むことができる環境にあると思うか聞いたところ、「そう思う」（16.8%）と「どちらかといえばそう思う」（34.1%）を合わせた『そう思う（計）』（50.9%）が５割で高くなっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」（11.1%）と「そう思わない」（8.6%）を合わせた『そう思わない（計）』（19.7%）は約２割となっている。（図表２－１）

〔参考〕平成27年度・平成28年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



【地域別】

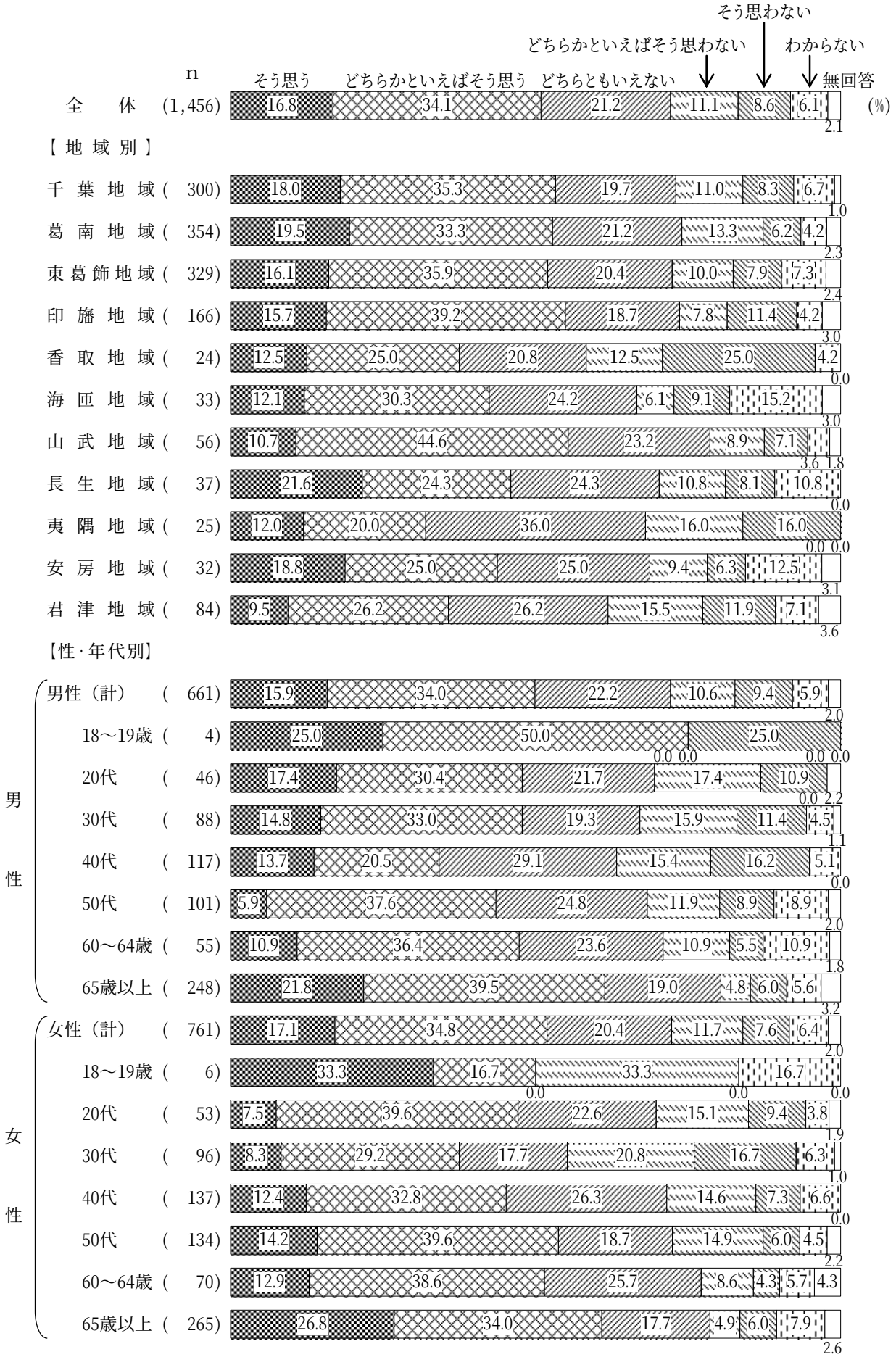
地域別にみると、『そう思わない（計）』は“香取地域”（37.5%）が約４割で高くなっている。
（図表２－２）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う（計）』は男性の65歳以上（61.3%）が６割を超え、女性の65歳以上（60.8%）が６割で高くなっている。

一方、『そう思わない（計）』は女性の30代（37.5%）が約４割、男性の40代（31.6%）が３割を超えて高くなっている。（図表２－２）

＜図表２－２＞健康づくりに取り組むことができる環境／地域別、性・年代別



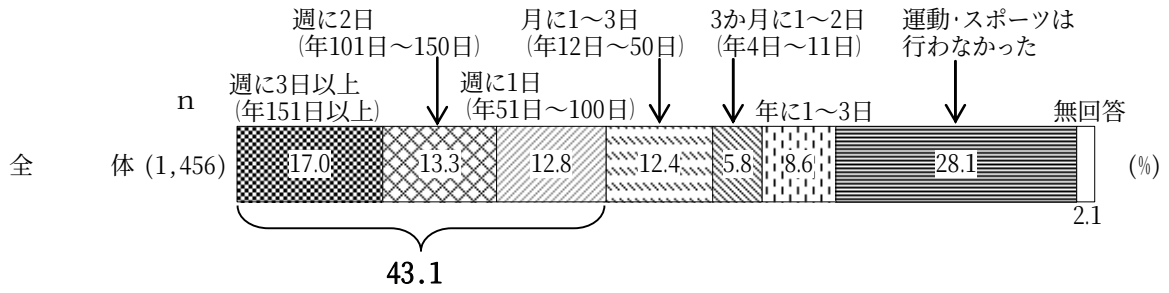
（２）健康づくりのための運動

◇『週１日以上運動した（計）』が４割を超える

問17　あなたは、健康づくりなどのために１年間に何日くらい運動やスポーツを行いましたか。
（○は１つ）

※　ここでいう「運動やスポーツ」とは、比較的軽い運動やスポーツ（ウォーキングや軽い体操、ダンスなどのレクリエーション活動等）を含みます。

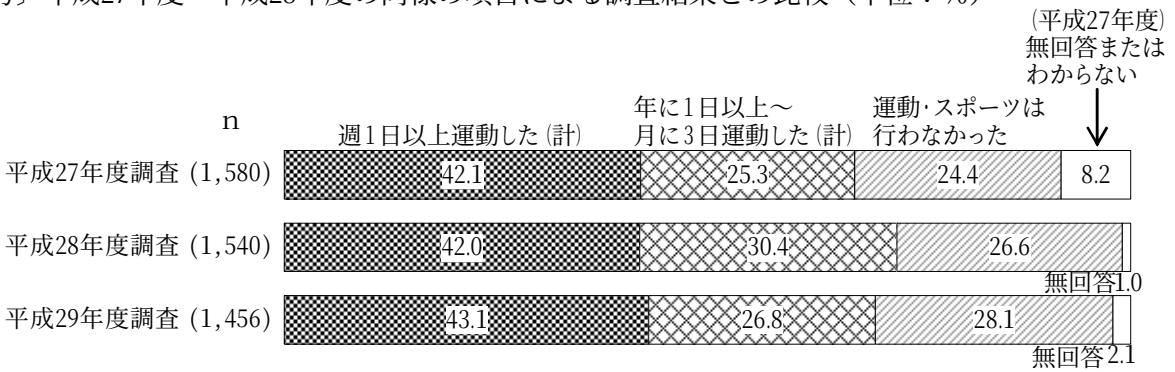
＜図表２－３＞健康づくりのための運動



健康づくりなどのために１年間に何日くらい運動やスポーツを行ったか聞いたところ、「週に３日以上（年１５１日以上）」（17.0%）と「週に２日（年１０１日～１５０日）」（13.3%）、「週に１日（年５１日～１００日）」（12.8%）を合わせた『週１日以上運動した（計）』（43.1%）は４割を超えている。

一方、「運動・スポーツは行わなかった」（28.1%）は約３割となっている。（図表２－３）

〔参考〕平成27年度・平成28年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



※平成27年度は「わからない」の選択肢があるため、参考値

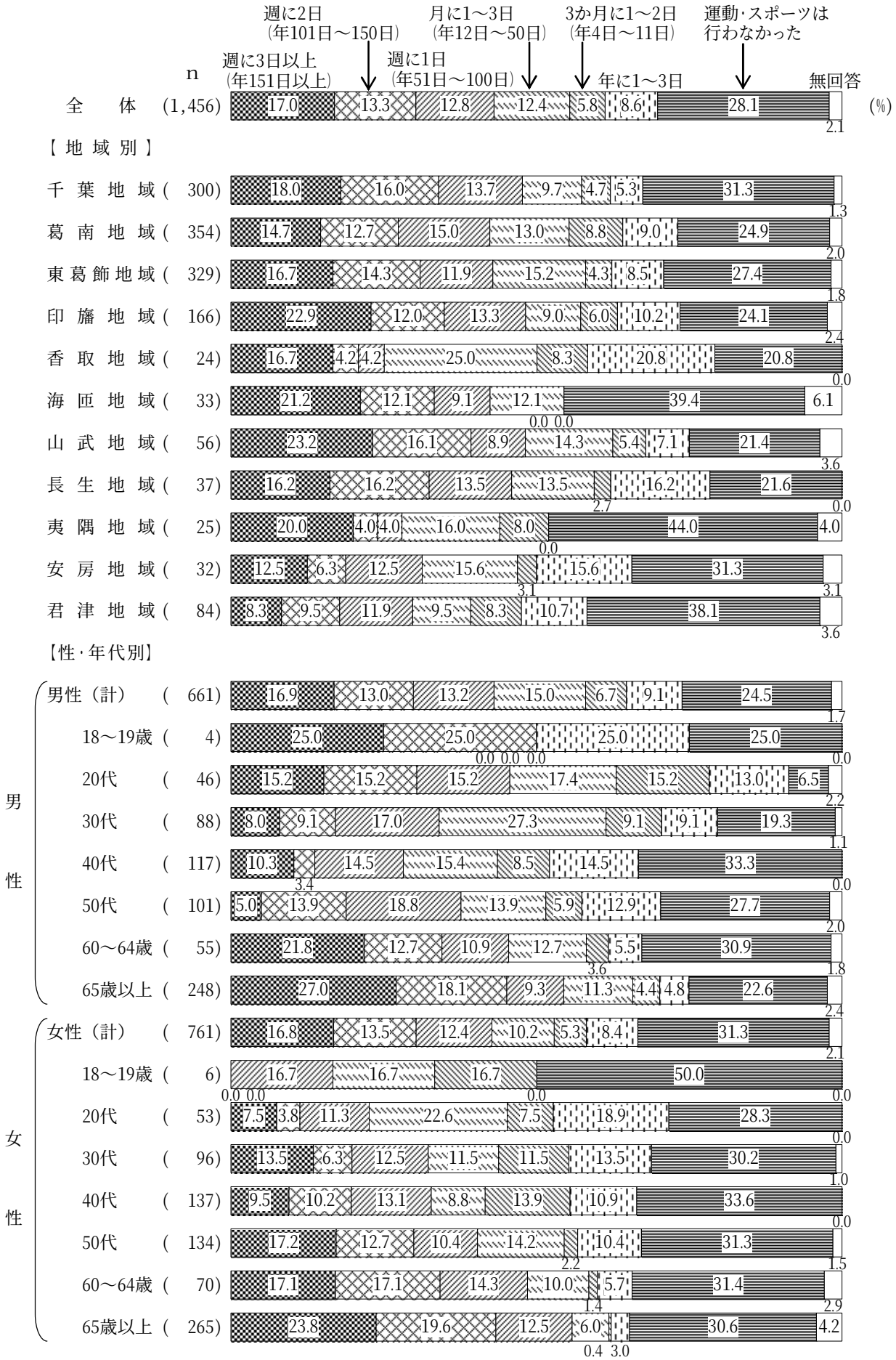
【地域別】

地域別にみると、「運動・スポーツは行わなかった」は“ 夷隅地域 ”（44.0%）が４割台半ば、“ 海匝地域 ”（39.4%）、“ 君津地域 ”（38.1%）が約４割で高くなっている。（図表２－４）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『週１日以上運動した（計）』は男性の65歳以上（54.4%）と女性の65歳以上（55.9%）が５割台半ばで高くなっている。（図表２－４）

＜図表２－４＞健康づくりのための運動／地域別、性・年代別

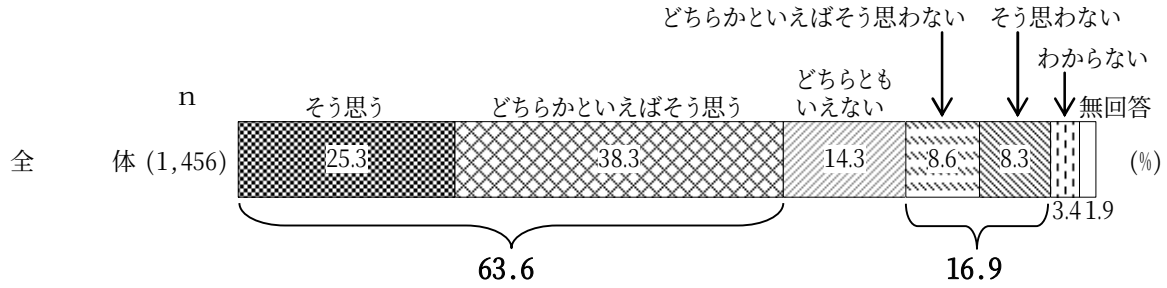


（3）安心して受診できる医療体制

◇『そう思う（計)』が６割台半ば

問18　あなたは、自分が住み慣れた地域で安心して受診できる医療体制にあると思いますか。
（○は１つ）

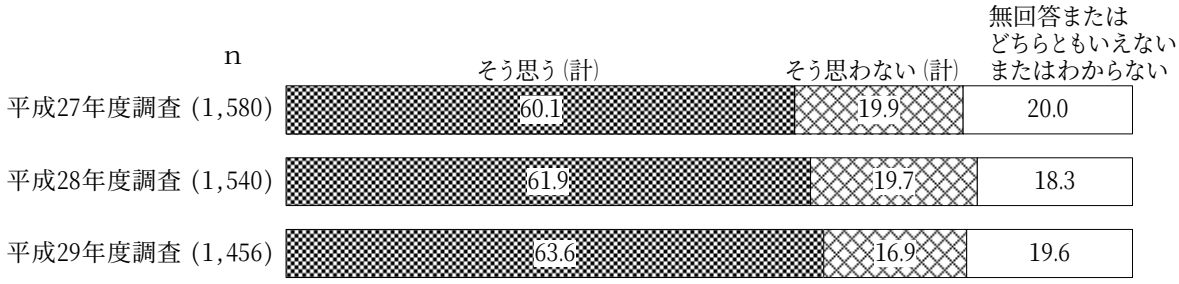
＜図表２－５＞安心して受診できる医療体制



住み慣れた地域で安心して受診できる医療体制にあると思うか聞いたところ、「そう思う」（25.3%）と「どちらかといえばそう思う」（38.3%）を合わせた『そう思う（計)』（63.6%）が６割台半ばで高くなっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」（8.6%）と「そう思わない」（8.3%）を合わせた『そう思わない（計)』（16.9%）は１割台半ばとなっている。（図表２－５）

〔参考〕平成27年度・平成28年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



【地域別】

地域別にみると、『そう思う（計)』は“安房地域”（78.1%）が約８割で高くなっている。

一方、『そう思わない（計)』は“長生地域”（37.8%）が約４割、“海匝地域”（33.3%）、“君津地域”（32.2%）が３割を超えて高くなっている。（図表２－６）

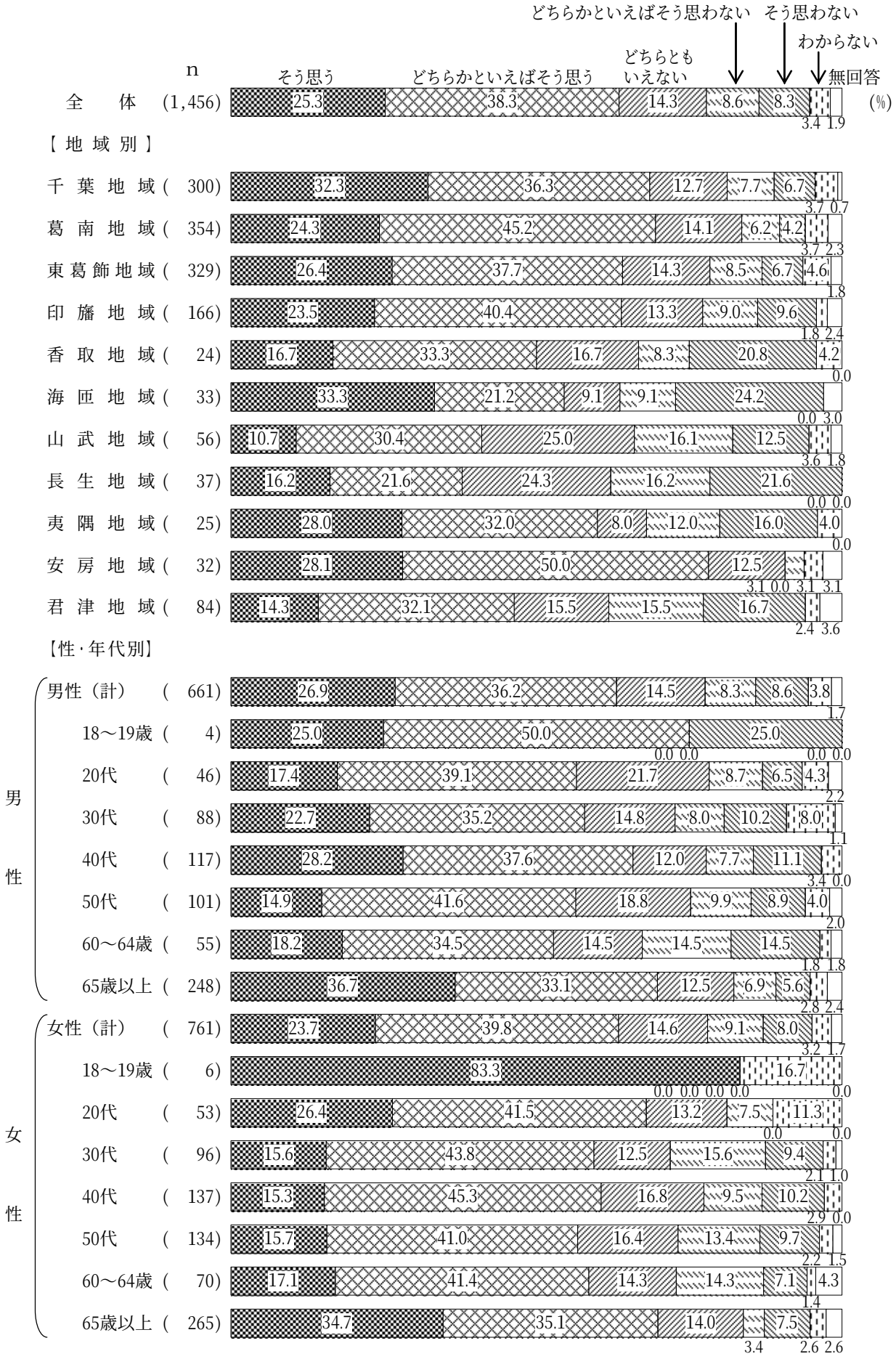
【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う（計)』は男性の65歳以上（69.8%）と女性の20代（67.9%）、65歳以上（69.8%）が約７割で高くなっている。

一方、『そう思わない（計)』は男性の60～64歳（29.0%）が約３割で高くなっている。

（図表２－６）

＜図表２－６＞安心して受診できる医療体制／地域別、性・年代別



（４）かかりつけ医の有無

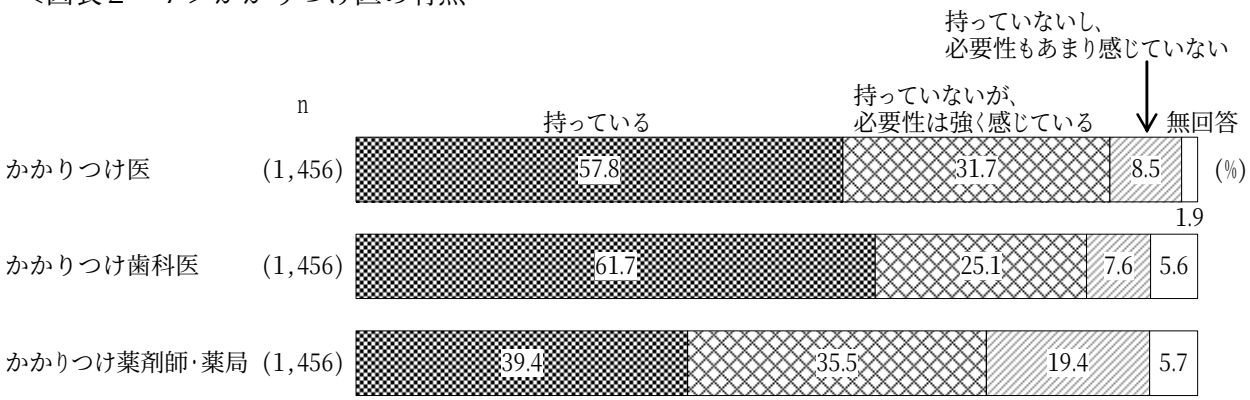
◇かかりつけ歯科医を持っているが６割を超え、かかりつけ医を持っているが約６割

問19　あなたの過去の病歴や体質などを知っていて、気軽に相談に応じてくれるとともに、必要なときには他の専門機関等を紹介してくれる、身近な医師（歯科医、薬剤師・薬局）を、「かかりつけ医（歯科医、薬剤師・薬局)」と呼んでいます。

あなたは、「かかりつけ医（歯科医、薬剤師・薬局)」をお持ちですか。

（○はそれぞれ１つずつ）

＜図表２－７＞かかりつけ医の有無



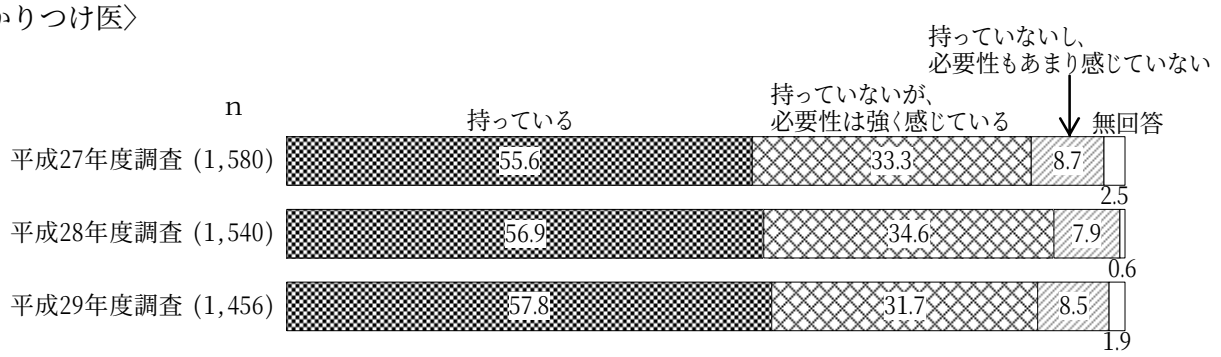
かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬剤師・薬局を持っているかどうかを聞いたところ、「持っている」は〈かかりつけ歯科医〉（61.7%）が６割を超え、〈かかりつけ医〉（57.8%）が約６割、〈かかりつけ薬剤師・薬局〉（39.4%）が約４割となっている。

また、「持っていないが、必要性は強く感じている」は〈かかりつけ薬剤師・薬局〉（35.5%）が３割台半ば、〈かかりつけ医〉（31.7%）が３割を超えている。

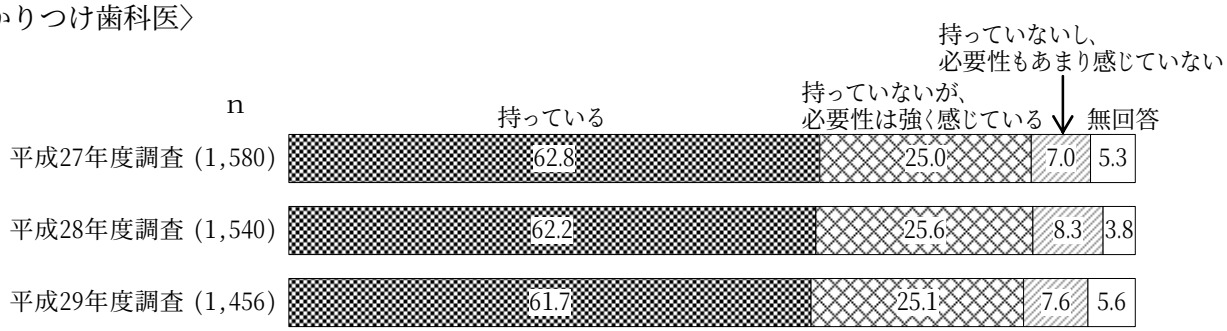
「持っていないし、必要性もあまり感じていない」は〈かかりつけ薬剤師・薬局〉（19.4%）が約２割となっている。（図表２－７）

〔参考〕平成27年度・平成28年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）

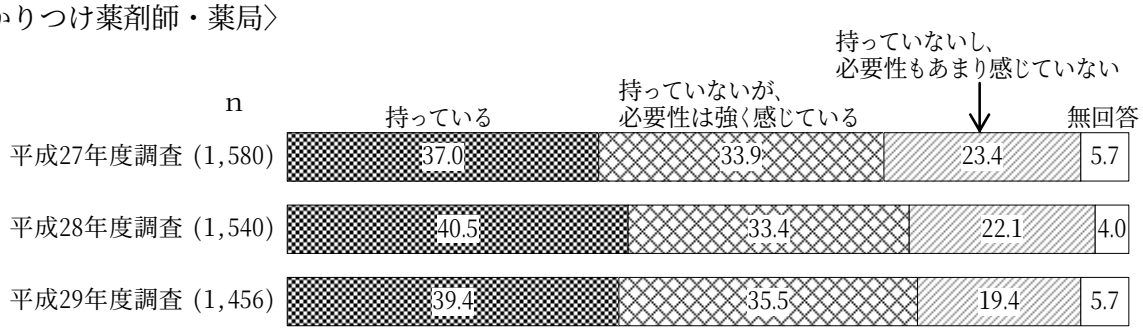
〈かかりつけ医〉



〈かかりつけ歯科医〉



〈かかりつけ薬剤師・薬局〉



【地域別】

地域別にみると、〈かかりつけ医〉を「持っている」は“夷隅地域”（80.0%）が８割、“安房地域”（71.9%）が７割を超えて高くなっている。

〈かかりつけ歯科医〉を「持っている」は“長生地域”（86.5%）が８割台半ばで高くなっている。

〈かかりつけ薬剤師・薬局〉を「持っている」は“安房地域”（53.1%）が５割を超えて高くなっている。（図表２－８）

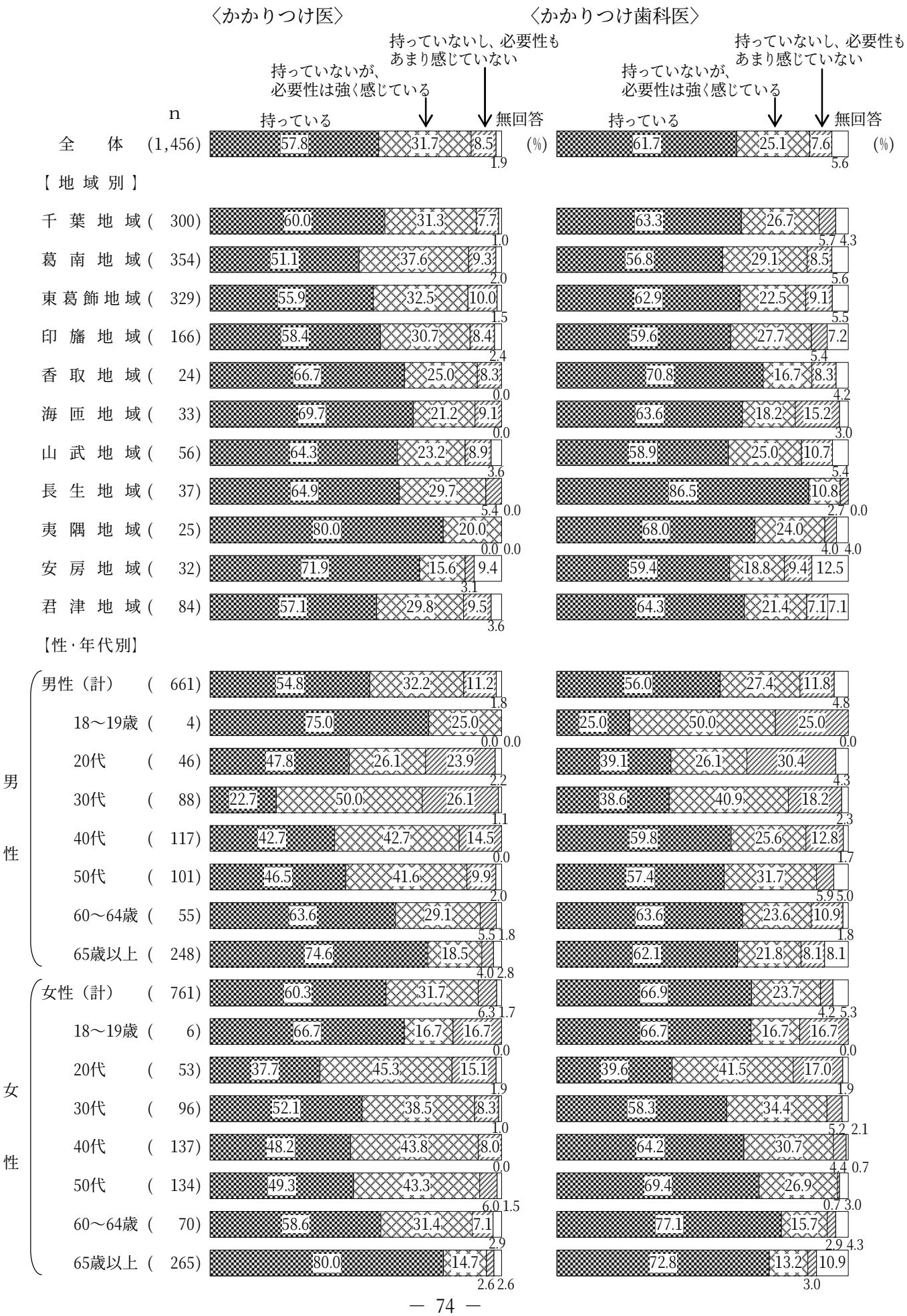
【性・年代別】

性・年代別にみると、〈かかりつけ医〉を「持っている」は女性の65歳以上（80.0%）が８割、男性の65歳以上（74.6%）が７割台半ばで高くなっている。

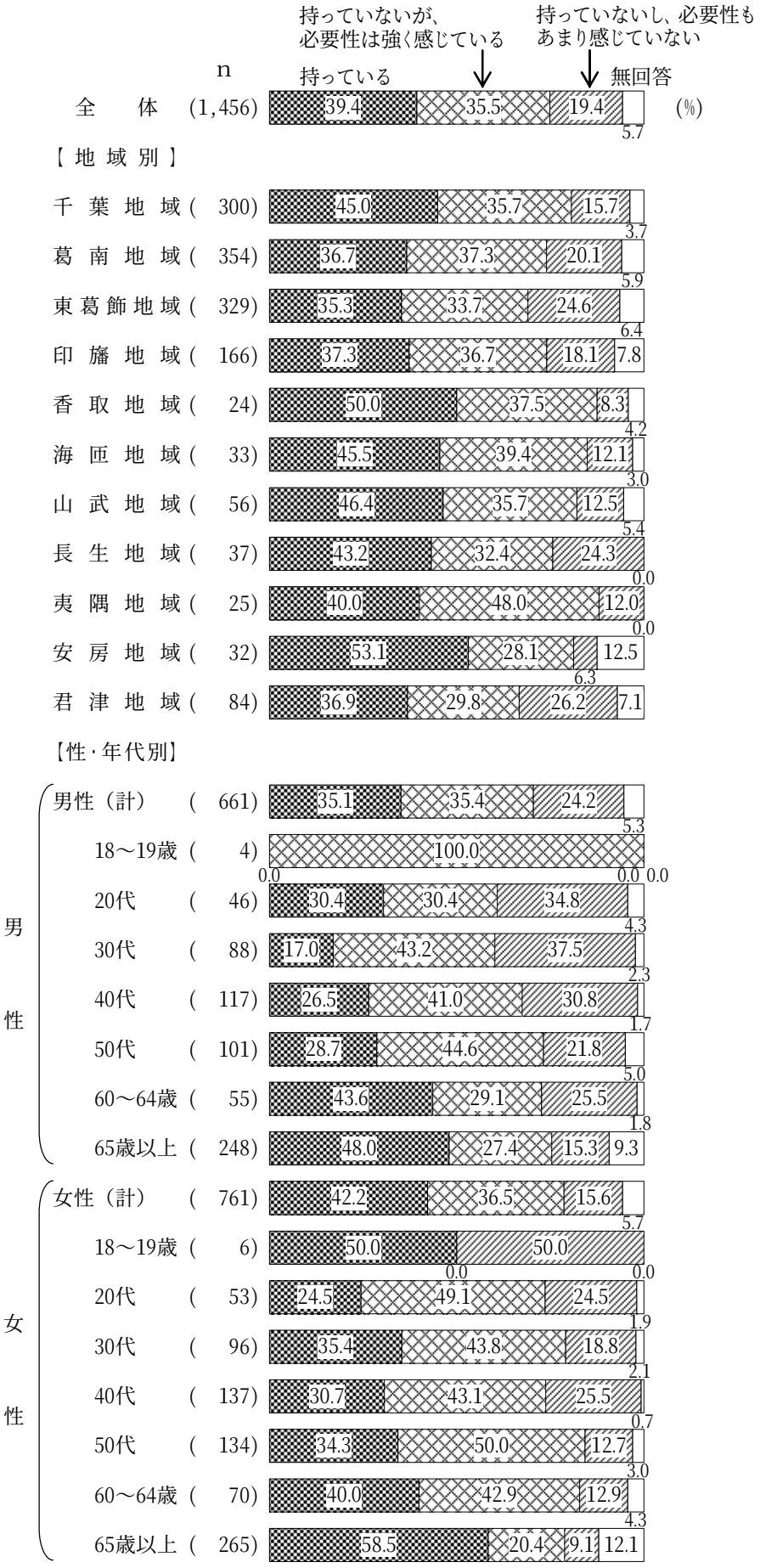
〈かかりつけ歯科医〉を「持っている」は女性の60～64歳（77.1%）が約８割、女性の65歳以上（72.8%）が７割を超えて高くなっている。

〈かかりつけ薬剤師・薬局〉を「持っている」は女性の65歳以上（58.5%）が約６割、男性の65歳以上（48.0%）が約５割で高くなっている。（図表２－８）

＜図表２－８＞かかりつけ医の有無／地域別、性・年代別



〈かかりつけ薬剤師・薬局〉


持っていないが、
必要性は強く感じている
持っていないし、必要性も
あまり感じていない
n
持っている
無回答
全　体 (1,456) 39.4 35.5 19.4 5.7 (%)
【地域別】
千葉地域 (300) 45.0 35.7 15.7 3.7
葛南地域 (354) 36.7 37.3 20.1 5.9
東葛飾地域 (329) 35.3 33.7 24.6 6.4
印旛地域 (166) 37.3 36.7 18.1 7.8
香取地域 (24) 50.0 37.5 8.3 4.2
海匝地域 (33) 45.5 39.4 12.1 3.0
山武地域 (56) 46.4 35.7 12.5 5.4
長生地域 (37) 43.2 32.4 24.3 0.0
夷隅地域 (25) 40.0 48.0 12.0 0.0
安房地域 (32) 53.1 28.1 12.5 6.3
君津地域 (84) 36.9 29.8 26.2 7.1
【性・年代別】
男性
男性（計） (661) 35.1 35.4 24.2 5.3
18～19歳 (4) 0.0 100.0 0.0 0.0
20代 (46) 30.4 30.4 34.8 4.3
30代 (88) 17.0 43.2 37.5 2.3
40代 (117) 26.5 41.0 30.8 1.7
50代 (101) 28.7 44.6 21.8 5.0
60～64歳 (55) 43.6 29.1 25.5 1.8
65歳以上 (248) 48.0 27.4 15.3 9.3
女性
女性（計） (761) 42.2 36.5 15.6 5.7
18～19歳 (6) 50.0 0.0 50.0 0.0
20代 (53) 24.5 49.1 24.5 1.9
30代 (96) 35.4 43.8 18.8 2.1
40代 (137) 30.7 43.1 25.5 0.7
50代 (134) 34.3 50.0 12.7 3.0
60～64歳 (70) 40.0 42.9 12.9 4.3
65歳以上 (265) 58.5 20.4 9.1 12.1

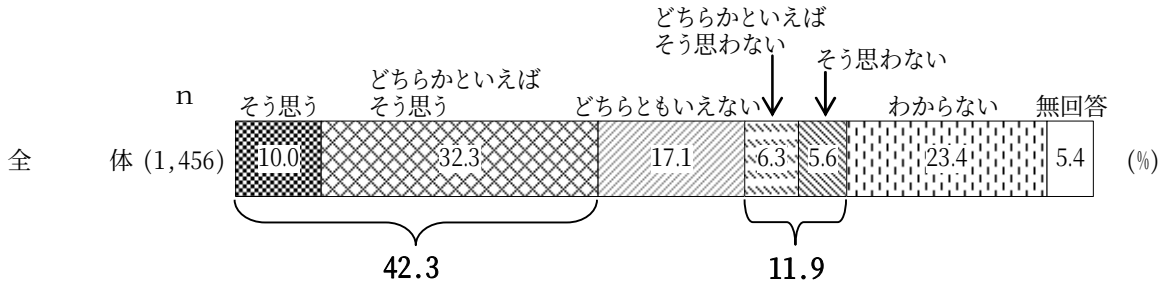
3　福祉について

（1）安心して子育てできる環境

◇『そう思う（計)』が４割を超える

問20　あなたは、自分が安心して子育てできる環境にあると思いますか。(○は１つ)

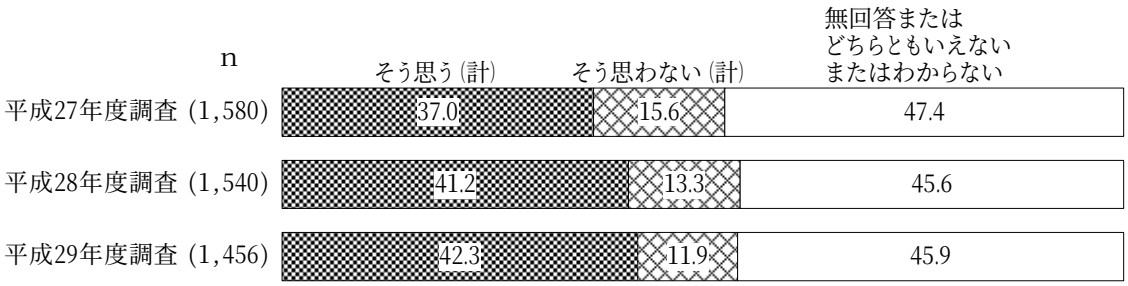
＜図表３－１＞安心して子育てできる環境



自分が安心して子育てできる環境にあると思うか聞いたところ、「そう思う」(10.0%）と「どちらかといえばそう思う」(32.3%）を合わせた『そう思う（計)』(42.3%）が４割を超えている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」(6.3%）と「そう思わない」(5.6%）を合わせた『そう思わない（計)』(11.9%）は１割を超えている。(図表３－１）

〔参考〕平成27年度・平成28年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



【地域別】

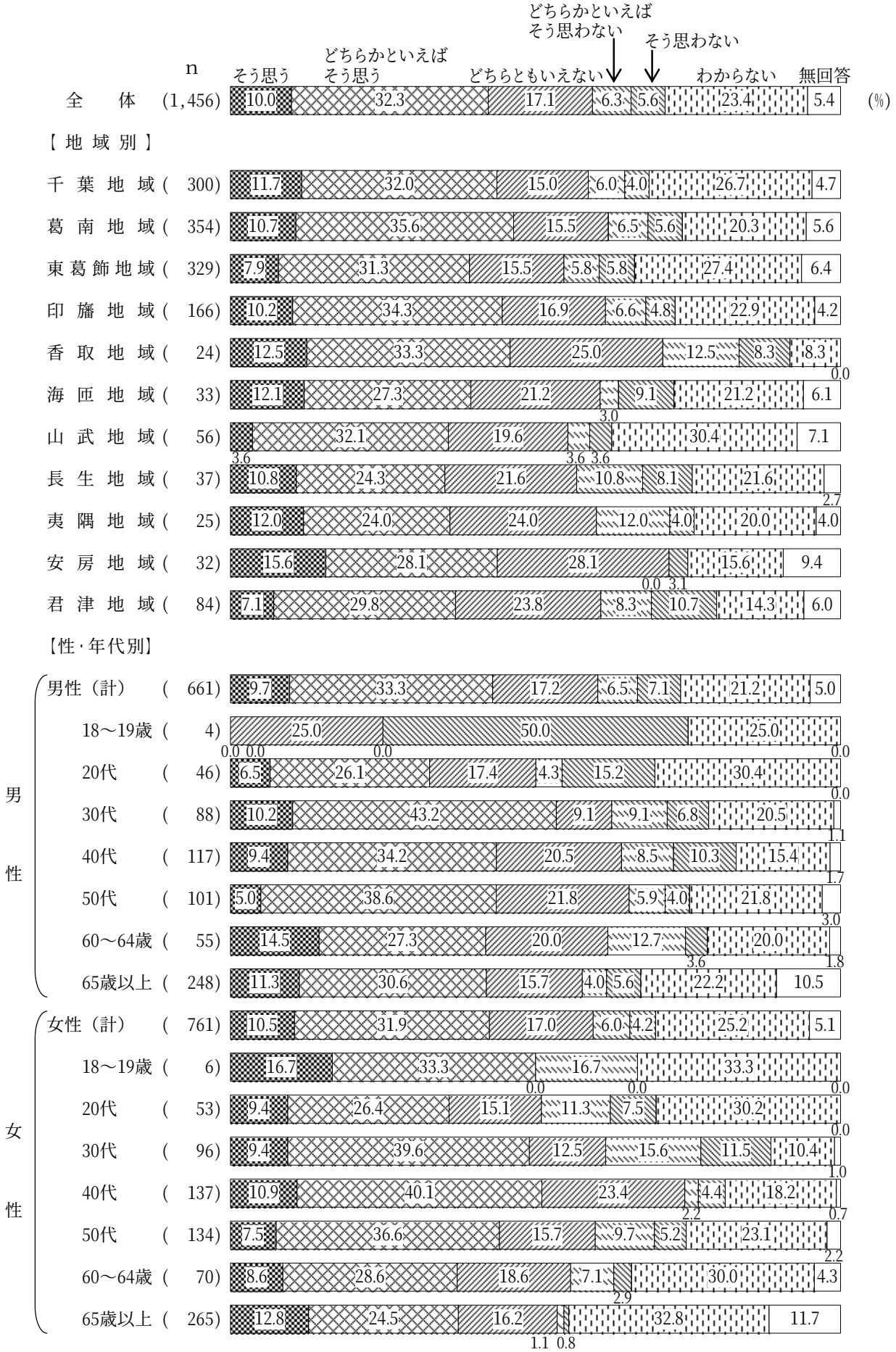
地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。(図表３－２）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う（計)』は男性の30代（53.4%）と女性の40代（51.0%）が５割を超えて高くなっている。

一方、『そう思わない（計)』は女性の30代（27.1%）が約３割で高くなっている。(図表３－２）

＜図表３－２＞安心して子育てできる環境／地域別、性・年代別



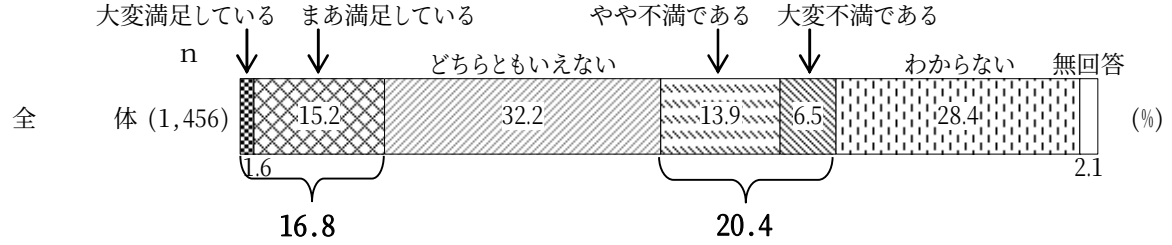
（２）お年寄りが安心して暮らせる高齢者施策について

◇『満足している（計)』が１割台半ば、『不満である（計)』が２割

問21　あなたは、お年寄りが安心して暮らせる高齢者施策についてどうお感じですか。

（○は１つ）

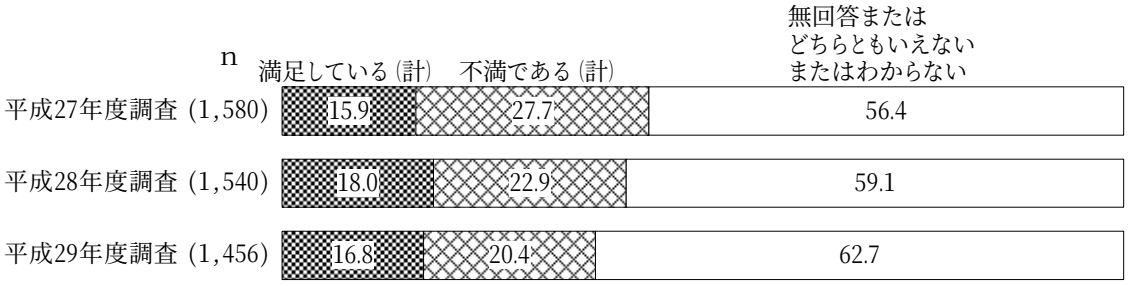
＜図表３－３＞お年寄りが安心して暮らせる高齢者施策について



お年寄りが安心して暮らせる高齢者施策について、その満足度を聞いたところ、「大変満足している」（1.6%）と「まあ満足している」（15.2%）を合わせた『満足している（計)』（16.8%）が１割台半ばとなっている。

一方、「やや不満である」（13.9%）と「大変不満である」（6.5%）を合わせた『不満である（計)』（20.4%）は２割となっている。（図表３－３）

〔参考〕平成27年度・平成28年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



【地域別】

地域別にみると、『満足している（計)』は“安房地域”（34.4%）が３割台半ばで高くなっている。（図表３－４）

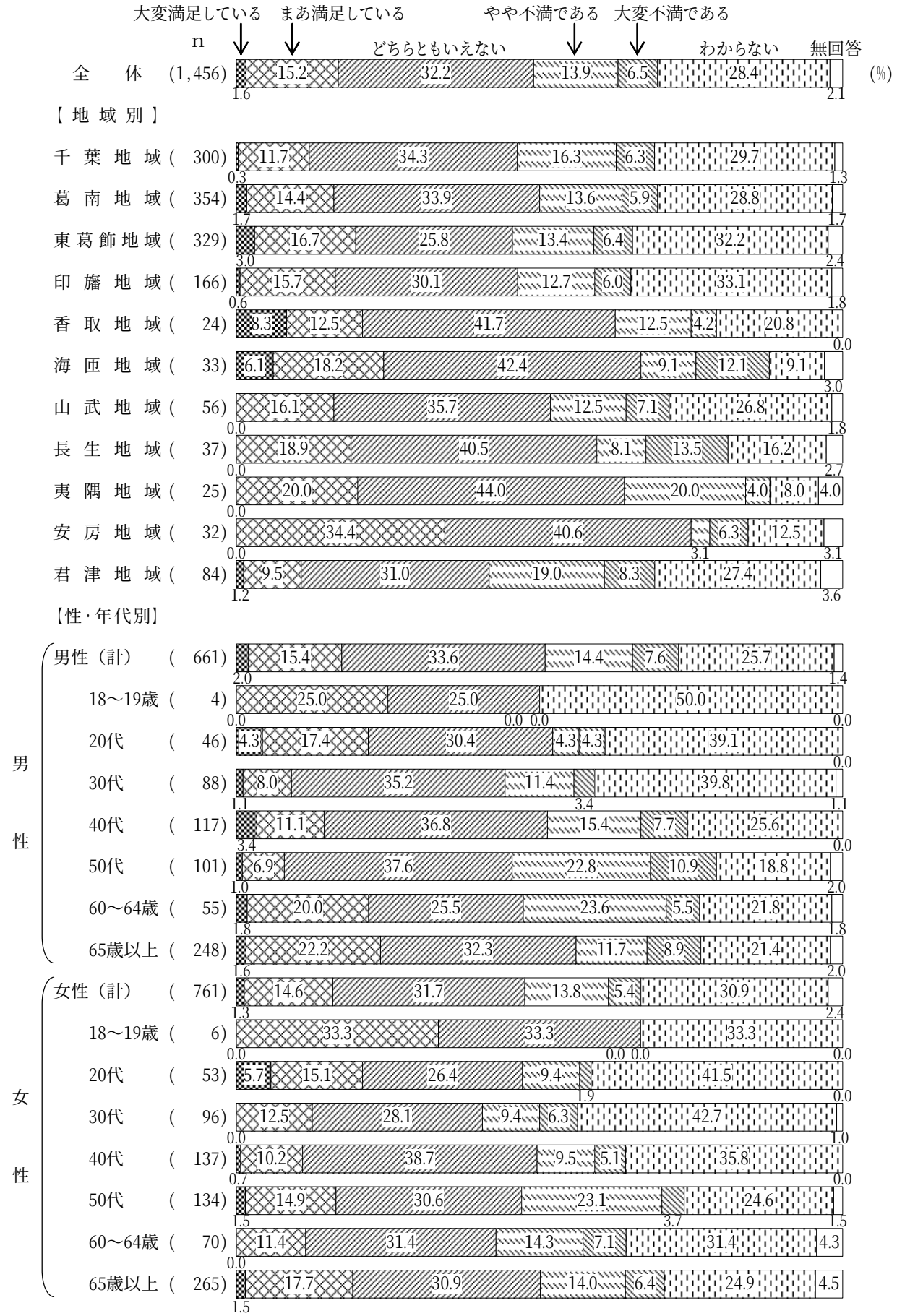
【性・年代別】

性・年代別にみると、『満足している（計)』は男性の65歳以上（23.8%）が２割台半ばで高くなっている。

一方、『不満である（計)』は男性の50代（33.7%）が３割台半ばで高くなっている。

（図表３－４）

＜図表３－４＞お年寄りが安心して暮らせる高齢者施策について／地域別、性・年代別

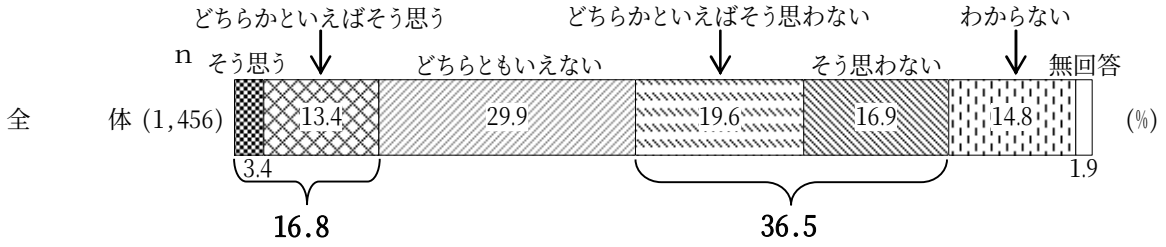


（３）安心して暮らせる地域社会づくりについて

◇『そう思う（計)』が１割台半ば

問22　近年、少子高齢化の進行や一人暮らし世帯・核家族世帯の増加等を背景に家庭内や地域の支え合いの力が弱まっていると言われています。あなたは、地域住民が互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会づくりが進められていると思いますか。（○は１つ）

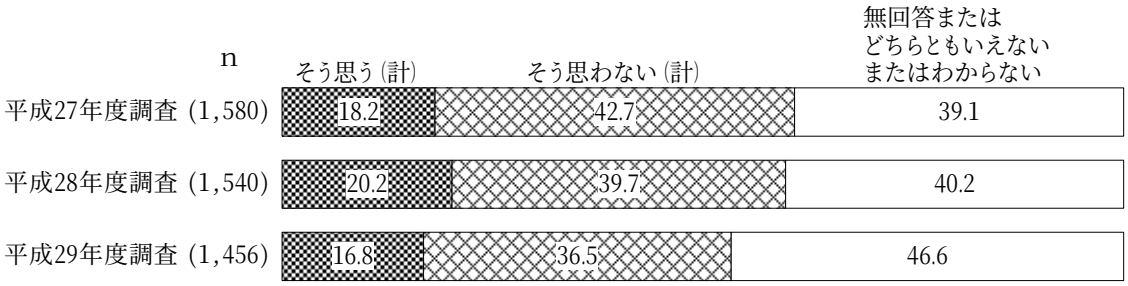
＜図表３－５＞安心して暮らせる地域社会づくりについて



地域住民が互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会づくりが進められていると思うか聞いたところ、「そう思う」（3.4%）と「どちらかといえばそう思う」（13.4%）を合わせた『そう思う（計)』（16.8%）が１割台半ばとなっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」（19.6%）と「そう思わない」（16.9%）を合わせた『そう思わない（計)』（36.5%）は３割台半ばとなっている。（図表３－５）

〔参考〕平成27年度・平成28年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



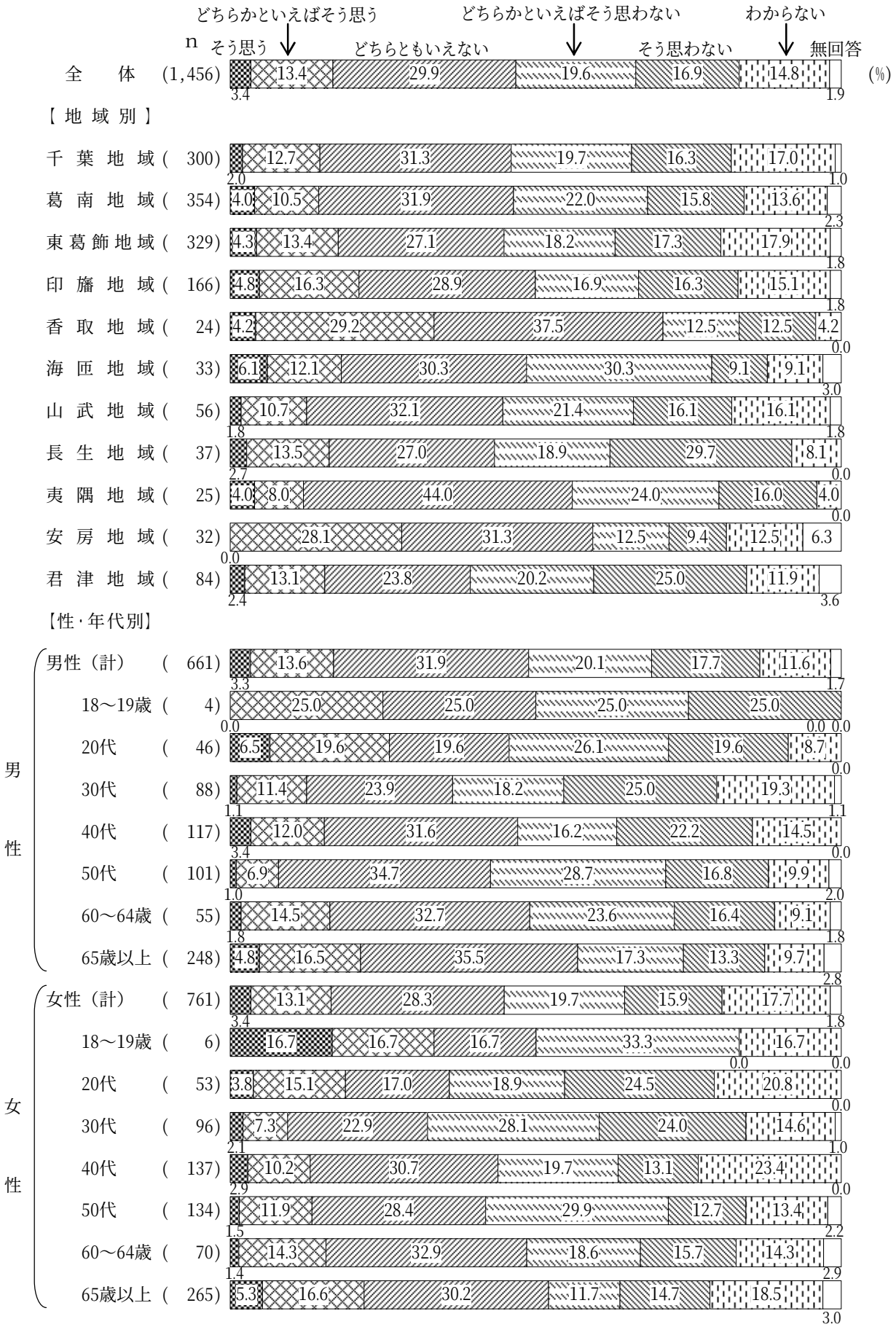
【地域別】

地域別にみると、『そう思う（計)』は“香取地域”（33.4%）が３割を超えて高くなっている。（図表３－６）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思わない（計)』は女性の30代（52.1%）が５割を超えて高くなっている。（図表３－６）

＜図表３－６＞安心して暮らせる地域社会づくりについて／地域別、性・年代別



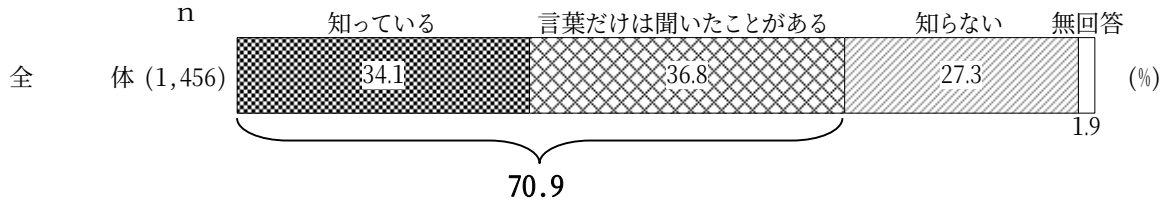
（４）「共生社会」の認知度

◇「知っている」が３割台半ば

問23　あなたは、障害のある・なしにかかわらず、誰もが社会の一員としてお互いを尊重し、支え合って暮らすことを目指す「共生社会」という考え方を知っていますか。（○は１つ）

※　「共生社会」とは、具体的には、人々の生活や心において「障害者」という区切りのない社会です。

＜図表３－７＞「共生社会」の認知度



「共生社会」という考え方を知っているか聞いたところ、「知っている」（34.1%）が３割台半ばとなっており、これと「言葉だけは聞いたことがある」（36.8%）を合わせた『聞いたことがある（計）』（70.9%）は７割となっている。

一方、「知らない」（27.3%）は約３割となっている。（図表３－７）

【地域別】

地域別にみると、「知っている」は“夷隅地域”（52.0%）が５割を超えて高くなっている。

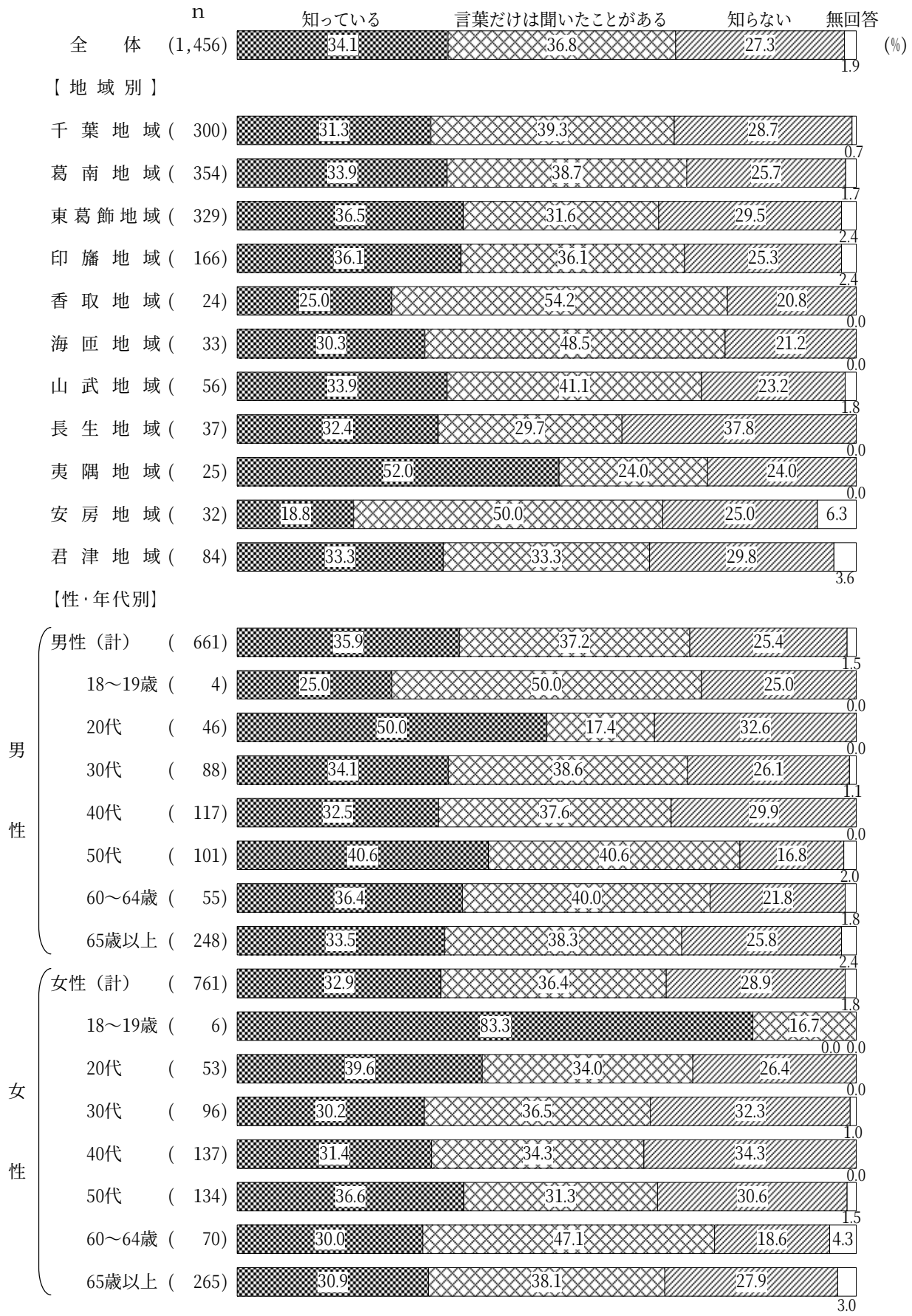
（図表３－８）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「知っている」は男性の20代（50.0%）が５割で高くなっている。

（図表３－８）

＜図表３－８＞「共生社会」の認知度／地域別、性・年代別



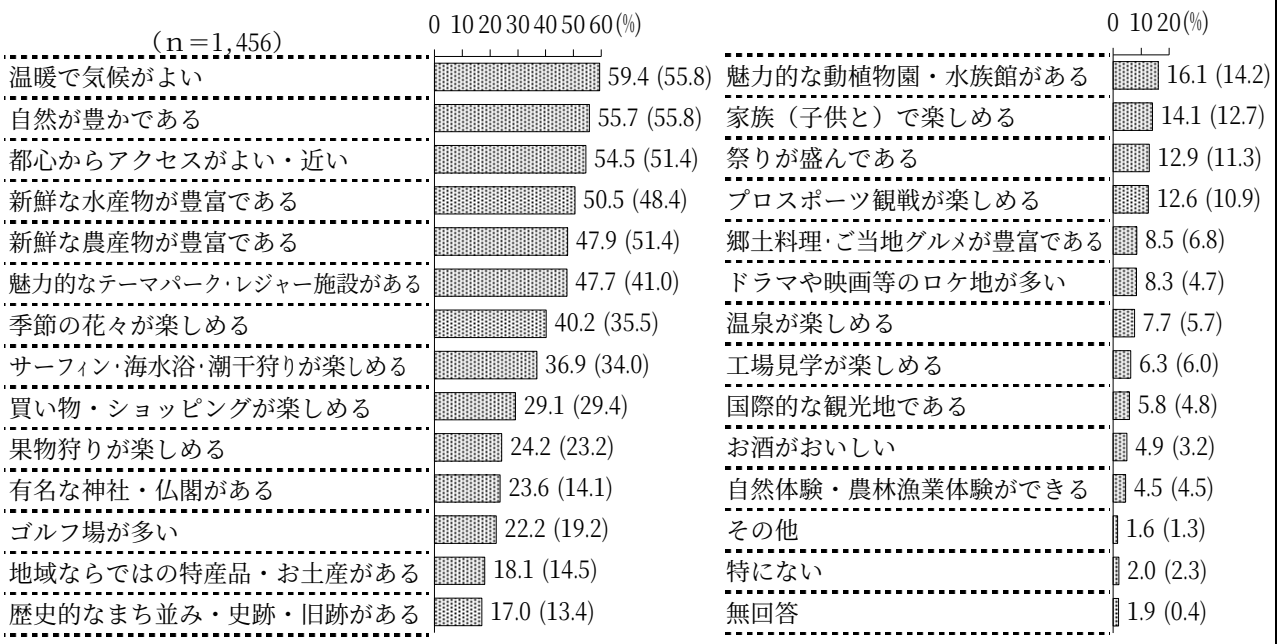
４　観光について

（１）千葉県の魅力

◇「温暖で気候がよい」が約６割

問24　千葉県の魅力は、次のどれだと思いますか。（○はいくつでも）

＜図表４－１＞千葉県の魅力（複数回答）



注）（　）の数字は平成28年度の同様の項目による調査結果　ｎ＝1,540

千葉県の魅力は何だと思うか聞いたところ、「温暖で気候がよい」（59.4%）が約６割で最も高く、以下、「自然が豊かである」（55.7%）、「都心からアクセスがよい・近い」（54.5%）、「新鮮な水産物が豊富である」（50.5%）、「新鮮な農産物が豊富である」（47.9%）が続く。（図表４－１）

【地域別】

地域別にみると、「温暖で気候がよい」は“長生地域”（86.5%）が８割台半ば、“山武地域”（80.4%）が８割で高くなっている。

「自然が豊かである」は“安房地域”（78.1%）が約８割、“海匝地域”（72.7%）が７割を超えて高くなっている。

「都心からアクセスがよい・近い」は“葛南地域”（65.3%）が６割台半ばで高くなっている。

「新鮮な水産物が豊富である」は“安房地域”（71.9%）が７割を超えて高くなっている。

「新鮮な農産物が豊富である」は“海匝地域”（78.8%）が約８割で高くなっている。（図表４－２）

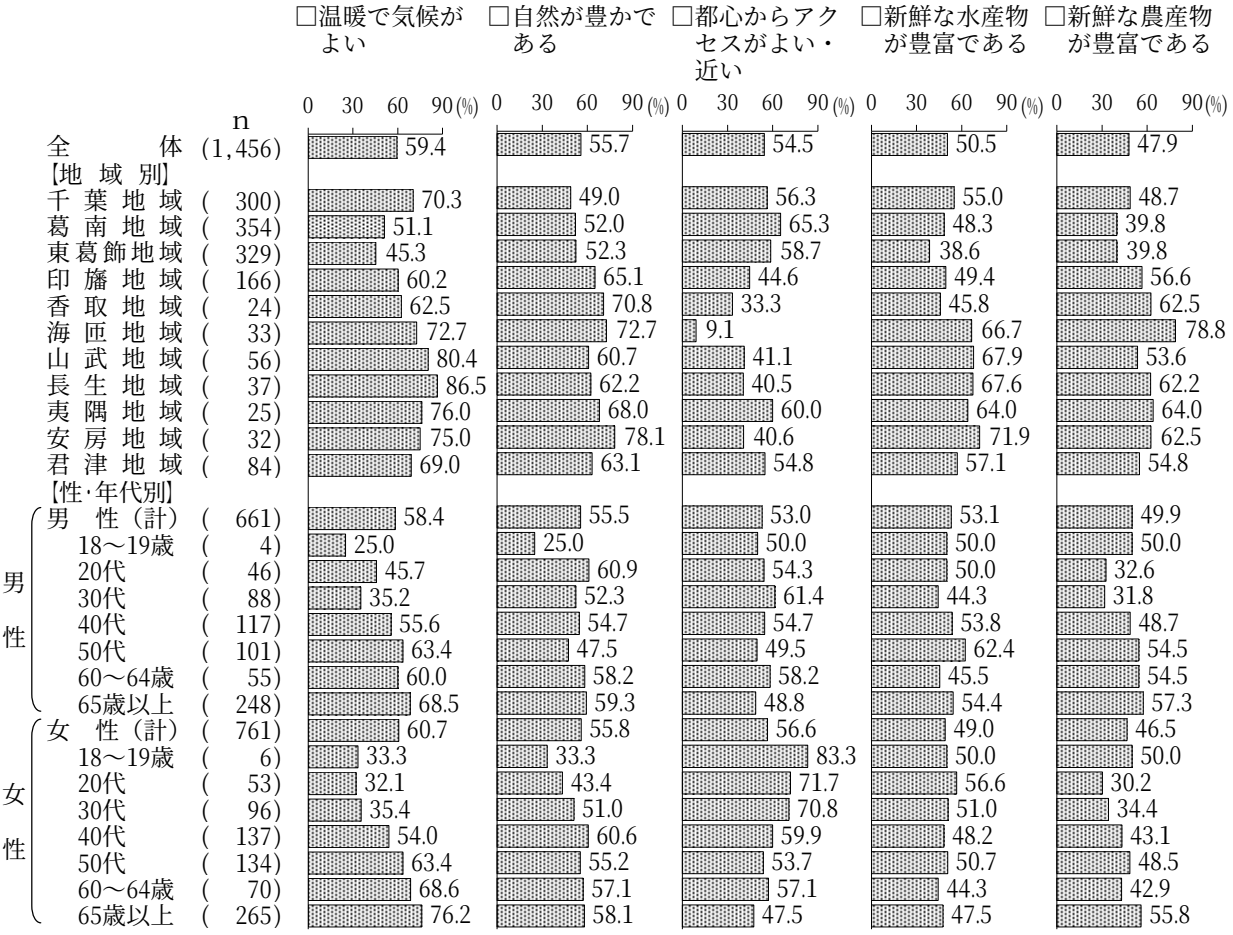
【性・年代別】

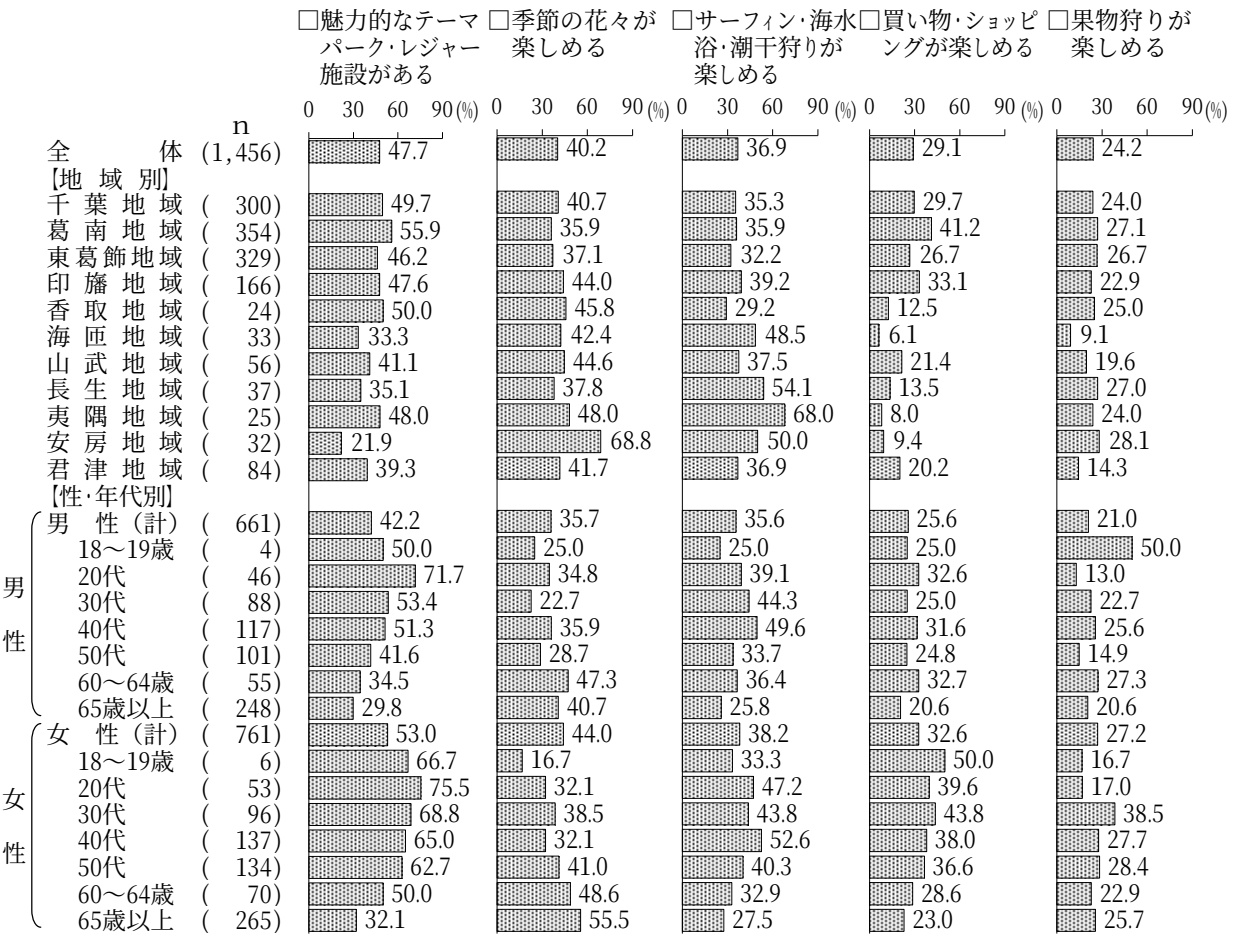
性・年代別にみると、「温暖で気候がよい」は女性の65歳以上（76.2%）が７割台半ばで高くなっている。

「都心からアクセスがよい・近い」は女性の20代（71.7%）が７割を超え、女性の30代（70.8%）が７割で高くなっている。

「魅力的なテーマパーク・レジャー施設がある」は女性の20代（75.5%）が７割台半ば、男性の20代（71.7%）が７割を超えて高くなっている。（図表４－２）

＜図表４－２＞千葉県の魅力（複数回答）／地域別、性・年代別（上位10項目）





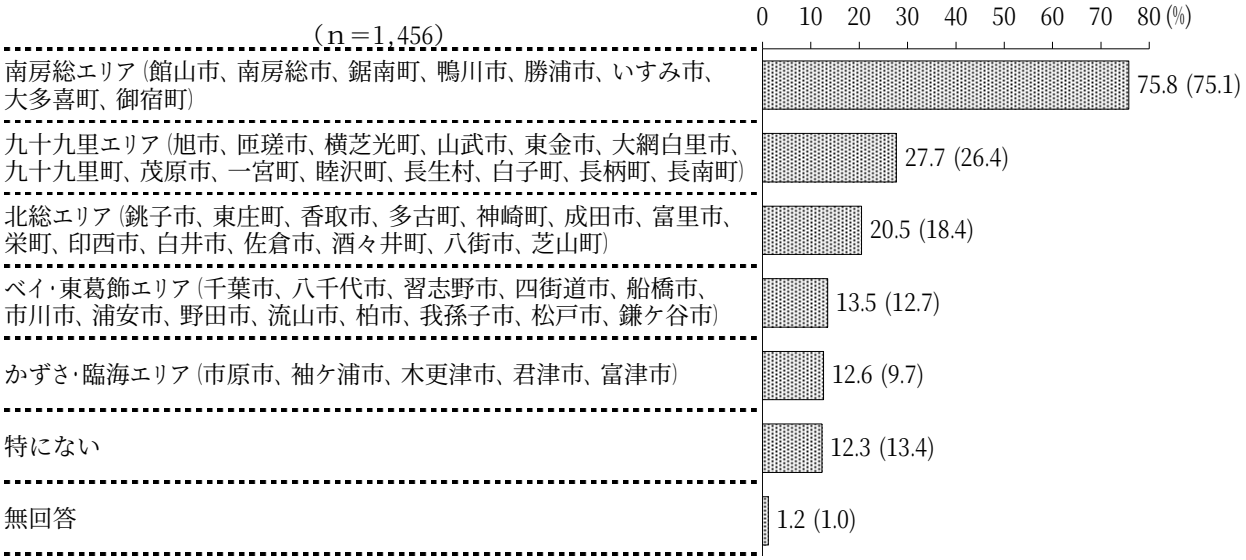
（２）県内で旅行に行きたいエリア

◇「南房総エリア」が７割台半ば

問25　あなたは、これから千葉県内を旅行するとしたら、どのエリアに行きたいですか。

（○はいくつでも）

＜図表４－３＞県内で旅行に行きたいエリア（複数回答）



注）（　）の数字は平成28年度の同様の項目による調査結果　ｎ＝1,540

県内で旅行に行きたいエリアはどこか聞いたところ、「南房総エリア」（75.8%）が７割台半ばで最も高く、以下、「九十九里エリア」（27.7%）、「北総エリア」（20.5%）、「ベイ・東葛飾エリア」（13.5%）、「かずさ・臨海エリア」（12.6%）が続く。（図表４－３）

【地域別】

地域別にみると、「北総エリア」は“安房地域”（43.8%）が４割台半ばで高くなっている。

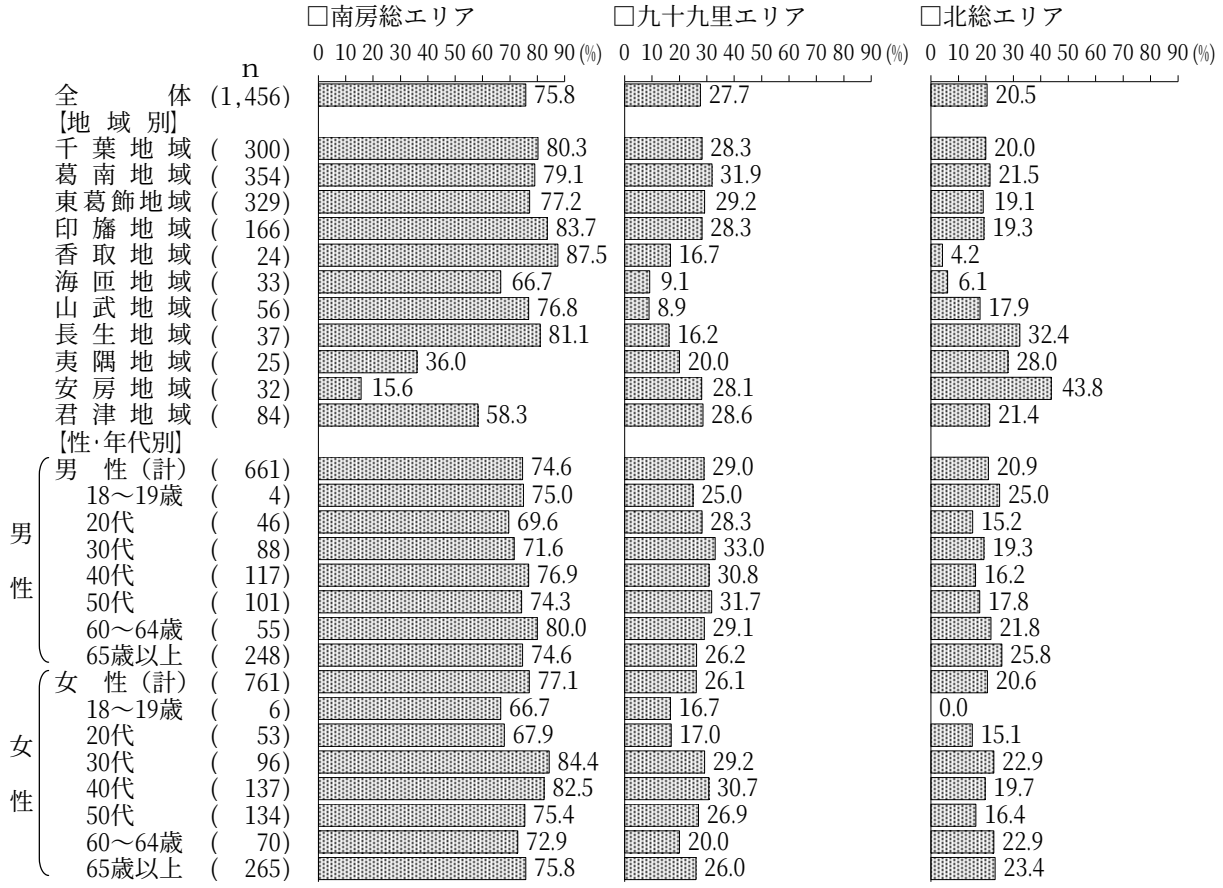
「ベイ・東葛飾エリア」は“夷隅地域”（32.0%）が３割を超えて高くなっている。（図表４－４）

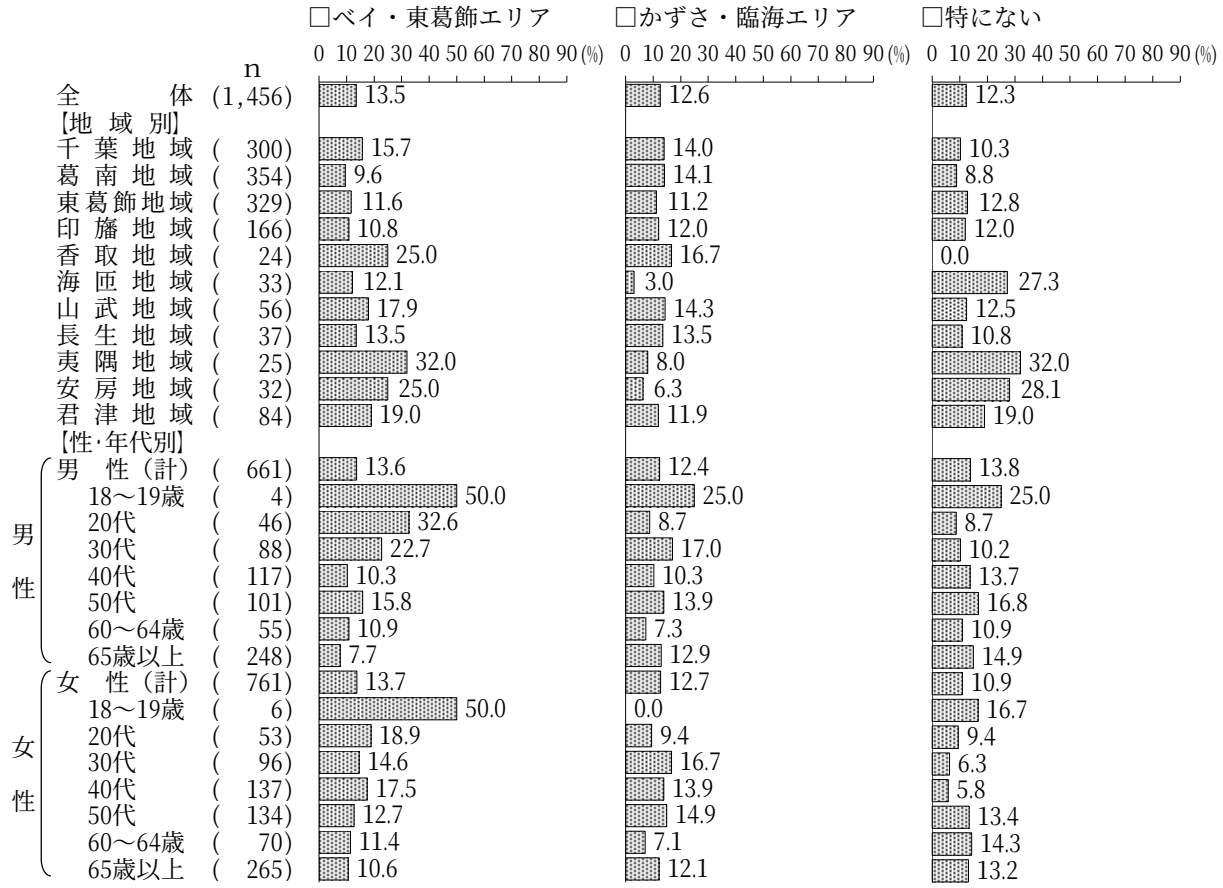
【性・年代別】

性・年代別にみると、「南房総エリア」は女性の30代（84.4%）が８割台半ばで高くなっている。

「ベイ・東葛飾エリア」は男性の20代（32.6%）が３割を超えて高くなっている。（図表４－４）

＜図表４－４＞県内で旅行に行きたいエリア（複数回答）／地域別、性・年代別



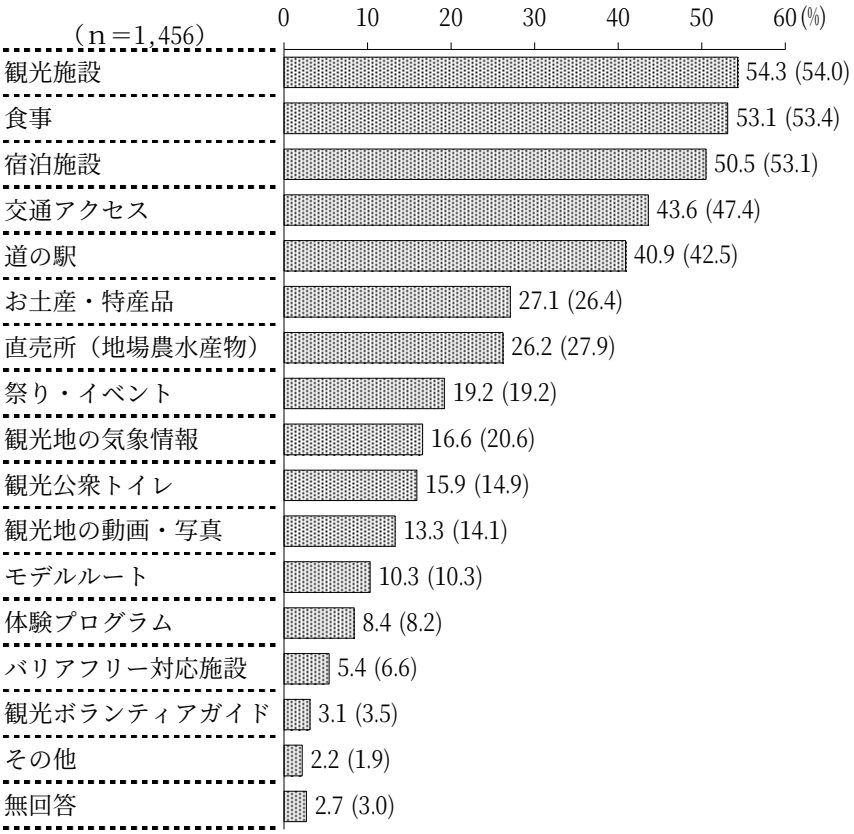


（３）県内を観光する際に事前に知りたい情報

◇「観光施設」が５割台半ば

問26　千葉県内を観光する際に、事前にどのような情報がほしいですか。（○はいくつでも）

＜図表４－５＞県内を観光する際に事前に知りたい情報（複数回答）



注）（　）の数字は平成28年度の同様の項目による調査結果　ｎ＝1,540

県内を観光する際に事前に知りたい情報は何か聞いたところ、「観光施設」（54.3%）が５割台半ばで最も高く、以下、「食事」（53.1%）、「宿泊施設」（50.5%）、「交通アクセス」（43.6%）、「道の駅」（40.9%）が続く。（図表４－５）

【地域別】

地域別にみると、「観光施設」は“香取地域”（75.0%）が７割台半ばで高くなっている。

「宿泊施設」は“東葛飾地域”（60.5%）が６割で高くなっている。

「交通アクセス」は“安房地域”（62.5%）が６割を超えて高くなっている。（図表４－６）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「観光施設」は女性の20代（71.7%）が７割を超えて高くなっている。

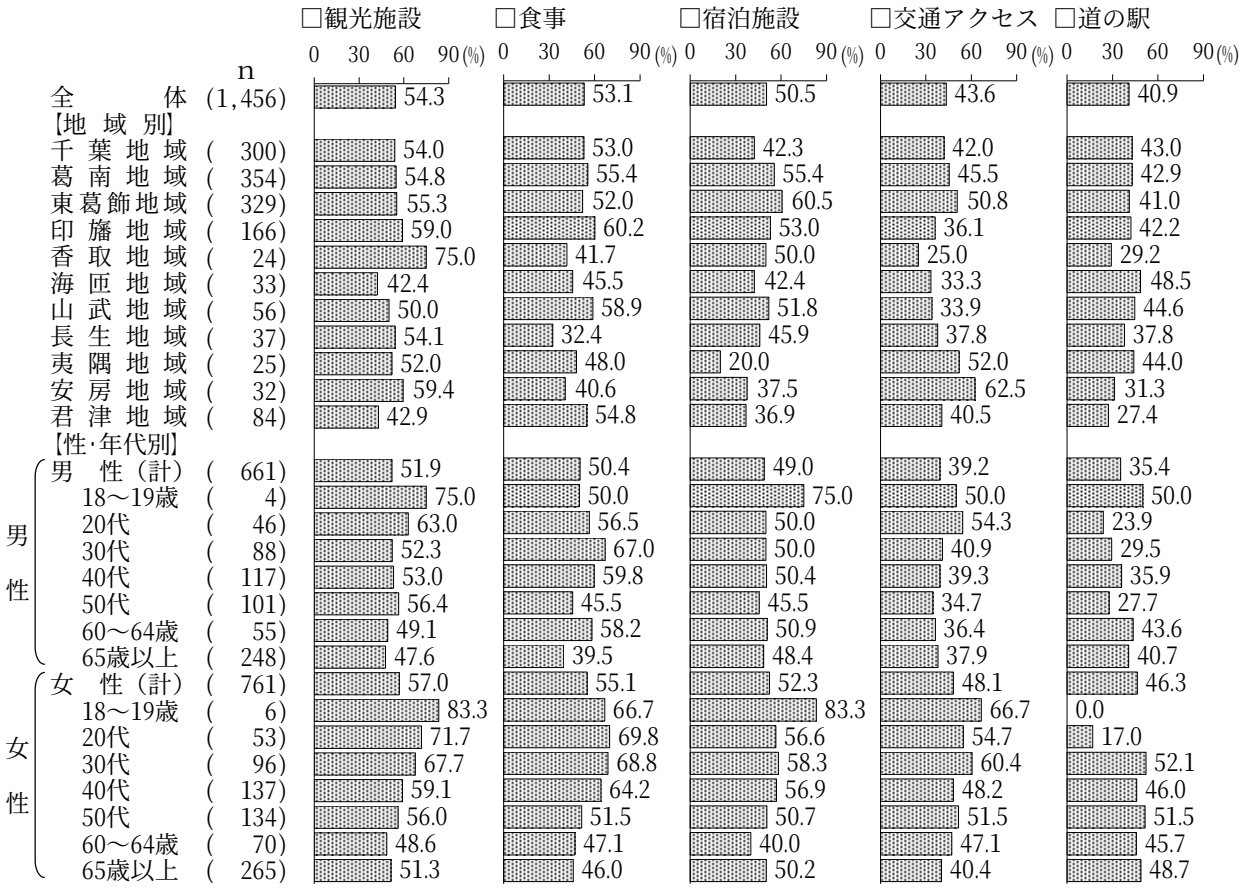
「食事」は男性の30代（67.0%）と女性の20代（69.8%）、30代（68.8%）が約７割で高くなっている。

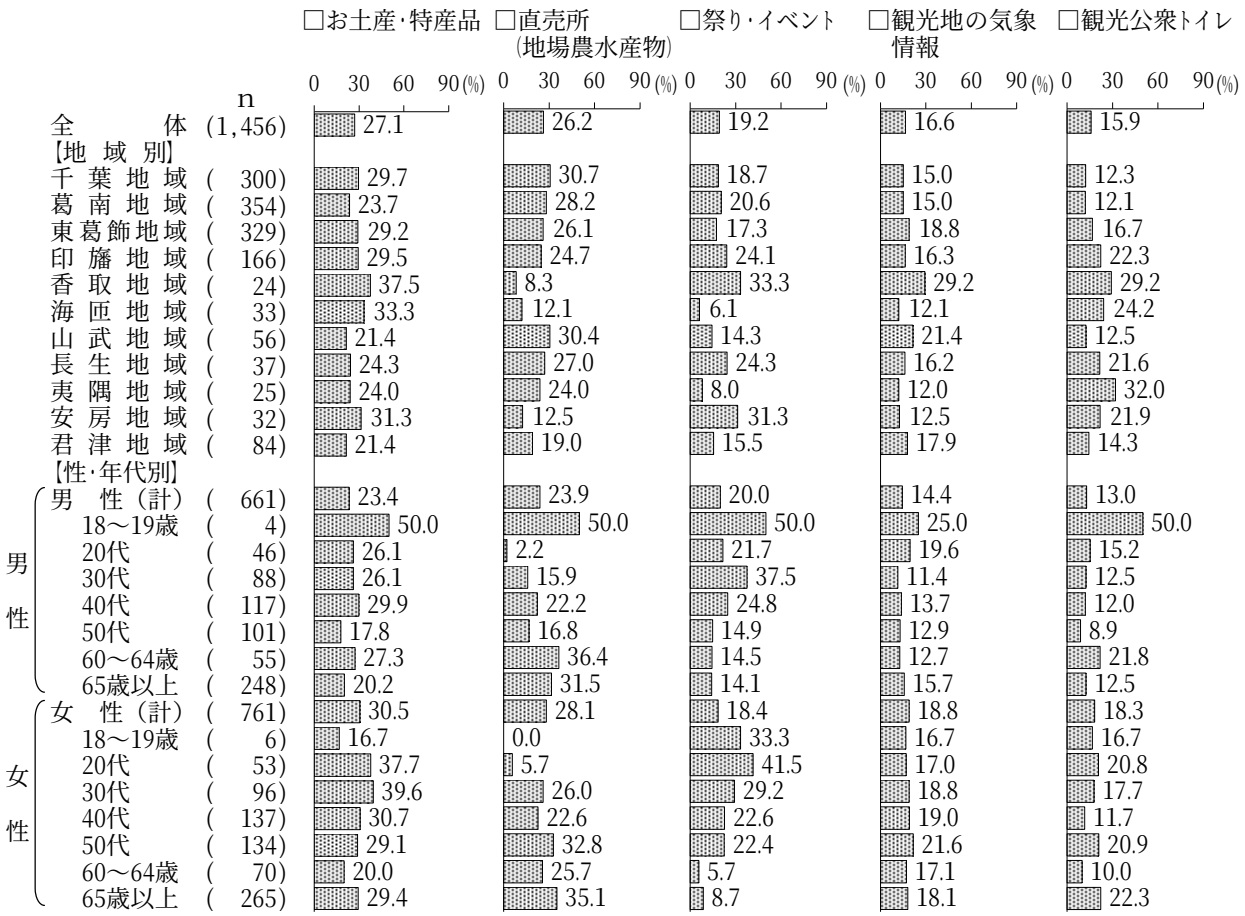
「交通アクセス」は女性の30代（60.4%）が６割で高くなっている。

「お土産・特産品」は女性の20代（37.7%）、30代（39.6%）が約４割で高くなっている。

「祭り・イベント」は女性の20代（41.5%）が４割を超え、男性の30代（37.5%）が約４割で高くなっている。（図表４－６）

＜図表４－６＞県内を観光する際に事前に知りたい情報（複数回答）／地域別、性・年代別（上位10項目）





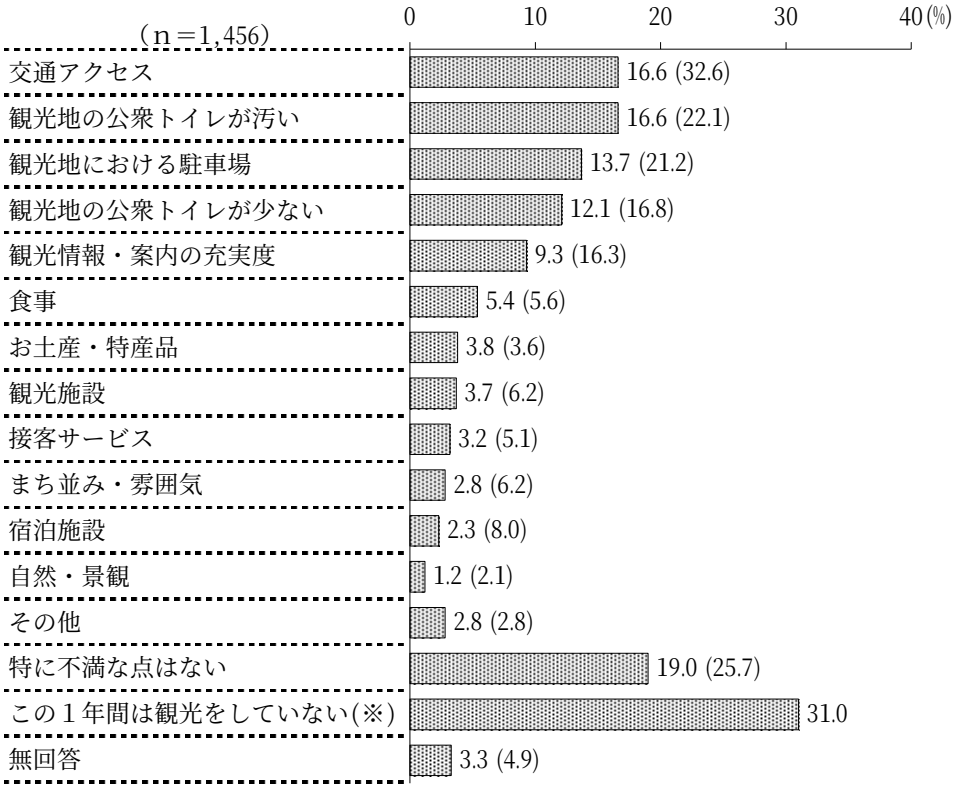
（４）この１年間に県内を観光した際の不満

◇「交通アクセス」と「観光地の公衆トイレが汚い」が１割台半ば

問27　この１年間で千葉県内を観光した際に、不満に感じた点を教えてください。

（○はいくつでも）

＜図表４－７＞この１年間に県内を観光した際の不満（複数回答）



注）（　）の数字は平成28年度調査の「千葉県内を観光する際に、不満な点を教えてください。（複数回答）」の結果を示す（ｎ＝1,540）。

（※）平成28年度調査では、「この１年間は観光をしていない」の選択肢は設けていない。

この１年間で県内を観光した際に不満に感じたことを聞いたところ、「交通アクセス」（16.6%）と「観光地の公衆トイレが汚い」（16.6%）が１割台半ばで最も高く、以下、「観光地における駐車場」（13.7%）、「観光地の公衆トイレが少ない」（12.1%）が続く。（図表４－７）

【地域別】

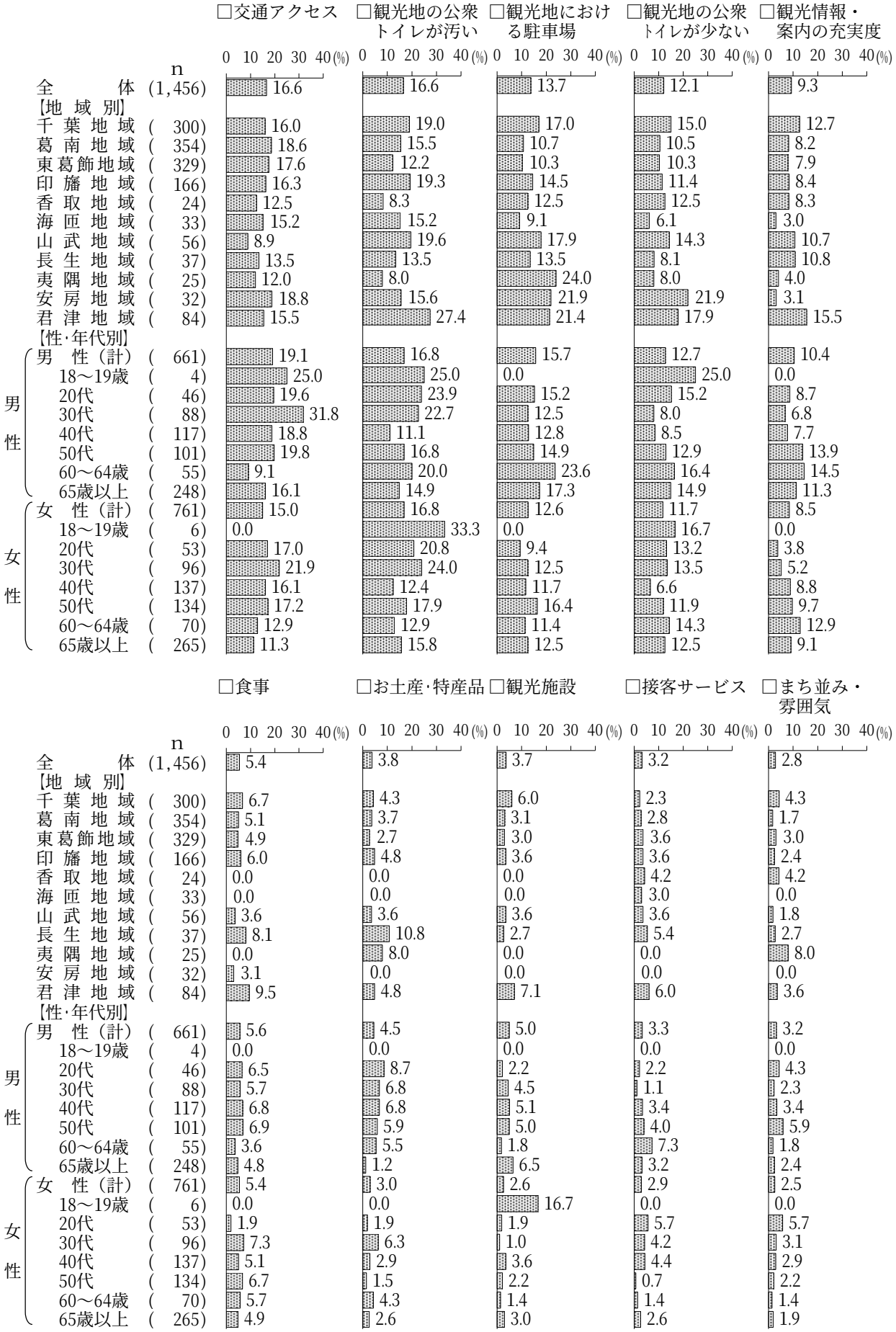
地域別にみると、「観光地の公衆トイレが汚い」は“君津地域”（27.4%）が約３割で高くなっている。（図表４－８）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「交通アクセス」は男性の30代（31.8%）が３割を超えて高くなっている。「観光地における駐車場」は男性の60～64歳（23.6%）が２割台半ばで高くなっている。

（図表４－８）

＜図表４－８＞この１年間に県内を観光した際の不満（複数回答）／地域別、性・年代別（上位10項目）

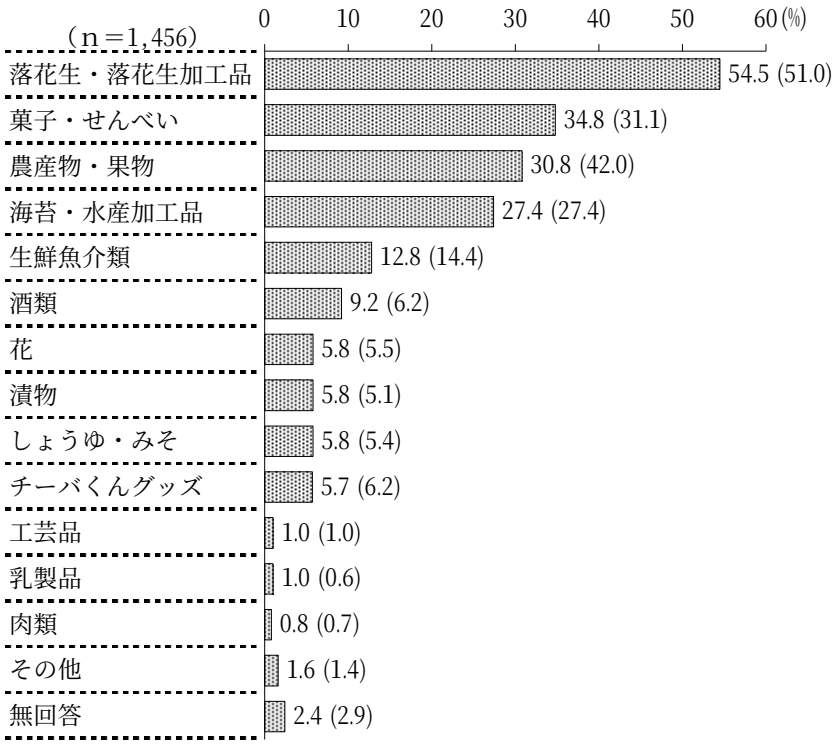


（５）県産品をお土産や贈答品として使う場合、贈るもの

◇「落花生・落花生加工品」が５割台半ば

問28　あなたは県産品をお土産や贈答品として使う場合、何を贈りますか。（○は３つまで）

＜図表４－９＞県産品をお土産や贈答品として使う場合、贈るもの（３つまでの複数回答）



注）（　）の数字は平成28年度の同様の項目による調査結果　ｎ＝1,540

県産品をお土産や贈答品として使う場合、何を贈るか３つまで選んでもらったところ、「落花生・落花生加工品」（54.5%）が５割台半ばで最も高く、以下、「菓子・せんべい」（34.8%）、「農産物・果物」（30.8%）、「海苔・水産加工品」（27.4%）、「生鮮魚介類」（12.8%）が続く。

（図表４－９）

【地域別】

地域別にみると、「農産物・果物」は“安房地域”（46.9%）が４割台半ばで高くなっている。

「海苔・水産加工品」は“君津地域”（63.1%）が６割を超え、“安房地域”（50.0%）が５割で高くなっている。

「生鮮魚介類」は“海匝地域”（27.3%）が約３割で高くなっている。

「花」は“安房地域”（34.4%）が３割台半ばで高くなっている。（図表４－10）

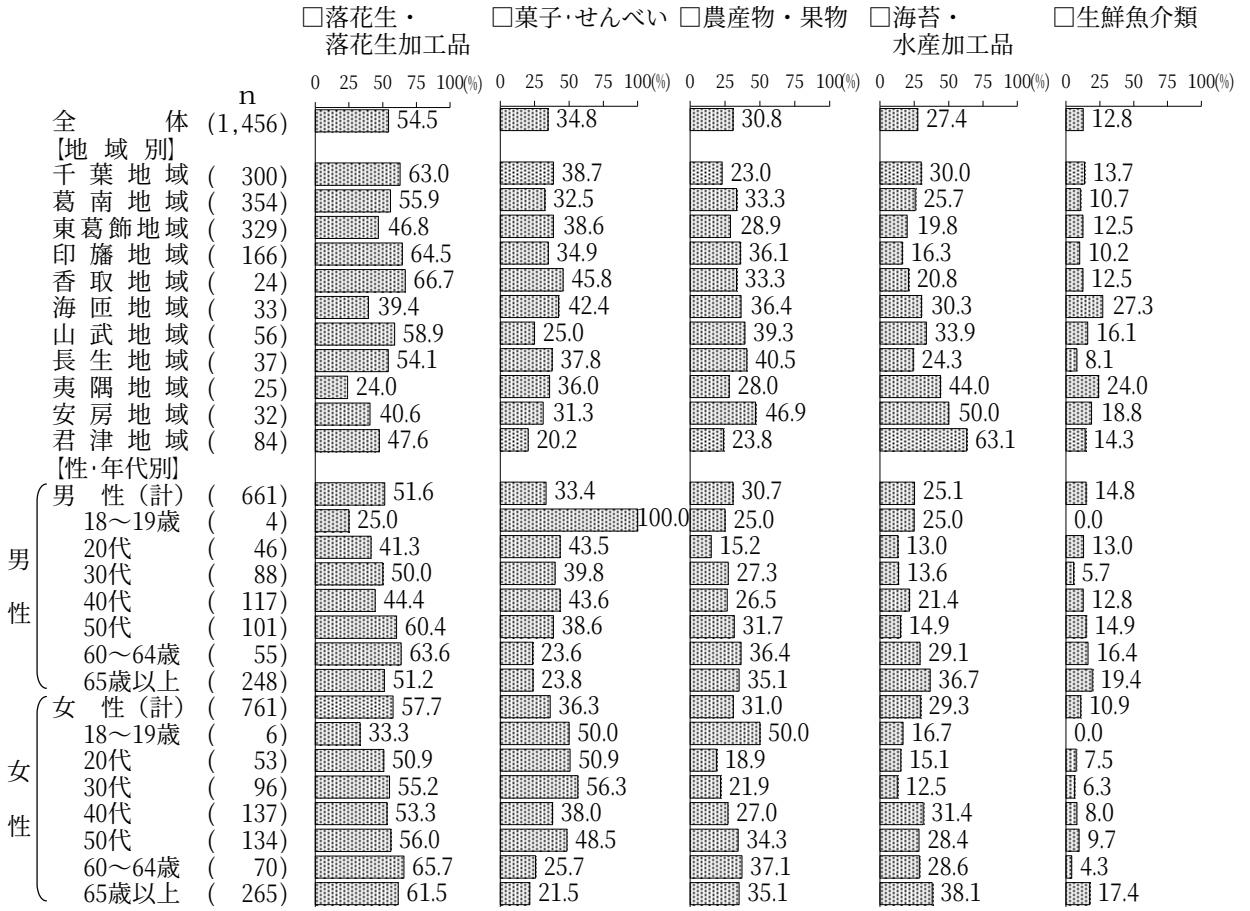
【性・年代別】

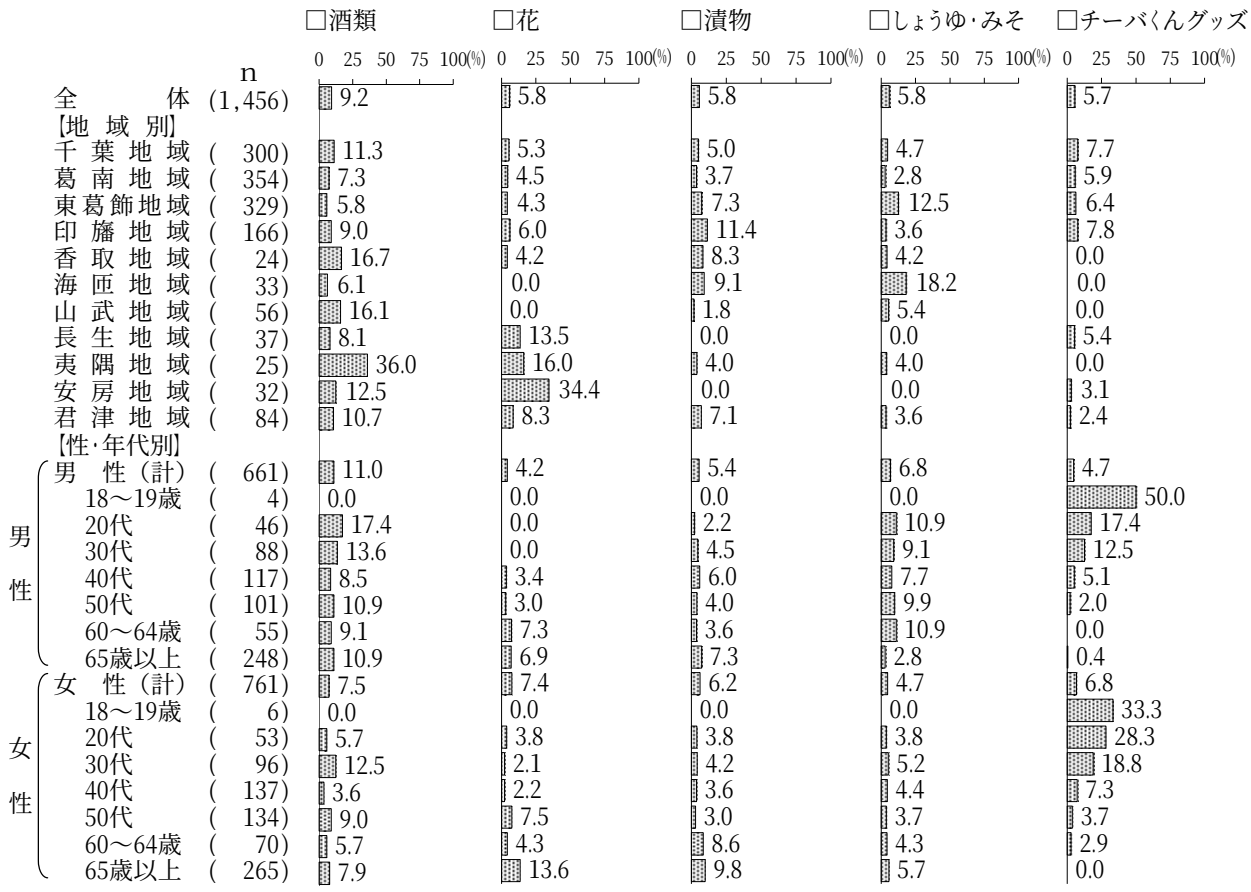
性･年代別にみると、「菓子･せんべい」は女性の30代（56.3%）が５割台半ば、女性の20代（50.9%）が５割で高くなっている。

「海苔・水産加工品」は女性の65歳以上（38.1%）が約４割、男性の65歳以上（36.7%）が３割台半ばで高くなっている。

「チーバくんグッズ」は女性の20代（28.3%）が約３割で高くなっている。（図表４－10）

＜図表４－10＞県産品をお土産や贈答品として使う場合、贈るもの（３つまでの複数回答）
／地域別、性・年代別（上位10項目）





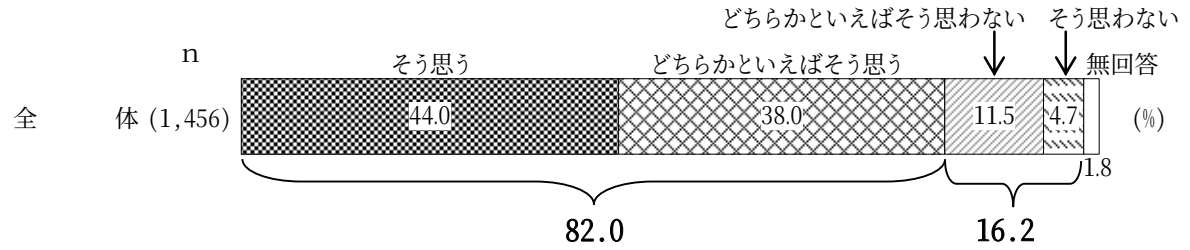
5　千葉県の農林水産物について

（1）千葉県産農林水産物の購入意向

◇『そう思う（計)』が８割を超える

問29　あなたは、千葉県産農林水産物を購入したいと思いますか。（○は１つ）

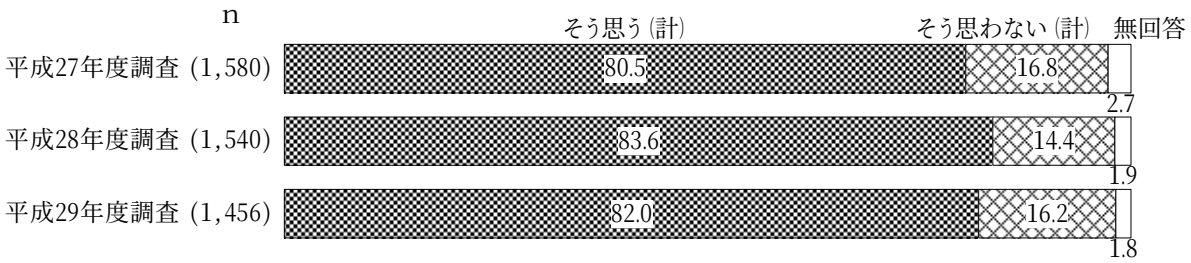
＜図表５－１＞千葉県産農林水産物の購入意向



千葉県産農林水産物を購入したいと思うか聞いたところ、「そう思う」（44.0%）と「どちらかといえばそう思う」（38.0%）を合わせた『そう思う（計)』（82.0%）が８割を超えて高くなっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」（11.5%）と「そう思わない」（4.7%）を合わせた『そう思わない（計)』（16.2%）は１割台半ばとなっている。（図表５－１）

〔参考〕平成27年度・平成28年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



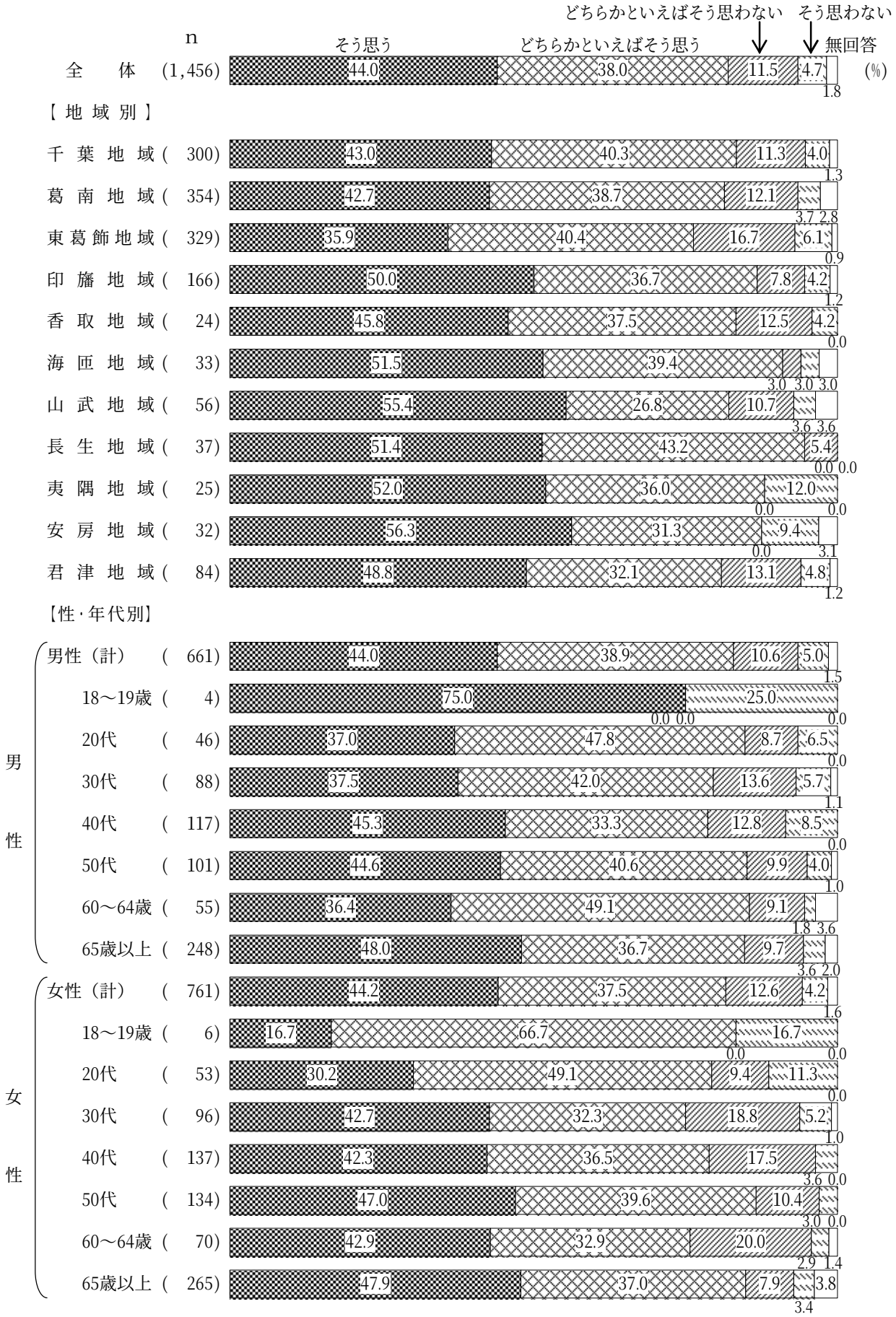
【地域別】

地域別にみると、『そう思う（計)』は“長生地域”（94.6%）が９割台半ばで高くなっている。（図表５－２）

【性・年代別】

性・年代別にみると、大きな傾向の違いはみられない。（図表５－２）

＜図表５－２＞千葉県産農林水産物の購入意向／地域別、性・年代別

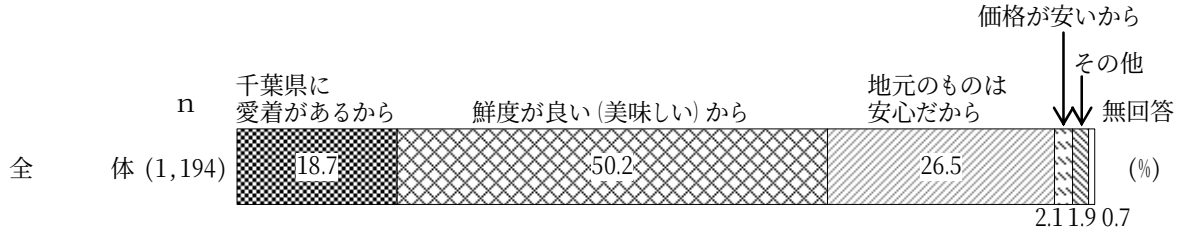


（１－１）千葉県産農林水産物を購入したいと思う理由

◇「鮮度が良い（美味しい）から」が５割

（問29で「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」のいずれかをお答えの方に）
問29－１　その主な理由は何ですか。（○は１つ）

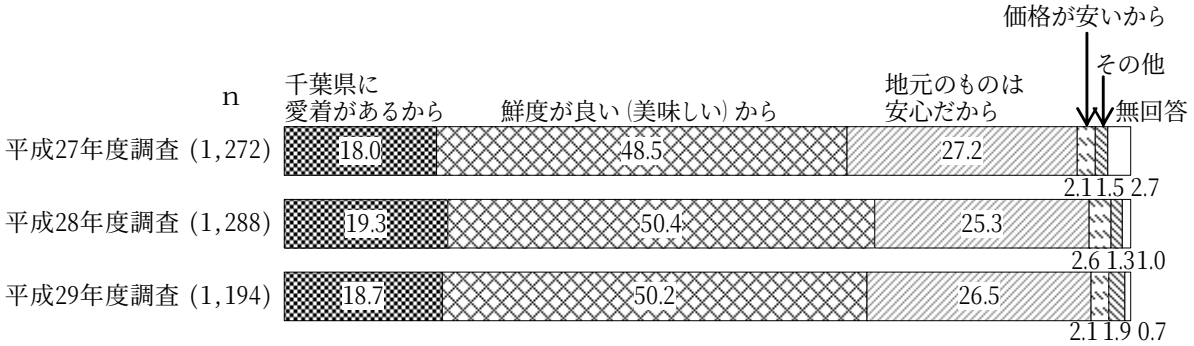
＜図表５－３＞千葉県産農林水産物を購入したいと思う理由



千葉県産農林水産物を購入したいと回答した1,194人を対象に、その主な理由を聞いたところ、「鮮度が良い（美味しい）から」（50.2%）が５割で最も高く、以下、「地元のものは安心だから」（26.5%）、「千葉県に愛着があるから」（18.7%）、「価格が安いから」（2.1%）が続く。

（図表５－３）

〔参考〕平成27年度・平成28年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



【地域別】

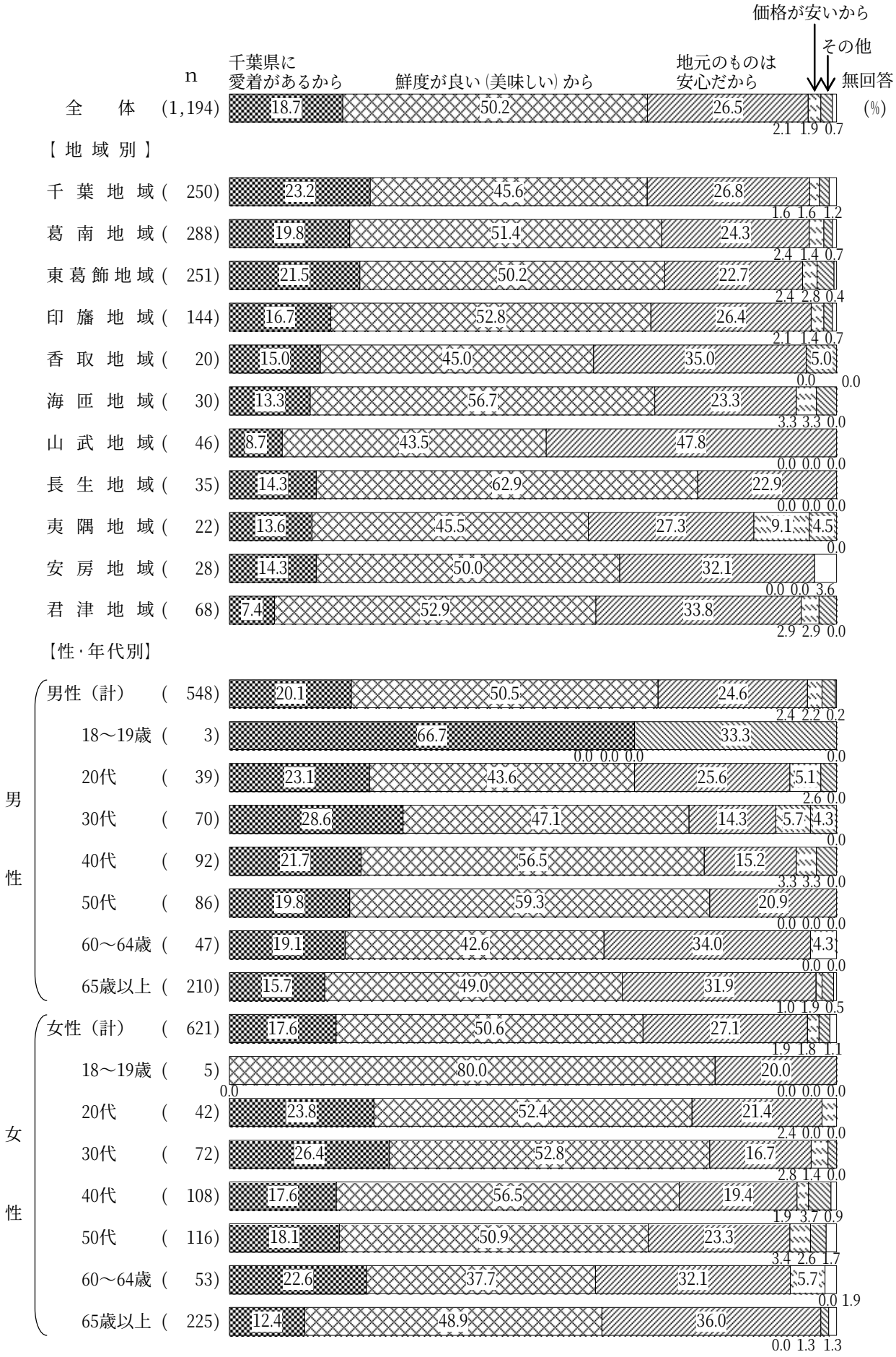
地域別にみると、「地元のものは安心だから」は“山武地域”（47.8%）が約５割で高くなっている。（図表５－４）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「地元のものは安心だから」は男性の60～64歳（34.0%）と女性の65歳以上（36.0%）が３割台半ばで高くなっている。

「千葉県に愛着があるから」は男性の30代（28.6%）が約３割で高くなっている。（図表５－４）

＜図表５－４＞千葉県産農林水産物を購入したいと思う理由／地域別、性・年代別

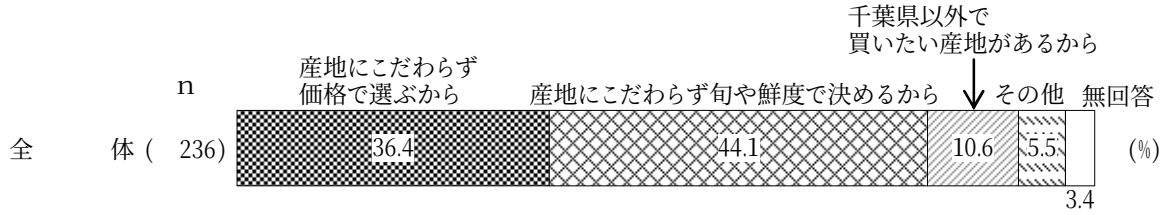


（１－２）千葉県産農林水産物を購入したいと思わない理由

◇「産地にこだわらず旬や鮮度で決めるから」が４割台半ば

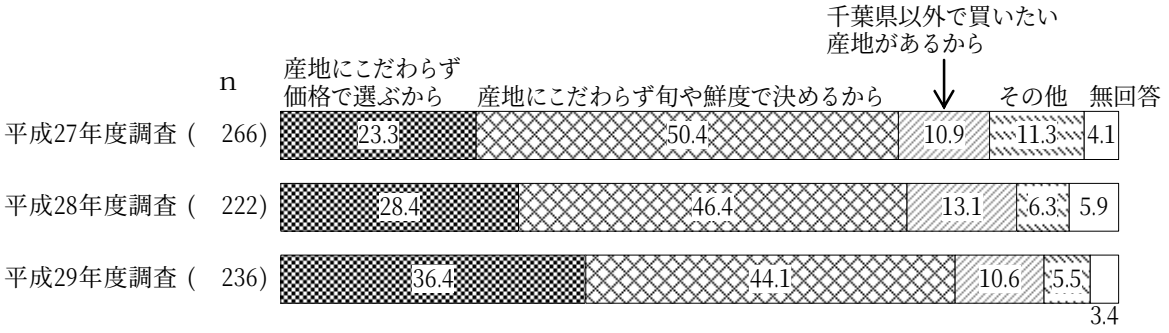
（問29で「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」のいずれかをお答えの方に）
問29－２　その主な理由は何ですか。（○は１つ）

＜図表５－５＞千葉県産農林水産物を購入したいと思わない理由



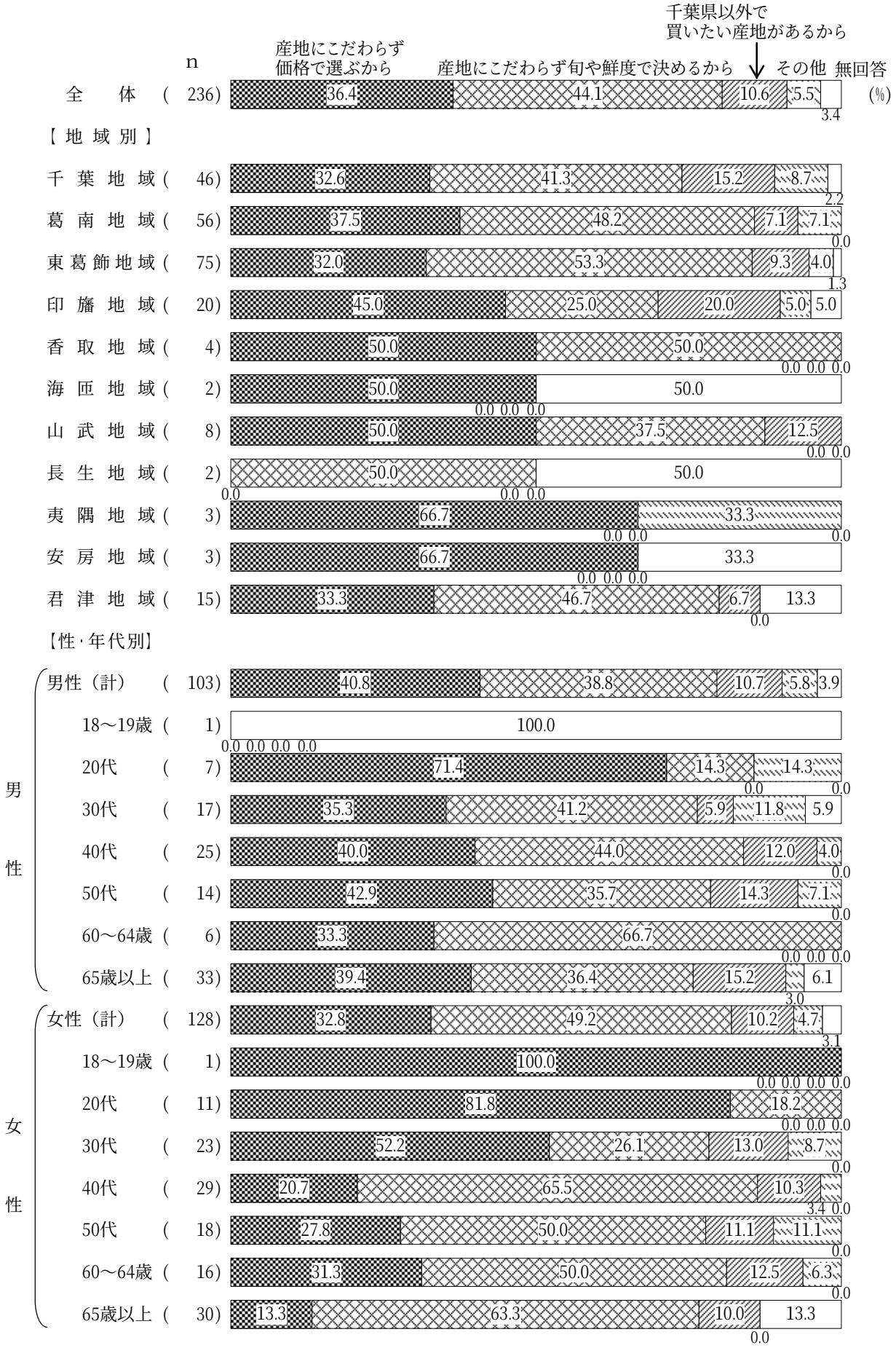
千葉県産農林水産物を購入したいと思わないと回答した236人を対象に、その主な理由を聞いたところ、「産地にこだわらず旬や鮮度で決めるから」（44.1%）が４割台半ばで最も高く、以下、「産地にこだわらず価格で選ぶから」（36.4%）、「千葉県以外で買いたい産地があるから」（10.6%）が続く。（図表５－５）

〔参考〕平成27年度・平成28年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



※サンプル数が少ない（有意差がない）ため、【地域別】と【性・年代別】における属性の分析は触れていない。（10 ページ「報告書の見方（５）」を参照）

＜図表５－６＞千葉県産農林水産物を購入したいと思わない理由／地域別、性・年代別



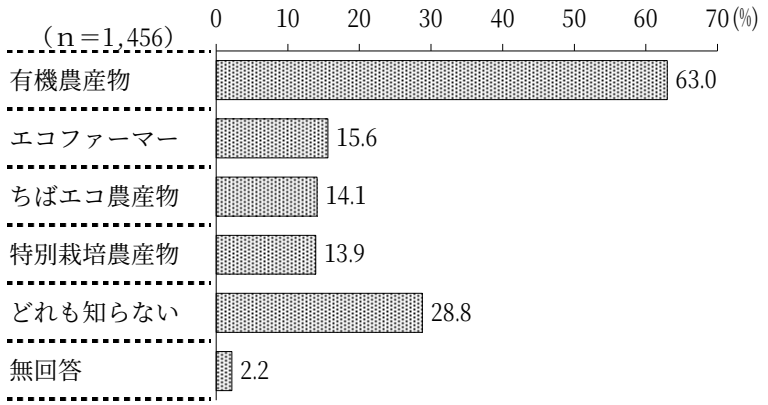
（２）環境にやさしい農産物の認知度

◇「有機農産物」が６割を超える

問30　あなたは、農薬や化学肥料の使用量の低減などにより、環境に配慮して生産される次の農産物や制度を知っていますか。（○はいくつでも）

※　「有機農産物」：ＪＡＳ法に基づき化学肥料・農薬を使わず栽培し、登録機関で認定された農産物
「エコファーマー」：持続性の高い農業生産方式の導入計画を作成し、県が認定した農業者
「ちばエコ農産物」：県の基準に基づき化学肥料・農薬を通常の１/２以下で栽培し、県が認証した農産物
「特別栽培農産物」：国のガイドラインに基づき化学肥料・農薬を通常の１/２以下で栽培し、生産者が定める責任者が確認した農産物

＜図表５－７＞環境にやさしい農産物の認知度（複数回答）



環境に配慮して生産される農産物や制度を知っているか聞いたところ、「有機農産物」（63.0%）が６割を超えて最も高く、以下、「エコファーマー」（15.6%）、「ちばエコ農産物」（14.1%）、「特別栽培農産物」（13.9%）が続く。（図表５－７）

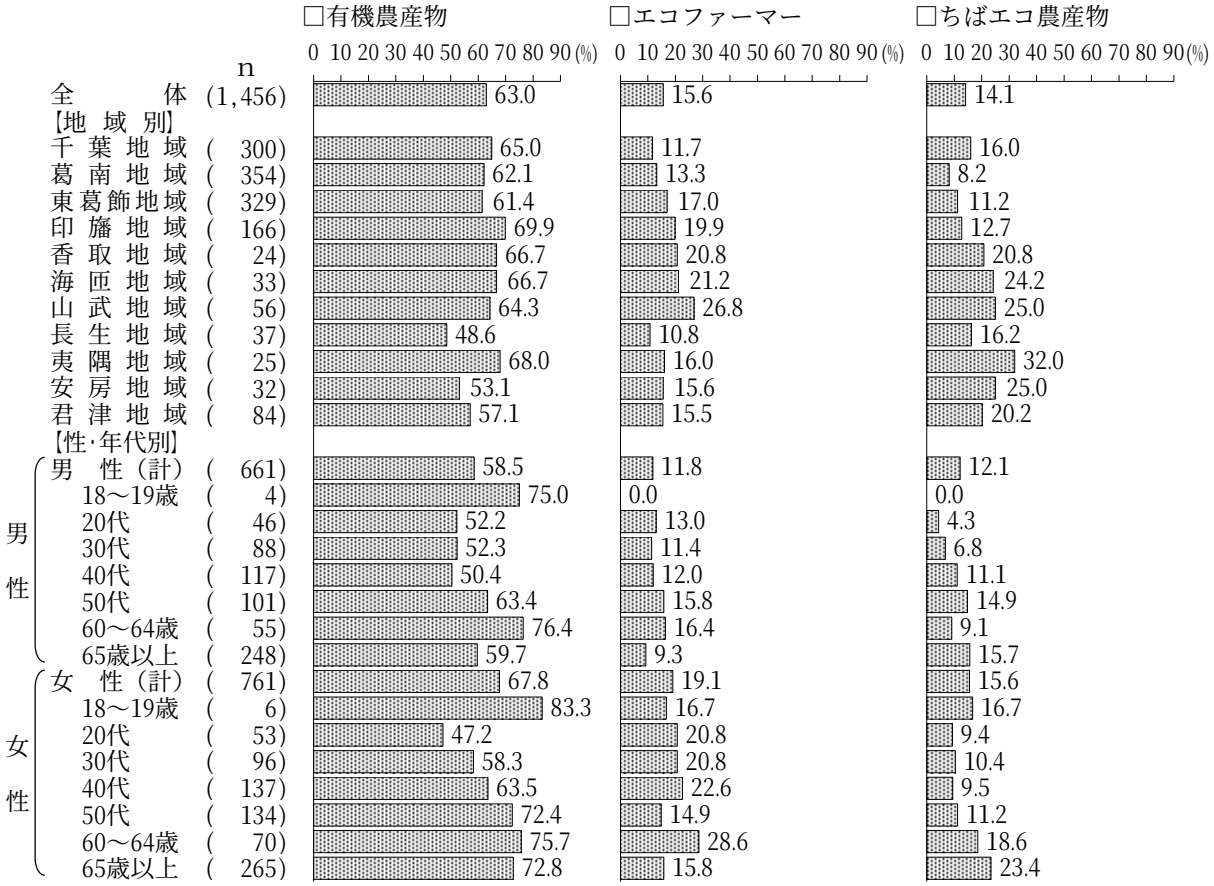
【地域別】

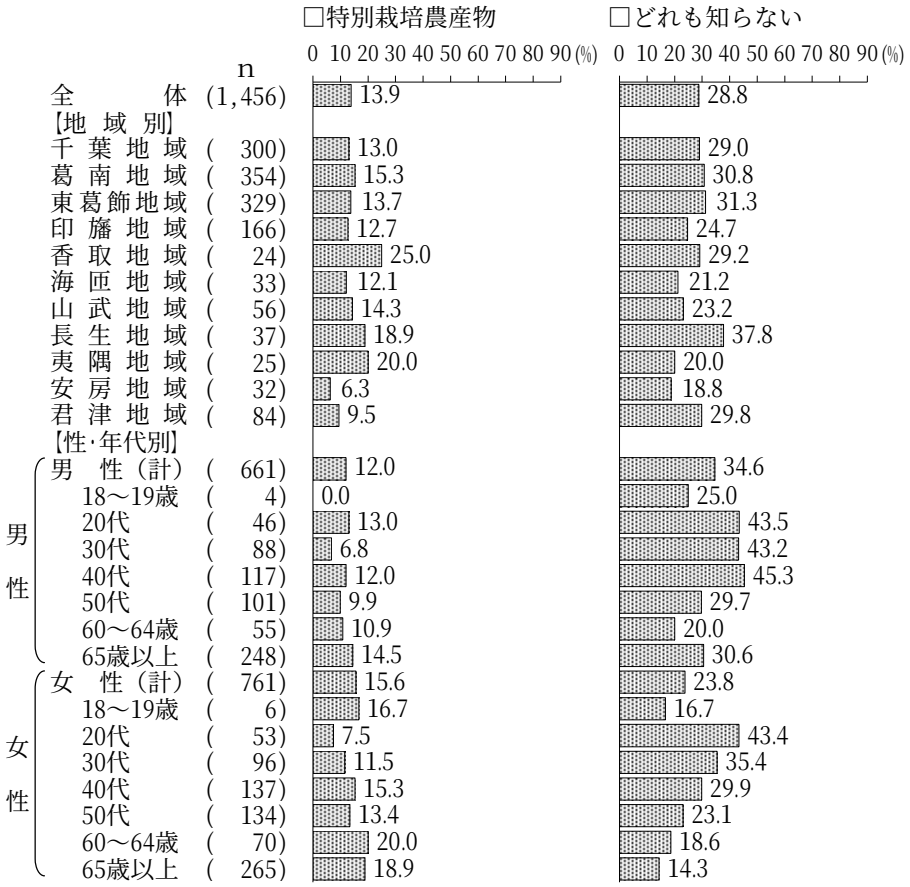
地域別にみると、「エコファーマー」は“山武地域”（26.8%）が２割台半ばで高くなっている。
「ちばエコ農産物」は“夷隅地域”（32.0%）が３割を超えて高くなっている。（図表５－８）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「有機農産物」は男性の60～64歳（76.4%）と女性の60～64歳（75.7%）が７割台半ばで高くなっている。
「エコファーマー」は女性の60～64歳（28.6%）が約３割で高くなっている。
「ちばエコ農産物」は女性の65歳以上（23.4%）が２割を超えて高くなっている。（図表５－８）

＜図表５－８＞環境にやさしい農産物の認知度（複数回答）／地域別、性・年代別





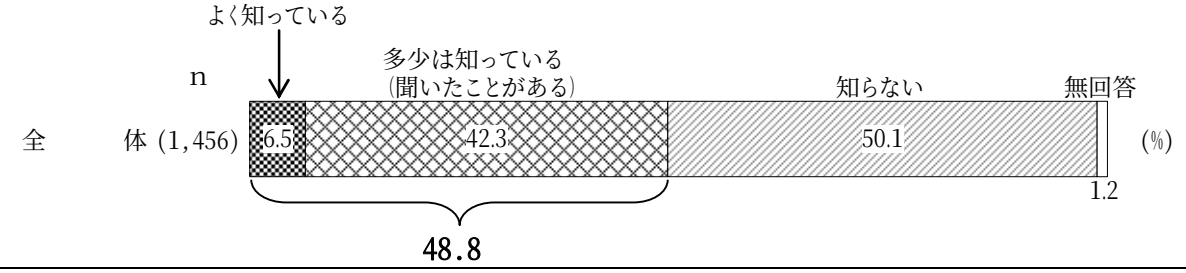
（3）「千葉ブランド水産物」の認知度

◇『知っている（計）』が約５割

問31　千葉県では、千葉のさかなの認知度を高め、広く県内外にアピールするため、「銚子つりきんめ」、「外房イセエビ」、「九十九里地はまぐり」などの優良な県産水産物を「千葉ブランド水産物」として認定しています。

あなたは、「千葉ブランド水産物」を知っていますか。（○は１つ）

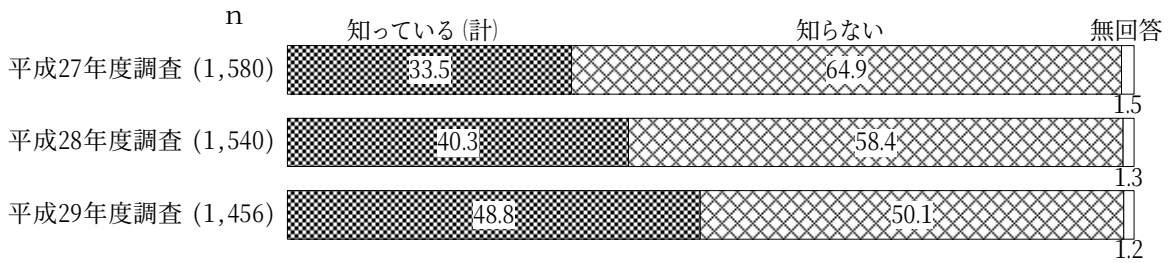
＜図表５－９＞「千葉ブランド水産物」の認知度



「千葉ブランド水産物」を知っているか聞いたところ、「よく知っている」（6.5%）と「多少は知っている（聞いたことがある）」（42.3%）を合わせた『知っている（計）』（48.8%）が約５割となっている。

一方、「知らない」（50.1%）は５割となっている。（図表５－９）

〔参考〕平成27年度・平成28年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



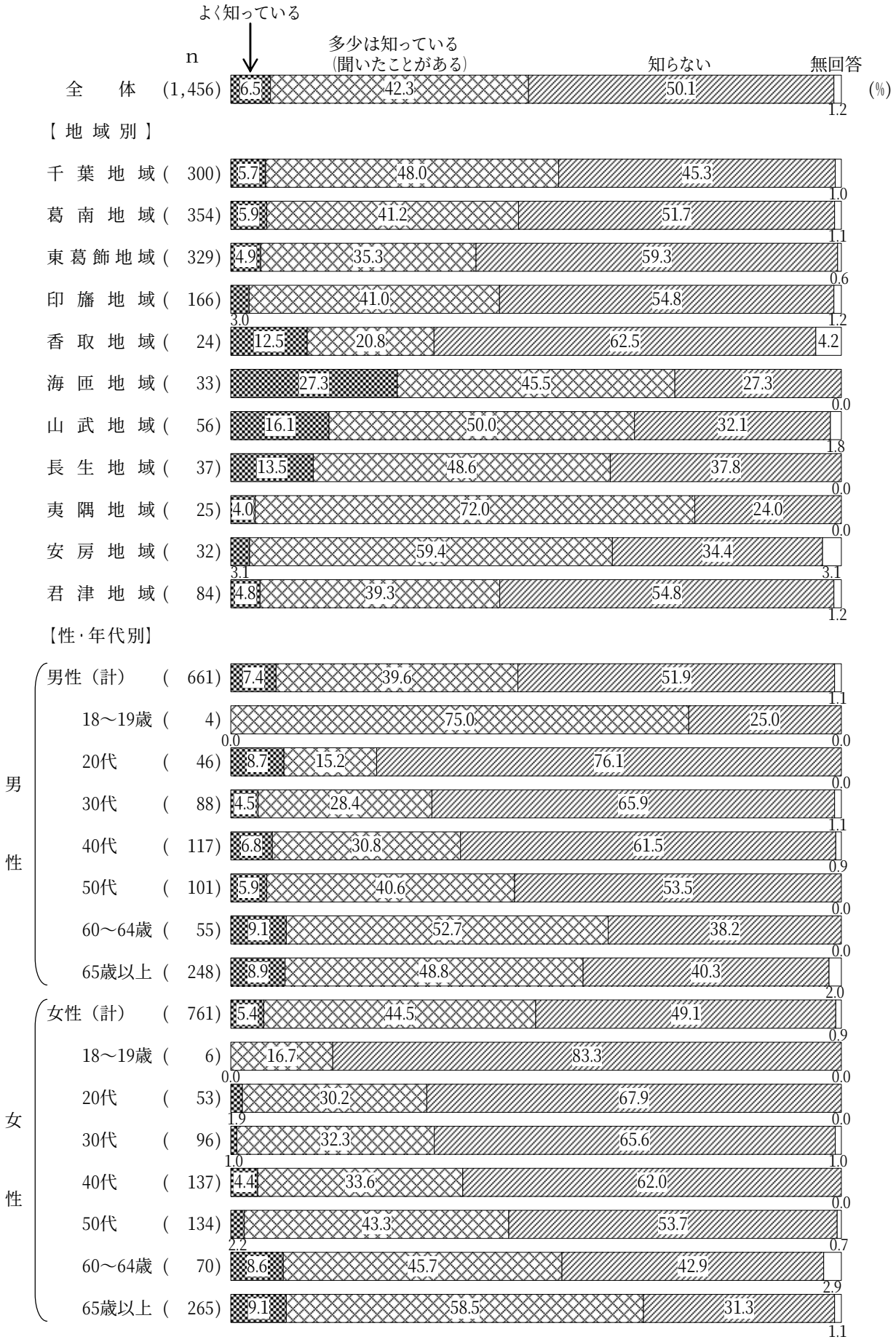
【地域別】

地域別にみると、『知っている（計）』は“夷隅地域”（76.0%）が７割台半ば、“海匝地域”（72.8%）が７割を超え、“山武地域”（66.1%）が６割台半ばで高くなっている。（図表５－10）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『知っている（計）』は女性の65歳以上（67.6%）が約７割、男性の60～64歳（61.8%）が６割を超え、男性の65歳以上（57.7%）が約６割で高くなっている。（図表５－10）

＜図表５－10＞「千葉ブランド水産物」の認知度／地域別、性・年代別



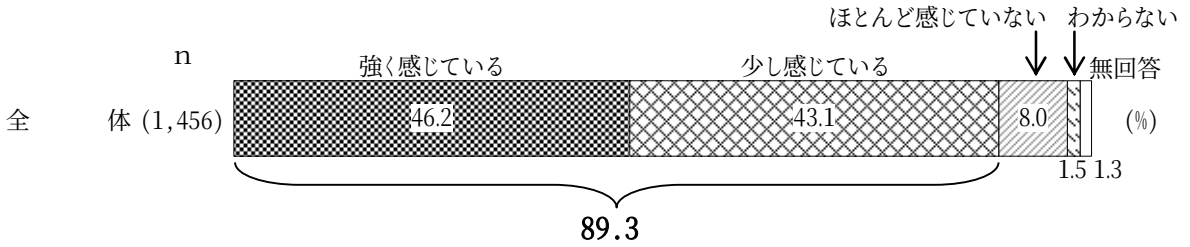
6　防災に関する取り組みについて

（1）大地震や風水害への不安

◇『感じている（計）』が約９割

問32　平成23年３月11日に発生した東日本大震災では、千葉県内でも震度６弱を記録し、大きな被害が出ました。また、県外では平成28年熊本地震（震度７が２回発生）や、記録的な大雨や台風により浸水害や土砂災害なども発生しております。あなたは、自分の住んでいる地域で、大地震や風水害が起こるのではないかという不安を感じていますか。（○は１つ）

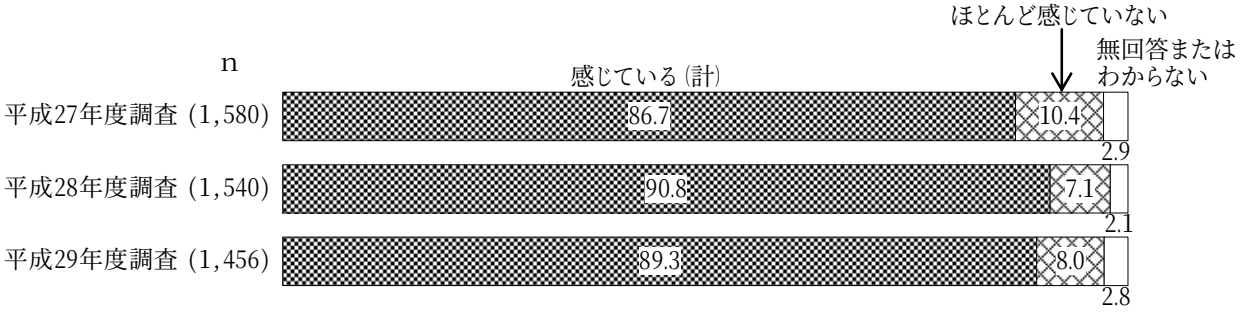
＜図表６－１＞大地震や風水害への不安



大地震や風水害への不安を聞いたところ、「強く感じている」（46.2%）と「少し感じている」（43.1%）を合わせた『感じている（計）』（89.3%）が約９割で高くなっている。

一方、「ほとんど感じていない」（8.0%）は約１割となっている。（図表６－１）

〔参考〕平成27年度・平成28年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



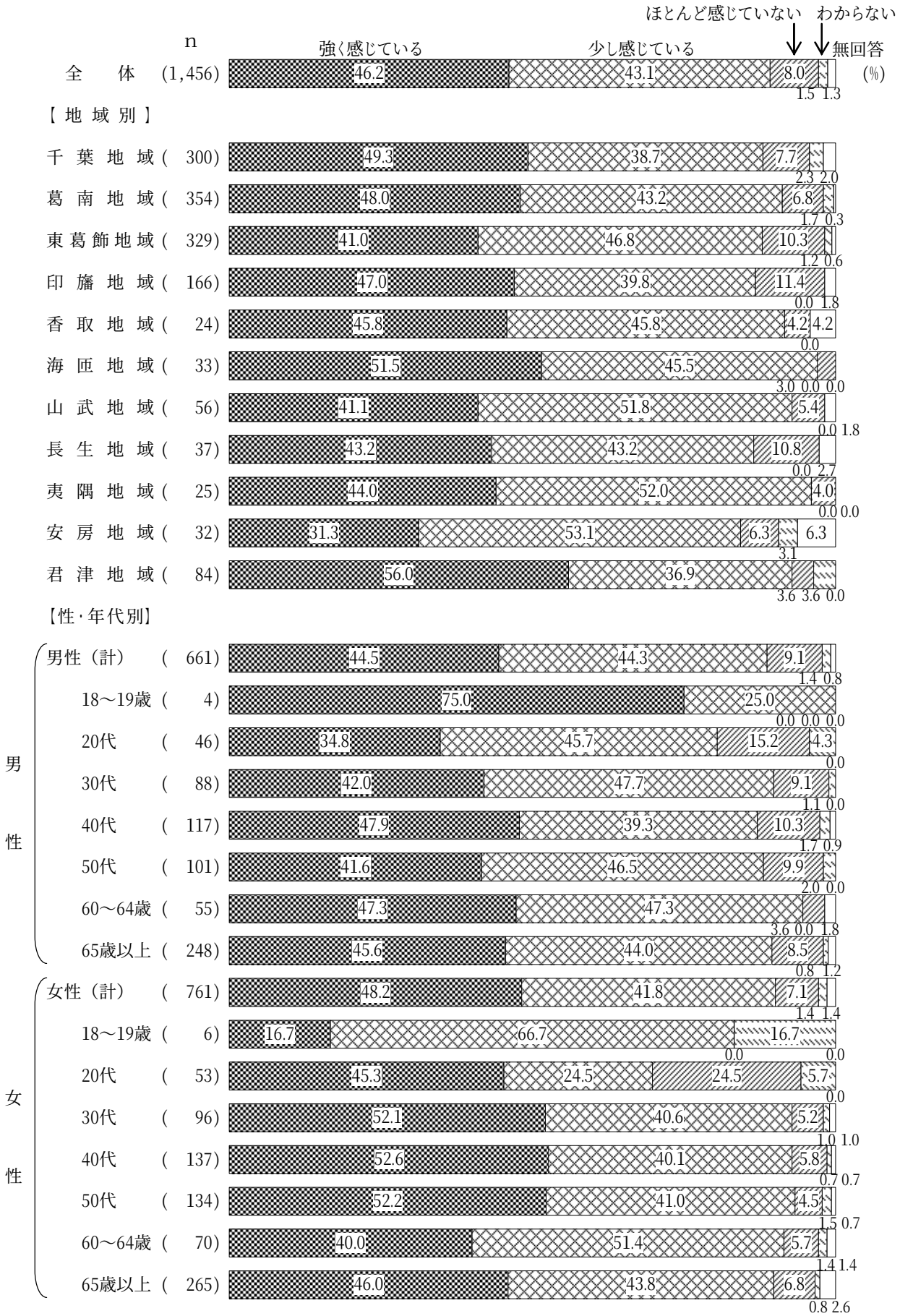
【地域別】

地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。（図表６－２）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『感じている（計）』は女性の20代（69.8%）以外のすべての年代が８割以上で高くなっている。（図表６－２）

＜図表６－２＞大地震や風水害への不安／地域別、性・年代別

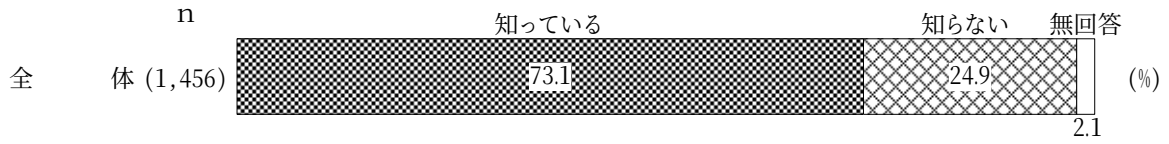


（２）「避難勧告」「避難指示」の意味や違いの認知度

◇「知っている」が７割を超える

問33　市町村では、災害から住民を守るために「避難勧告」や「避難指示」を発令することがあります。あなたは、これらの意味や違いを知っていますか。（○は１つ）

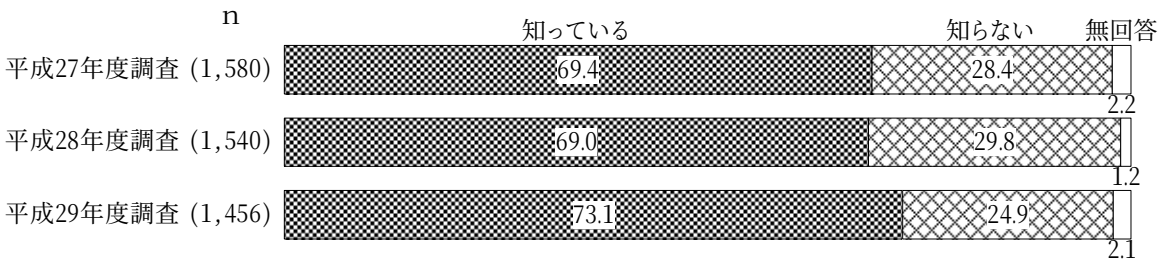
＜図表６－３＞「避難勧告」「避難指示」の意味や違いの認知度



「避難勧告」「避難指示」の意味や違いを知っているか聞いたところ、「知っている」（73.1%）が７割を超えて高くなっている。

一方、「知らない」（24.9%）は２割台半ばとなっている。（図表６－３）

〔参考〕平成27年度・平成28年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



【地域別】

地域別にみると、「知っている」は“夷隅地域”（88.0%）が約９割で高くなっている。

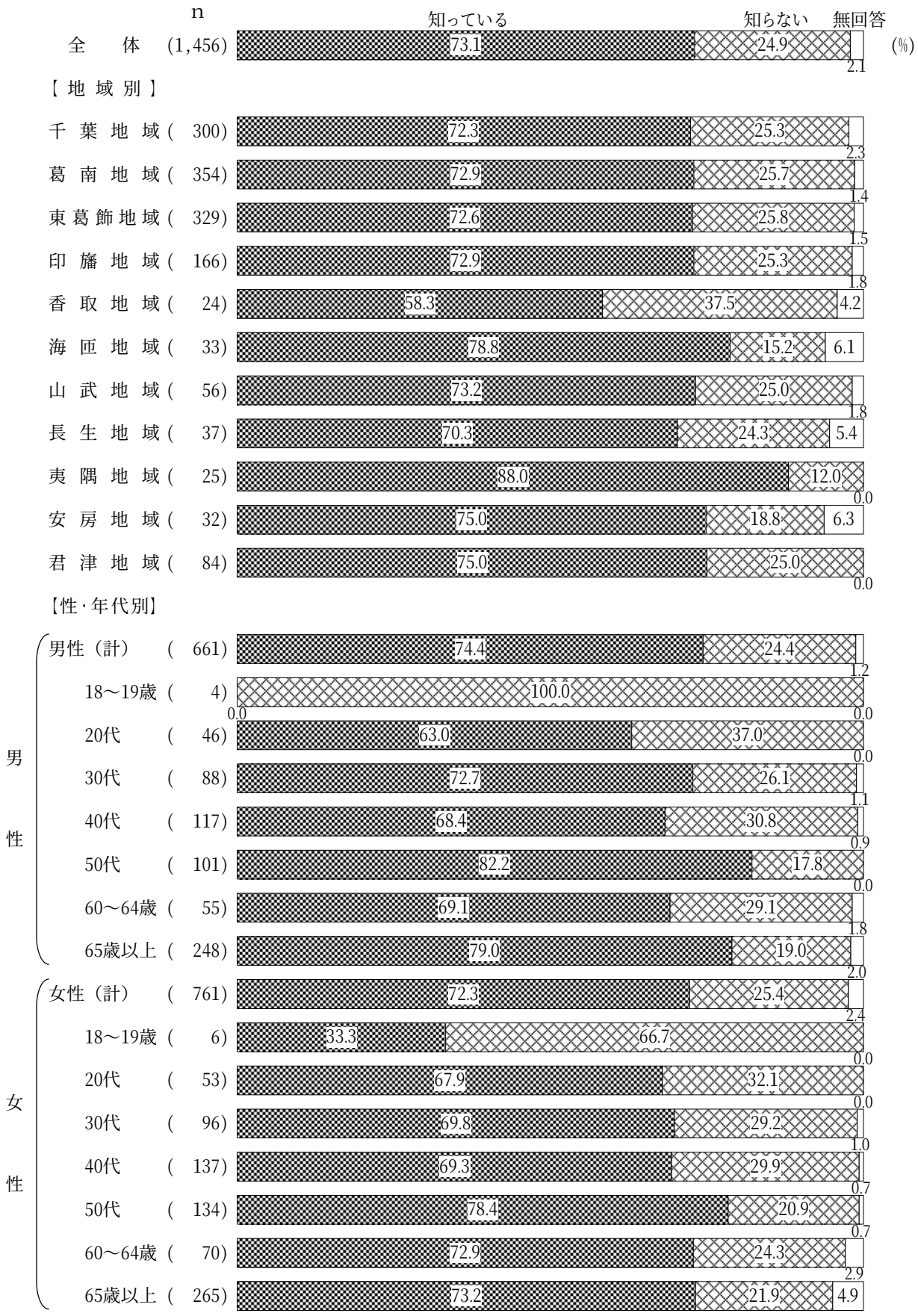
一方、「知らない」は“香取地域”（37.5%）が約４割で高くなっている。（図表６－４）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「知っている」は男性の50代（82.2%）が８割を超えて高くなっている。

一方、「知らない」は男性の20代（37.0%）が約４割で高くなっている。（図表６－４）

＜図表６－４＞「避難勧告」「避難指示」の意味や違いの認知度／地域別、性・年代別

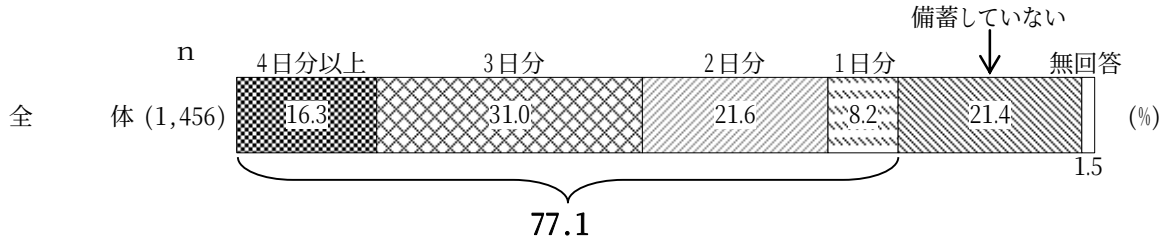


（３）飲料水や食料の備蓄状況

◇『備蓄している（計）』が約８割

問34　大規模な災害が発生した場合、避難所に飲料水や食料などの支援物資が届くまで時間がかかることが予測されます。あなたは、災害に備えて、冷蔵庫にあるものを含めて、飲料水や食料をおよそ何日分、備蓄していますか。（○は１つ）

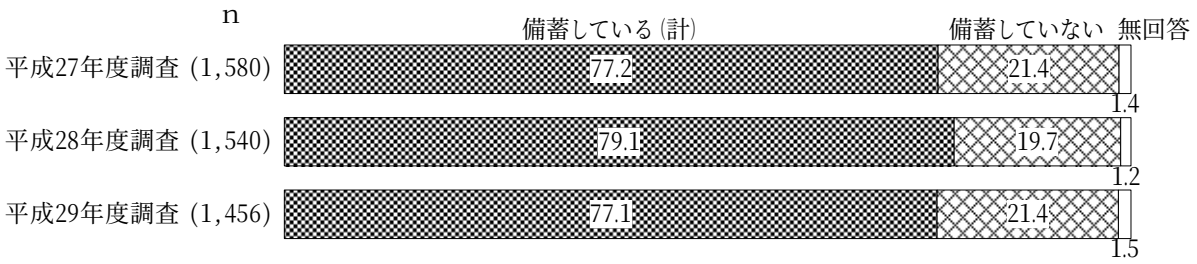
＜図表６－５＞飲料水や食料の備蓄状況



飲料水や食料の備蓄状況を聞いたところ、「３日分」（31.0%）が３割を超え、「２日分」（21.6%）が２割を超え、「４日分以上」（16.3%）が１割台半ば、「１日分」（8.2%）が約１割となっており、この４つを合わせた『備蓄している（計）』（77.1%）は約８割で高くなっている。

一方、「備蓄していない」（21.4%）は２割を超えている。（図表６－５）

〔参考〕平成27年度・平成28年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



【地域別】

地域別にみると、「４日分以上」は“海匝地域”（30.3%）が３割で高くなっている。

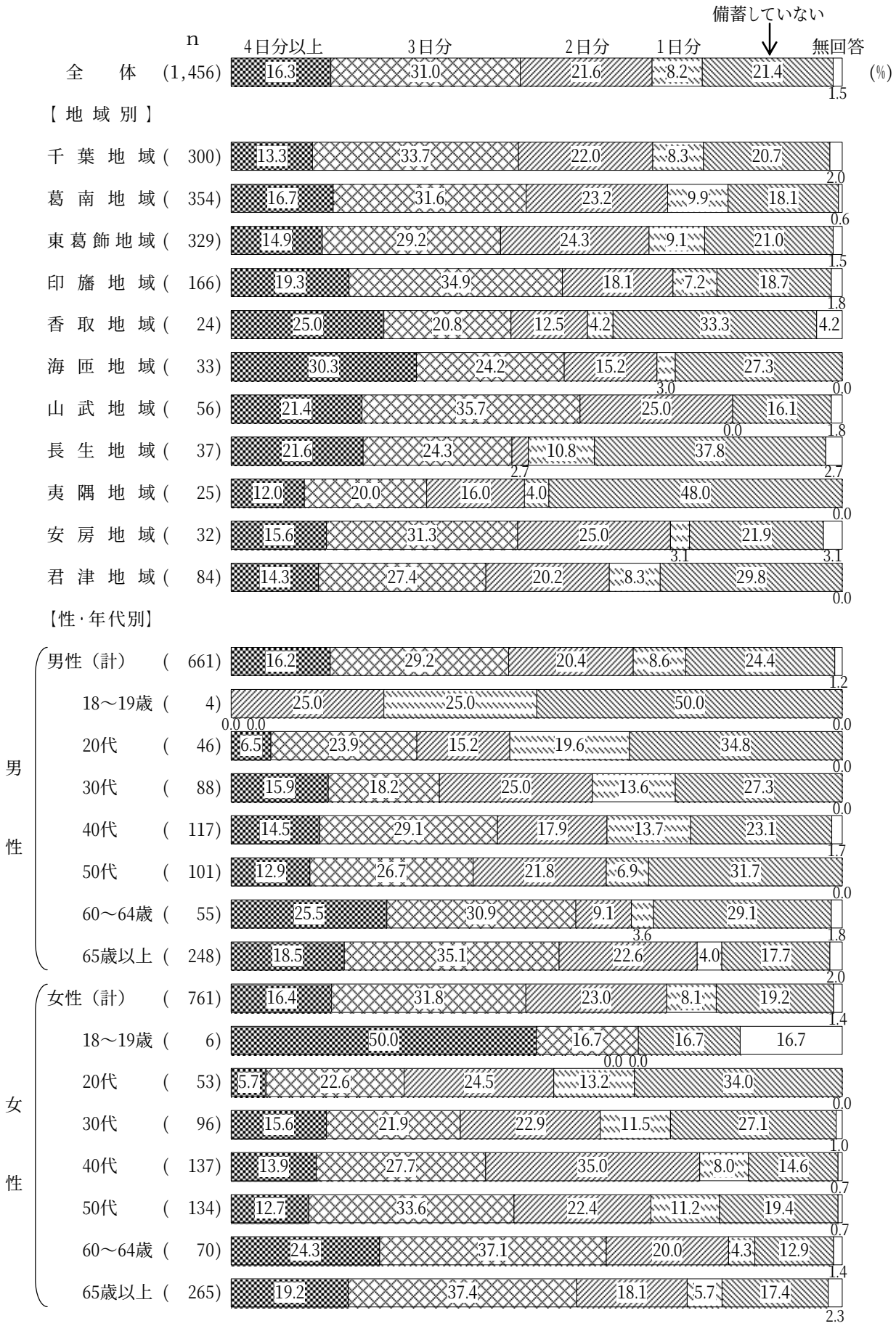
一方、「備蓄していない」は“夷隅地域”（48.0%）が約５割、“長生地域”（37.8%）が約４割で高くなっている。（図表６－６）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『備蓄している（計）』は女性の40代（84.6%）、60～64歳（85.7%）が８割台半ばで高くなっている。

一方、「備蓄していない」は男性の20代（34.8%）と女性の20代（34.0%）が３割台半ばで高くなっている。（図表６－６）

＜図表６－６＞飲料水や食料の備蓄状況／地域別、性・年代別

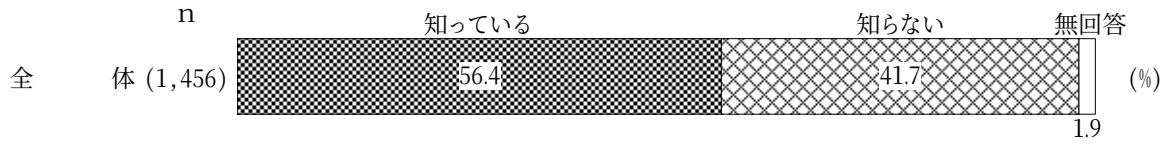


（４）災害伝言板・災害用伝言ダイヤルの認知度

◇「知っている」が５割台半ば

問35　固定電話や携帯電話（音声及びメール）は、災害が発生した際には利用が急増し、平常時のように使用できなくなります。実際に東日本大震災でも、使用できなくなりました。
あなたは、災害時に利用できる災害伝言板や災害用伝言ダイヤルを知っていますか。
（○は１つ）

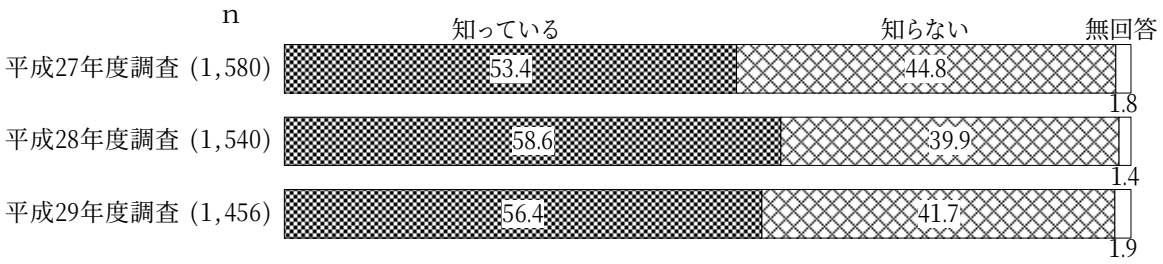
＜図表６－７＞災害伝言板・災害用伝言ダイヤルの認知度



災害伝言板・災害用伝言ダイヤルを知っているか聞いたところ、「知っている」（56.4%）が５割台半ばで高くなっている。

一方、「知らない」（41.7%）は４割を超えている。（図表６－７）

〔参考〕平成27年度・平成28年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



【地域別】

地域別にみると、「知っている」は“葛南地域”（65.5%）が６割台半ばで高くなっている。

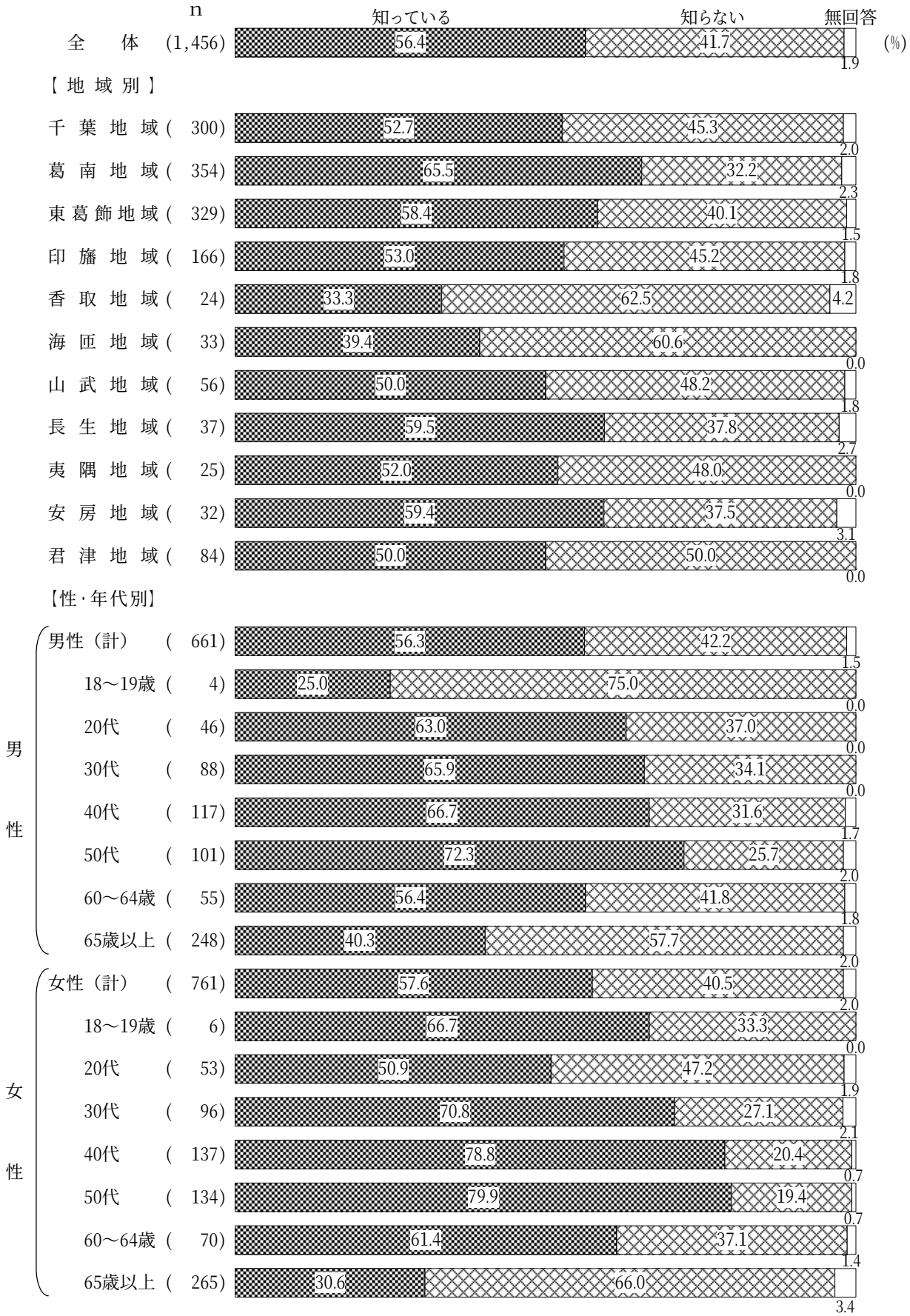
一方、「知らない」は“香取地域”（62.5%）が６割を超え、“海匝地域”（60.6%）が６割で高くなっている。（図表６－８）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「知っている」は女性の40代（78.8%）、50代（79.9%）が約８割、男性の50代（72.3%）が７割を超えて高くなっている。

一方、「知らない」は女性の65歳以上（66.0%）が６割台半ば、男性の65歳以上（57.7%）が約６割で高くなっている。（図表６－８）

＜図表６－８＞災害伝言板・災害用伝言ダイヤルの認知度／地域別、性・年代別

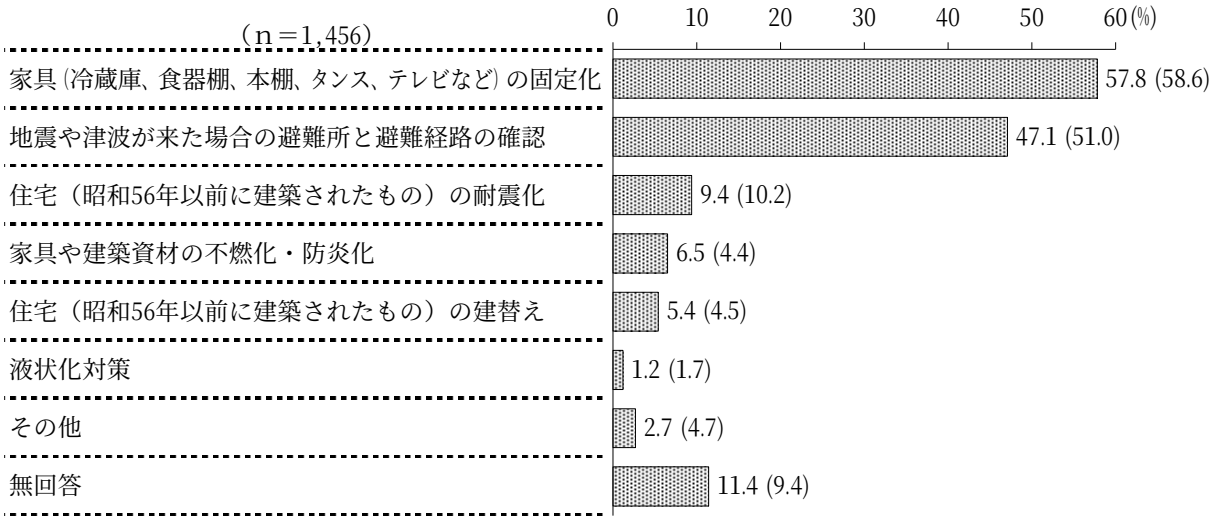


（５）地震の被害を防ぐための対策

◇「家具（冷蔵庫、食器棚、本棚、タンス、テレビなど）の固定化」が約６割

問36　あなたは、地震による被害を防ぐため、どのような対策を行っていますか（行う予定ですか）。（○はいくつでも）

＜図表６－９＞地震の被害を防ぐための対策（複数回答）



注）（　）の数字は平成28年度の同様の項目による調査結果　ｎ＝1,540

地震の被害を防ぐため、どのような対策を行っている（行う予定）か聞いたところ、「家具（冷蔵庫、食器棚、本棚、タンス、テレビなど）の固定化」（57.8%）が約６割で最も高く、以下、「地震や津波が来た場合の避難所と避難経路の確認」（47.1%）、「住宅（昭和５６年以前に建築されたもの）の耐震化」（9.4%）が続く。（図表６－９）

【地域別】

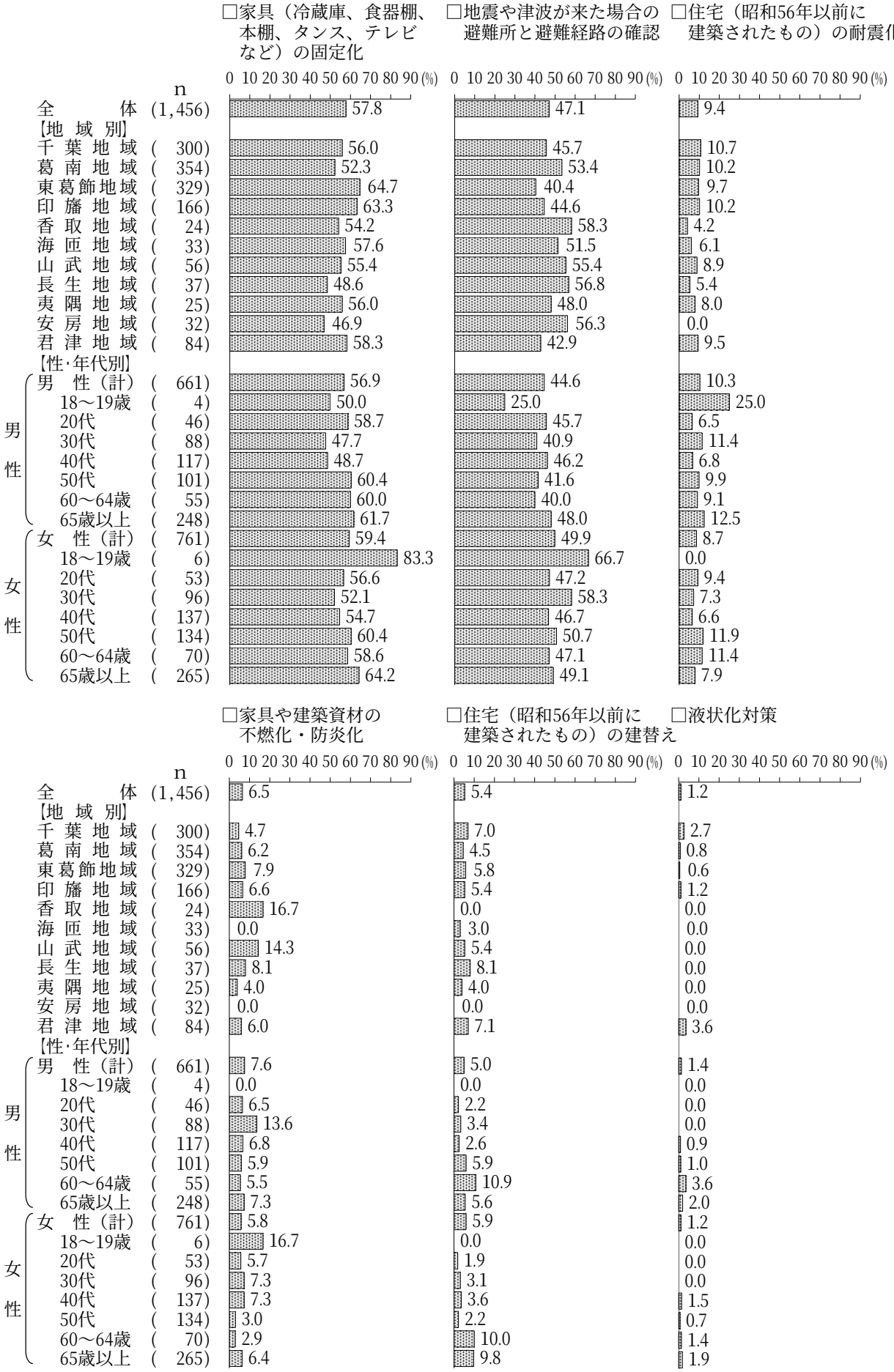
地域別にみると、「家具（冷蔵庫、食器棚、本棚、タンス、テレビなど）の固定化」は“東葛飾地域”（64.7%）が６割台半ばで高くなっている。

「地震や津波が来た場合の避難所と避難経路の確認」は“香取地域”（58.3%）が約６割で高くなっている。（図表６－10）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「地震や津波が来た場合の避難所と避難経路の確認」は女性の30代（58.3%）が約６割で高くなっている。（図表６－10）

＜図表６－10＞地震の被害を防ぐための対策（複数回答）／地域別、性・年代別



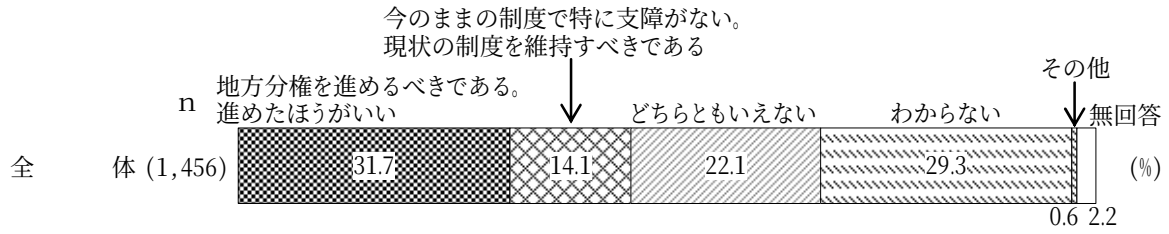
7　地方分権について

（1）地方分権を今後さらに進めていくべきか否か

◇「地方分権を進めるべきである。進めたほうがいい」が３割を超える

問37　「地方分権」とは、自分の住む地域のことは、その地域の住民が自ら決められるようにするため、国から、身近な県や市町村に権限や財源を移していこうとするものです。あなたは、こうした「地方分権」について、今後さらに進めていくべきと思いますか。（○は１つ）

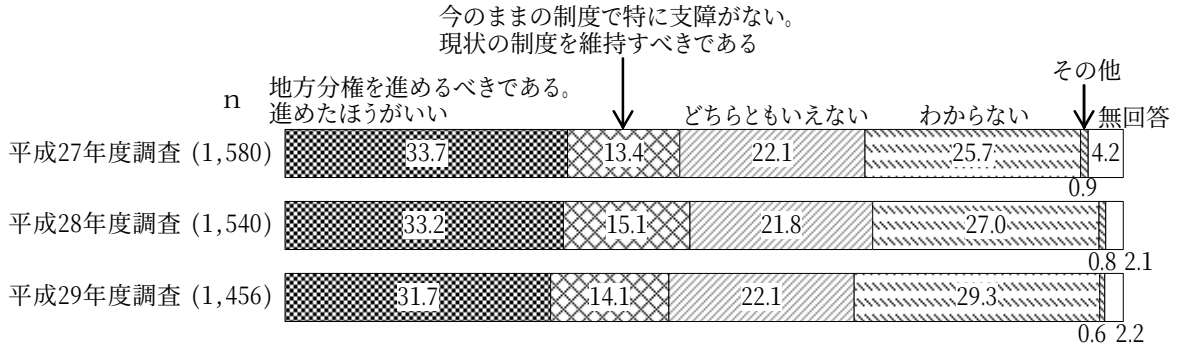
＜図表７－１＞地方分権を今後さらに進めていくべきか否か



地方分権を今後さらに進めていくべきかどうか聞いたところ、「地方分権を進めるべきである。進めたほうがいい」（31.7%）が３割を超えており、「今のままの制度で特に支障がない。現状の制度を維持すべきである」（14.1%）は１割台半ばとなっている。

また、「どちらともいえない」（22.1%）は２割を超え、「わからない」（29.3%）は約３割となっている。（図表７－１）

〔参考〕平成27年度・平成28年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



【地域別】

地域別にみると、「地方分権を進めるべきである。進めたほうがいい」は“香取地域”（37.5%）が約４割、“葛南地域”（36.7%）、“東葛飾地域”（34.7%）が３割台半ばで高くなっている。

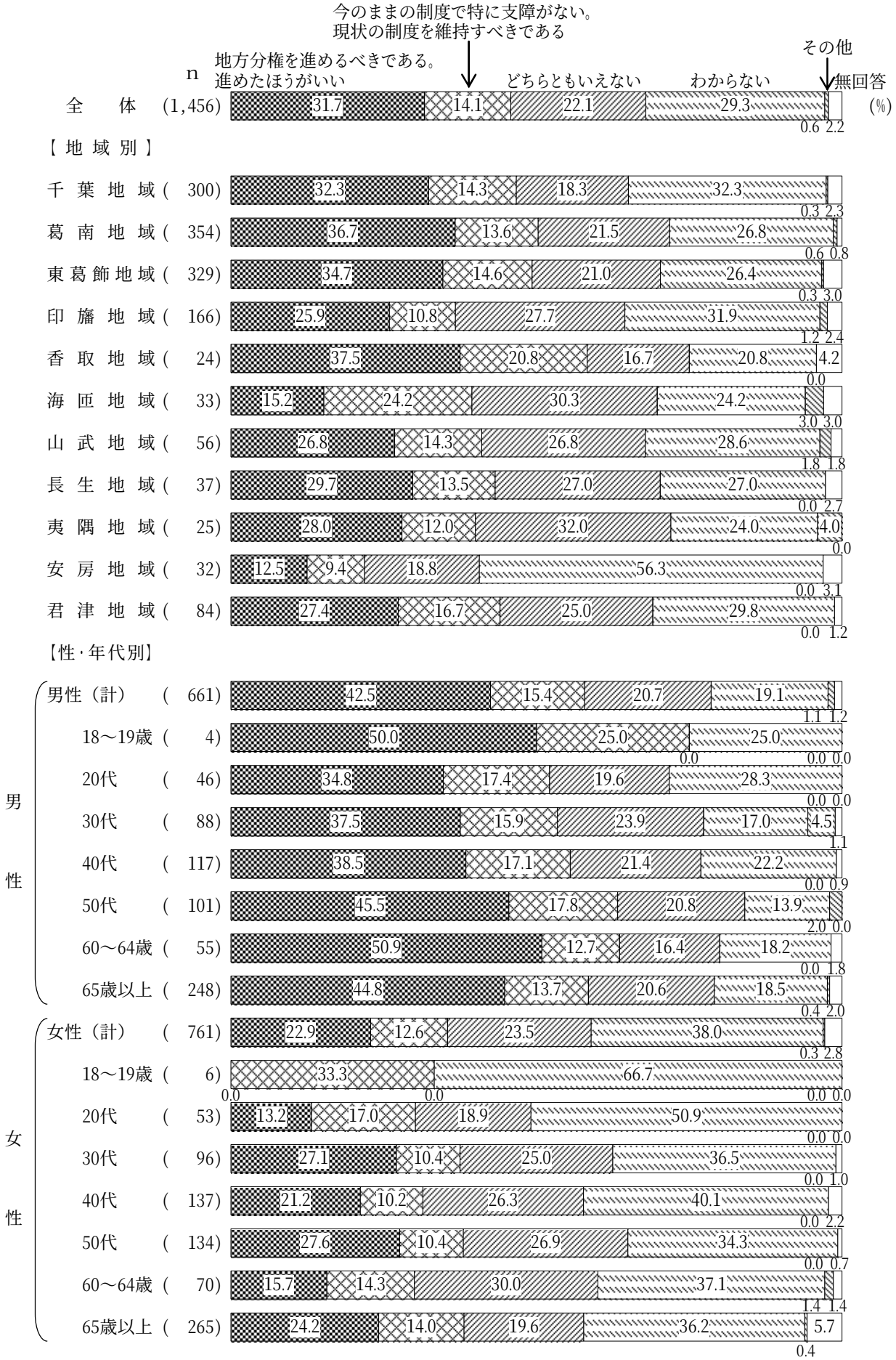
（図表７－２）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「地方分権を進めるべきである。進めたほうがいい」は男性の60～64歳（50.9%）が５割、男性の50代（45.5%）、65歳以上（44.8%）が４割台半ばで高くなっている。

（図表７－２）

＜図表７－２＞地方分権を今後さらに進めていくべきか否か／地域別、性・年代別



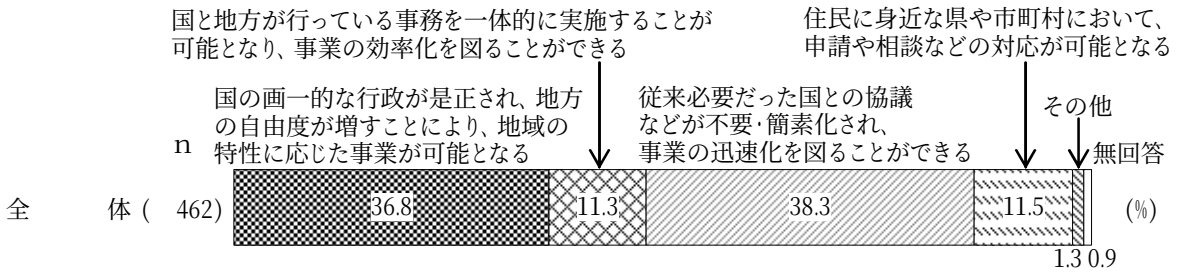
（１－１）「地方分権」で期待する主な効果

◇「従来必要だった国との協議などが不要･簡素化され、事業の迅速化を図ることができる」が約4割

（問37で「地方分権を進めるべきである。進めたほうがいい」とお答えの方に）

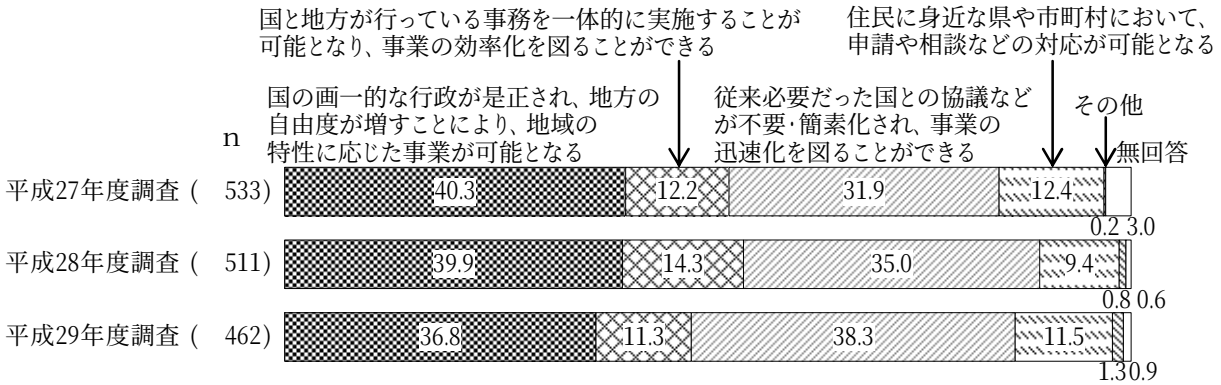
問37－１　あなたは、国から身近な県や市町村に権限や財源を移す「地方分権」を進めることにより、主にどのような効果を期待しますか。（○は１つ）

＜図表７－３＞「地方分権」で期待する主な効果



「地方分権を進めるべきである。進めたほうがいい」と回答した462人を対象に、地方分権を進めることにより、主にどのような効果を期待するか聞いたころ、「従来必要だった国との協議などが不要・簡素化され、事業の迅速化を図ることができる」（38.3%）が約４割で最も高く、以下、「国の画一的な行政が是正され、地方の自由度が増すことにより、地域の特性に応じた事業が可能となる」（36.8%）、「住民に身近な県や市町村において、申請や相談などの対応が可能となる」（11.5%）、「国と地方が行っている事務を一体的に実施することが可能となり、事業の効率化を図ることができる」（11.3%）が続く。（図表７－３）

〔参考〕平成27年度・平成28年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



【地域別】

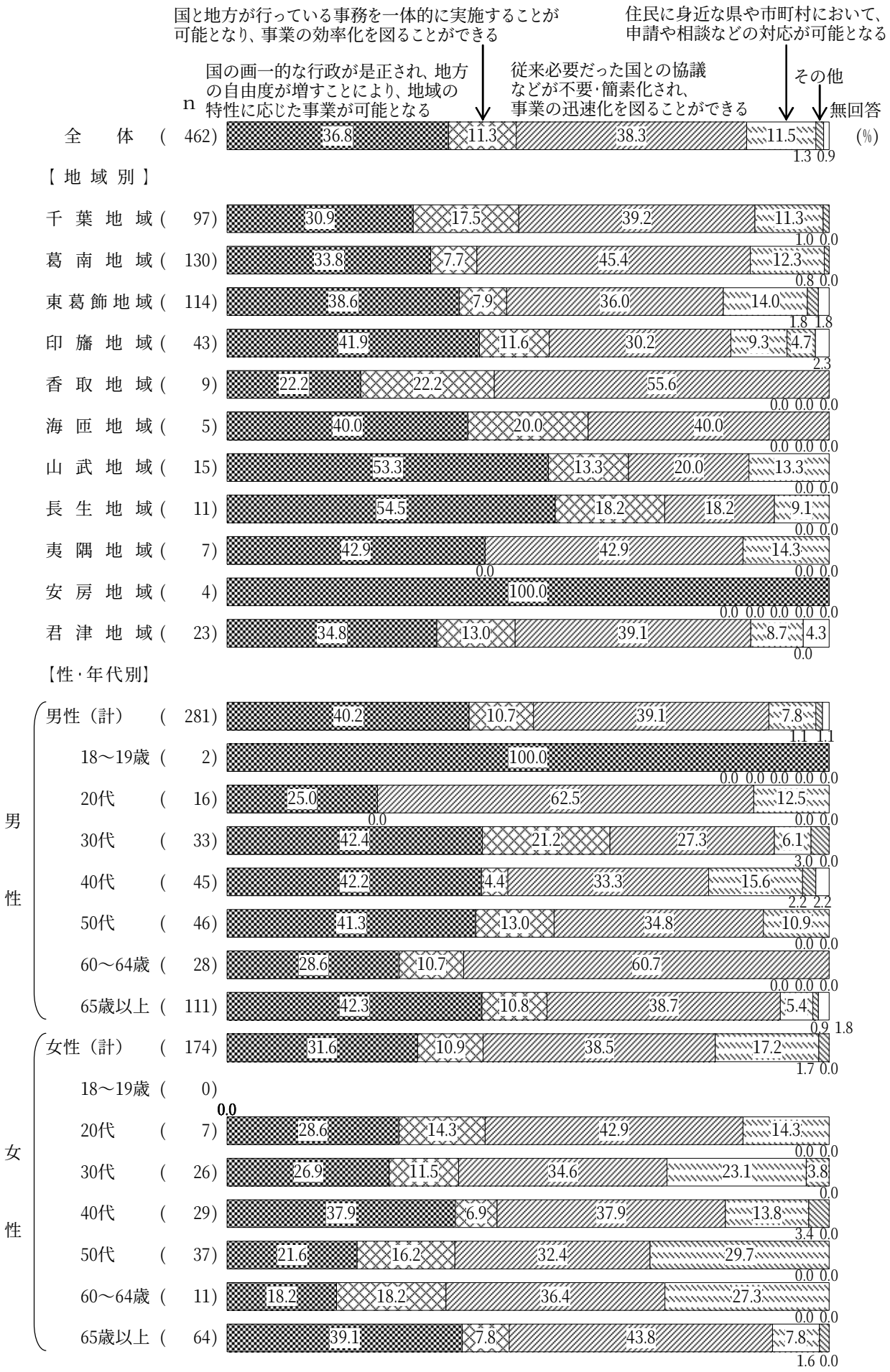
※サンプル数が少ない（有意差がない）ため、【地域別】における属性の分析は触れていない。

（10 ページ「報告書の見方（５）」を参照）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「従来必要だった国との協議などが不要・簡素化され、事業の迅速化を図ることができる」は男性の60～64歳（60.7%）が６割、女性の65歳以上（43.8%）が４割台半ばで高くなっている。（図表７－４）

＜図表７－４＞「地方分権」で期待する主な効果／地域別、性・年代別



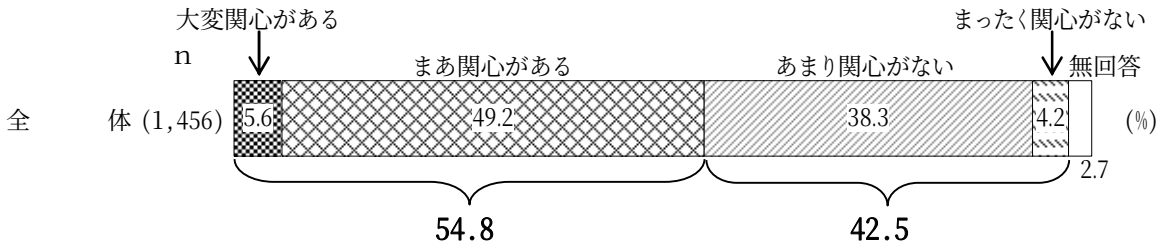
8　広報・広聴活動について

（1）県の施策や政策などについての関心度

◇『関心がある（計）』が５割台半ば

問38　あなたは、県の施策や政策などについて関心がありますか。（○は１つ）

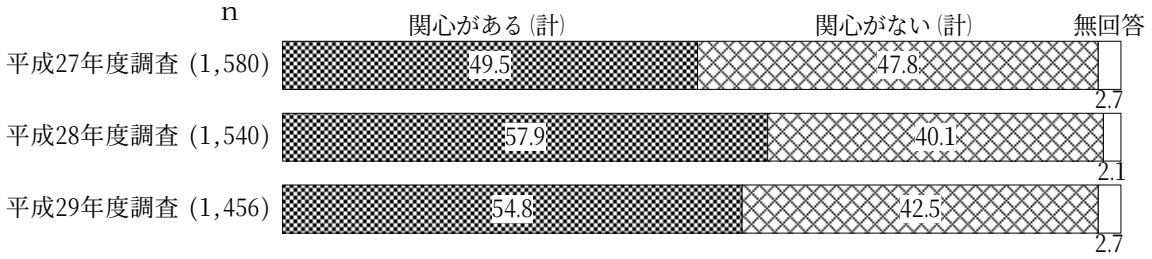
＜図表８－１＞県の施策や政策などについての関心度



県の施策や政策などについての関心度を聞いたところ、「大変関心がある」（5.6%）と「まあ関心がある」（49.2%）を合わせた『関心がある（計）』（54.8%）が５割台半ばとなっている。

一方、「あまり関心がない」（38.3%）と「まったく関心がない」（4.2%）を合わせた『関心がない（計）』（42.5%）は４割を超えている。（図表８－１）

〔参考〕平成27年度・平成28年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



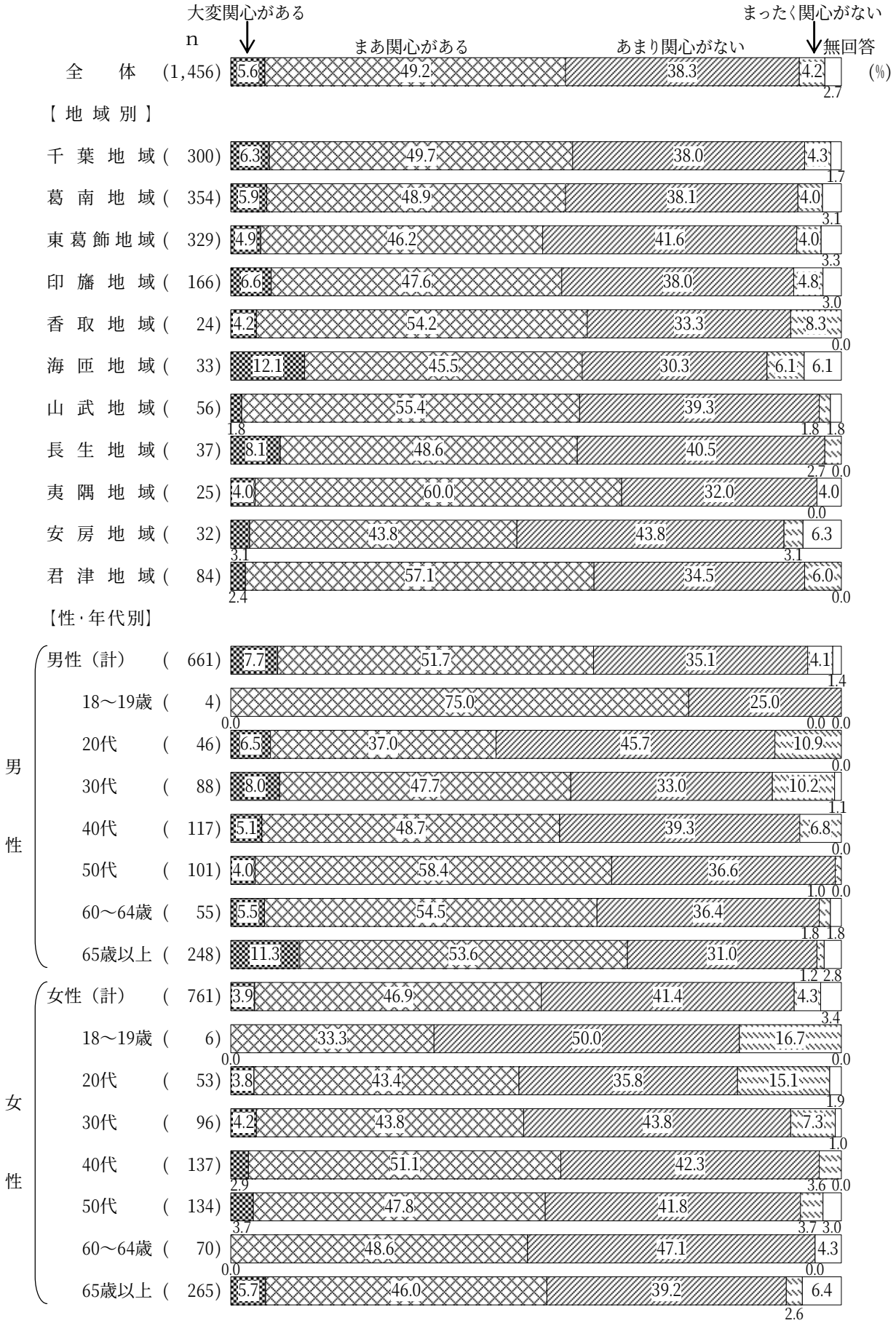
【地域別】

地域別にみると、『関心がある（計）』は“ 夷隅地域 ”（64.0%）が６割台半ばで高くなっている。（図表８－２）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『関心がある（計）』は男性の65歳以上（64.9%）が６割台半ばで高くなっている。（図表８－２）

＜図表８－２＞県の施策や政策などについての関心度／地域別、性・年代別

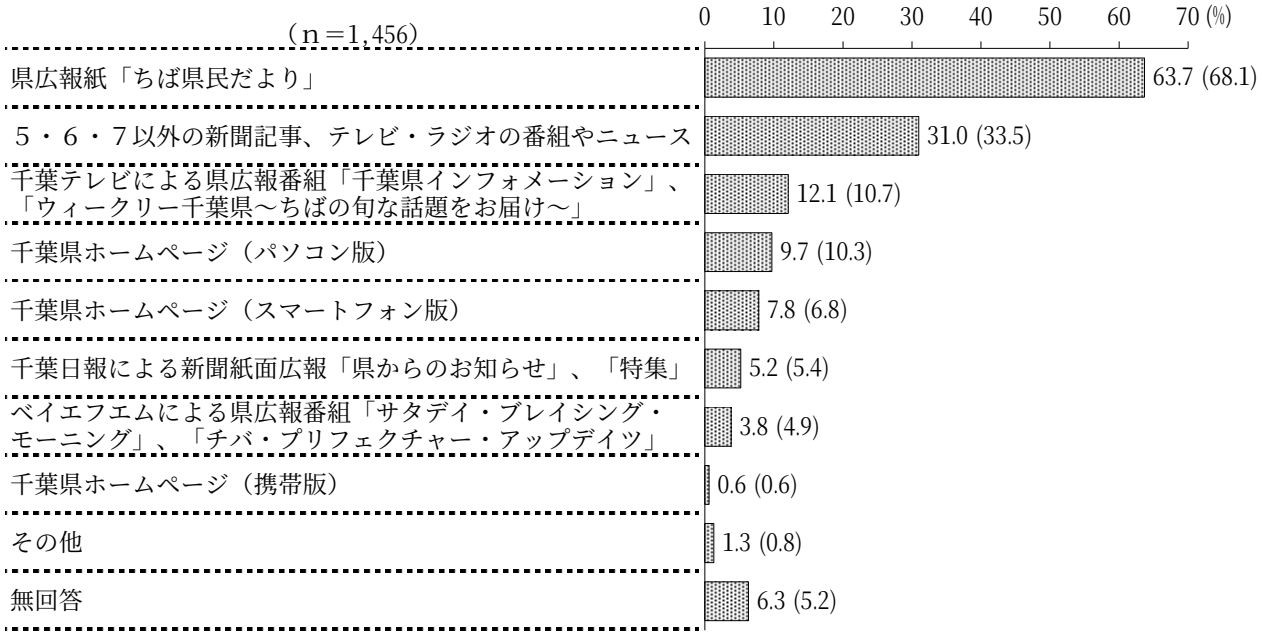


（２）県政に関する情報を得る手段

◇「県広報紙『ちば県民だより』」が６割台半ば

問39　あなたは、県政に関する情報をどのような手段で得ていますか。（○はいくつでも）

＜図表８－３＞県政に関する情報を得る手段（複数回答）



注）（　）の数字は平成28年度の同様の項目による調査結果　ｎ＝1,540

（※）「５・６・７以外の新聞記事、テレビ・ラジオの番組やニュース」における、５・６・７とは、「千葉日報による新聞紙面広報『県からのお知らせ』、『特集』」「千葉テレビによる県広報番組『千葉県インフォメーション』、『ウィークリー千葉県～ちばの旬な話題をお届け～』」「ベイエフエムによる県広報番組『サタデイ・ブレイシング・モーニング』『チバ・プリフェクチャー・アップデイツ』」を指す。

県政に関する情報を得る手段を聞いたところ、「県広報紙『ちば県民だより』」（63.7%）が６割台半ばで最も高く、以下、「５・６・７以外の新聞記事、テレビ・ラジオの番組やニュース」（31.0%）、「千葉テレビによる県広報番組『千葉県インフォメーション』、『ウィークリー千葉県～ちばの旬な話題をお届け～』」（12.1%）、「千葉県ホームページ（パソコン版）」（9.7%）が続く。（図表８－３）

【地域別】

地域別にみると、「千葉テレビによる県広報番組『千葉県インフォメーション』、『ウィークリー千葉県～ちばの旬な話題をお届け～』」は“ 夷隅地域 ”（28.0%）が約３割で高くなっている。

（図表８－４）

【性・年代別】

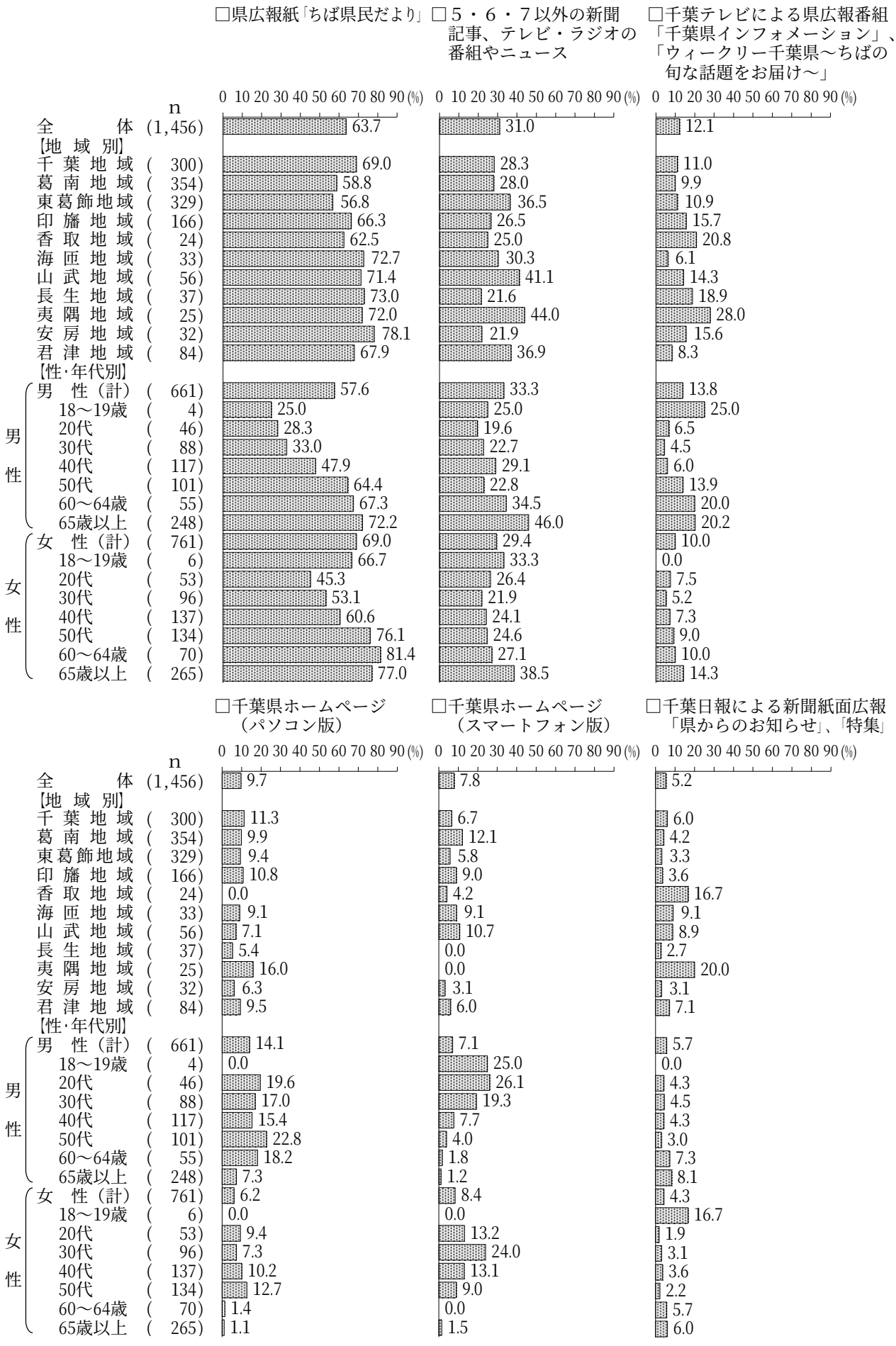
性・年代別にみると、「県広報紙『ちば県民だより』」は女性の60～64歳（81.4%）が８割を超え、女性の65歳以上（77.0%）が約８割で高くなっている。

「５・６・７以外の新聞記事、テレビ・ラジオの番組やニュース」は男性の65歳以上（46.0%）が４割台半ばで高くなっている。

「千葉県ホームページ（パソコン版）」は男性の50代（22.8%）が２割を超えて高くなっている。

「千葉県ホームページ（スマートフォン版）」は男性の20代（26.1%）と女性の30代（24.0%）が２割台半ばで高くなっている。（図表８－４）

＜図表８－４＞県政に関する情報を得る手段（複数回答）／地域別、性・年代別（上位６項目）

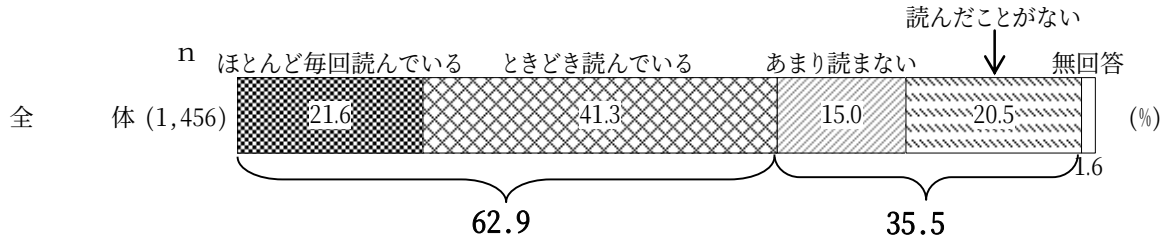


（３）県広報紙「ちば県民だより」の閲読状況

◇『読んでいる（計）』が６割を超える

問40　あなたは、県広報紙「ちば県民だより」を読んでいますか。（○は１つ）

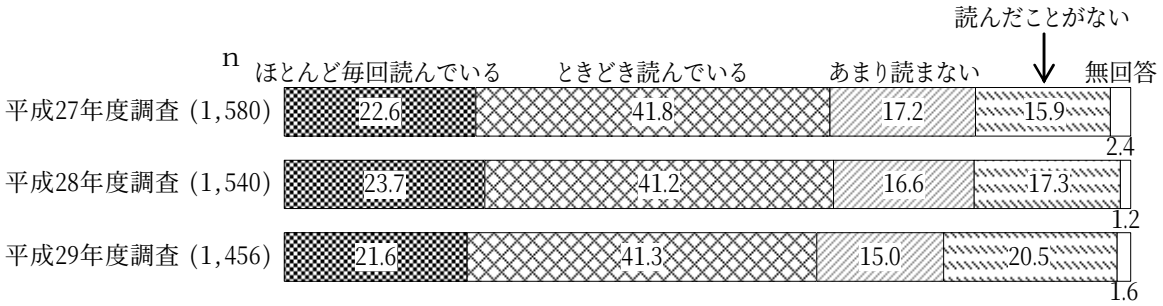
＜図表８－５＞県広報紙「ちば県民だより」の閲読状況



県広報紙「ちば県民だより」の閲読状況を聞いたところ、「ほとんど毎回読んでいる」（21.6%）と「ときどき読んでいる」（41.3%）を合わせた『読んでいる（計）』（62.9%）が６割を超えて高くなっている。

一方、「あまり読まない」（15.0%）と「読んだことがない」（20.5%）を合わせた『読んでいない（計）』（35.5%）は３割台半ばとなっている。（図表８－５）

〔参考〕平成27年度・平成28年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



【地域別】

地域別にみると、『読んでいる（計）』は“香取地域”（79.2%）、“安房地域”（78.1%）が約８割で高くなっている。

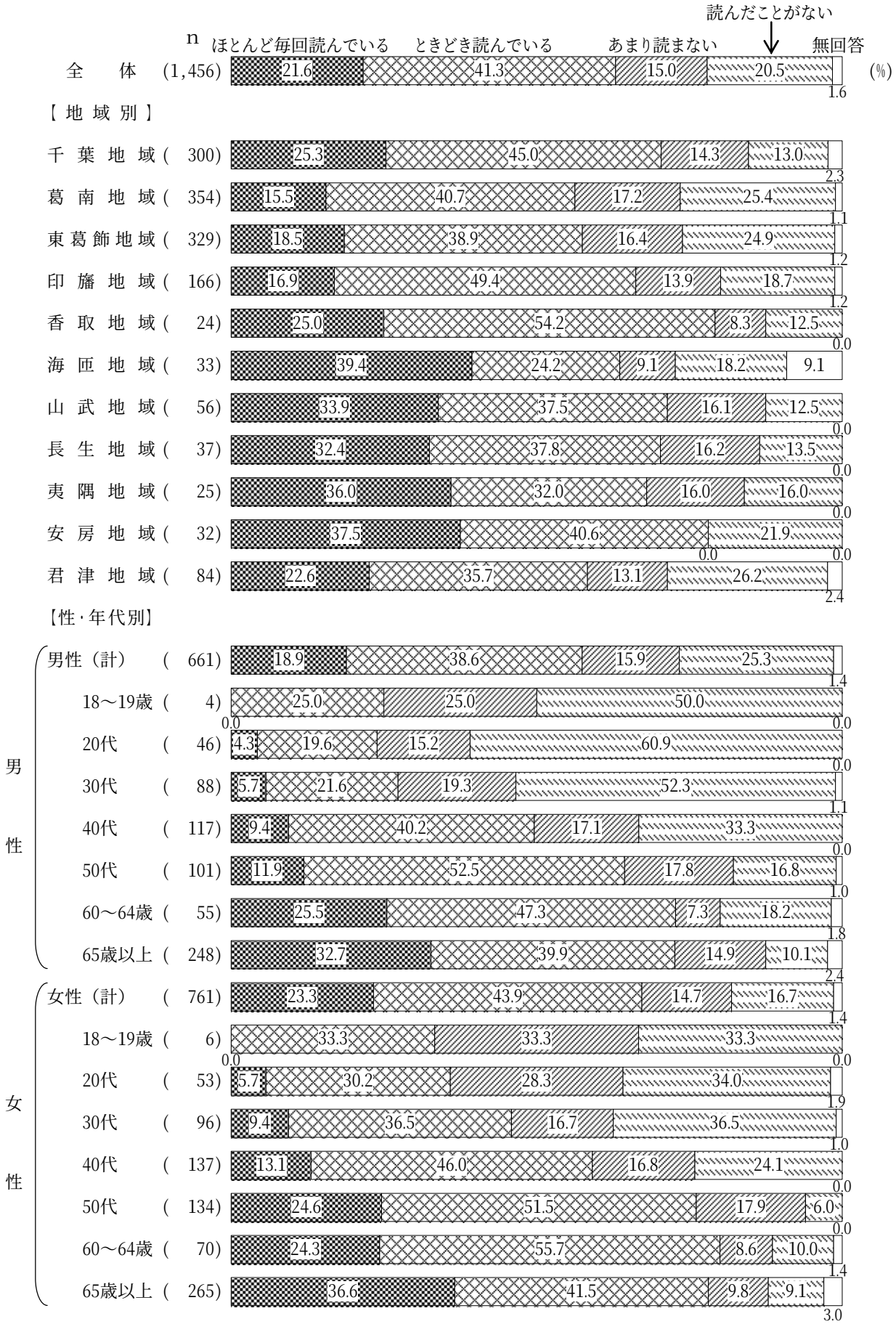
一方、『読んでいない（計）』は“葛南地域”（42.7%）、“東葛飾地域”（41.3%）が４割を超えて高くなっている。（図表８－６）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『読んでいる（計）』は女性の60～64歳（80.0%）が８割、女性の65歳以上（78.1%）が約８割、女性の50代（76.1%）が７割台半ばで高くなっている。

一方、「読んだことがない」は男性の20代（60.9%）が６割、男性の30代（52.3%）が５割を超えて高くなっている。（図表８－６）

＜図表８－６＞県広報紙「ちば県民だより」の閲読状況／地域別、性・年代別



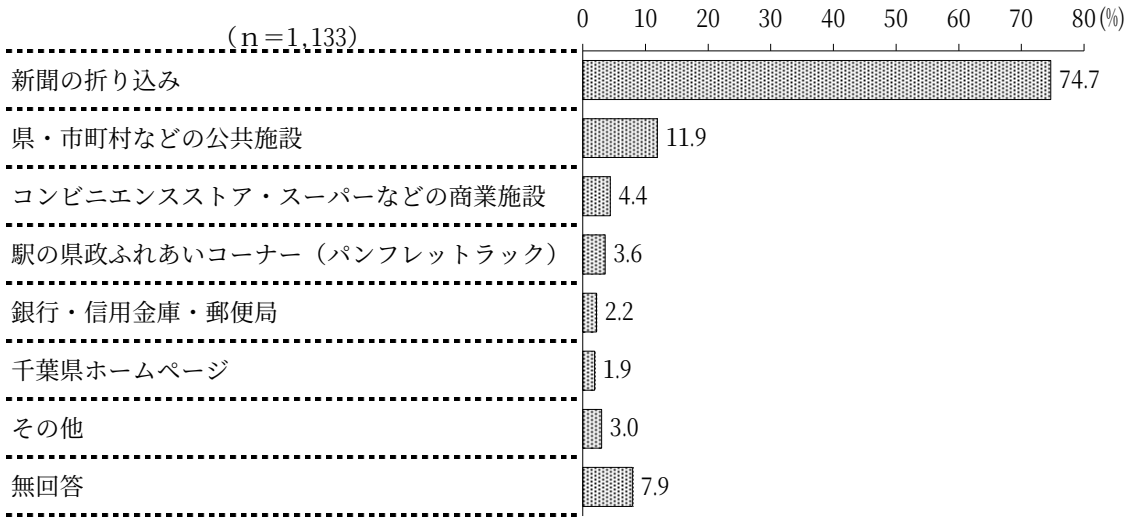
（３－１）「ちば県民だより」の入手場所について

◇「新聞の折り込み」が７割台半ば

（問40で「ほとんど毎回読んでいる」、「ときどき読んでいる」、「あまり読まない」のいずれかをお答えの方に）

問40－１　県広報紙「ちば県民だより」をどこで入手していますか。（○はいくつでも）

＜図表８－７＞「ちば県民だより」の入手場所について（複数回答）



県広報紙「ちば県民だより」を「ほとんど毎回読んでいる」、「ときどき読んでいる」、「あまり読まない」と回答した1,133人を対象に、「ちば県民だより」をどこで入手しているか聞いたところ、「新聞の折り込み」（74.7%）が７割台半ばで最も高く、以下、「県・市町村などの公共施設」（11.9%）、「コンビニエンスストア・スーパーなどの商業施設」（4.4%）が続く。（図表８－７）

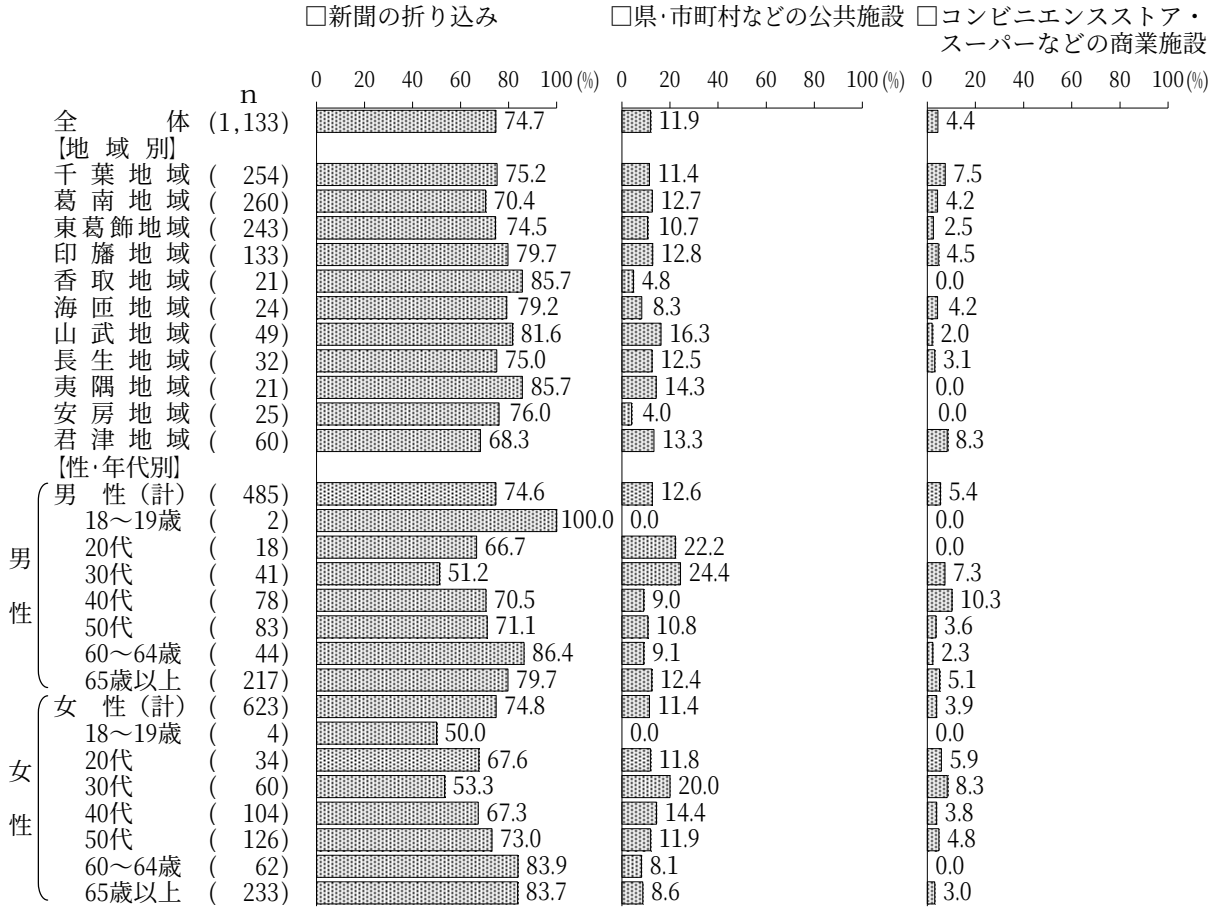
【地域別】

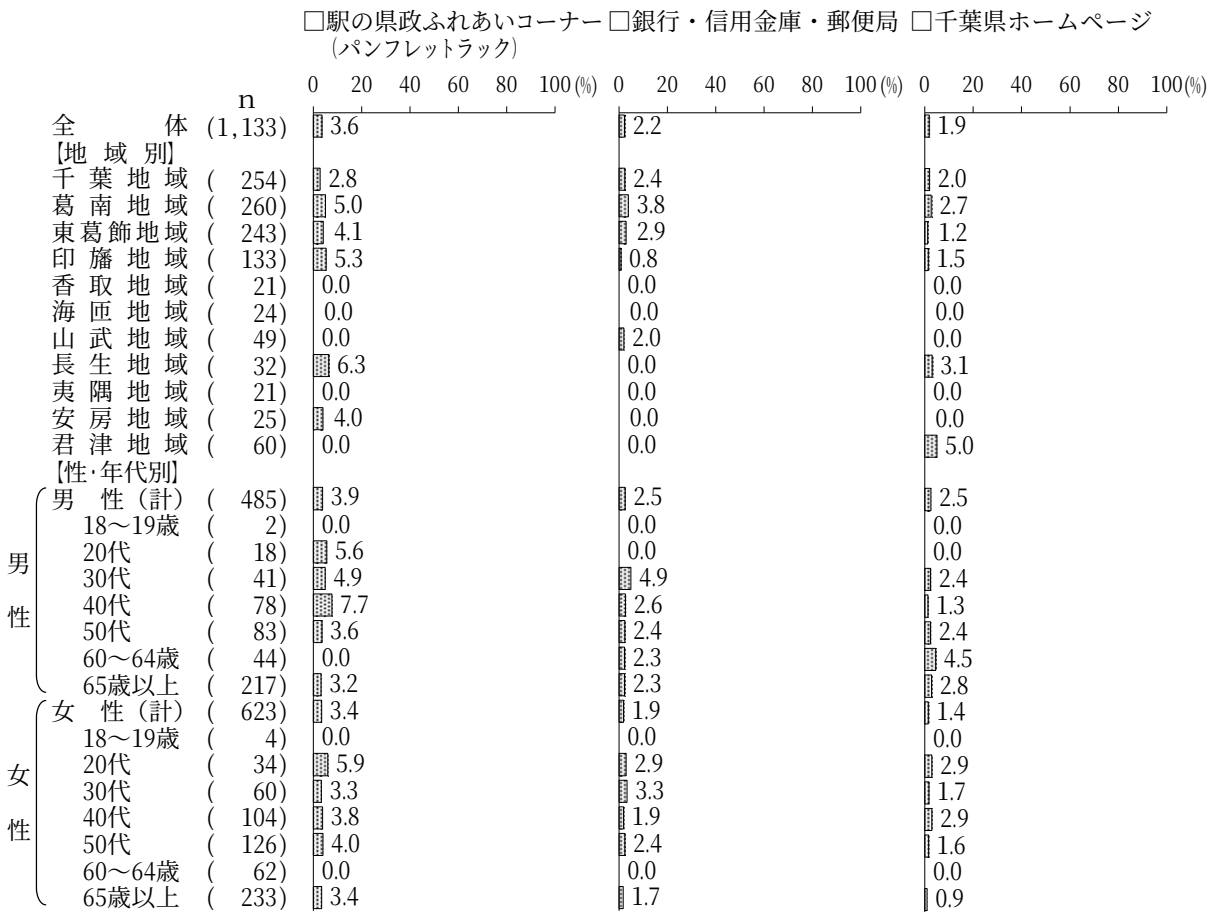
地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。（図表８－８）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「県・市町村などの公共施設」は男性の30代（24.4%）が２割台半ばで高くなっている。（図表８－８）

＜図表８－８＞「ちば県民だより」の入手場所について（複数回答）／地域別、性・年代別





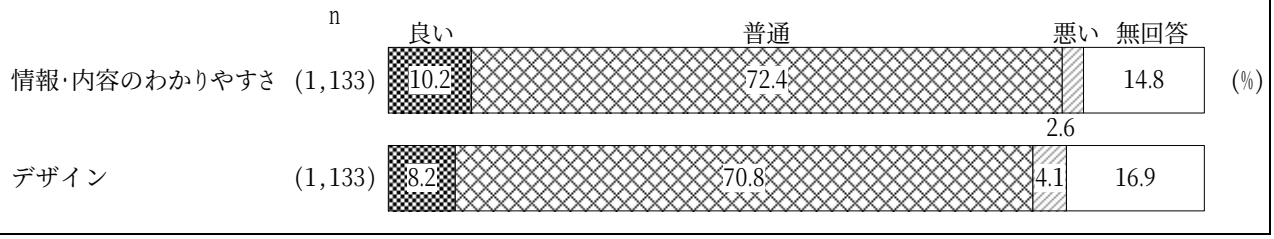
（３－２）「ちば県民だより」の内容について

◇情報・内容のわかりやすさ、デザインともに「良い」が１割前後

（問40で「ほとんど毎回読んでいる」、「ときどき読んでいる」、「あまり読まない」のいずれかをお答えの方に）

問40－２　県広報紙「ちば県民だより」の内容についておたずねします。（○はそれぞれ１つずつ）

＜図表８－９＞「ちば県民だより」の内容について



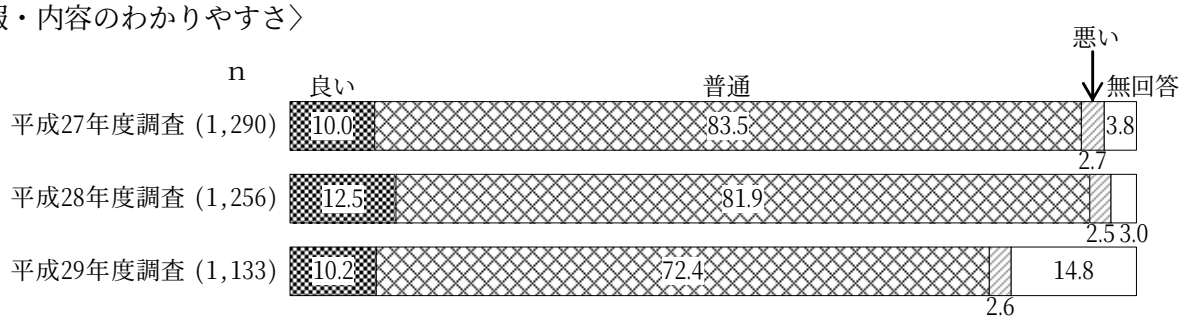
県広報紙「ちば県民だより」を「ほとんど毎回読んでいる」、「ときどき読んでいる」、「あまり読まない」と回答した1,133人を対象に、「ちば県民だより」の内容について聞いたところ、〈情報・内容のわかりやすさ〉の「良い」（10.2%）は１割、「普通」（72.4%）は７割を超えている。

また、〈デザイン〉の「良い」（8.2%）は約１割、「普通」（70.8%）は７割となっている。

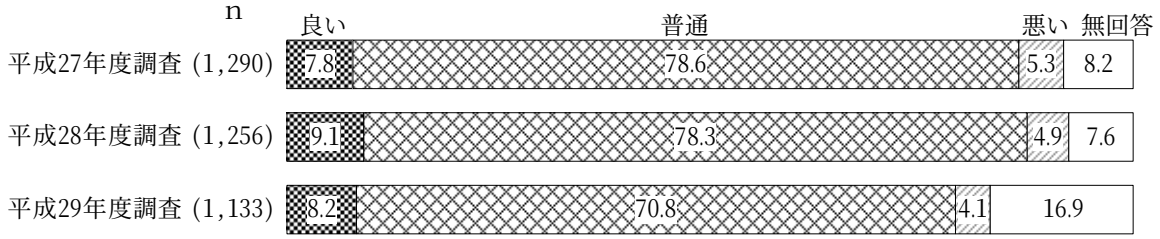
（図表８－９）

〔参考〕平成27年度・平成28年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）

〈情報・内容のわかりやすさ〉



〈デザイン〉



【地域別】

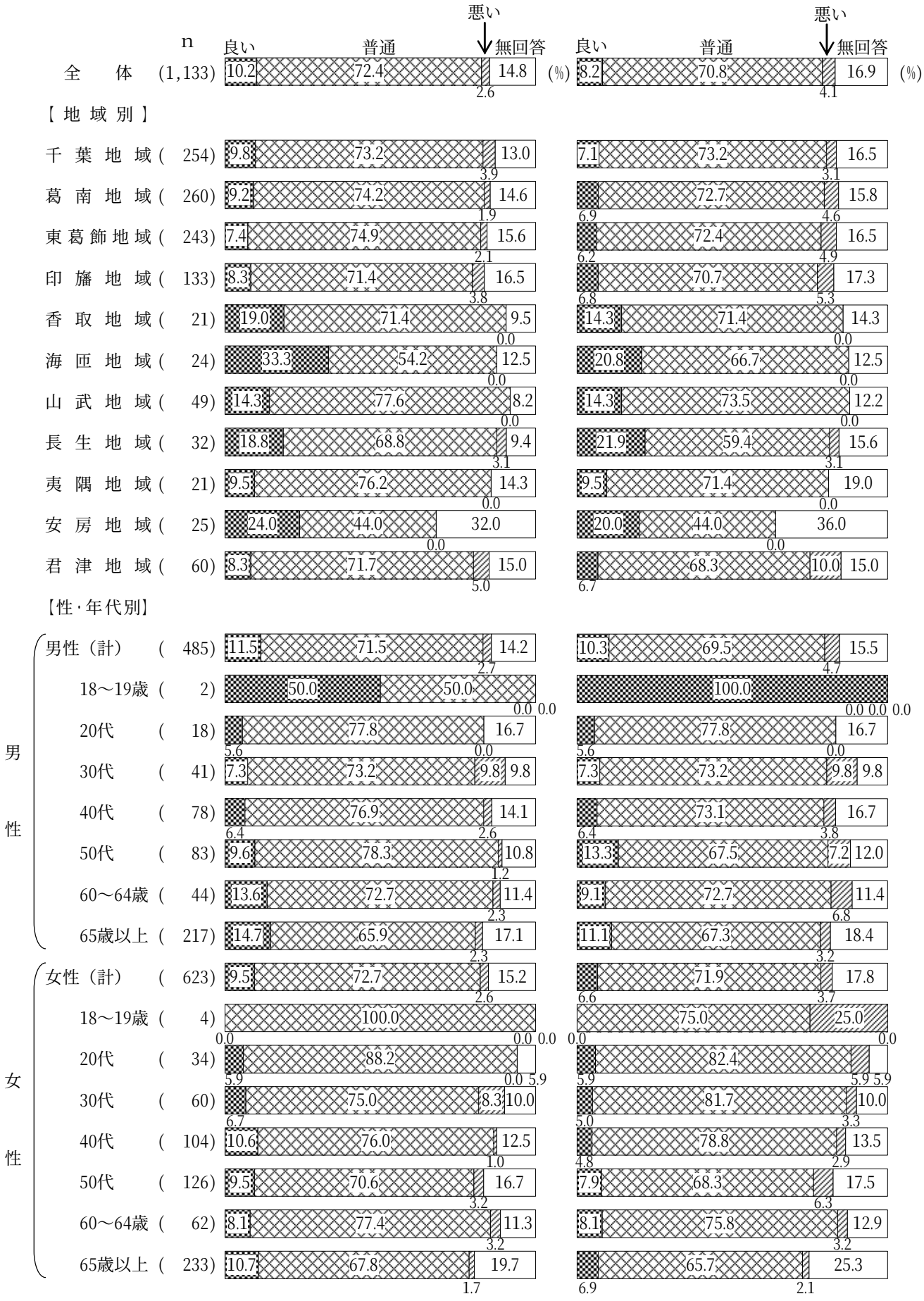
地域別にみると、〈情報・内容のわかりやすさ〉の「良い」は“海匝地域”（33.3%）が３割を超え、“安房地域”（24.0%）が２割台半ばで高くなっている。

〈デザイン〉の「良い」は“長生地域”（21.9%）が２割を超え、“海匝地域”（20.8%）、“安房地域”（20.0%）が２割で高くなっている。（図表８－10）

【性・年代別】

性・年代別にみると、大きな傾向の違いはみられない。（図表８－10）

＜図表８－10＞「ちば県民だより」の内容について／地域別、性・年代別

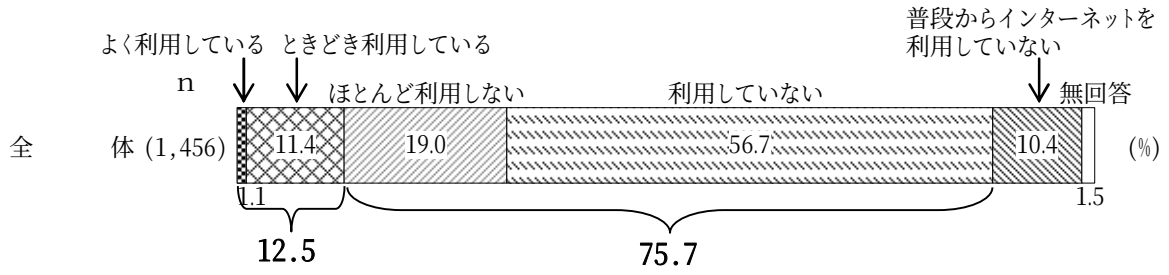


（４）千葉県ホームページの利用頻度

◇『利用している（計)』が１割を超える

問41　あなたは、千葉県ホームページを利用していますか。（○は１つ）

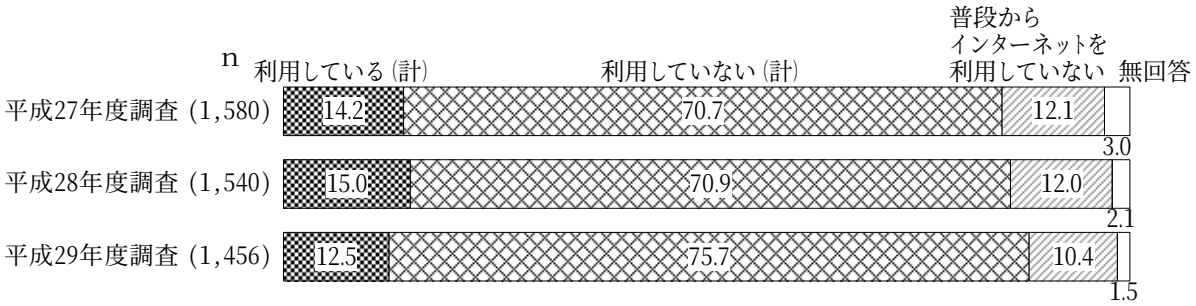
＜図表８－11＞千葉県ホームページの利用頻度



千葉県ホームページの利用頻度を聞いたところ、「よく利用している」（1.1%）と「ときどき利用している」（11.4%）を合わせた『利用している（計)』（12.5%）が１割を超えている。

一方、「ほとんど利用しない」（19.0%）と「利用していない」（56.7%）を合わせた『利用していない（計)』（75.7%）は７割台半ばとなっている。（図表８－11）

〔参考〕平成27年度・平成28年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



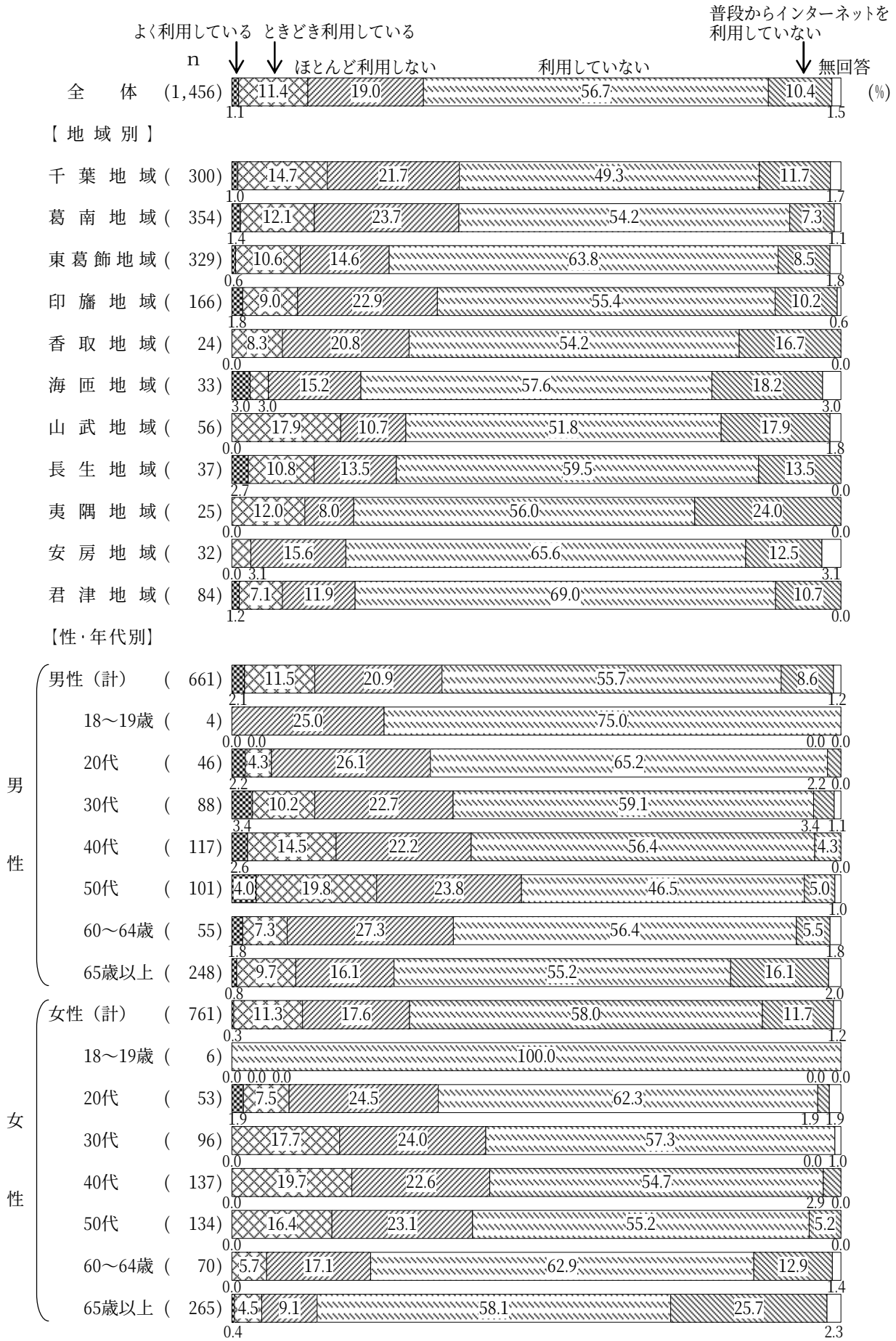
【地域別】

地域別にみると、『利用している（計)』は“山武地域”（17.9%）が約２割で高くなっている。（図表８－12）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『利用している（計)』は男性の50代（23.8%）が２割台半ばで高くなっている。（図表８－12）

＜図表８－12＞千葉県ホームページの利用頻度／地域別、性・年代別



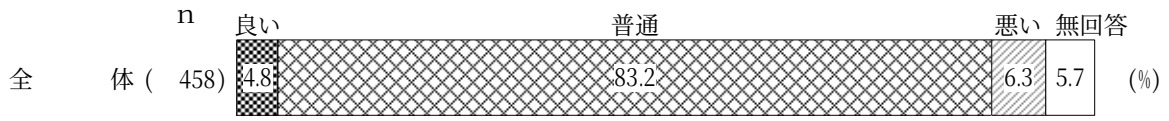
（４－１）千葉県ホームページの情報・内容のわかりやすさ

◇「普通」が８割を超える

（問41で「よく利用している」、「ときどき利用している」、「ほとんど利用しない」のいずれかをお答えの方に）

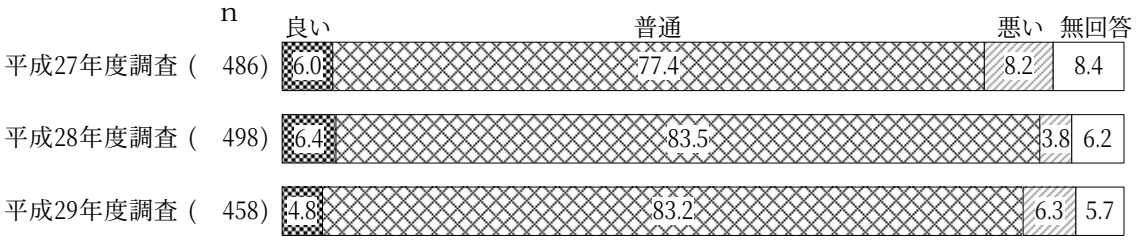
問41－１　千葉県ホームページの情報・内容のわかりやすさはいかがですか。（◯は１つ）

＜図表８－13＞千葉県ホームページの情報・内容のわかりやすさ



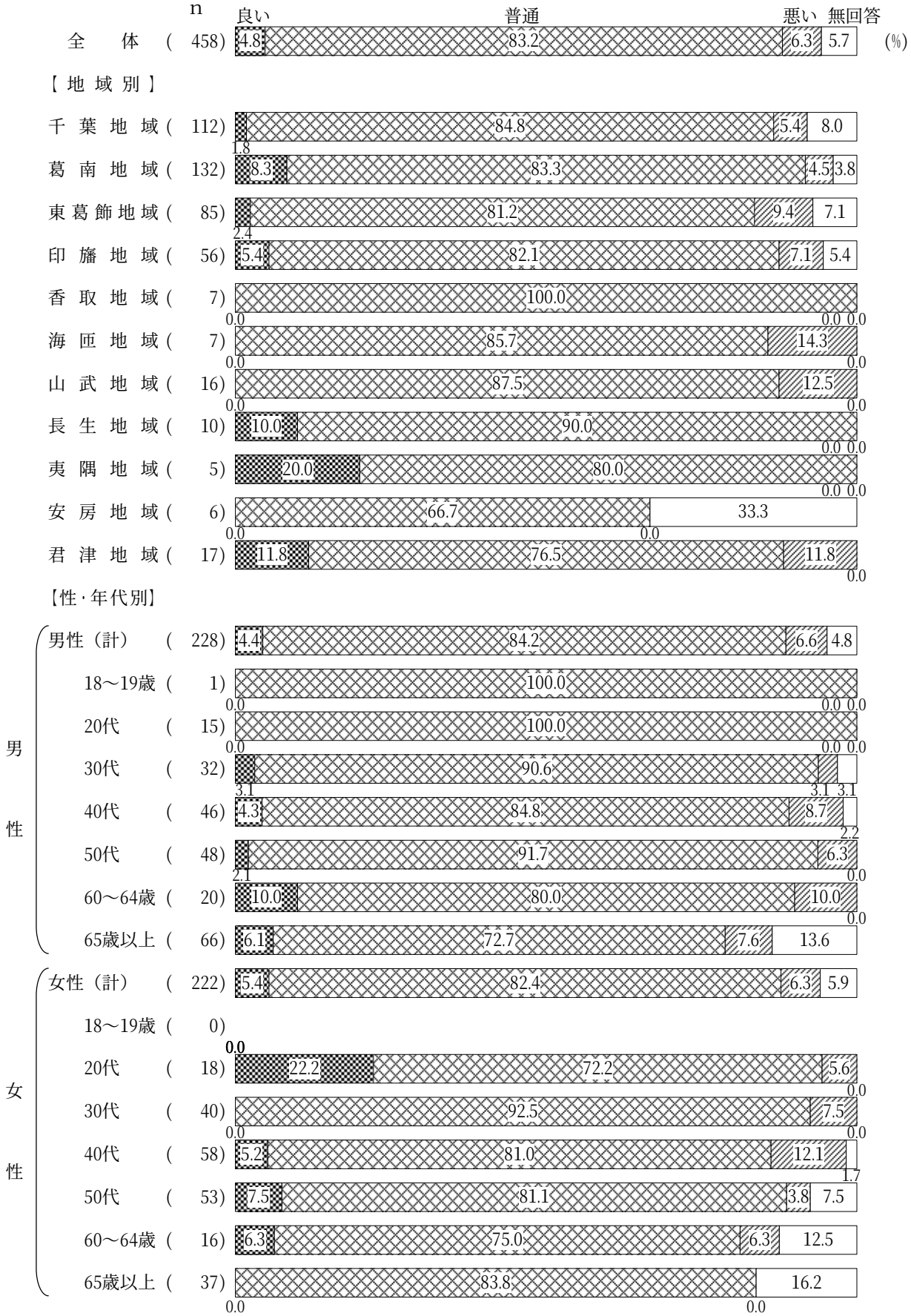
千葉県ホームページを「よく利用している」、「ときどき利用している」、「ほとんど利用しない」と回答した458人を対象に、千葉県ホームページの情報・内容のわかりやすさについて聞いたところ、「良い」（4.8%）が１割未満、「普通」（83.2%）が８割を超えている。（図表８－13）

〔参考〕平成27年度・平成28年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



※サンプル数が少ない（有意差がない）ため、【地域別】と【性・年代別】における属性の分析は触れていない。（10 ページ「報告書の見方（５）」を参照）

＜図表８－14＞千葉県ホームページの情報・内容のわかりやすさ／地域別、性・年代別

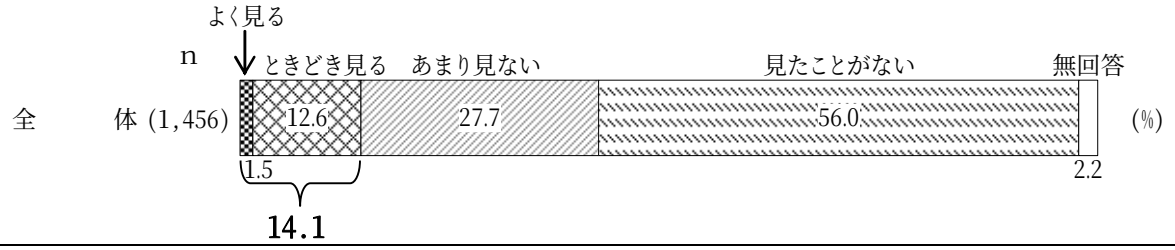


（５）県の広報番組の視聴状況

◇『見る（計）』が１割台半ば

問42　県では、千葉テレビ放送において、県の広報番組「千葉県インフォメーション」、「ウィークリー千葉県～ちばの旬な話題をお届け～」を毎週放送しています。あなたは、これらの番組をどの程度ご覧になっていますか。（○は１つ）

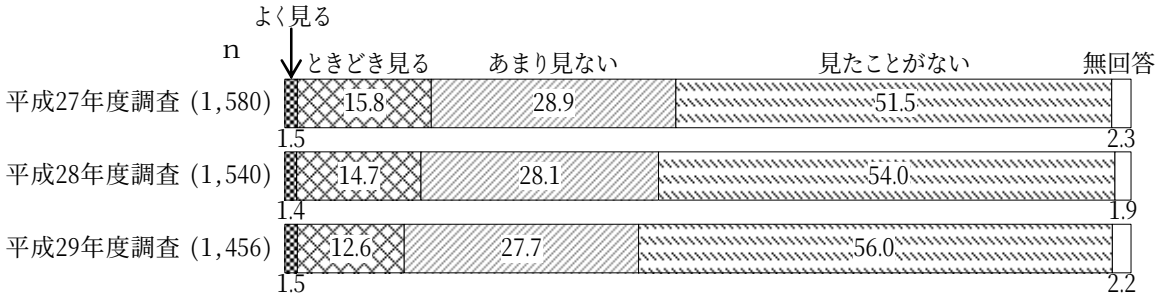
＜図表８－15＞県の広報番組の視聴状況



県の広報番組の視聴状況を聞いたところ、「よく見る」（1.5%）と「ときどき見る」（12.6%）を合わせた『見る（計）』（14.1%）が１割台半ばとなっている。

一方、「あまり見ない」（27.7%）は約３割、「見たことがない」（56.0%）は５割台半ばとなっている。（図表８－15）

〔参考〕平成27年度・平成28年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



【地域別】

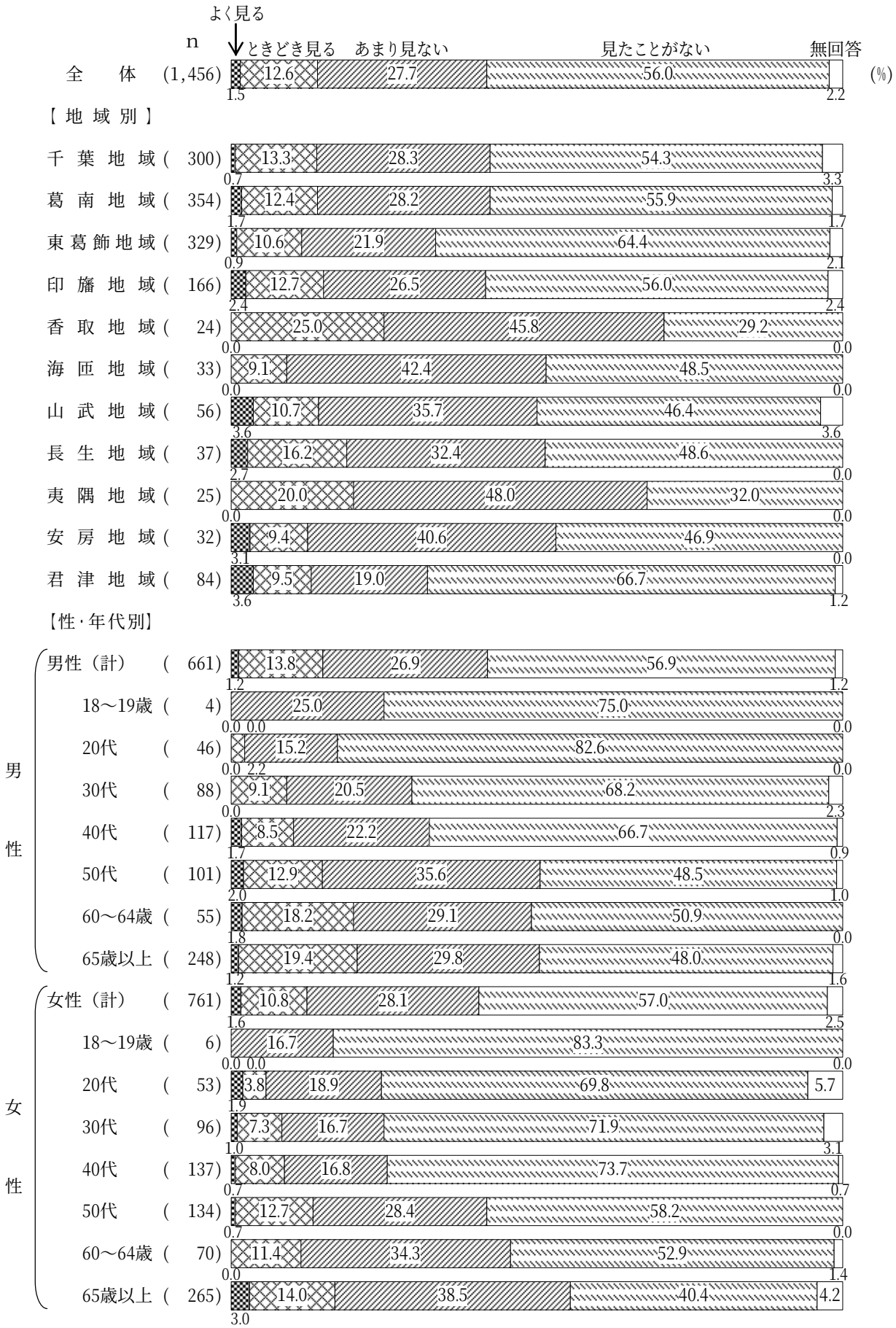
地域別にみると、『見る（計）』は“ 香取地域 ”（25.0%）が２割台半ばで高くなっている。

（図表８－16）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『見る（計）』は男性の60～64歳（20.0%）、65歳以上（20.6%）が２割で高くなっている。（図表８－16）

＜図表８－16＞県の広報番組の視聴状況／地域別、性・年代別

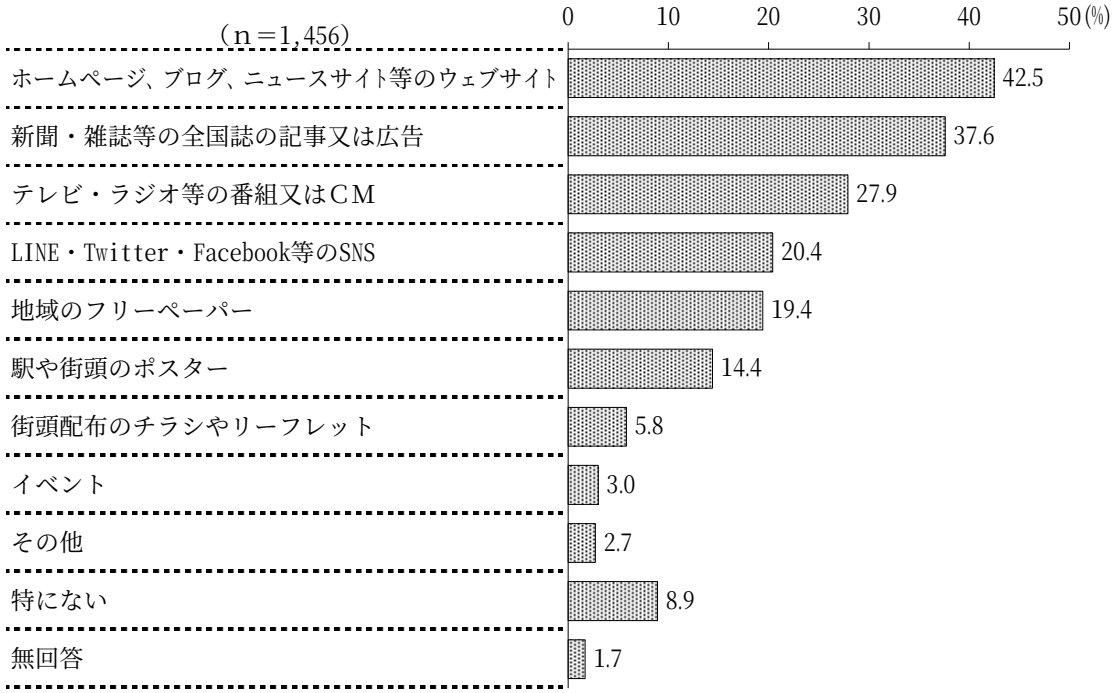


（６）情報の入手媒体

◇「ホームページ、ブログ、ニュースサイト等のウェブサイト」が４割を超える

問43　あなたは、観光や食事、レジャーなどをする上で、どのような媒体を通じて情報収集をしていますか。（○はいくつでも）

＜図表８－17＞情報の入手媒体（複数回答）



観光や食事、レジャーなどをする上で、どのような媒体を通じて情報収集をしているか聞いたところ、「ホームページ、ブログ、ニュースサイト等のウェブサイト」（42.5%）が４割を超えて最も高く、以下、「新聞・雑誌等の全国誌の記事又は広告」（37.6%）、「テレビ・ラジオ等の番組又はＣＭ」（27.9%）、「LINE・Twitter・Facebook等のSNS」（20.4%）、「地域のフリーペーパー」（19.4%）が続く。（図表８－17）

【地域別】

地域別にみると、「ホームページ、ブログ、ニュースサイト等のウェブサイト」は“葛南地域”（53.4%）が５割を超えて高くなっている。

「地域のフリーペーパー」は“長生地域”（32.4%）が３割を超えて高くなっている。（図表８－18）

【性・年代別】

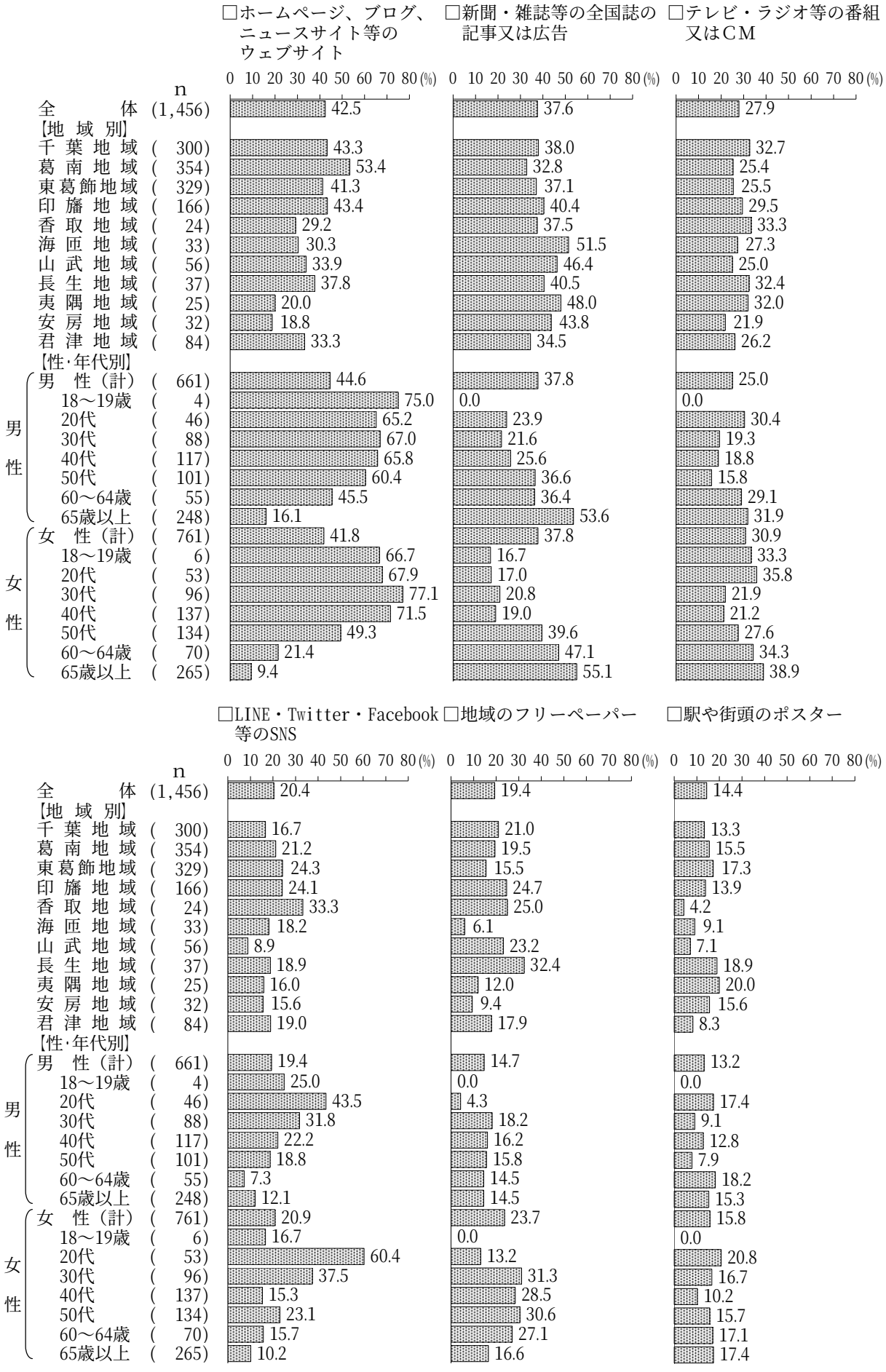
性・年代別にみると、「ホームページ、ブログ、ニュースサイト等のウェブサイト」は男性の20代、30代、40代、50代と女性の20代、30代、40代が６割台から７割台で高くなっている。

「新聞・雑誌等の全国誌の記事又は広告」は男性の65歳以上（53.6%）と女性の65歳以上（55.1%）が５割台半ばで高くなっている。

「LINE・Twitter・Facebook等のSNS」は女性の20代（60.4%）が６割、男性の20代（43.5%）が４割台半ば、女性の30代（37.5%）が約４割で高くなっている。

「地域のフリーペーパー」は女性の30代（31.3%）が３割を超え、女性の50代（30.6%）が３割で高くなっている。（図表８－18）

＜図表８－18＞情報の入手媒体（複数回答）／地域別、性・年代別（上位６項目）



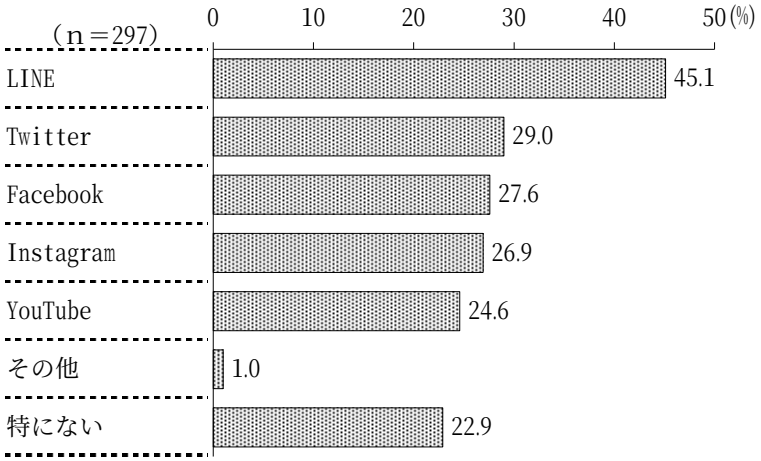
（６－１）SNSの種類

◇「LINE」が４割台半ば

（問43で「LINE・Twitter・Facebook等のSNS」をお答えの方に）

問43－１　どのようなSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を利用して情報収集をしていますか。（○はいくつでも）

＜図表８－19＞SNSの種類（複数回答）



情報の入手媒体で「LINE・Twitter・Facebook等のSNS」と回答した297人を対象に、利用しているSNSの種類を聞いたところ、「LINE」（45.1%）が４割台半ばで最も高く、以下、「Twitter」（29.0%）、「Facebook」（27.6%）、「Instagram」（26.9%）、「YouTube」（24.6%）が続く。

（図表８－19）

【地域別】

※サンプル数が少ない（有意差がない）ため、【地域別】における属性の分析は触れていない。

（10 ページ「報告書の見方（５）」を参照）

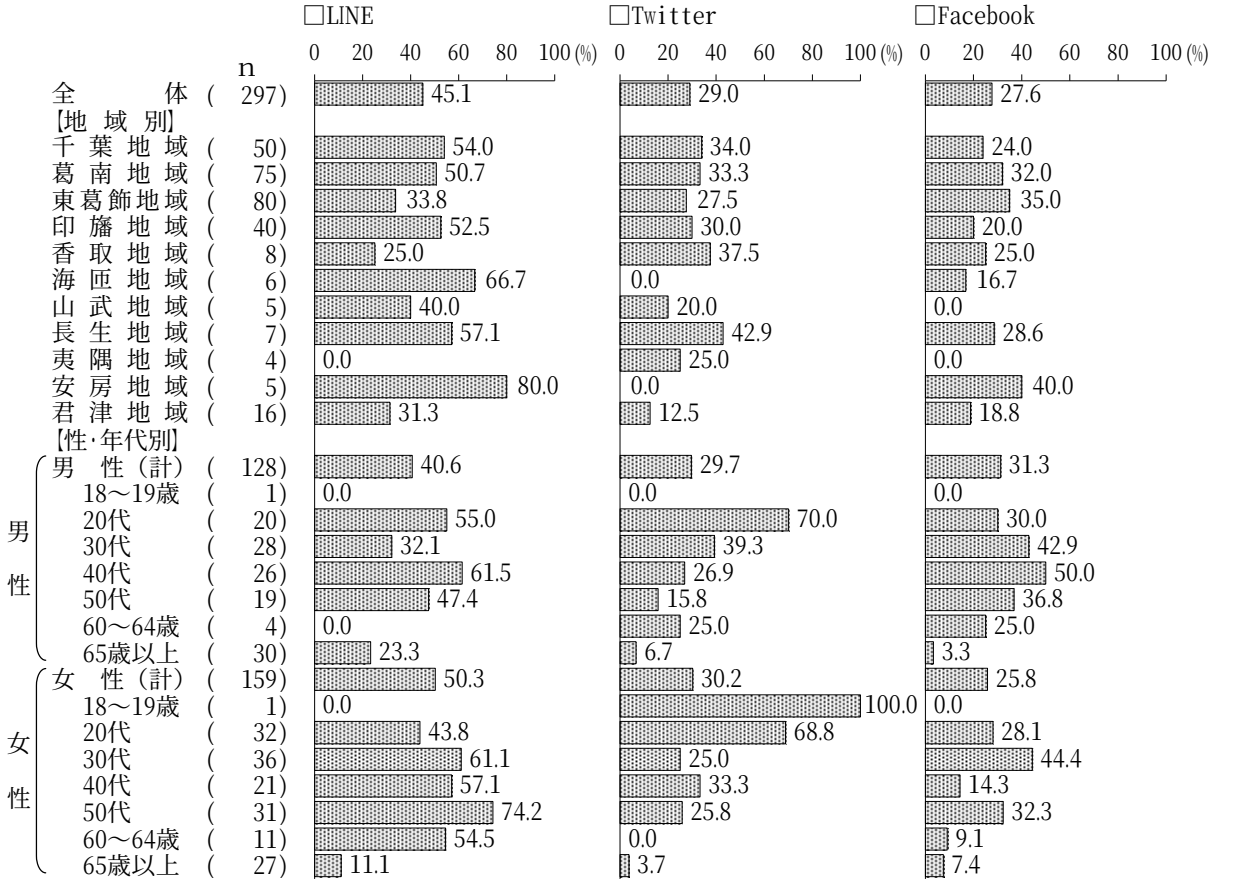
【性・年代別】

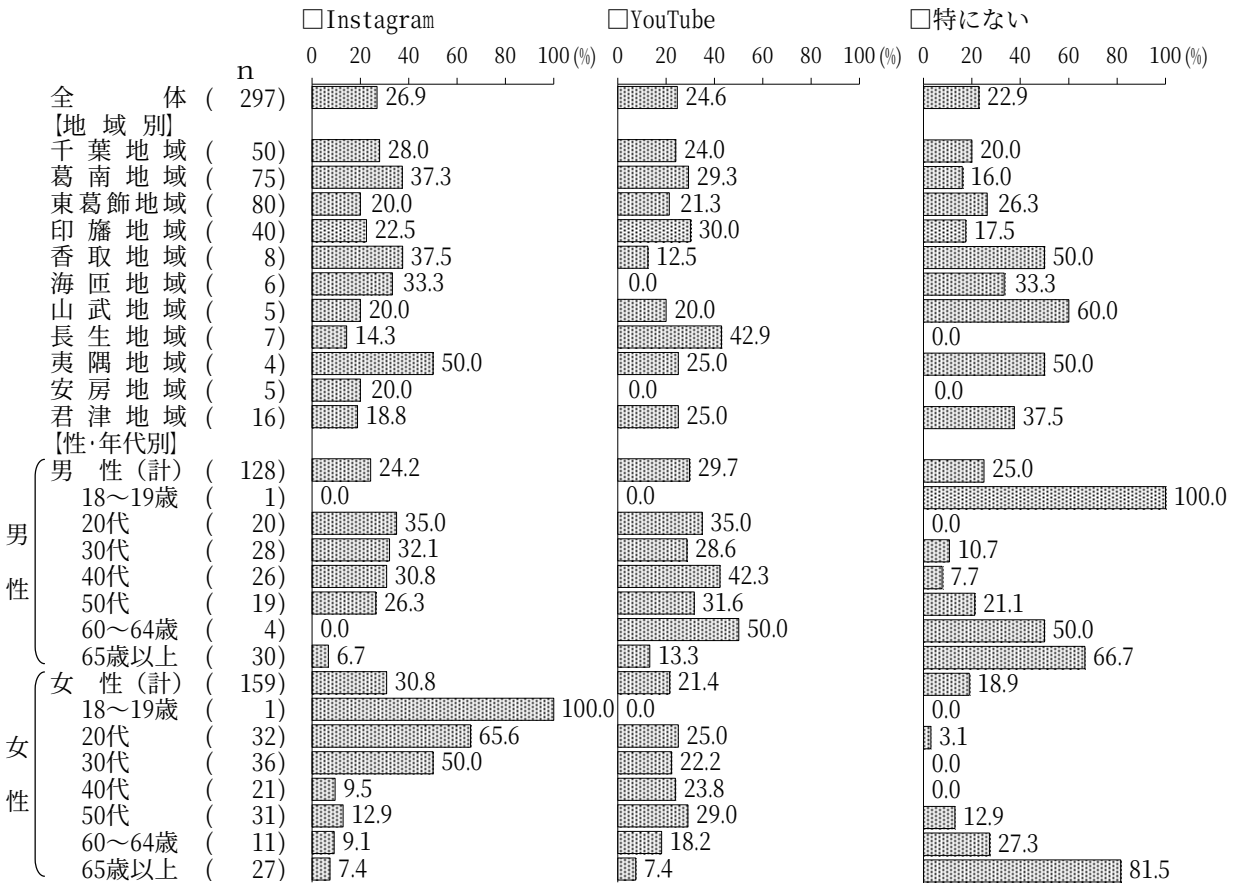
性・年代別にみると、「Twitter」は男性の20代（70.0%）が７割、女性の20代（68.8%）が約７割で高くなっている。

「Facebook」は男性の40代（50.0%）が５割、女性の30代（44.4%）が４割台半ばで高くなっている。

「Instagram」は女性の20代（65.6%）が６割台半ば、女性の30代（50.0%）が５割で高くなっている。（図表８－20）

＜図表８－20＞SNSの種類（複数回答）／地域別、性・年代別（上位６項目）



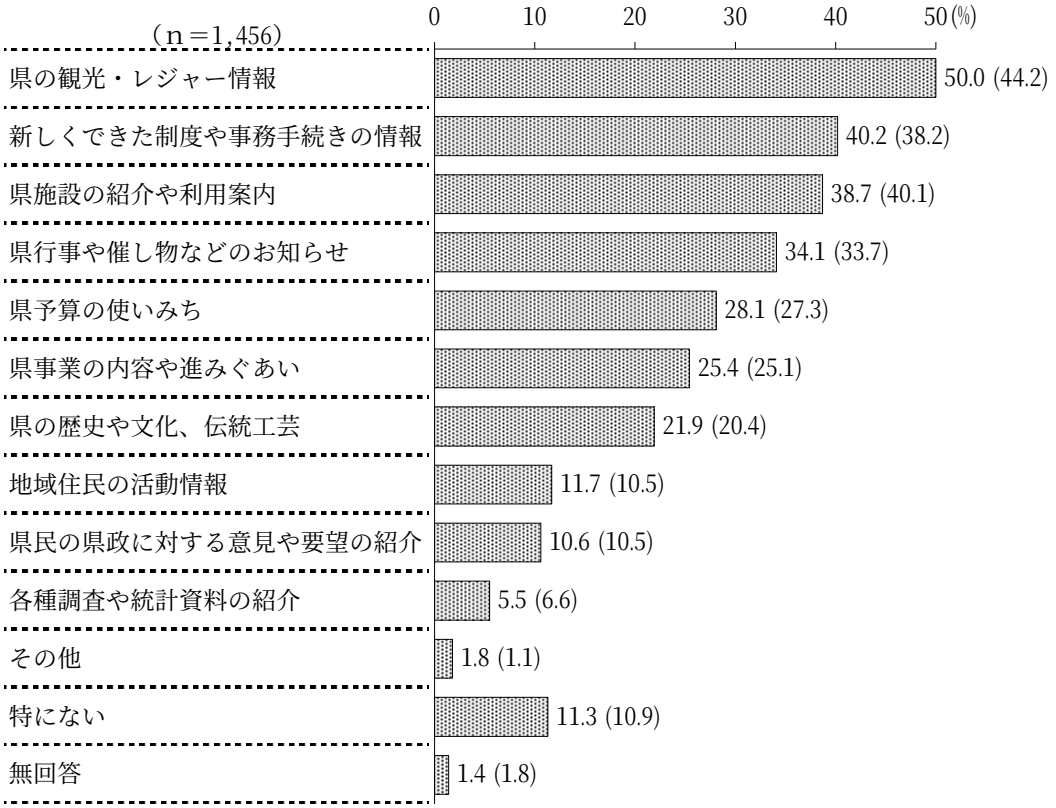


（7）県の知りたい情報

◇「県の観光・レジャー情報」が５割

問44　あなたは、県のどのような情報が知りたいですか。（○はいくつでも）

＜図表８－21＞県の知りたい情報（複数回答）



注）（　）の数字は平成28年度の同様の項目による調査結果　ｎ＝1,540

県のどのような情報が知りたいか聞いたところ、「県の観光・レジャー情報」（50.0%）が５割で最も高く、以下、「新しくできた制度や事務手続きの情報」（40.2%）、「県施設の紹介や利用案内」（38.7%）、「県行事や催し物などのお知らせ」（34.1%）、「県予算の使いみち」（28.1%）が続く。（図表８－21）

【地域別】

地域別にみると、「県施設の紹介や利用案内」は“印旛地域”（48.2%）が約５割で高くなっている。（図表８－22）

【性・年代別】

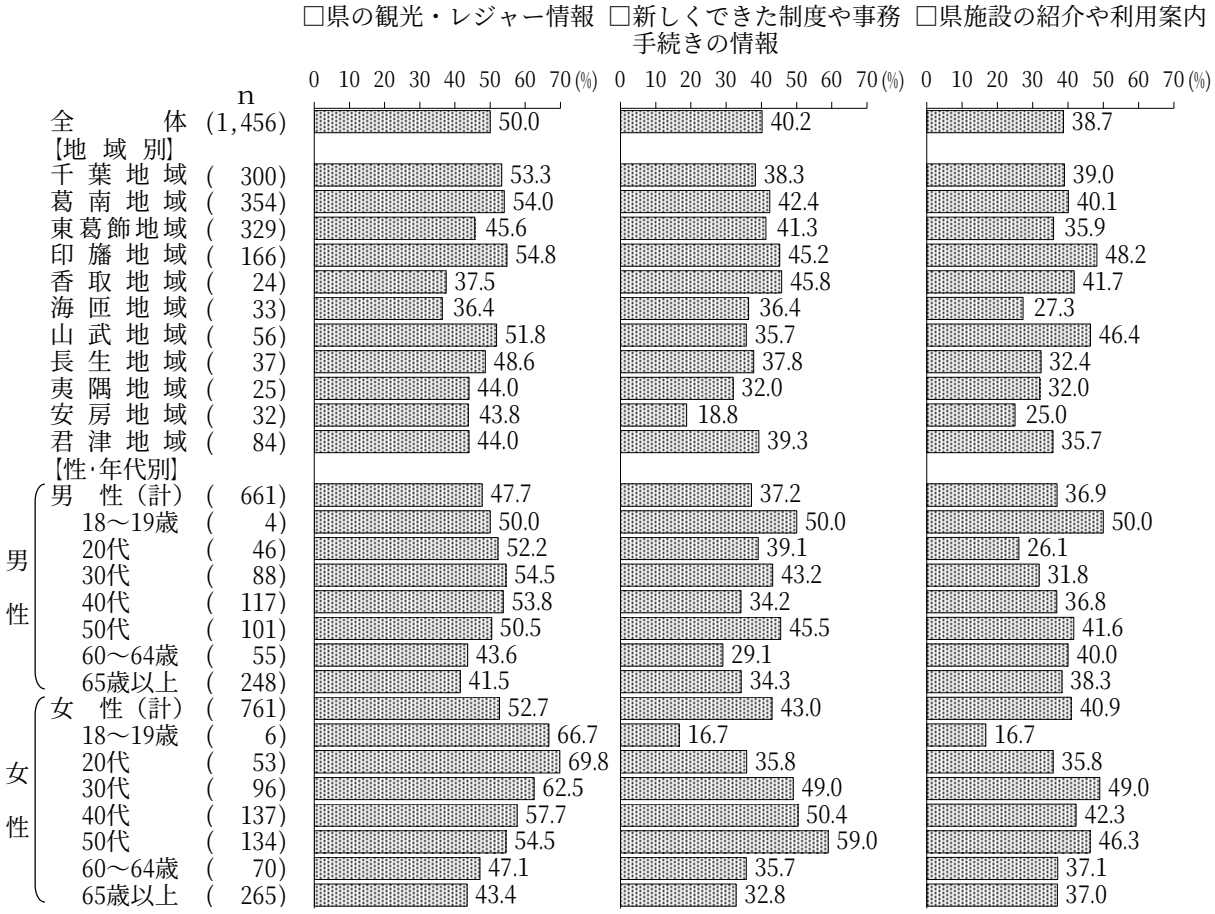
性・年代別にみると、「県の観光・レジャー情報」は女性の20代（69.8%）が約７割、女性の30代（62.5%）が６割を超えて高くなっている。

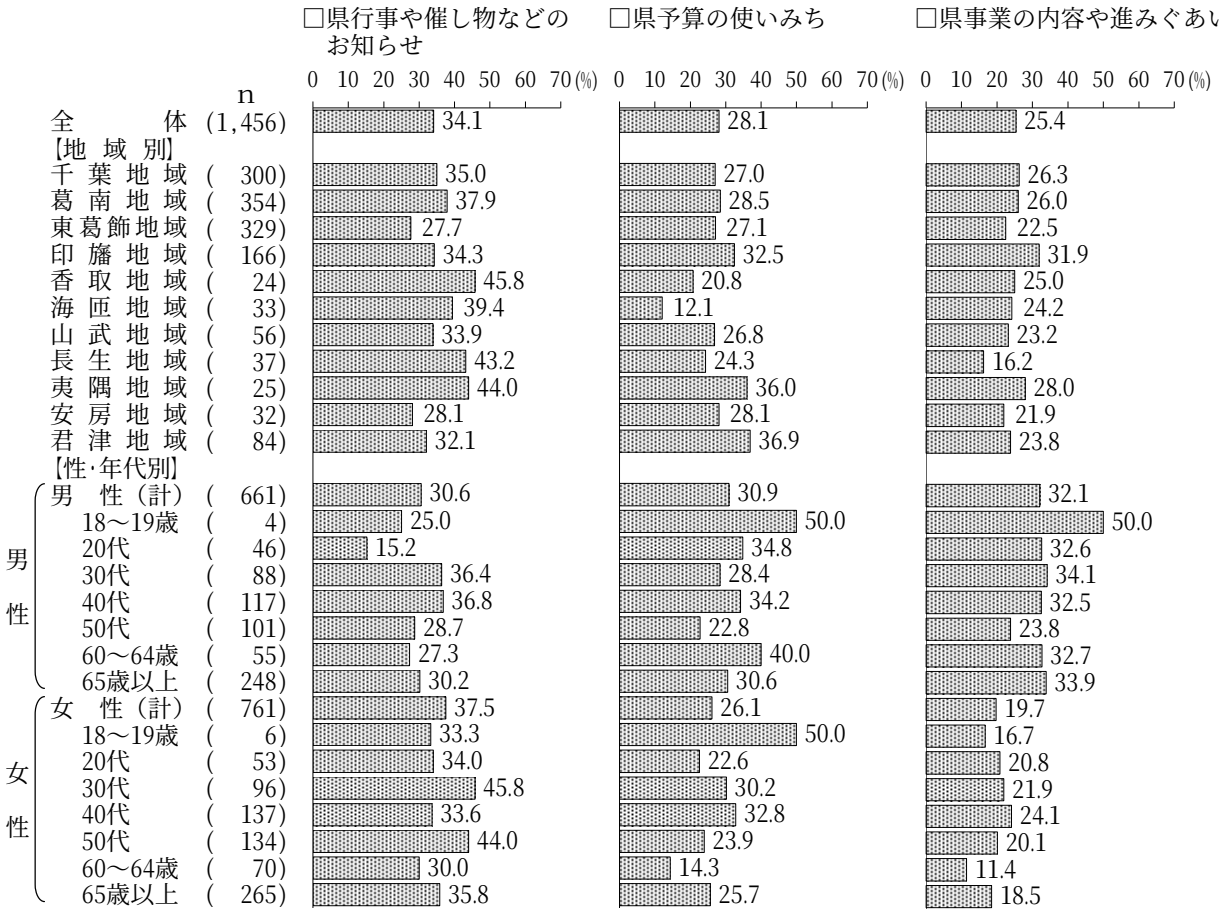
「新しくできた制度や事務手続きの情報」は女性の50代（59.0%）が約６割で高くなっている。

「県施設の紹介や利用案内」は女性の30代（49.0%）が約５割で高くなっている。

「県行事や催し物などのお知らせ」は女性の30代（45.8%）、50代（44.0%）が４割台半ばで高くなっている。（図表８－22）

＜図表８－22＞県の知りたい情報（複数回答）／地域別、性・年代別（上位６項目）



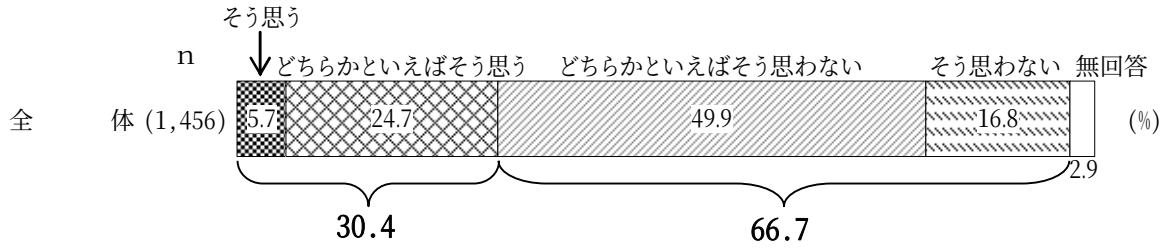


（８）県政への意見の反映

◇『そう思う（計)』が３割

問45　あなたは、県に対してご自分の意見を積極的に述べ、県政に反映させたいと思いますか。
（○は１つ）

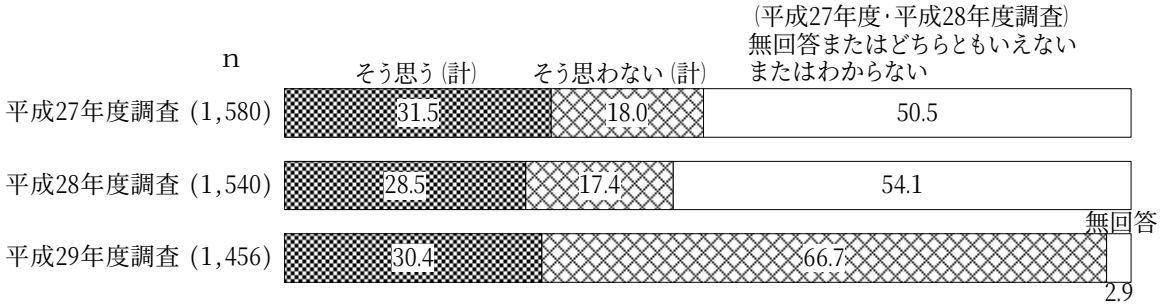
＜図表８－23＞県政への意見の反映



自分の意見を積極的に述べ、県政に反映させたいと思うか聞いたところ、「そう思う」（5.7%）と「どちらかといえばそう思う」（24.7%）を合わせた『そう思う（計)』（30.4%）が３割となっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」（49.9%）と「そう思わない」（16.8%）を合わせた『そう思わない（計)』（66.7%）は６割台半ばとなっている。（図表８－23）

〔参考〕平成27年度・平成28年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



※平成27年度・平成28年度は「どちらともいえない」「わからない」の選択肢があるため、参考値

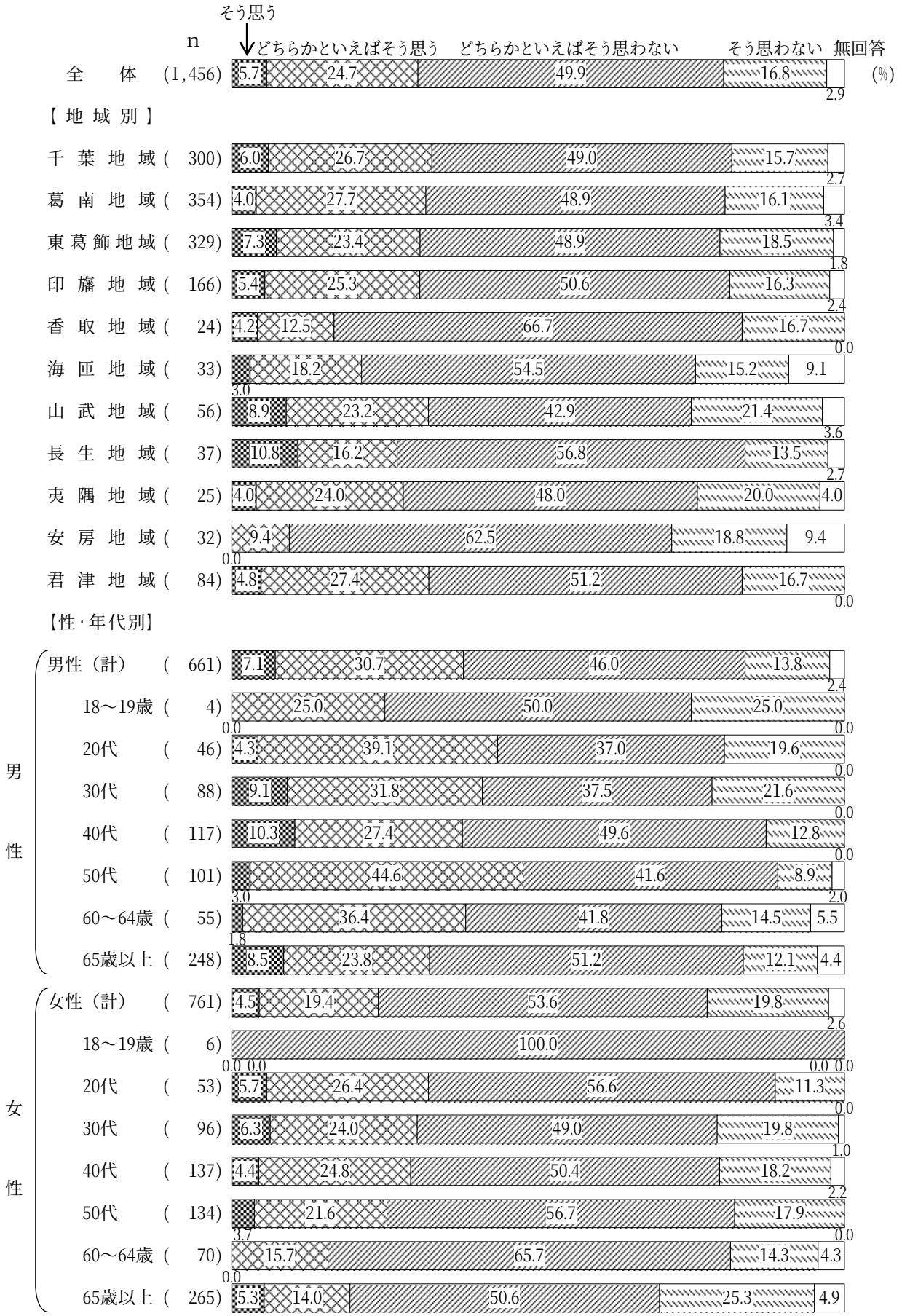
【地域別】

地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。（図表８－24）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う（計)』は男性の50代（47.6%）が約５割で高くなっている。
（図表８－24）

＜図表８－24＞県政への意見の反映／地域別、性・年代別

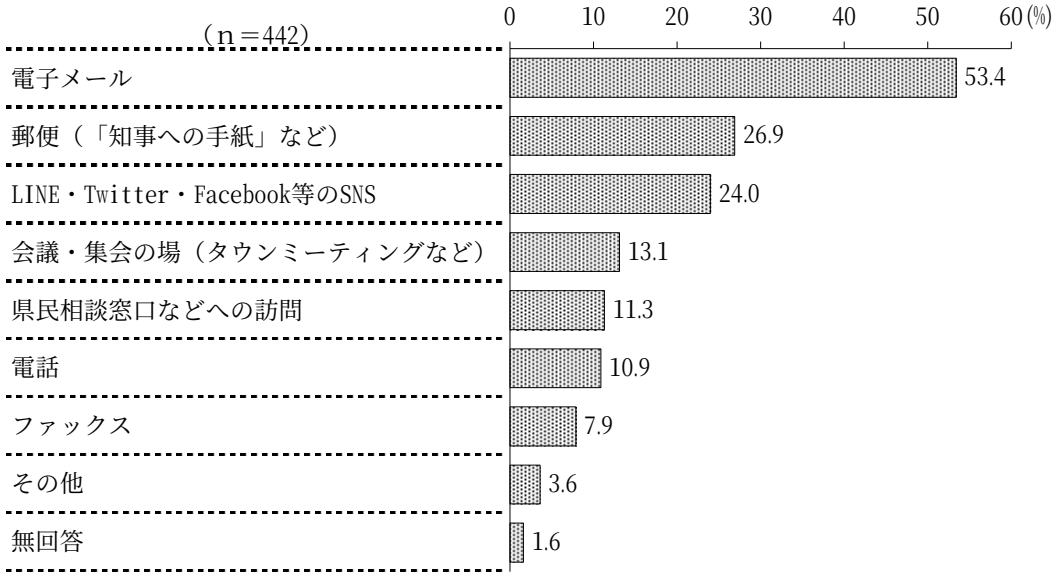


（８－１）県に対し意見を述べる方法

◇「電子メール」が５割を超える

（問45で「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」とお答えの方に）
問45－１　どのような方法で、県に対するご意見を述べたいと思いますか。（○は３つまで）

＜図表８－25＞県に対し意見を述べる方法（３つまでの複数回答）



自分の意見を積極的に述べ、県政に反映させたいと思うと回答した442人を対象に、どのような方法で意見を述べたいか３つまで選んでもらったところ、「電子メール」（53.4%）が５割を超えて最も高く、以下、「郵便（『知事への手紙』など）」（26.9%）、「LINE・Twitter・Facebook等のSNS」（24.0%）、「会議・集会の場（タウンミーティングなど）」（13.1%）、「県民相談窓口などへの訪問」（11.3%）が続く。（図表８－25）

【地域別】

※サンプル数が少ない（有意差がない）ため、【地域別】における属性の分析は触れていない。

（10 ページ「報告書の見方（５）」を参照）

【性・年代別】

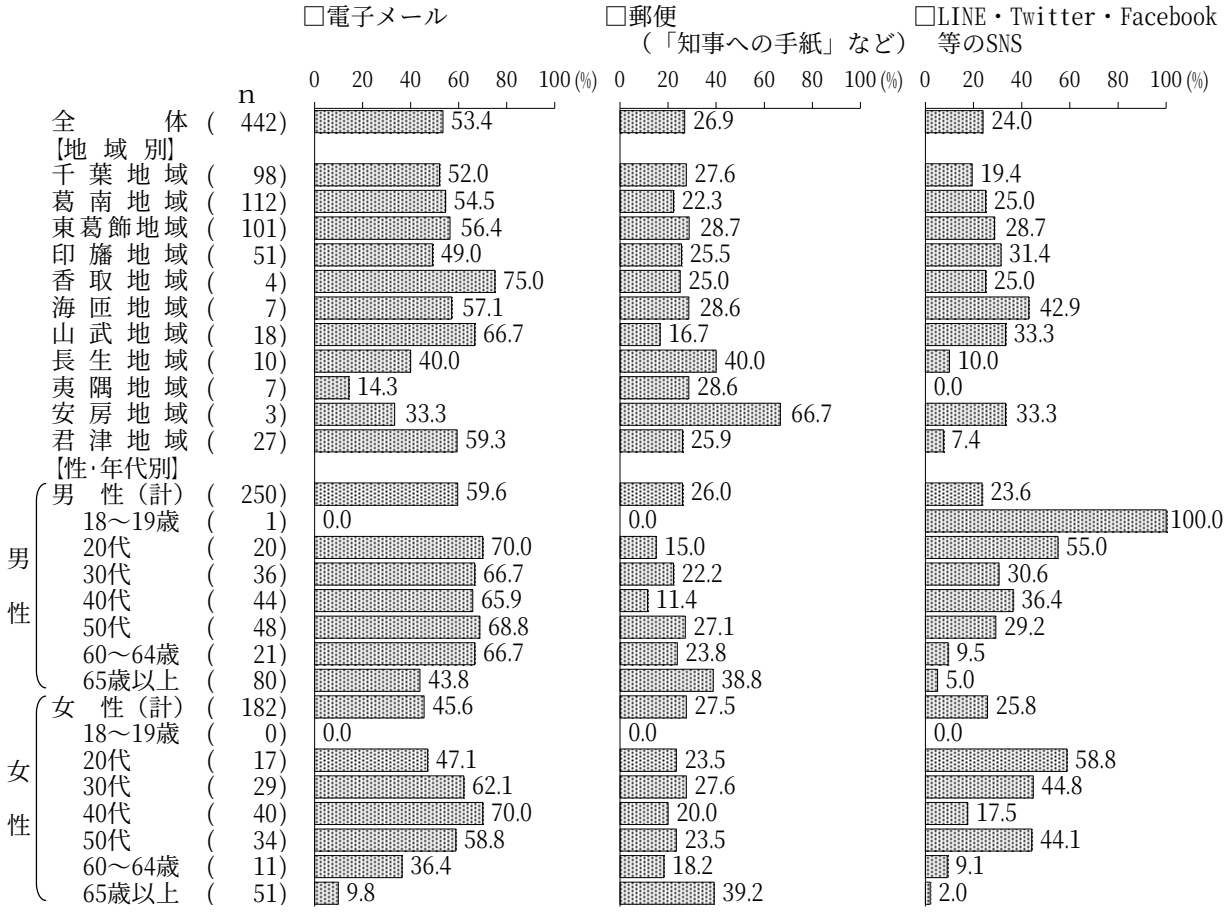
性・年代別にみると、「電子メール」は女性の40代（70.0%）が７割で高くなっている。

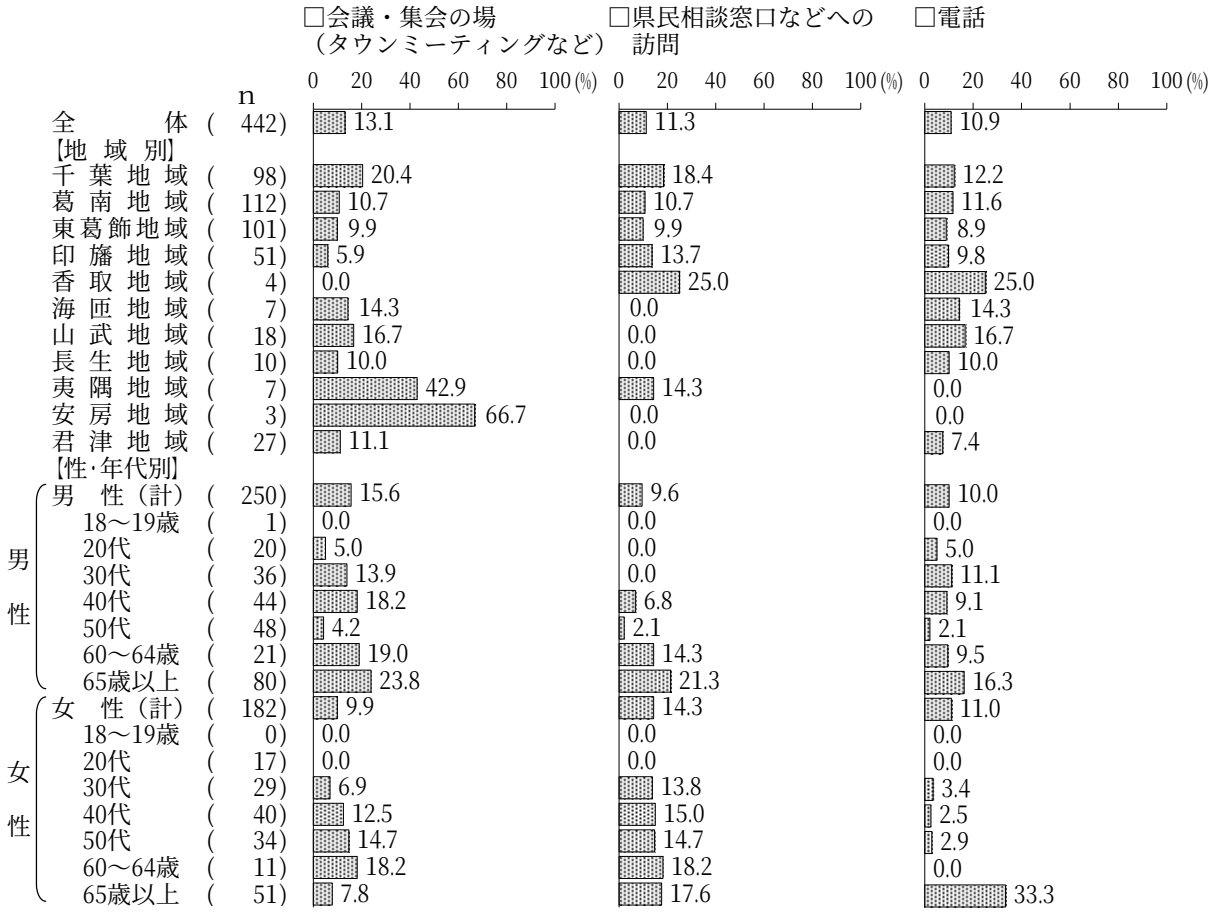
「郵便（『知事への手紙』など）」は男性の65歳以上（38.8%）と女性の65歳以上（39.2%）が約４割で高くなっている。

「LINE・Twitter・Facebook等のSNS」は女性の30代（44.8%）、50代（44.1%）が４割台半ばで高くなっている。

「会議・集会の場（タウンミーティングなど）」は男性の65歳以上（23.8%）が２割台半ばで高くなっている。（図表８－26）

＜図表８－26＞県に対し意見を述べる方法（３つまでの複数回答）／地域別、性・年代別（上位６項目）





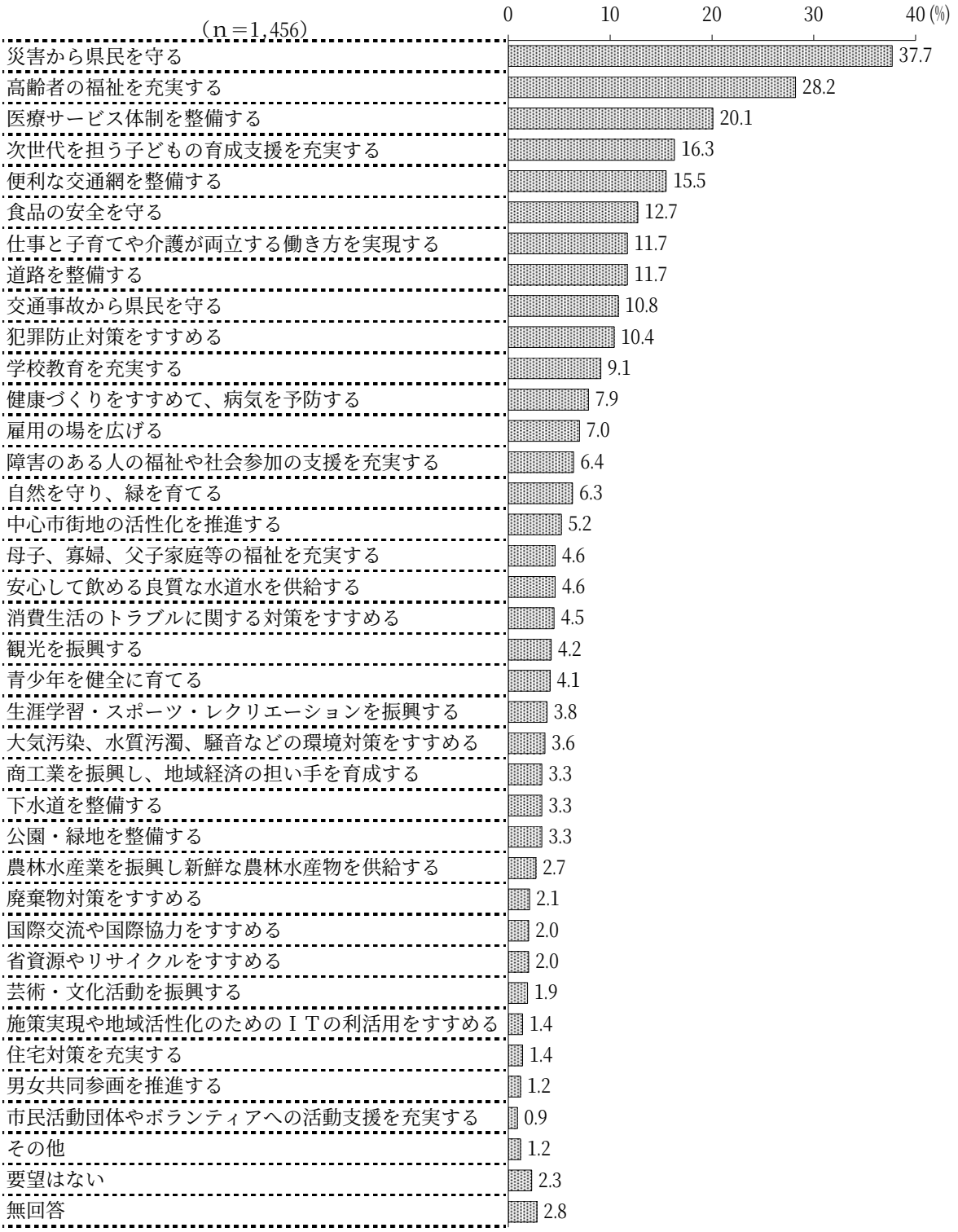
9　県政への要望

（1）県政への要望

◇「災害から県民を守る」が約４割で最も高く、次いで「高齢者の福祉を充実する」が約３割

問46　県政全般について、今後あなたが特に力をいれてほしいと思われることを、次の県政への要望項目の中から３つまで選んで番号に○をつけてください。

＜図表９－１＞県政への要望（３つまでの複数回答）



県政への要望を３つまで選んでもらったところ、「災害から県民を守る」（37.7%）が１位で、次いで「高齢者の福祉を充実する」（28.2%）が２位となっており、県民からの要望が特に高い。

以下、「医療サービス体制を整備する」（20.1%）が３位、「次世代を担う子どもの育成支援を充実する」（16.3%）が４位、「便利な交通網を整備する」（15.5%）が５位と続く。（図表９－１）

【地域別】

地域別にみると、「災害から県民を守る」は“山武地域”、“夷隅地域”以外のすべての地域で同率も含めて１位となっている。

「高齢者の福祉を充実する」は“海匝地域”、“山武地域”、“夷隅地域”で同率も含めて１位で、それ以外のすべての地域で２位となっている。

「医療サービス体制を整備する」は“葛南地域”、“夷隅地域”、“安房地域”以外のすべての地域で同率も含めて３位となっている。（図表９－３～図表９－４）

【性別、性・年代別】

性別にみると、男女ともに上位４位までは「災害から県民を守る」、「高齢者の福祉を充実する」、「医療サービス体制を整備する」、「次世代を担う子どもの育成支援を充実する」の順となっている。

性・年代別にみると、「災害から県民を守る」は男性の20代、40代、50代、65歳以上と女性の30代、40代、50代で１位となっている。

「高齢者の福祉を充実する」は男性の60～64歳と女性の60～64歳、65歳以上で１位となっている。

「次世代を担う子どもの育成支援を充実する」は男性の30代と女性の30代で同率も含めて１位となっている。

「仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する」は女性の20代で１位となっている。

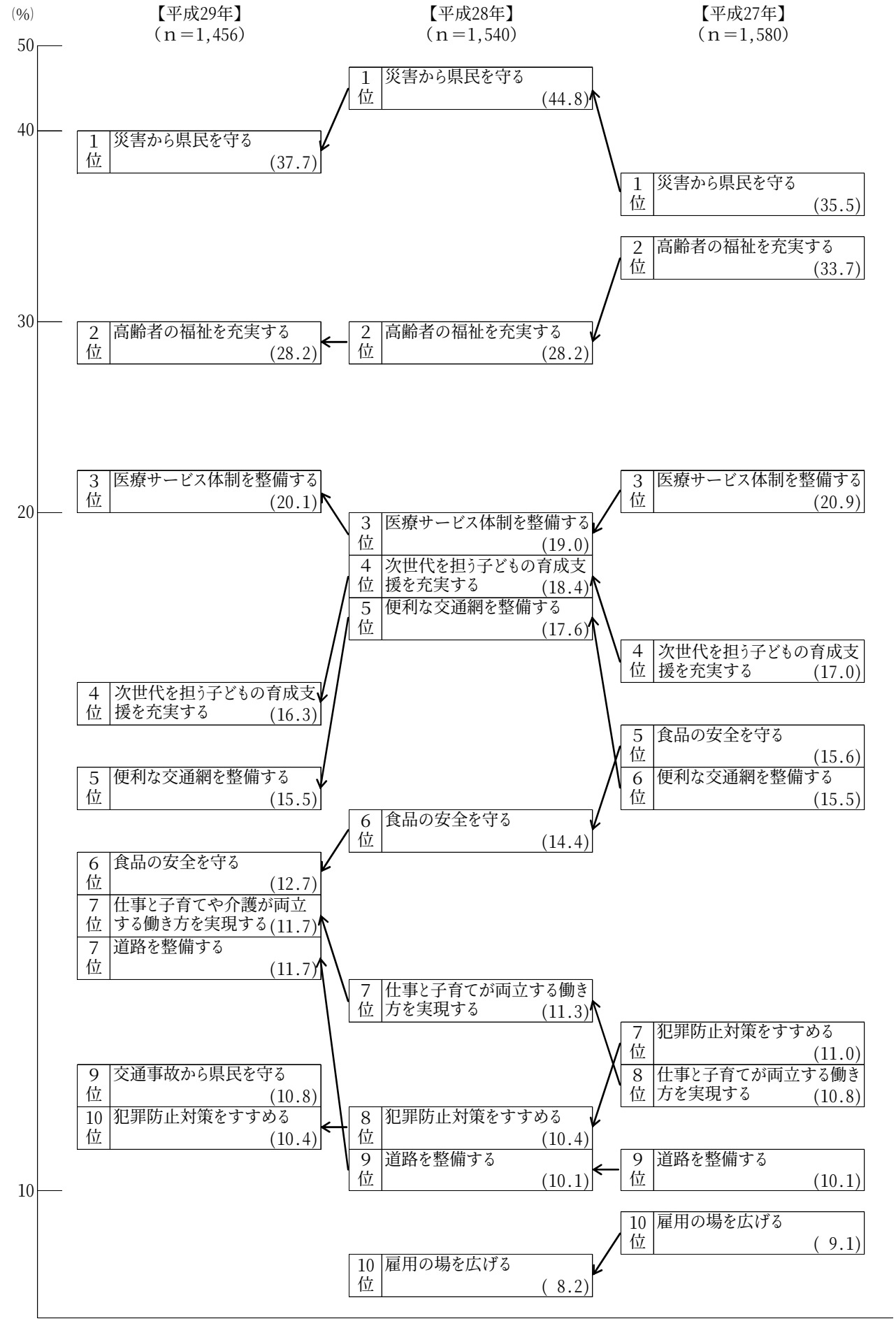
（図表９－５～９－６）

【参考】平成27年以降の同様の項目による調査結果との比較（上位10項目の推移）（図表９－２）

【経年変化の特徴】

１．「災害から県民を守る」は平成28年度（44.8%）に引き続き１位（37.7%）で、7.1ポイント減少している。
２．「高齢者の福祉を充実する」は平成28年度（28.2%）に引き続き２位（28.2%）、「医療サービス体制を整備する」は平成28年度（19.0%）に引き続き３位（20.1%）となっている。
３．４位の「次世代を担う子どもの育成支援を充実する」（16.3%）、５位の「便利な交通網を整備する」（15.5%）、６位の「食品の安全を守る」（12.7%）、同率７位の「仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する」（11.7%）も平成28年度と同じ順位となっている。
４．「道路を整備する」は平成28年度の９位（10.1%）から同率７位（11.7%）に、「交通事故から県民を守る」は平成28年度の11位（7.5%）から９位（10.8%）に順位を上げている。一方、「雇用の場を広げる」は平成28年の10位（8.2%）から13位（7.0%）に順位を下げている。

＜図表９－２＞県政への要望（３つまでの複数回答）／上位10項目の推移



＜図表９－３＞県政への要望（３つまでの複数回答）（上位１位～５位）／地域別

（%）

順位／属性	n	1　位	2　位	3　位	4　位	5　位
全　　体	1,456	災害から県民を守る (37.7)	高齢者の福祉を充実する (28.2)	医療サービス体制を整備する (20.1)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (16.3)	便利な交通網を整備する (15.5)
【地　域　別】						
千葉地域	300	災害から県民を守る (42.3)	高齢者の福祉を充実する (30.3)	医療サービス体制を整備する (19.7)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (19.0)	食品の安全を守る (14.3)
葛南地域	354	災害から県民を守る (37.9)	高齢者の福祉を充実する (23.4)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (20.3)	医療サービス体制を整備する (18.9)	道路を整備する (18.1)
東葛飾地域	329	災害から県民を守る (37.4)	高齢者の福祉を充実する (27.4)	医療サービス体制を整備する (20.1)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (14.3)	便利な交通網を整備する (14.0)
印旛地域	166	災害から県民を守る (33.1)	高齢者の福祉を充実する (32.5)	医療サービス体制を整備する (25.3)	便利な交通網を整備する (22.3)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (15.7)
香取地域	24	災害から県民を守る (37.5)	高齢者の福祉を充実する (29.2)	医療サービス体制を整備する/次世代を担う子どもの育成支援を充実する/交通事故から県民を守る (16.7)		
海匝地域	33	災害から県民を守る/高齢者の福祉を充実する (30.3)		医療サービス体制を整備する/道路を整備する/障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する/消費生活のトラブルに関する対策をすすめる/観光を振興する (15.2)		
山武地域	56	高齢者の福祉を充実する (39.3)	災害から県民を守る (37.5)	医療サービス体制を整備する (25.0)	便利な交通網を整備する (19.6)	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (14.3)
長生地域	37	災害から県民を守る (45.9)	高齢者の福祉を充実する (35.1)	医療サービス体制を整備する (18.9)	交通事故から県民を守る (16.2)	便利な交通網を整備する (13.5)
夷隅地域	25	高齢者の福祉を充実する/次世代を担う子どもの育成支援を充実する/便利な交通網を整備する/雇用の場を広げる (24.0)				災害から県民を守る (20.0)
安房地域	32	災害から県民を守る (31.3)	高齢者の福祉を充実する (21.9)	雇用の場を広げる (18.8)	医療サービス体制を整備する/次世代を担う子どもの育成支援を充実する/仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する/道路を整備する/自然を守り、緑を育てる (12.5)	
君津地域	84	災害から県民を守る (38.1)	高齢者の福祉を充実する (26.2)	医療サービス体制を整備する (23.8)	便利な交通網を整備する (20.2)	学校教育を充実する (17.9)

＜図表９－４＞県政への要望（３つまでの複数回答）（上位６位～10位）／地域別

（%）

属性＼順位	n	6　位	7　位	8　位	9　位	10　位
全　　体	1,456	食品の安全を守る (12.7)	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する/道路を整備する (11.7)		交通事故から県民を守る (10.8)	犯罪防止対策をすすめる (10.4)
【地　域　別】						
千葉地域	300	便利な交通網を整備する (12.7)	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (12.0)	交通事故から県民を守る (11.0)	犯罪防止対策をすすめる (9.7)	健康づくりをすすめて、病気を予防する (9.3)
葛南地域	354	便利な交通網を整備する (15.0)	食品の安全を守る (14.4)	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (13.8)	犯罪防止対策をすすめる (13.3)	交通事故から県民を守る (12.4)
東葛飾地域	329	食品の安全を守る (12.5)	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する/道路を整備する (11.9)		犯罪防止対策をすすめる (11.2)	交通事故から県民を守る (10.9)
印旛地域	166	道路を整備する (12.7)	食品の安全を守る (11.4)	犯罪防止対策をすすめる (9.6)	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する/学校教育を充実する (9.0)	
香取地域	24	便利な交通網を整備する/道路を整備する/観光を振興する (12.5)			仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する/中心市街地の活性化を推進する/大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる/公園･緑地を整備する (8.3)	
海匝地域	33	-		便利な交通網を整備する/健康づくりをすすめて、病気を予防する/商工業を振興し、地域経済の担い手を育成する (12.1)		
山武地域	56	食品の安全を守る/犯罪防止対策をすすめる/健康づくりをすすめて、病気を予防する (12.5)			下水道を整備する (10.7)	農林水産業を振興し新鮮な農林水産物を供給する (8.9)
長生地域	37	次世代を担う子どもの育成支援を充実する/道路を整備する/雇用の場を広げる/母子、寡婦、父子家庭等の福祉を充実する/消費生活のトラブルに関する対策をすすめる (10.8)				
夷隅地域	25	医療サービス体制を整備する/道路を整備する/観光を振興する (16.0)			仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する/障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する/自然を守り、緑を育てる/商工業を振興し、地域経済の担い手を育成する (12.0)	
安房地域	32	-			便利な交通網を整備する/食品の安全を守る/学校教育を充実する/下水道を整備する/農林水産業を振興し新鮮な農林水産物を供給する (9.4)	
君津地域	84	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (15.5)	雇用の場を広げる (14.3)	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (13.1)	食品の安全を守る (11.9)	交通事故から県民を守る (10.7)

＜図表９－５＞県政への要望（３つまでの複数回答）（上位１位～５位）／性別、性・年代別

（%）

順位／属性	n	１　位	２　位	３　位	４　位	５　位
全　　体	1,456	災害から県民を守る (37.7)	高齢者の福祉を充実する (28.2)	医療サービス体制を整備する (20.1)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (16.3)	便利な交通網を整備する (15.5)
【性・年代別】						
男性（計）	661	災害から県民を守る (37.1)	高齢者の福祉を充実する (24.8)	医療サービス体制を整備する (18.2)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (16.3)	便利な交通網を整備する (16.0)
18～19歳	4	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (50.0)	便利な交通網を整備する/食品の安全を守る/仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する/道路を整備する/観光を振興する/生涯学習・スポーツ・レクリエーションを振興する/省資源やリサイクルをすすめる (25.0)			
20　代	46	災害から県民を守る (23.9)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する/便利な交通網を整備する (21.7)		自然を守り、緑を育てる (17.4)	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する/交通事故から県民を守る (15.2)
30　代	88	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (28.4)	災害から県民を守る (25.0)	道路を整備する (22.7)	便利な交通網を整備する (20.5)	医療サービス体制を整備する (19.3)
40　代	117	災害から県民を守る (38.5)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (25.6)	医療サービス体制を整備する (19.7)	便利な交通網を整備する (16.2)	犯罪防止対策をすすめる (15.4)
50　代	101	災害から県民を守る (40.6)	高齢者の福祉を充実する (23.8)	便利な交通網を整備する (22.8)	医療サービス体制を整備する (20.8)	道路を整備する (16.8)
60～64歳	55	高齢者の福祉を充実する (38.2)	災害から県民を守る (34.5)	医療サービス体制を整備する (27.3)	犯罪防止対策をすすめる (21.8)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (18.2)
65歳以上	248	災害から県民を守る (43.1)	高齢者の福祉を充実する (39.1)	医療サービス体制を整備する (15.7)	食品の安全を守る (14.9)	健康づくりをすすめて、病気を予防する (13.3)
女性（計）	761	災害から県民を守る (38.8)	高齢者の福祉を充実する (30.9)	医療サービス体制を整備する (22.1)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (16.7)	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (15.6)
18～19歳	6	災害から県民を守る/母子、寡婦、父子家庭等の福祉を充実する/観光を振興する (33.3)			（作図の便宜上、次ページに掲載する）	
20　代	53	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (32.1)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する/便利な交通網を整備する (22.6)		災害から県民を守る/交通事故から県民を守る (20.8)	
30　代	96	災害から県民を守る/次世代を担う子どもの育成支援を充実する (31.3)		仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (29.2)	学校教育を充実する (26.0)	犯罪防止対策をすすめる (17.7)
40　代	137	災害から県民を守る (40.1)	医療サービス体制を整備する (26.3)	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (21.9)	便利な交通網を整備する (20.4)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (17.5)
50　代	134	災害から県民を守る (47.0)	高齢者の福祉を充実する (41.8)	医療サービス体制を整備する (27.6)	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する/道路を整備する (13.4)	
60～64歳	70	高齢者の福祉を充実する (41.4)	災害から県民を守る (34.3)	医療サービス体制を整備する (25.7)	便利な交通網を整備する (21.4)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (18.6)
65歳以上	265	高齢者の福祉を充実する (45.3)	災害から県民を守る (41.5)	医療サービス体制を整備する (21.5)	食品の安全を守る (17.0)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (12.5)

＜図表９－６＞県政への要望（３つまでの複数回答）（上位６位～10位）／性別、性・年代別

（%）

属性＼順位	n	6　位	7　位	8　位	9　位	10　位
全　　体	1,456	食品の安全を守る (12.7)	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する/道路を整備する (11.7)		交通事故から県民を守る (10.8)	犯罪防止対策をすすめる (10.4)
【性・年代別】						
男性（計）	661	道路を整備する (13.5)	交通事故から県民を守る (12.6)	食品の安全を守る (12.1)	犯罪防止対策をすすめる (10.6)	健康づくりをすすめて、病気を予防する (8.5)
18～19歳	4	-				
20　　代	46	-	道路を整備する (13.0)	医療サービス体制を整備する/犯罪防止対策をすすめる/健康づくりをすすめて、病気を予防する/観光を振興する/生涯学習･スポーツ･レクリエーションを振興する (10.9)		
30　　代	88	交通事故から県民を守る (14.8)	中心市街地の活性化を推進する (12.5)	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (11.4)	食品の安全を守る/犯罪防止対策をすすめる/学校教育を充実する/雇用の場を広げる/生涯学習･スポーツ･レクリエーションを振興する (9.1)	
40　　代	117	高齢者の福祉を充実する (12.8)	道路を整備する/交通事故から県民を守る/学校教育を充実する (12.0)			食品の安全を守る/仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する/雇用の場を広げる (11.1)
50　　代	101	交通事故から県民を守る (13.9)	食品の安全を守る/犯罪防止対策をすすめる (9.9)		学校教育を充実する (8.9)	消費生活のトラブルに関する対策をすすめる (7.9)
60～64歳	55	食品の安全を守る/道路を整備する (12.7)		便利な交通網を整備する/健康づくりをすすめて、病気を予防する/自然を守り、緑を育てる (10.9)		
65歳以上	248	交通事故から県民を守る (12.5)	便利な交通網を整備する (11.3)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する/道路を整備する (9.7)		自然を守り、緑を育てる (8.1)
女性（計）	761	便利な交通網を整備する (15.2)	食品の安全を守る (13.1)	道路を整備する/犯罪防止対策をすすめる/学校教育を充実する (10.5)		
18～19歳	6	次世代を担う子どもの育成支援を充実する/便利な交通網を整備する/仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する/犯罪防止対策をすすめる/学校教育を充実する/障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する/公園･緑地を整備する/芸術･文化活動を振興する (16.7)				
20　　代	53	学校教育を充実する (17.0)	医療サービス体制を整備する/犯罪防止対策をすすめる (11.3)		道路を整備する/自然を守り、緑を育てる/公園･緑地を整備する (9.4)	
30　　代	96	医療サービス体制を整備する/便利な交通網を整備する (14.6)		道路を整備する (13.5)	交通事故から県民を守る (10.4)	雇用の場を広げる/中心市街地の活性化を推進する (6.3)
40　　代	137	高齢者の福祉を充実する/学校教育を充実する (16.1)		食品の安全を守る/犯罪防止対策をすすめる (13.1)		道路を整備する (10.2)
50　　代	134	食品の安全を守る (12.7)	便利な交通網を整備する (11.2)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (10.4)	雇用の場を広げる/障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する (9.7)	
60～64歳	70	食品の安全を守る (15.7)	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (14.3)	雇用の場を広げる (12.9)	道路を整備する/交通事故から県民を守る (11.4)	
65歳以上	265	便利な交通網を整備する/健康づくりをすすめて、病気を予防する (11.7)		犯罪防止対策をすすめる (9.4)	障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する (8.7)	道路を整備する (8.3)

（１－１）各政策への具体的な要望

問47　問46で選んでいただきました県政の要望について、具体的にどのようなことを望まれますか。問46で選んだ３項目についてのみ、具体的要望項目から１つずつ選んで番号に○をつけてください。

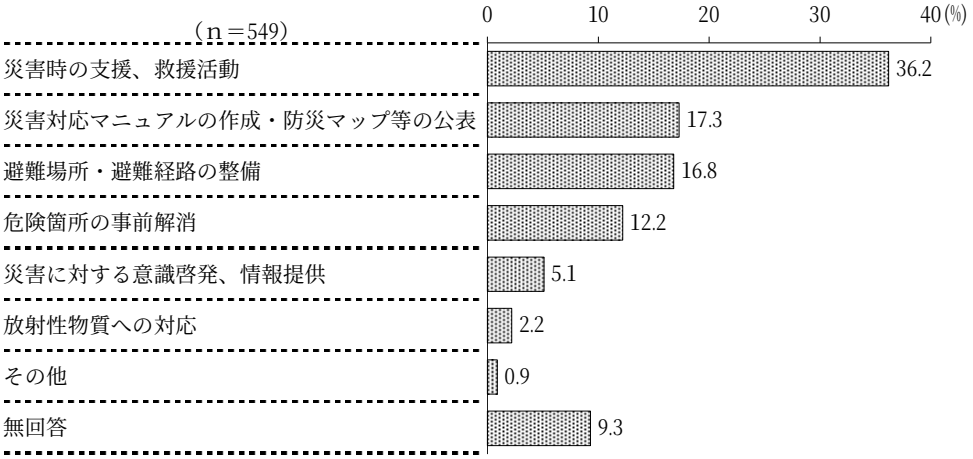
問46で県政への要望を３つまでたずね、その選んだ要望に関して、それぞれ具体的にどのようなことを望んでいるかを聞いた。

ここからは、それぞれの結果を図示していくが、問46の回答状況次第では、ｎの値が少なくなるものもあり、その場合は参考ということを明示する。

１　災害から県民を守る（37.7%、１位）

「災害時の支援、救援活動」（36.2%）が３割台半ばで最も高く、以下、「災害対応　マニュアルの作成・防災マップ等の公表」（17.3%）、「避難場所・避難経路の整備」（16.8%）が続く。

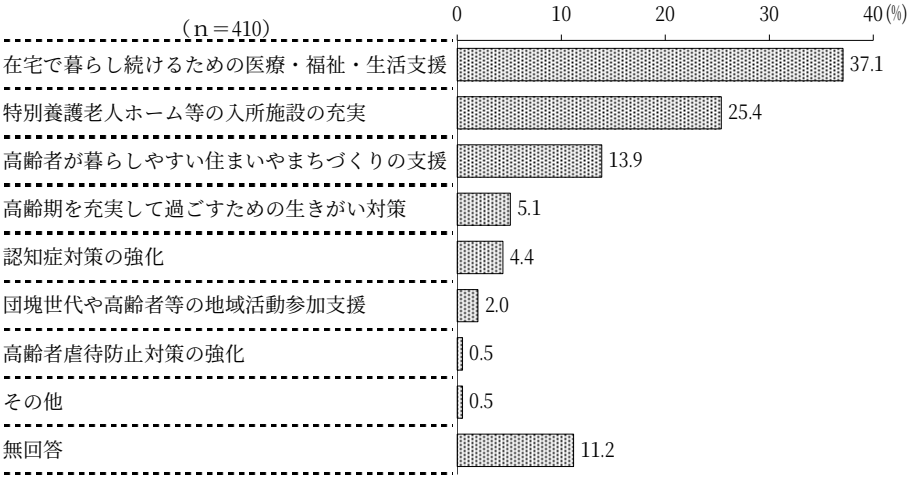
＜図表９－７＞災害から県民を守る



２　高齢者の福祉を充実する（28.2%、２位）

「在宅で暮らし続けるための医療・福祉・生活支援」（37.1%）が約４割で最も高く、以下、「特別養護老人ホーム等の入所施設の充実」（25.4%）、「高齢者が暮らしやすい住まいやまちづくりの支援」（13.9%）が続く。

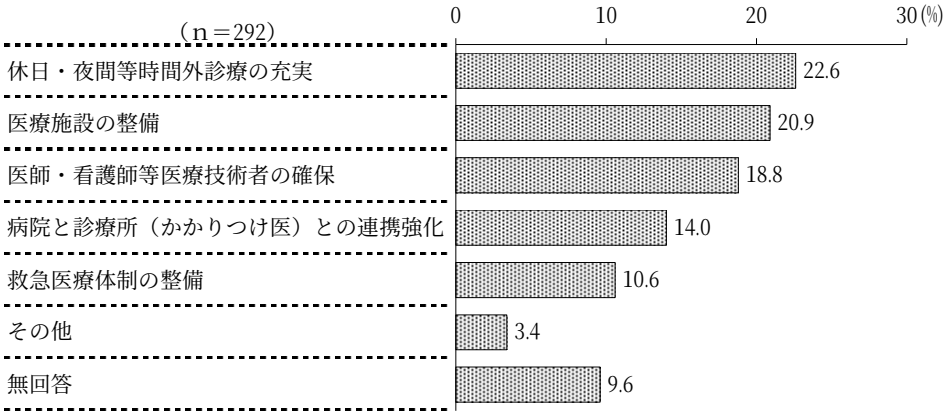
＜図表９－８＞高齢者の福祉を充実する



3　医療サービス体制を整備する（20.1%、３位）

「休日・夜間等時間外診療の充実」（22.6%）が２割を超えて最も高く、以下、「医療施設の整備」（20.9%）、「医師・看護師等医療技術者の確保」（18.8%）が続く。

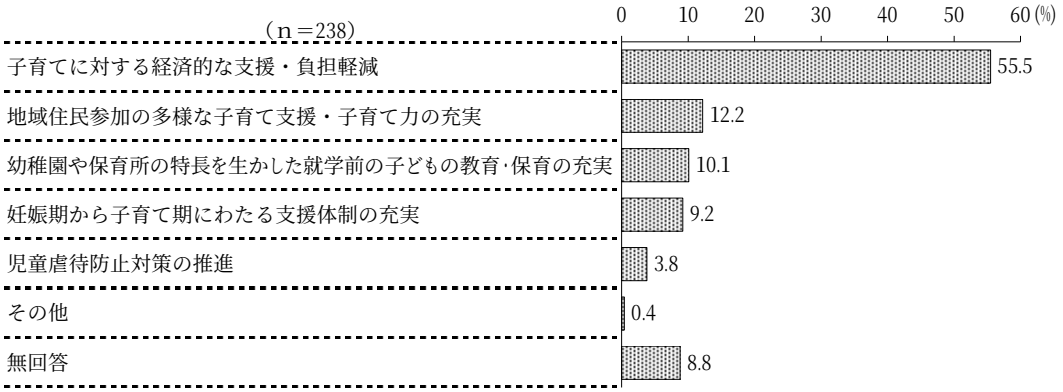
＜図表９－９＞医療サービス体制を整備する



4　次世代を担う子どもの育成支援を充実する（16.3%、４位）

「子育てに対する経済的な支援・負担軽減」（55.5%）が５割台半ばで最も高く、以下、「地域住民参加の多様な子育て支援・子育て力の充実」（12.2%）、「幼稚園や保育所の特長を生かした就学前の子どもの教育・保育の充実」（10.1%）が続く。

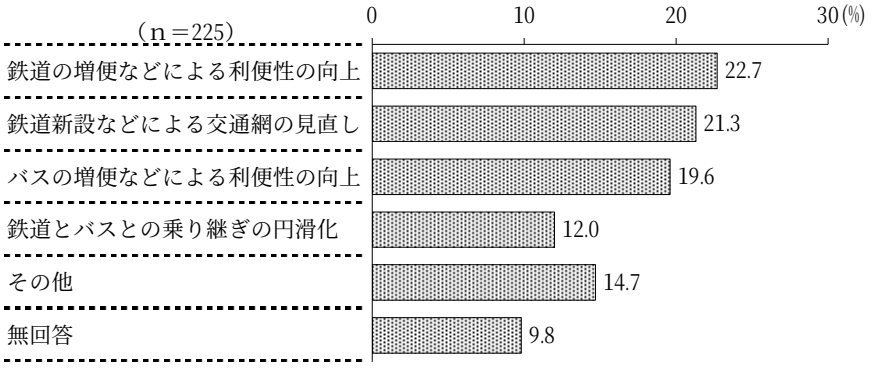
＜図表９－10＞次世代を担う子どもの育成支援を充実する



5　便利な交通網を整備する（15.5%、５位）

「鉄道の増便などによる利便性の向上」（22.7%）が２割を超えて最も高く、以下、「鉄道新設などによる交通網の見直し」（21.3%）、「バスの増便などによる利便性の向上」（19.6%）が続く。

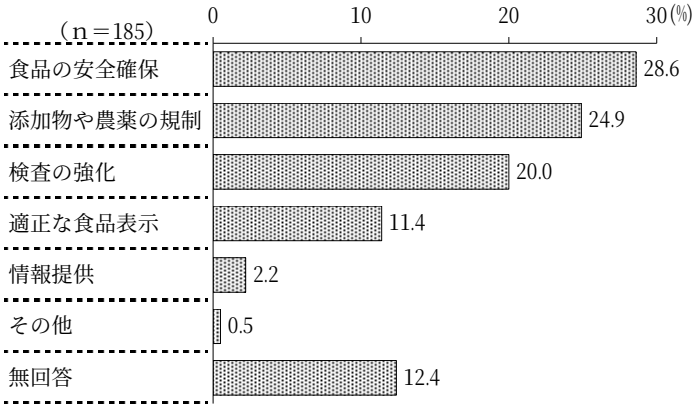
＜図表９－11＞便利な交通網を整備する



6　食品の安全を守る（12.7%、6位）

「食品の安全確保」（28.6%）が約3割で最も高く、以下、「添加物や農薬の規制」（24.9%）、「検査の強化」（20.0%）が続く。

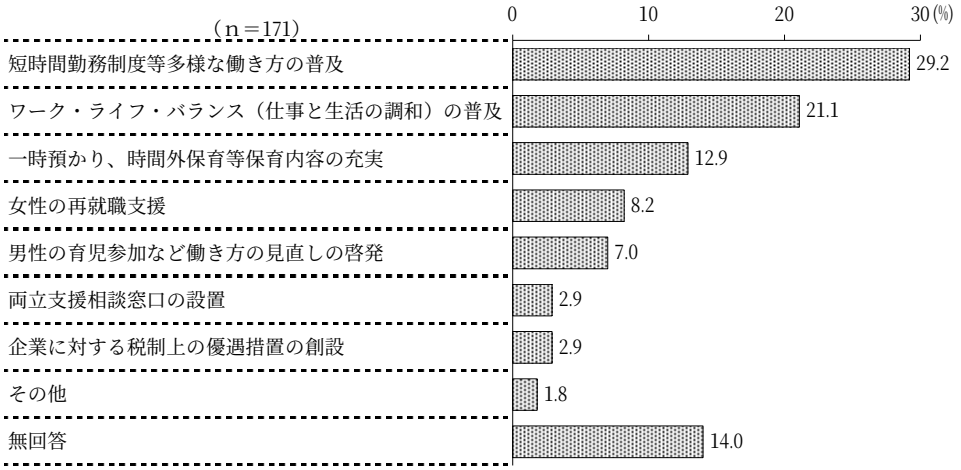
＜図表9－12＞食品の安全を守る



7　仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する（11.7%、7位）

「短時間勤務制度等多様な働き方の普及」（29.2%）が約3割で最も高く、以下、「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の普及」（21.1%）、「一時預かり、時間外保育等保育内容の充実」（12.9%）が続く。

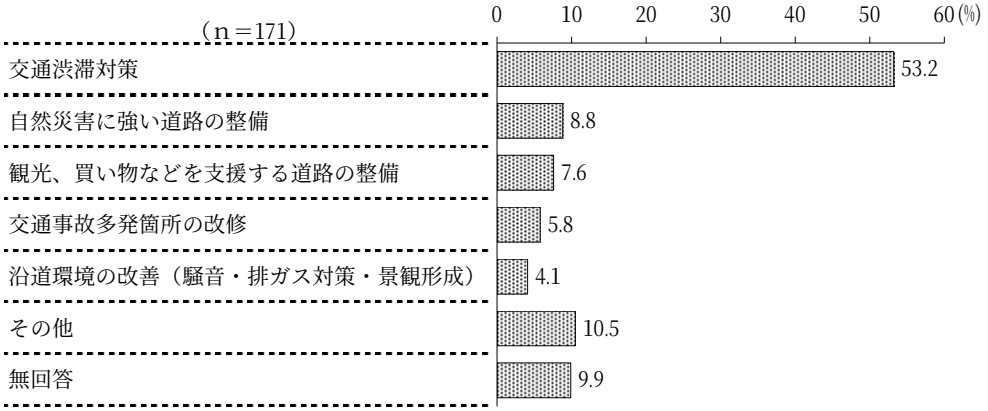
＜図表9－13＞仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する



8　道路を整備する（11.7%、7位）

「交通渋滞対策」（53.2%）が5割を超えて最も高く、以下、「自然災害に強い道路の整備」（8.8%）、「観光、買い物などを支援する道路の整備」（7.6%）が続く。

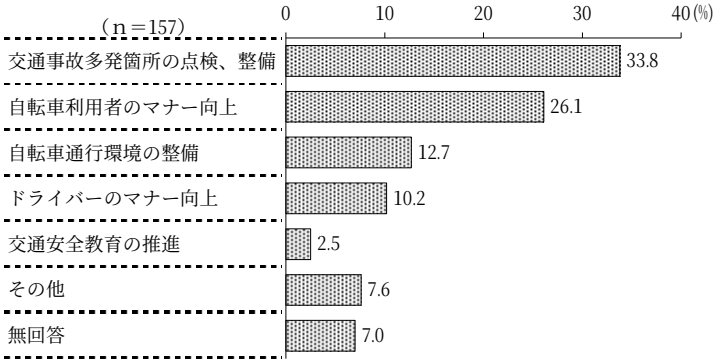
＜図表9－14＞道路を整備する



9　交通事故から県民を守る（10.8%、９位）

「交通事故多発箇所の点検、整備」（33.8%）が３割台半ばで最も高く、以下、「自転車利用者のマナー向上」（26.1%）、「自転車通行環境の整備」（12.7%）が続く。

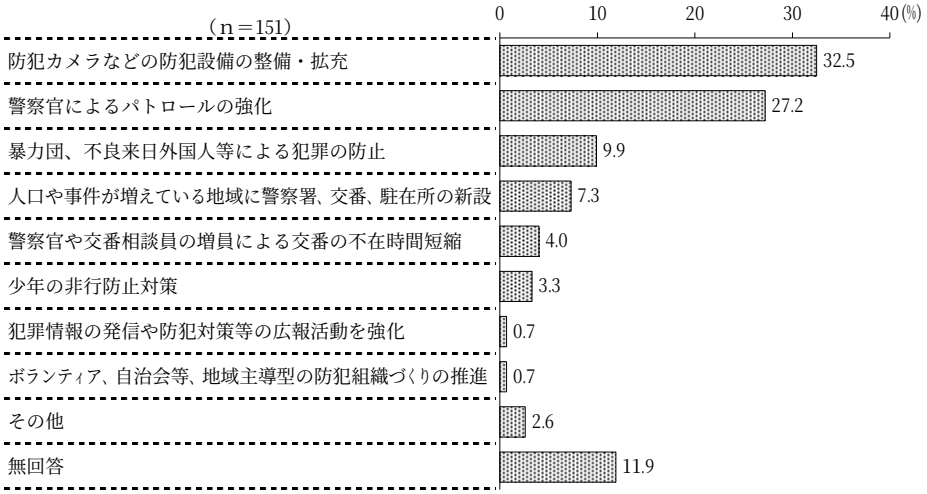
＜図表９－15＞交通事故から県民を守る



10　犯罪防止対策をすすめる（10.4%、10位）

「防犯カメラなどの防犯設備の整備・拡充」（32.5%）が３割を超えて最も高く、以下、「警察官によるパトロールの強化」（27.2%）、「暴力団、不良来日外国人等による犯罪の防止」（9.9%）が続く。

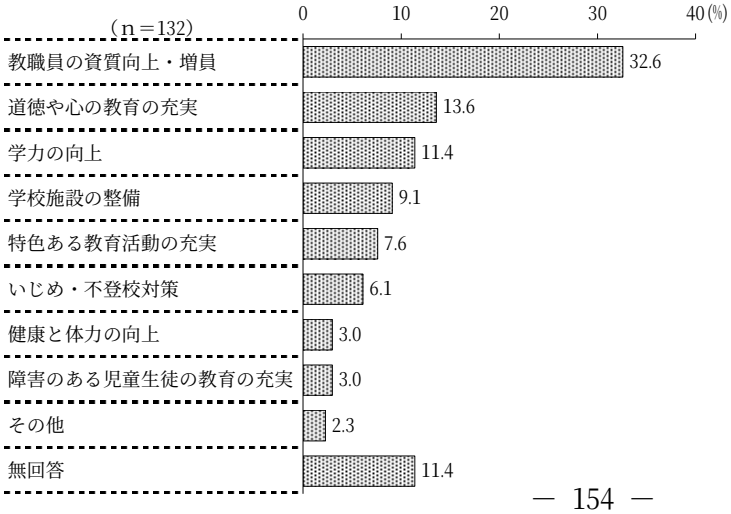
＜図表９－16＞犯罪防止対策をすすめる



11　学校教育を充実する（9.1%、11位）

「教職員の資質向上・増員」（32.6%）が３割を超えて最も高く、以下、「道徳や心の教育の充実」（13.6%）、「学力の向上」（11.4%）が続く。

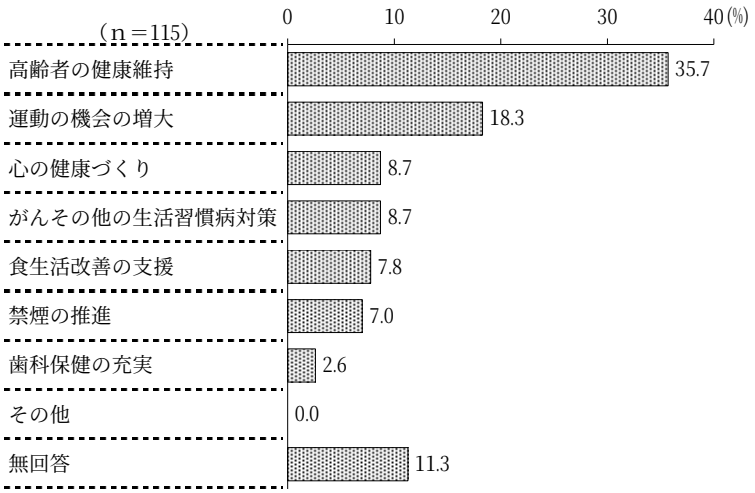
＜図表９－17＞学校教育を充実する



12　健康づくりをすすめて、病気を予防する（7.9%、12位）

「高齢者の健康維持」（35.7%）が３割台半ばで最も高く、以下、「運動の機会の増大」（18.3%）、「心の健康づくり」（8.7%）、「がんその他の生活習慣病対策」（8.7%）が続く。

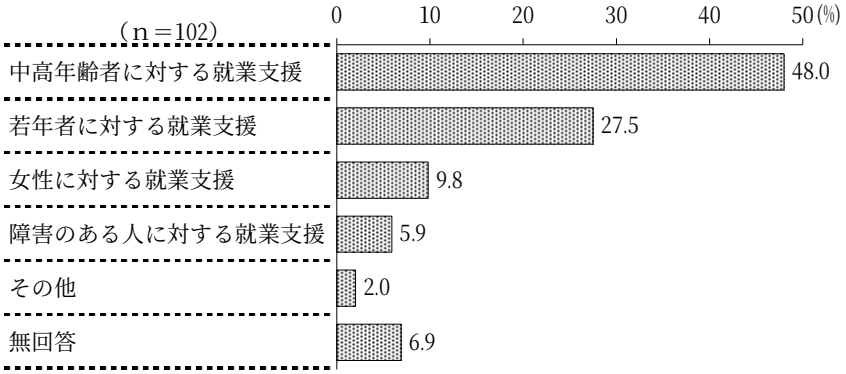
＜図表９－18＞健康づくりをすすめて、病気を予防する



13　雇用の場を広げる（7.0%、13位）

「中高年齢者に対する就業支援」（48.0%）が約５割で最も高く、以下、「若年者に対する就業支援」（27.5%）、「女性に対する就業支援」（9.8%）が続く。

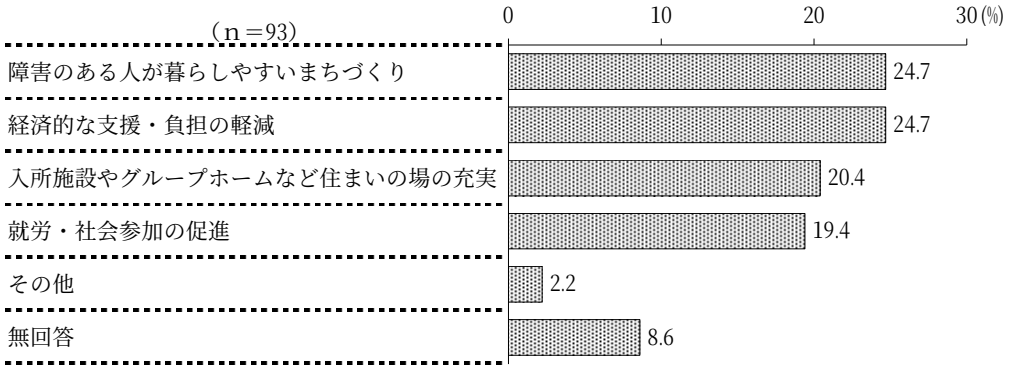
＜図表９－19＞雇用の場を広げる



14　障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する（6.4%、14位）

「障害のある人が暮らしやすいまちづくり」（24.7%）と「経済的な支援・負担の軽減」（24.7%）が２割台半ばで高く、以下、「入所施設やグループホームなど住まいの場の充実」（20.4%）、「就労・社会参加の促進」（19.4%）が続く。

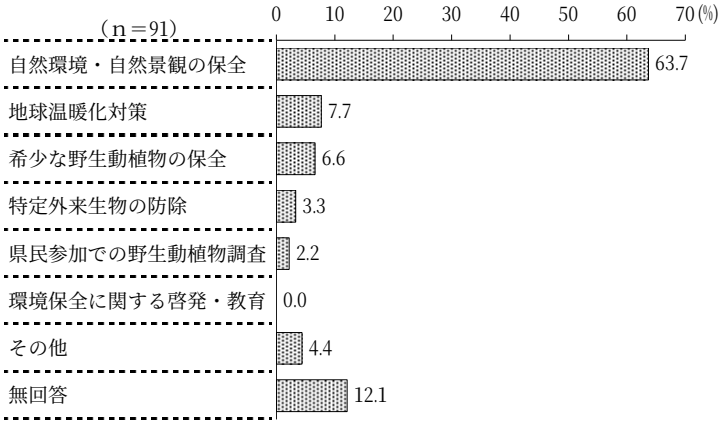
＜図表９－20＞障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する



15　自然を守り、緑を育てる（6.3%、15位）

「自然環境・自然景観の保全」（63.7%）が６割台半ばで最も高く、以下、「地球温暖化対策」（7.7%)、「希少な野生動植物の保全」（6.6%）が続く。

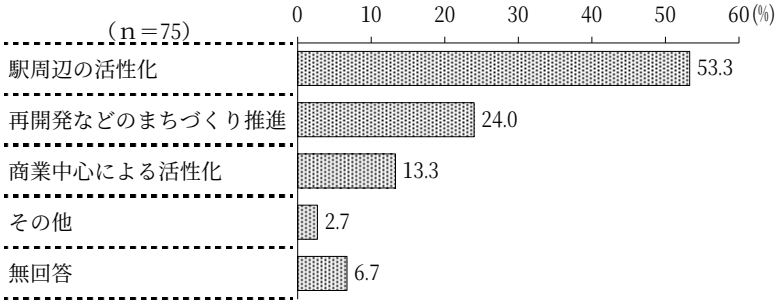
＜図表９－21＞自然を守り、緑を育てる



16　中心市街地の活性化を推進する（5.2%、16位）

「駅周辺の活性化」（53.3%）が５割を超えて最も高く、以下、「再開発などのまちづくり推進」（24.0%)、「商業中心による活性化」（13.3%）が続く。

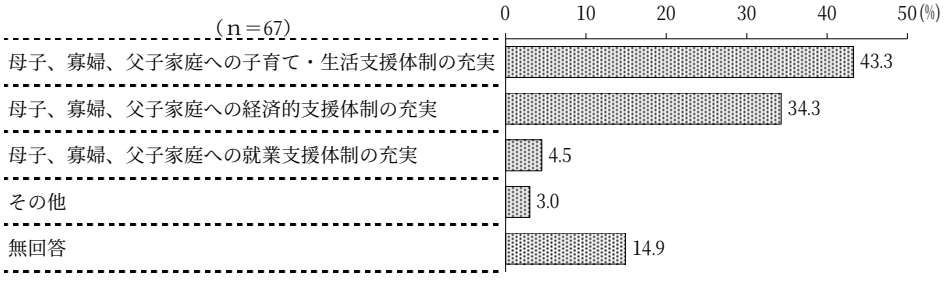
＜図表９－22＞中心市街地の活性化を推進する



17　母子、寡婦、父子家庭等の福祉を充実する（4.6%、17位）

「母子、寡婦、父子家庭への子育て・生活支援体制の充実」（43.3%）が４割を超えて最も高く、以下、「母子、寡婦、父子家庭への経済的支援体制の充実」（34.3%)、「母子、寡婦、父子家庭への就業支援体制の充実」（4.5%）が続く。（図表９－23）

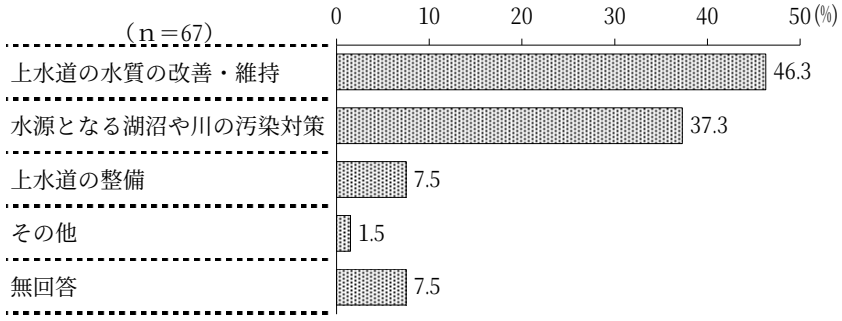
＜図表９－23＞母子、寡婦、父子家庭等の福祉を充実する



18　安心して飲める良質な水道水を供給する（4.6%、17位）

「上水道の水質の改善・維持」（46.3%）が４割台半ばで最も高く、以下、「水源となる湖沼や川の汚染対策」（37.3%）、「上水道の整備」（7.5%）が続く。

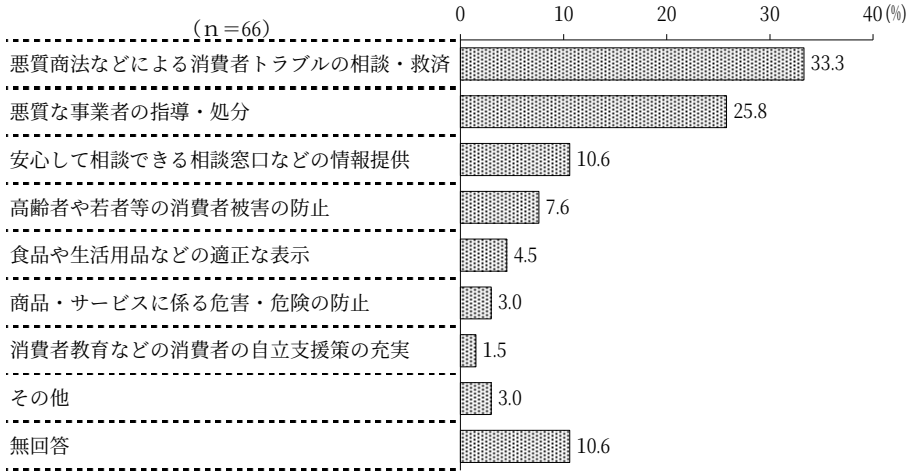
＜図表９－24＞安心して飲める良質な水道水を供給する



19　消費生活のトラブルに関する対策をすすめる（4.5%、19位）

「悪質商法などによる消費者トラブルの相談・救済」（33.3%）が３割を超えて最も高く、以下、「悪質な事業者の指導・処分」（25.8%）、「安心して相談できる相談窓口などの情報提供」（10.6%）が続く。

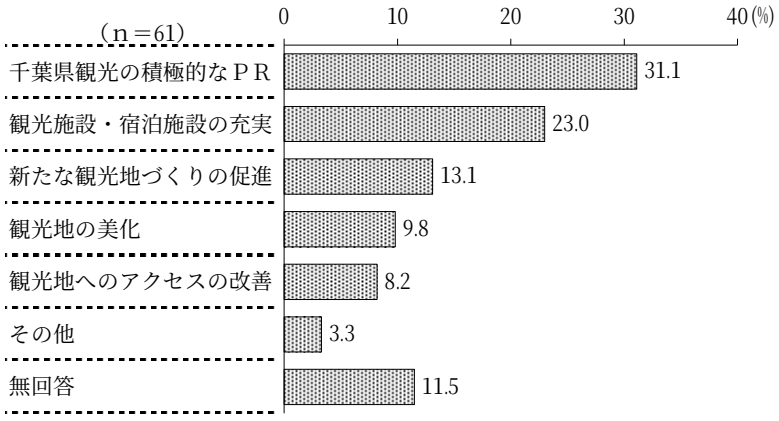
＜図表９－25＞消費生活のトラブルに関する対策をすすめる



20　観光を振興する（4.2%、20位）

「千葉県観光の積極的なＰＲ」（31.1%）が３割を超えて最も高く、以下、「観光施設・宿泊施設の充実」（23.0%）、「新たな観光地づくりの促進」（13.1%）が続く。

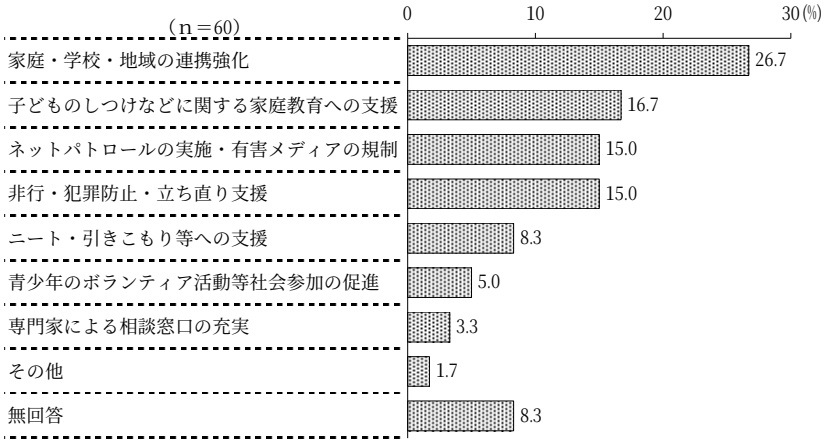
＜図表９－26＞観光を振興する



21　青少年を健全に育てる（4.1%、21位）

「家庭・学校・地域の連携強化」（26.7%）が２割台半ばで最も高く、以下、「子どものしつけなどに関する家庭教育への支援」（16.7%）、「ネットパトロールの実施・有害メディアの規制」（15.0%）、「非行・犯罪防止・立ち直り支援」（15.0%）が続く。

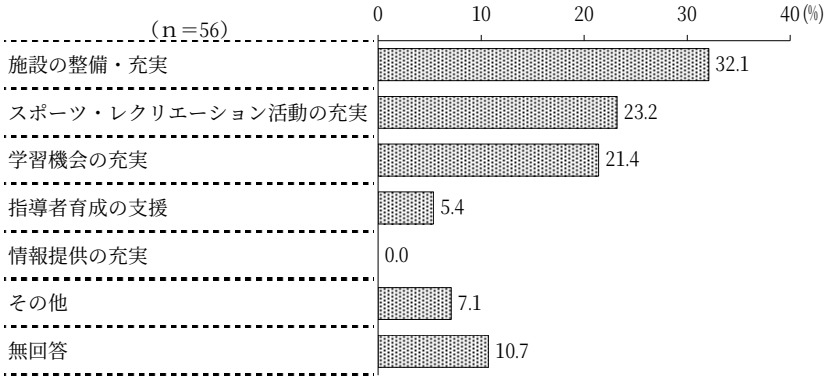
＜図表９－27＞青少年を健全に育てる



22　生涯学習・スポーツ・レクリエーションを振興する（3.8%、22位）

「施設の整備・充実」（32.1%）が３割を超えて最も高く、以下、「スポーツ・レクリエーション活動の充実」（23.2%）、「学習機会の充実」（21.4%）が続く。

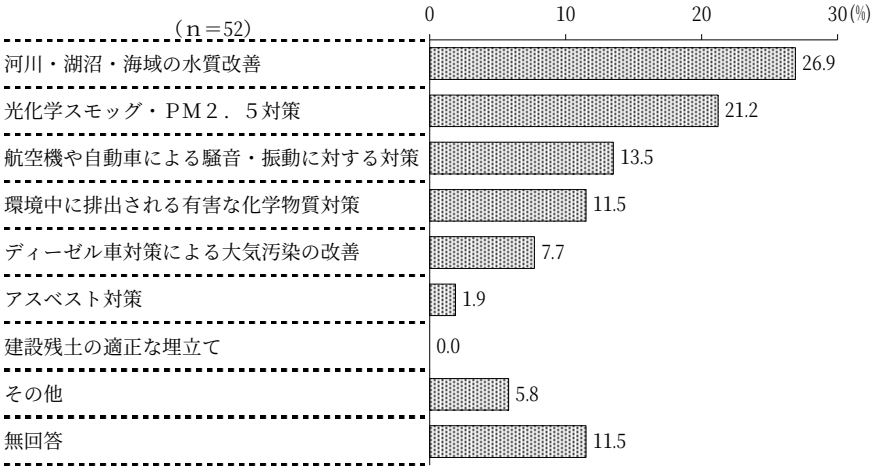
＜図表９－28＞生涯学習・スポーツ・レクリエーションを振興する



23　大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる（3.6%、23位）

「河川・湖沼・海域の水質改善」（26.9%）が２割台半ばで最も高く、以下、「光化学スモッグ・ＰＭ２．５対策」（21.2%）、「航空機や自動車による騒音・振動に対する対策」（13.5%）が続く。

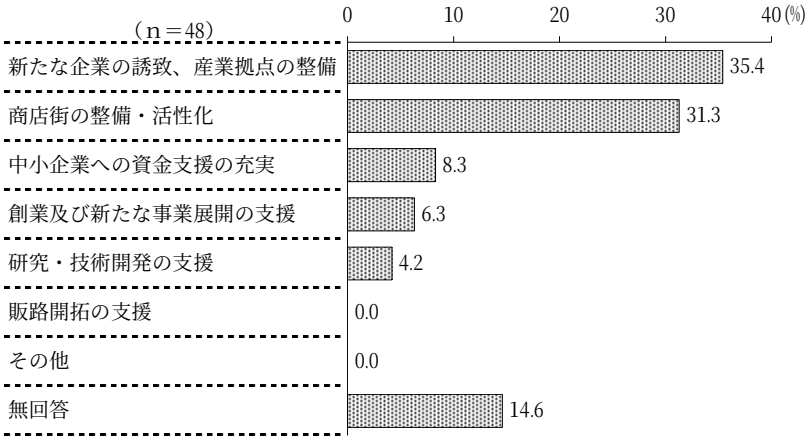
＜図表９－29＞大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる



24　商工業を振興し、地域経済の担い手を育成する（3.3%、24位）

「新たな企業の誘致、産業拠点の整備」（35.4%）が３割台半ばで最も高く、以下、「商店街の整備・活性化」（31.3%）、「中小企業への資金支援の充実」（8.3%）が続く。

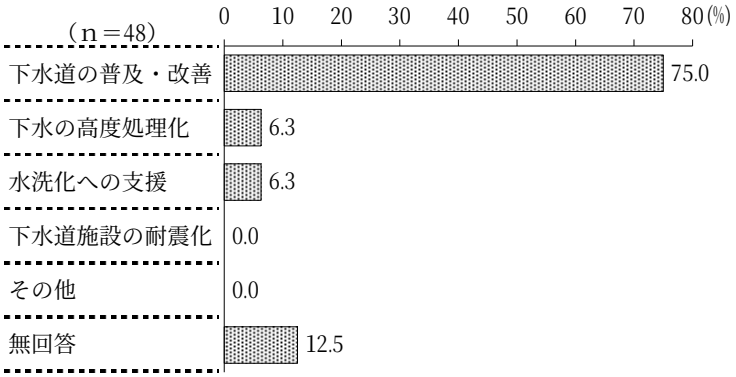
＜図表９－30＞商工業を振興し、地域経済の担い手を育成する



25　下水道を整備する（3.3%、24位）

「下水道の普及・改善」（75.0%）が７割台半ばで最も高く、以下、「下水の高度処理化」（6.3%）、「水洗化への支援」（6.3%）が続く。

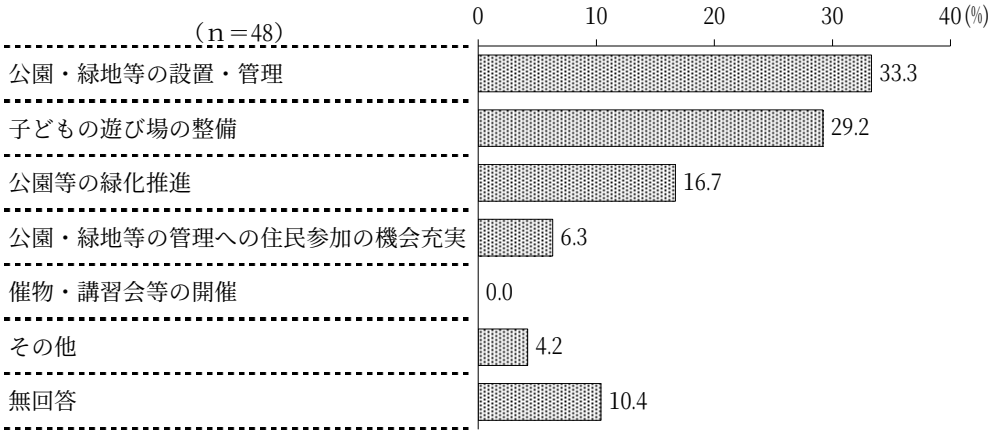
＜図表９－31＞下水道を整備する



26　公園・緑地を整備する（3.3%、24位）

「公園・緑地等の設置・管理」（33.3%）が３割を超えて最も高く、以下、「子どもの遊び場の整備」（29.2%）、「公園等の緑化推進」（16.7%）が続く。

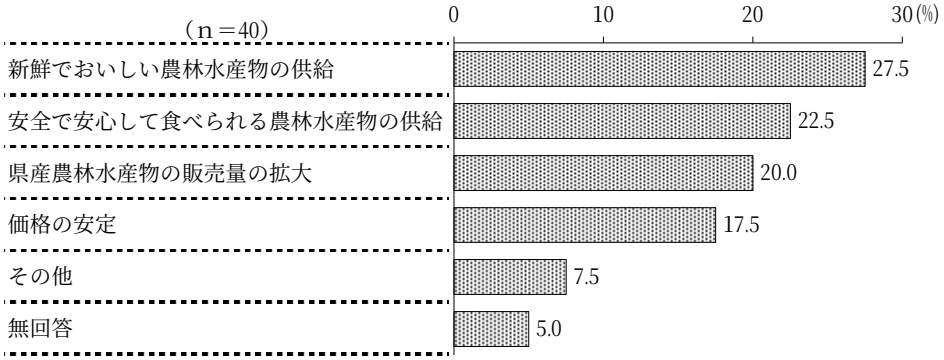
＜図表９－32＞公園・緑地を整備する



27　農林水産業を振興し新鮮な農林水産物を供給する（2.7%、27位）

「新鮮でおいしい農林水産物の供給」（27.5%）が約３割で最も高く、以下、「安全で安心して食べられる農林水産物の供給」（22.5%）、「県産農林水産物の販売量の拡大」（20.0%）が続く。

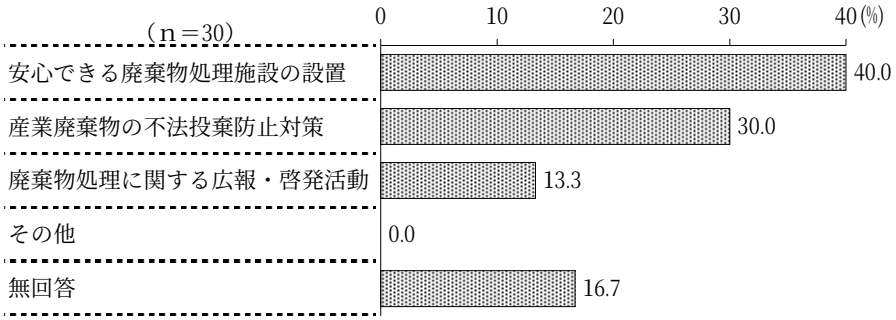
＜図表９－33＞農林水産業を振興し新鮮な農林水産物を供給する



28　廃棄物対策をすすめる（2.1%、28位）

「安心できる廃棄物処理施設の設置」（40.0%）が４割で最も高く、以下、「産業廃棄物の不法投棄防止対策」（30.0%）、「廃棄物処理に関する広報・啓発活動」（13.3%）が続く。

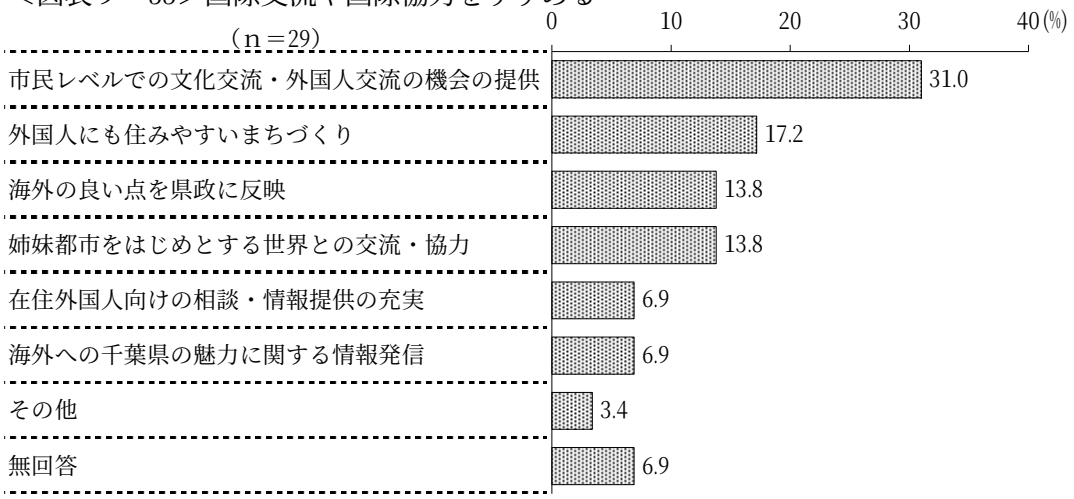
＜図表９－34＞廃棄物対策をすすめる



29　国際交流や国際協力をすすめる（2.0%、29位）

「市民レベルでの文化交流・外国人交流の機会の提供」（31.0%）が３割を超えて最も高く、以下、「外国人にも住みやすいまちづくり」（17.2%）、「海外の良い点を県政に反映」（13.8%）、「姉妹都市をはじめとする世界との交流・協力」（13.8%）が続く。

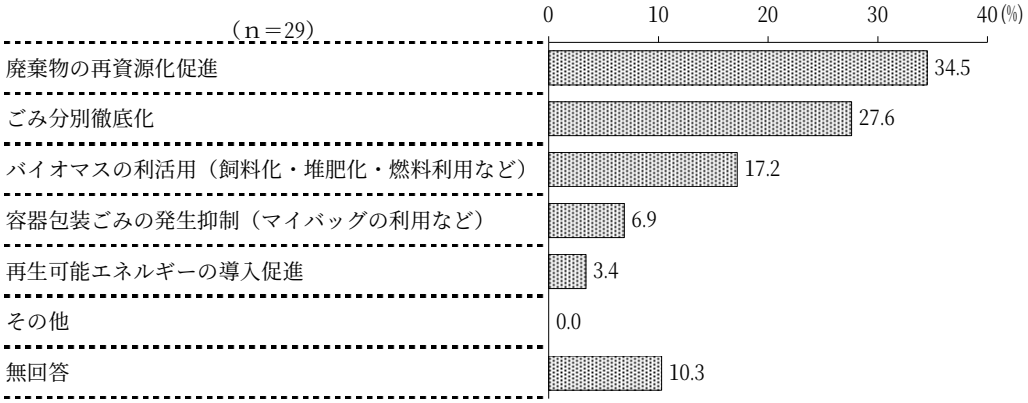
＜図表９－35＞国際交流や国際協力をすすめる



30　省資源やリサイクルをすすめる（2.0%、29位）

「廃棄物の再資源化促進」（34.5%）が３割台半ばで最も高く、以下、「ごみ分別徹底化」（27.6%)、「バイオマスの利活用（飼料化・堆肥化・燃料利用など)」（17.2%）が続く。

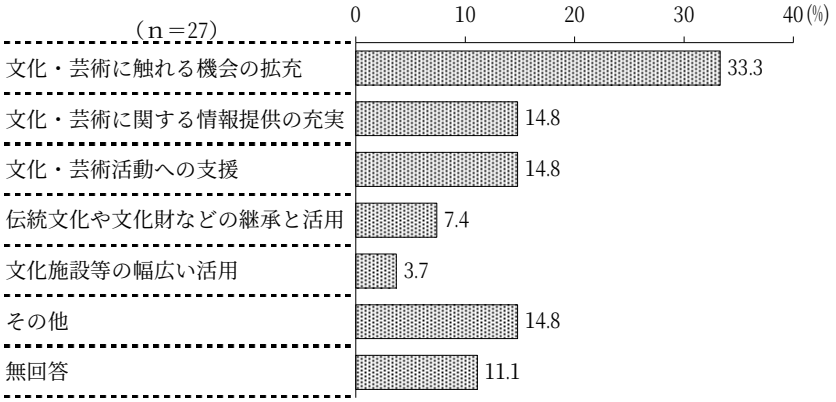
＜図表９－36＞省資源やリサイクルをすすめる



31　芸術・文化活動を振興する（1.9%、31位）

「文化・芸術に触れる機会の拡充」（33.3%）が３割を超えて最も高く、以下、「文化・芸術に関する情報提供の充実」（14.8%)、「文化・芸術活動への支援」（14.8%）が続く。

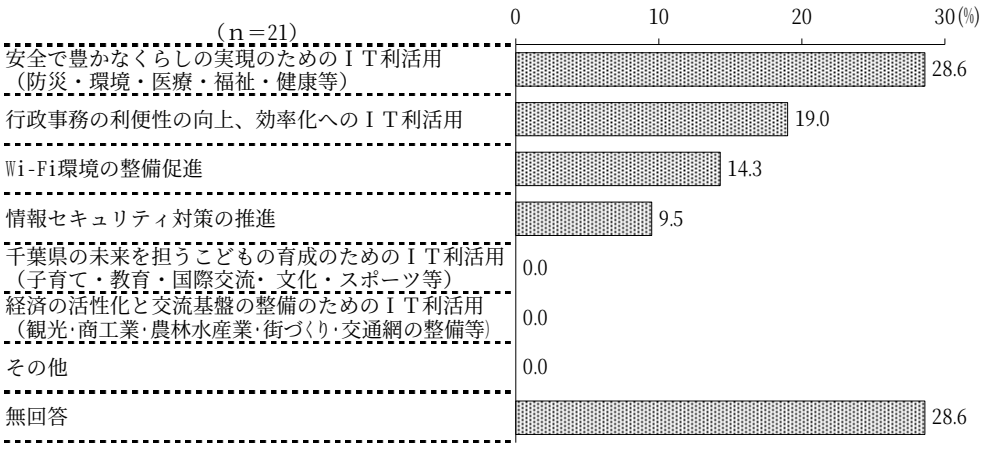
＜図表９－37＞芸術・文化活動を振興する



32　施策実現や地域活性化のためのＩＴの利活用をすすめる（1.4%、32位）

「安全で豊かなくらしの実現のためのＩＴ利活用（防災・環境・医療・福祉・健康等)」（28.6%）が約３割で最も高く、以下、「行政事務の利便性の向上、効率化へのＩＴ利活用」（19.0%)、「Wi-Fi環境の整備促進」（14.3%）が続く。

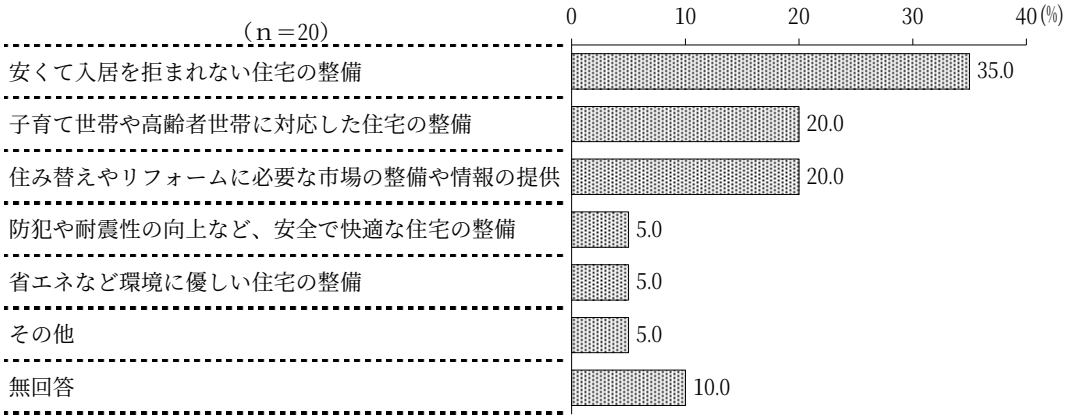
＜図表９－38＞施策実現や地域活性化のためのＩＴの利活用をすすめる



33　住宅対策を充実する（1.4%、33位）

nが少ないため、参考までに図示するにとどめる。

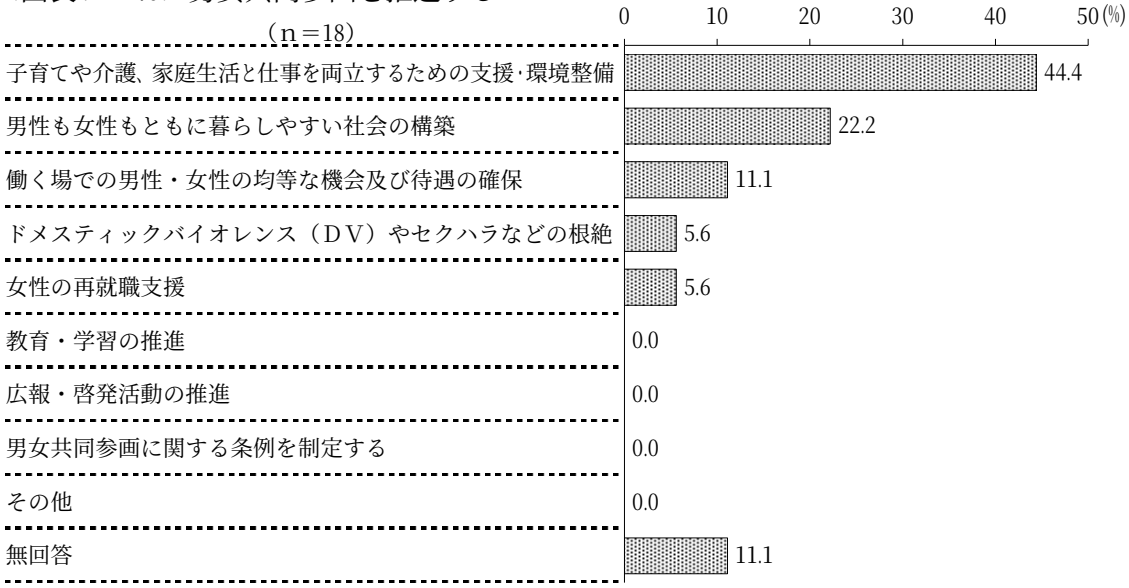
＜図表９－39＞住宅対策を充実する



34　男女共同参画を推進する（1.2%、34位）

nが少ないため、参考までに図示するにとどめる。

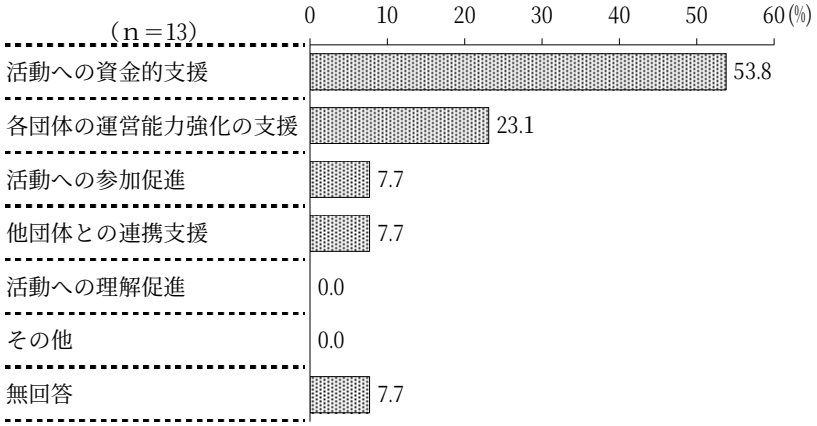
＜図表９－40＞男女共同参画を推進する



35　市民活動団体やボランティアへの活動支援を充実する（0.9%、35位）

nが少ないため、参考までに図示するにとどめる。

＜図表９－41＞市民活動団体やボランティアへの活動支援を充実する



10　自由回答

問　このほかにも、県への意見があればご自由にお書きください。

県への意見を自由に記述していただいたところ、305人から延べ415件の回答が寄せられた。

記述いただいた内容は多岐に渡り、県政の各施策におおむね沿った形（合計34項目）で整理した。

なお、一人の回答が複数の内容に渡る場合には、原文の内容の趣旨がそこなわないよう回答を分け、それぞれの項目へ分類した。

また、紙面の都合上、全ての意見を掲載することはできないが、意見の多い項目に関しては、一部抜粋して記載するものとする。

【自由回答の項目順位】

順位	項目	件数
第１位	県政全般に関する要望	49
第２位	道路を整備する	45
第３位	便利な交通網を整備する	27
第４位	県政の情報発信について	22
第５位	次世代を担う子どもの育成支援を充実する	21
第６位	学校教育を充実する	17
第７位	観光を振興する	16
第８位	高齢者の福祉を充実する	14
第９位	医療サービス体制を整備する	13
第10位	大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる	12
〃	農林水産業を振興し新鮮な農林水産物を供給する	12
〃	犯罪防止対策をすすめる	12
第13位	中心市街地の活性化を推進する	11
第14位	災害から県民を守る	10
第15位	障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する	9
〃	雇用の場を広げる	9
第17位	公園・緑地を整備する	8
第18位	市民活動団体やボランティアへの活動支援を充実する	7
〃	自然を守り、緑を育てる	7
〃	生涯学習・スポーツ・レクリエーションを振興する	7
第21位	交通事故から県民を守る	6
〃	住宅対策を充実する	6
〃	東京湾アクアラインについて	6
第24位	廃棄物対策をすすめる	5
〃	商工業を振興し、地域経済の担い手を育成する	5
第26位	安心して飲める良質な水道水を供給する	4
〃	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する	4
第28位	下水道を整備する	3
〃	芸術・文化活動を振興する	3
第30位	青少年を健全に育てる	2
〃	健康づくりをすすめて、病気を予防する	2
第32位	食品の安全を守る	1
〃	国際交流や国際協力をすすめる	1
〃	省資源やリサイクルをすすめる	1
	その他	38
	その他　うち、国政への要望	(2)
	その他　うち、住んでいる市町村への要望	(7)
	合　計（再掲分を含む　延べ数）	415

【自由回答の記述】（意見の多い項目の一部抜粋）

■県政全般に関する要望

○他の都道府県に住んでいる方から、「千葉県に住んでいるの？うらやましい。」と言われるような県になれるといいと思っています。（女性、50代、印旛地域）

○一生住み続けたいと思えるような地域（県）になると良いと思う。（女性、50代、葛南地域）

○障害者による福祉ショップや、手作り好きな人たちのハンドメイド店、農家の野菜市を集めた大規模な市などの複合イベントを開催して、県を活性化してほしい。（女性、30代、葛南地域）

○千葉県のイメージ向上に向けた施策を継続し、より魅力ある県になるように願っています。（男性、40代、千葉地域）

○千葉の都市部も自然豊かなところもどちらも好きです。それぞれのよいところがこれからも残るといいなと思ってます。（女性、30代、葛南地域）

○地方自治を進め、柔軟な県政を築いて頂きたい。（男性、40代、葛南地域）

○全ての面で都市部との差が大きい気がする。（女性、65歳以上、海匝地域）

■道路を整備する

○銚子連絡道路の早期開通。（男性、20代、海匝地域）

○通学路なのに歩道が整備されていない。子ども達が安全に登下校できる歩道をつくってほしい。（男性、50代、長生地域）

○東京オリンピックまでに自転車レーンの整備を！（男性、50 代、印旛地域）

○安全に通れる歩行者の道路がもっと多くなってほしい。歩いて楽しい道づくりを願う。（男性、40 代、東葛飾地域）

○歩道のバリアフリー化を積極的に進めて欲しい。車いす・ベビーカーの安全対策。段差を無くす。（男性、65歳以上、千葉地域）

○千葉県は道路の状態が非常に悪いと感じる。特に国道16号は大きな穴が開いているところが多い。しっかり整備してほしい。また、渋滞が多い。（男性、30代、千葉地域）

○観光に出かけると必ず渋滞にはまる。迂回できる道の整備や案内があると良い。
（女性、50代、葛南地域）

○気になるのは道の狭さ。車にも自転車にも乗りますが、通行する際の危ないと思う恐怖ではどの県よりよく思います。自動車も歩行者も自転車も安心して、安全に通行できると嬉しいです。（女性、20 代、葛南地域）

○通勤途中に道路が冠水する所があります。数年に１度、職員の方たちが見に来ていますが、20年近く工事されることもなく、大雨の時に、車通勤に不安を感じています。
（女性、50代、印旛地域）

○片側一車線が多く、いたる所で渋滞している気がします。これから益々発展して行くであろう新鎌ケ谷駅周辺の拡幅工事は早急に進めなければ後々手遅れになると思われます。抜け道も多く学童の登下校に使われている道も数知れず大変危惧しております。遊歩道の整備も限られた区域に集中している気がします。（男性、60～64歳、東葛飾地域）

■便利な交通網を整備する

○都心にアクセスする際に、鉄道の運賃が高すぎるため、わざわざ遠回りをしたりしている。これは私だけの意見でなく、周囲の意見でもあります。もう少し安くなってもらえるとすごく助かります。（男性、20代、印旛地域）

○私共のように免許を返納したものにとりましてはバス便をもっと多く路線ももっと多くして下さい。又、１人か２人しか集らないバスに、大型バスは無駄ではないでしょうか、中型バスでよいと思います。（女性、65歳以上、千葉地域）

○私は現在勝浦市に住んでおり、大学へ通っています。鉄道を利用していますが（勝浦～海浜幕張間を利用しています）普通電車（各駅）を利用しています。たまに特急を利用しますが金銭上めったに使う事が出来ません。出来れば快速電車が通勤、通学の為にあると、大変助かるのですが、特急を快速に変更出来たらと思っております。（女性、20代、夷隅地域）

■県政の情報発信について

○チーバくんを、全国的に有名にしてほしい。（女性、50代、千葉地域）

○アンテナのないマンションで、千葉テレビが見られないため、情報が届いていません。「ちば県民だより」はポスト投函されている無料の地域新聞のように、チラシとして投函してはどうかと思います。ちなみに新聞は取っておりません。（男性、40代、千葉地域）

○普通に生活していると県政の情報に触れることがありません。意識的に情報を取りに行かないといけない、というのは少し残念です。（男性、30代、東葛飾地域）

○自分の住んでいる所で不便に思っていることを伝えて改善してもらうには、どこに言えば良いのか知りたいです。（女性、30代、印旛地域）

■次世代を担う子どもの育成支援を充実する

○待機児童問題に真剣に向き合って欲しいです。市町村の行政に任せきりでなく、県で旗を振り取り組む必要があります。認可保育所のあり方についてしっかり協議したうえで、子ども目線での県政を要望致します。（男性、40代、東葛飾地域）

○保育所の充実も大切だと思いますが、そこで働く保育士に対しての手当ても大切だと思います。保育士の資格を持っているけど働いてない人、働きたい人が再び働きたいと思えるような給料になるよう、手当など県としてやっていけることはないでしょうか。地方へ行くと給与面で差が出ています。（女性、30代、君津地域）

○少子化の現在、子育て支援は最重要事項とされるべきであり、経済的支援も必要と考える。（女性、20代、葛南地域）

○子どもたちが住みやすいまちをつくることで、人口増となり、様々な事業が充実すると思います。千葉県が先頭に立って、子育て家庭にやさしい県、教育が充実している県となってほしいと思います。（男性、40代、印旛地域）

○子どもの医療費を無料にしてほしいです。（男性、40代、葛南地域）

■学校教育を充実する

○先生方の力不足、指導力の無い先生もいるので、子どもだけでなく指導者の研修会等も定期的に行ってほしいと思います。（女性、65歳以上、東葛飾地域）

○次世代を担う子どもたちを教育する教員の資質向上を望みます。教員の負担を軽減することも大事ですし、一人一人の働きに応じて報酬の幅がもっとあってもよいのでは。良い人材を得るためにも、予算をつけて給与のレベルアップをお願いしたいです。（女性、40代、山武地域）

○子どもの通学路の見直し、整備をしてほしいです。（女性、40代、香取地域）

■観光を振興する

○館山市は、他の市にくらべてまだまだ遅れを取っているように思われる。観光面でもこれといった目玉的な物はないように思われる。是非気候の良さ、住民の心の温かさをアピールして頂きたい。（女性、65歳以上、安房地域）

○海沿いの駐車場の整備は、内房は多少良いが、外房はほとんど出来ていない。千葉ブランド水産物を作っても、食べに来たり買いに行ったりした時、がっかりすると思います。（男性、40代、海匝地域）

○都内の知人にここがいいよ、と紹介できるような観光のモデルコースのような情報が県のホームページにまとまってあるといいと思います。私も参考にしたいです。（女性、40代、君津地域）

○今はペットを飼っている人が多く、一緒に旅行もします。千葉県内でもっとペットと一緒に遊べる、入れる施設をアピールするべきだと思います。宿泊施設はいろいろ見つかるのですが、ペットと一緒に入れる施設がパッと見てもわかりづらい。（女性、40代、千葉地域）

■高齢者の福祉を充実する

○老後が心配です。年金ももらえるかどうか分からず、税負担も多く今後の生活も不安です。（女性、40代、山武地域）

○現在介護職に就いているが、仕事内容が大変なわりに賃金が少ない。また、年々賃金カットされている。保育士の賃金が上がるのに介護職の賃金は上がらないのはいかがなものか。（女性、50代、君津地域）

○介護する人材が不足する中で、特養をたくさん作り、大きな施設にて、効率的にまとめて介護できる方がよいと思います。小さな施設で人材を確保するだけでも大変です。また、ヘルパーの資格を取るのに現在数万円の実費負担がありますが、個人が無料で取れる制度にしなければ、好んで選ぶ人は増えない。こういう所に税金を使っていただきたい。そうすれば若い人達も働けます。（女性、65歳以上、印旛地域）

■医療サービス体制を整備する

○近隣の他県と比べて、大規模な総合病院が少ない。特に船橋市は人口の割に少ない。早急に検討願いたい。何か計画があれば教えて欲しい。（男性、65歳以上、葛南地域）

○自宅で最期を迎えられるよう訪問看護の充実をお願いしたいと思います。（女性、65歳以上、山武地域）

○看護師さんの少ない病院がたくさんあり大変なので、そちらの方も目を向けて下さい。働いている方々が気の毒でした。（女性、65歳以上、印旛地域）

■大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる

○自衛隊機の騒音がひどい。国を守るための練習で仕方ないと思うが、飛行コースを毎回変えるとか、低空をさけるとかして何とか住民に対し配慮をしてもらいたい。（男性、65歳以上、東葛飾地域）

○個人でのごみ処理による公害が許せません。（男性、60～64歳、東葛飾地域）

■農林水産業を振興し新鮮な農林水産物を供給する

○千葉県産の農作物、水産物の良さをもっと県内外の人達にアピールしてもらいたい。他県と比較してもより優れ、種類も豊富であるはずです。それを知らない千葉県民や他県の人が多いと思われます。（男性、65歳以上、東葛飾地域）

○千葉県は自然が豊かで農産物、水産物ともに恵まれており、潜在力が高い県だと思います。この潜在力をもっともっと活かすことができればより魅力的な地域になると思います。（男性、40代、葛南地域）

○高齢化で農業が出来なくなっている田畑を県や市で無料で借りて、米や野菜作りがしたい方にやって頂くようなことが出来れば良いと思います。（女性、50代、君津地域）

■犯罪防止対策をすすめる

○悪質な犯罪、交通環境の悪化など目に見えて増えたと感じる。（男性、50代、東葛飾地域）

○今後も子供達が安全に暮らせる環境を、整えて欲しいと思います。（女性、30代、葛南地域）

○安心して住める千葉県をめざして！特に防犯対策を！（男性、65歳以上、葛南地域）

問　また、この「世論調査」について、ご意見やご提案があればお書きください。

この「世論調査」に関する意見を自由に記述していただいたところ、175人からの回答が寄せられた。これらのご意見から、一部抜粋して記載した。

○県民の考えに耳を傾けて、県政を少しでも良くしていこうというお考えに賛同します。より住み良い地域になりますことを心から願います。（男性、60～64歳、葛南地域）

○県民の意見を聞くいい機会だと思うので、回数を増やして様々な世帯からの意見を聞いたほうがいい。（男性、30代、東葛飾地域）

○丸を付ける場所が分からない。「番号に丸を付ける」など表記がほしい。（男性、20代、千葉地域）

○調査内容に良く分からない所があるので見直しが必要です。（男性、65歳以上、千葉地域）

○性別の質問を「男」「女」だけでなく、「その他」という項目があった方が良いと思います。社会的にジェンダーの問題が多く出てきているので。（男性、20代、東葛飾地域）

○設問数が多いと思います。（女性、40代、葛南地域）

○インターネットで回答できるようにしてほしい。（女性、30代、葛南地域）

○調査結果とその結果に対する対処を公表して欲しい。（男性、60～64歳、印旛地域）

○こういう「世論調査」をやりますということを「ちば県民だより」でお知らせしてほしいです。（女性、50代、葛南地域）

○答えて下さった方には、何か、特典があっても良いと思います。（女性、50代、千葉地域）

○他県はこういう調査をしているのでしょうか。他県と千葉県のアンケートの比較があると、千葉の特色が分かっておもしろいと思います。（女性、20代、東葛飾地域）

○出来る事なら、もっと詳細な意見についても述べる場があるともっといいと思う。（男性、40代、千葉地域）

（付）調査票および単純集計結果

ちば

第５４回　千葉県政に関する世論調査

ご記入にあたってのお願い

1　宛名のご本人様がお答えくださるようお願いいたします。

2　ご回答は、この調査票に黒か青のボールペンまたは鉛筆でお願いします。

3　回答は、原則としてあてはまるものに○をつけてください。質問の中に、（○は１つ）、（○は３つまで）、（○はいくつでも）などと表示していますので、そちらに合わせてください。

　また、質問によって回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きや矢印にしたがってください。特にことわりのない場合は、次の質問に進んでください。

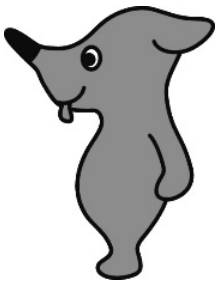
4　お答えが選択肢の中にない場合は、「その他」を選び、（　　）内にその内容を具体的に記入してください。

5　ご回答いただきました調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、１月１０日（水）までに郵便ポストに投函してください。
※調査票は、折り目に合わせて三つ折でお願いします。

6　このアンケートのご記入に当たってご不明な点等がございましたら、お手数ですが下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

千葉県　総合企画部　報道広報課広聴室
〒２６０－８６６７　千葉市中央区市場町１番１号
電　話　　０４３－２２３－２４６９
ＦＡＸ　　０４３－２２７－３６１３
アドレス　　kouchou@mz.pref.chiba.lg.jp



千葉県マスコットキャラクター
「チーバくん」

【環境と生活について】

問１　あなたは、現在お住まいの地域に、ずっと住み続けたいと思いますか。ｎ＝1,456（○は１つ）

75.5　住み続けたい

4.7　千葉県内のよそへ移りたい
4.4　千葉県外に移りたい
3.9　千葉県内、県外どちらでもかまわないが移りたい

8.3　わからない ――――→　次のページ問２へお進みください
3.1　無回答

（問１で「１」とお答えの方に）

問１－１　あなたが現在お住まいの地域に、ずっと住み続けたいと思う理由は何ですか。

ｎ＝1,100（○は３つまで）

20.7　地域の人とのつながりを大切に考えているから
14.8　家族の思い出がつまっているから
13.8　引っ越しの負担が大きいから
62.2　自分の土地や家があるから
37.5　通勤や通学、買い物、医療など、日常生活の利便性がよいから
9.5　公共施設（道路、上下水道、公園など）や教育、文化の場が整っているから
25.0　自然環境や気候に恵まれ暮らしやすいから
9.6　治安や風紀がよいから
40.8　住み慣れていて愛着があるから
19.5　親、兄弟姉妹や親戚が近くにいるから
7.5　仕事や商売に都合がよいから
1.2　その他（具体的に　　）
0.3　無回答

（問１で「２」～「４」のいずれかをお答えの方に）

問１－２　あなたが現在お住まいの地域から移りたいと思う理由は何ですか。

ｎ＝190（○は３つまで）

29.5　そのときどきの家族の状況（子どもの成長、親の面倒を見るなど）にあった住まいを考えているから
3.7　一ヶ所にとどまることが難しいから
31.6　生活環境をより良くしたいから
13.2　より良質で広い住宅に住みたいから
4.7　近所の人とのつきあいがうまくいっていないから
36.8　通勤や通学、買い物、医療など、日常生活の利便性が悪いから
15.3　公共施設（道路、上下水道、公園など）や教育、文化の場が整っていないから
7.4　自然環境に恵まれていないから
7.4　治安や風紀が悪いから
15.3　愛着を感じないから
18.9　親、兄弟姉妹や親戚の近くに住みたいから
12.1　その他（具体的に　　）
0.5　無回答

問２　あなたは、現在お住まいの地域の生活環境についてどう思いますか。（◯はそれぞれ１つずつ）

n＝1,456	良いほうだと思う	どちらともいえない	悪いほうだと思う	わからない	無回答
（ア）ごみ処理などの環境衛生について	72.6	18.7	4.7	1.2	2.7
（イ）騒音・振動などについて	58.4	25.2	11.1	0.8	4.5
（ウ）大気汚染について	54.0	28.3	7.3	5.2	5.2
（エ）悪臭について	65.0	22.3	5.4	2.3	5.1
（オ）海・川などの汚れについて	27.7	35.5	15.7	15.7	5.4

問３　あなたは、問２の（ア）～（オ）のような生活環境全般についてどうお感じですか。

n＝1,456（◯は１つ）

11.6　大変満足している	11.5　どちらともいえない	2.5　大変不満である
61.5　まあ満足している	8.7　やや不満である	0.8　わからない
		3.4　無回答

問４　あなたは、現在お住まいの地域の自然・周辺環境についてどう思いますか。

（◯はそれぞれ１つずつ）

n＝1,456	良いほうだと思う	どちらともいえない	悪いほうだと思う	わからない	無回答
（ア）交通安全対策について	31.7	41.3	19.7	4.1	3.3
（イ）緑の豊かさについて	61.7	26.9	7.8	0.8	2.9
（ウ）文化施設について	27.4	42.9	18.2	8.2	3.3

問５　あなたは、問４の（ア）～（ウ）のような自然・周辺環境全般についてどうお感じですか。

n＝1,456（◯は１つ）

7.6　大変満足している	24.1　どちらともいえない	2.0　大変不満である
47.7　まあ満足している	14.6　やや不満である	0.7　わからない
		3.2　無回答

問６　あなたは、現在お住まいの地域の基盤整備についてどう思いますか。（◯はそれぞれ1つずつ）

n＝1,456	良いほうだと思う	どちらともいえない	悪いほうだと思う	わからない	無回答
（ア）道路の整備	39.8	31.3	24.6	1.5	2.8
（イ）排水（下水道）の整備	53.0	23.5	14.5	5.8	3.2
（ウ）上水道の整備	59.7	23.3	7.3	6.3	3.4

問７　あなたは、現在の生活について、どの程度満足していますか。　（○はそれぞれ１つずつ）

n＝1,456	大変満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	大変不満である	わからない	無回答
（ア）通勤・通学の便について	12.9	41.9	13.2	14.1	8.1	5.2	4.7
（イ）買い物の便について	17.2	48.8	11.6	15.9	5.2	0.1	1.2
（ウ）近所や職場での人間関係について	7.6	51.2	28.0	5.4	1.9	3.8	2.1
（エ）家庭内の夫婦・親子関係について	28.4	48.5	11.7	3.2	1.6	3.2	3.3
（オ）収入や預貯金など経済的な面について	4.7	34.0	28.2	18.9	11.1	1.3	1.9
（カ）心の安定や充実感について	8.0	45.2	28.1	11.4	3.9	1.4	1.9
（キ）仕事面や働く機会について	5.8	34.6	27.4	11.4	4.0	11.7	5.2
（ク）レジャー・余暇活動について	6.0	37.0	30.9	12.2	3.8	7.4	2.7
（ケ）防災対策について	2.7	25.3	45.7	11.2	2.5	10.2	2.4
（コ）商品の安全や悪質商法に関する相談体制について	2.2	15.2	39.6	6.6	2.5	31.5	2.4
（サ）子どもの教育や健全育成に対する家庭・学校・地域の連携について	3.6	27.3	31.0	6.7	1.9	25.8	3.6

問８　あなたは、現在お住まいの地域で、犯罪が起こりにくいまちづくりが進められていると思いますか。　n＝1,456（○は１つ）

7.6　そう思う	12.8　どちらかといえばそう思わない
33.0　どちらかといえばそう思う	8.8　そう思わない
24.4　どちらともいえない	12.2　わからない
	1.2　無回答

問９　あなたは、ごみの減量化や製品の再利用により、「もの」を大切にする社会づくりが進められていると思いますか。　n＝1,456（○は１つ）

10.0　そう思う	12.5　どちらかといえばそう思わない
33.8　どちらかといえばそう思う	7.8　そう思わない
25.5　どちらともいえない	9.3　わからない
	1.0　無回答

問 10　あなたは、現在の住生活全般（住まい・環境・地域社会）についてどうお感じですか。　n＝1,456（○は１つ）

4.9　大変満足している	22.9　どちらともいえない	1.8　大変不満である
57.6　まあ満足している	10.2　やや不満である	1.6　わからない
		1.0　無回答

問 11　あなたは、普段の生活で環境に配慮した次のような取り組みを行っていますか。

（○はそれぞれ１つずつ）

n＝1,456	実施している	ときどき実施している	あまり実施していない	実施していない	該当するものがない	無回答
（ア）節電に努めている	41.4	42.7	12.2	2.1	0.3	1.3
（イ）冷暖房の設定温度を控えめにする	53.3	32.0	10.6	2.5	0.5	1.0
（ウ）省エネルギー性能の高い家電製品を選ぶ	35.5	32.2	21.8	5.1	3.1	2.3
（エ）レジ袋をもらわない	33.7	35.2	15.1	13.8	0.7	1.6
（オ）車の急発進・急加速はしない	53.0	15.9	5.1	1.7	19.4	4.9
（カ）アイドリング・ストップを心掛けている	38.0	17.4	11.5	6.8	20.9	5.3

問12　あなたは、市民活動団体の活動や、ボランティア活動に関心がありますか。ｎ＝1,456（○は１つ）

4.9　大変関心がある	48.4　あまり関心がない
37.0　まあ関心がある	8.9　まったく関心がない
	0.8　無回答

※　ここでいう「市民活動団体」とは、市民の自発性に基づき、福祉や子育て支援、まちづくり、環境等様々な分野の地域課題の解決のために、自立的・継続的に社会貢献活動を行う営利を目的としない団体（行政が認証したＮＰＯ法人やボランティア団体等任意団体）のことです。

問13　あなたは、市民活動団体の活動に参加したことがありますか。　　ｎ＝1,456（○は１つ）

4.3　定期的に参加している
6.7　ときどき参加している
21.8　参加したことがある
12.1　参加したことはないが、今後参加してみたいと思う
54.5　参加したことはない
0.6　無回答

※　ここでいう「参加」とは、団体の会員やボランティアとしての参加のみならず、団体への資金・物品・技術・場所等の提供・寄付などの支援を通しての参加や、団体が提供するサービスの利用・イベントへの参加なども含みます。

問14　あなたは、ボランティアとして活動したことがありますか。　　ｎ＝1,456（○は１つ）

4.1　定期的に活動している	8.7　活動したことはないが、今後活動してみたいと思う
6.0　ときどき活動している	56.7　活動したことはない
23.8　活動したことがある	0.7　無回答

※　ここでいう「ボランティア活動」とは、市民の自発性に基づき地域や社会に貢献する活動のことであり、市民活動団体が行うボランティア活動への参加のみならず、個人として行うものを含むボランティア活動全般を指します。

問 15　あなたは、県内の施設などでこの１年間で何回くらい文化芸術に触れましたか。

ｎ＝1,456（○は１つ）

19.0　年に１回	4.2　年に10回以上（おおよそ月に1回以上）
32.1　年に２～５回（３～６か月に１回程度）	38.6　文化芸術に触れなかった
3.8　年に６～９回（１～２か月に１回程度）	2.3　無回答

※　ここでいう「文化芸術」とは、映画（アニメ含む）、音楽（クラシックやポップス等）、美術、茶道・華道、芸能、文化財など幅広いジャンルの文化のことで、舞台公演・展覧会等の鑑賞、祭り等への参加、演奏・創作活動、文化財保存活動、史跡めぐりなどです。

【健康について】

問16　あなたは、自分が積極的に健康づくりに取り組むことができる環境にあると思いますか。

ｎ＝1,456（○は１つ）

16.8　そう思う	11.1　どちらかといえばそう思わない
34.1　どちらかといえばそう思う	8.6　そう思わない
21.2　どちらともいえない	6.1　わからない
	2.1　無回答

問17　あなたは、健康づくりなどのために１年間に何日くらい運動やスポーツを行いましたか。

ｎ＝1,456（○は１つ）

17.0　週に３日以上（年１５１日以上）	5.8　３か月に１～２日（年４日～１１日）
13.3　週に２日（年１０１日～１５０日）	8.6　年に１～３日
12.8　週に１日（年５１日～１００日）	28.1　運動・スポーツは行わなかった
12.4　月に１～３日（年１２日～５０日）	2.1　無回答

※　ここでいう「運動やスポーツ」とは、比較的軽い運動やスポーツ（ウォーキングや軽い体操、ダンスなどのレクリエーション活動等）を含みます。

問18　あなたは、自分が住み慣れた地域で安心して受診できる医療体制にあると思いますか。

ｎ＝1,456（○は１つ）

25.3　そう思う	8.6　どちらかといえばそう思わない
38.3　どちらかといえばそう思う	8.3　そう思わない
14.3　どちらともいえない	3.4　わからない
	1.9　無回答

問 19　あなたの過去の病歴や体質などを知っていて、気軽に相談に応じてくれるとともに、必要なときには他の専門機関等を紹介してくれる、身近な医師（歯科医、薬剤師・薬局）を、「かかりつけ医（歯科医、薬剤師・薬局）」と呼んでいます。あなたは、「かかりつけ医（歯科医、薬剤師・薬局）」をお持ちですか。ｎ＝1,456（○はそれぞれ１つずつ）

かかりつけ医	かかりつけ歯科医	かかりつけ薬剤師・薬局
57.8　持っている	61.7　持っている	39.4　持っている
31.7　持っていないが、必要性は強く感じている	25.1　持っていないが、必要性は強く感じている	35.5　持っていないが、必要性は強く感じている
8.5　持っていないし、必要性もあまり感じていない	7.6　持っていないし、必要性もあまり感じていない	19.4　持っていないし、必要性もあまり感じていない
1.9　無回答	5.6　無回答	5.7　無回答

【福祉について】

問20　あなたは、自分が安心して子育てできる環境にあると思いますか。　n＝1,456（○は１つ）

10.0　そう思う	6.3　どちらかといえばそう思わない
32.3　どちらかといえばそう思う	5.6　そう思わない
17.1　どちらともいえない	23.4　わからない
	5.4　無回答

問 21　あなたは、お年寄りが安心して暮らせる高齢者施策についてどうお感じですか。
n＝1,456（○は１つ）

1.6　大変満足している	32.2　どちらともいえない	6.5　大変不満である
15.2　まあ満足している	13.9　やや不満である	28.4　わからない
		2.1　無回答

問22　近年、少子高齢化の進行や一人暮らし世帯・核家族世帯の増加等を背景に家庭内や地域の支え合いの力が弱まっていると言われています。あなたは、地域住民が互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会づくりが進められていると思いますか。　n＝1,456（○は１つ）

3.4　そう思う	19.6　どちらかといえばそう思わない
13.4　どちらかといえばそう思う	16.9　そう思わない
29.9　どちらともいえない	14.8　わからない
	1.9　無回答

問 23　あなたは、障害のある・なしにかかわらず、誰もが社会の一員としてお互いを尊重し、支え合って暮らすことを目指す「共生社会」という考え方を知っていますか。n＝1,456（○は１つ）

34.1　知っている　36.8　言葉だけは聞いたことがある　27.3　知らない　1.9　無回答

※「共生社会」とは、具体的には、人々の生活や心において「障害者」という区切りのない社会です。

【観光について】

問24　千葉県の魅力は、次のどれだと思いますか。　n＝1,456（○はいくつでも）

55.7　自然が豊かである	47.9　新鮮な農産物が豊富である
59.4　温暖で気候がよい	50.5　新鮮な水産物が豊富である
40.2　季節の花々が楽しめる	8.5　郷土料理・ご当地グルメが豊富である
7.7　温泉が楽しめる	4.9　お酒がおいしい
22.2　ゴルフ場が多い	18.1　地域ならではの特産品・お土産がある
36.9　サーフィン・海水浴・潮干狩りが楽しめる	24.2　果物狩りが楽しめる
	12.9　祭りが盛んである
12.6　プロスポーツ観戦が楽しめる	4.5　自然体験・農林漁業体験ができる
47.7　魅力的なテーマパーク・レジャー施設がある	8.3　ドラマや映画等のロケ地が多い
	14.1　家族（子供と）で楽しめる
16.1　魅力的な動植物園・水族館がある	54.5　都心からアクセスがよい・近い
23.6　有名な神社・仏閣がある	5.8　国際的な観光地である
17.0　歴史的なまち並み・史跡・旧跡がある	1.6　その他（具体的に　　）
29.1　買い物・ショッピングが楽しめる	2.0　特にない
6.3　工場見学が楽しめる	1.9　無回答

問25　あなたは、これから千葉県内を旅行するとしたら、どのエリアに行きたいですか。

ｎ＝1,456（○はいくつでも）

13.5	ベイ・東葛飾エリア	（千葉市、八千代市、習志野市、四街道市、船橋市、市川市、浦安市、野田市、流山市、柏市、我孫子市、松戸市、鎌ケ谷市）
12.6	かずさ・臨海エリア	（市原市、袖ケ浦市、木更津市、君津市、富津市）
20.5	北総エリア	（銚子市、東庄町、香取市、多古町、神崎町、成田市、富里市、栄町、印西市、白井市、佐倉市、酒々井町、八街市、芝山町）
27.7	九十九里エリア	（旭市、匝瑳市、横芝光町、山武市、東金市、大網白里市、九十九里町、茂原市、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町）
75.8	南房総エリア	（館山市、南房総市、鋸南町、鴨川市、勝浦市、いすみ市、大多喜町、御宿町）
12.3	特にない	
1.2	無回答	

問26　千葉県内を観光する際に、事前にどのような情報がほしいですか。ｎ＝1,456（○はいくつでも）

54.3	観光施設	40.9	道の駅
50.5	宿泊施設	26.2	直売所（地場農水産物）
5.4	バリアフリー対応施設	3.1	観光ボランティアガイド
53.1	食事	8.4	体験プログラム
27.1	お土産・特産品	15.9	観光公衆トイレ
19.2	祭り・イベント	13.3	観光地の動画・写真
10.3	モデルルート	16.6	観光地の気象情報
43.6	交通アクセス	2.2	その他（具体的に　　）
		2.7	無回答

問27　この１年間で千葉県内を観光した際に、不満に感じた点を教えてください。

ｎ＝1,456（○はいくつでも）

5.4	食事	9.3	観光情報・案内の充実度
3.7	観光施設	12.1	観光地の公衆トイレが少ない
2.3	宿泊施設	16.6	観光地の公衆トイレが汚い
3.2	接客サービス	13.7	観光地における駐車場
3.8	お土産・特産品	2.8	その他（具体的に　　）
16.6	交通アクセス	19.0	特に不満な点はない
2.8	まち並み・雰囲気	31.0	この１年間は観光をしていない
1.2	自然・景観	3.3	無回答

問 28　あなたは県産品をお土産や贈答品として使う場合、何を贈りますか。ｎ＝1,456（○は３つまで）

5.8	花	9.2	酒類
30.8	農産物・果物	5.8	しょうゆ・みそ
54.5	落花生・落花生加工品	1.0	乳製品
0.8	肉類	34.8	菓子・せんべい
12.8	生鮮魚介類	1.0	工芸品
27.4	海苔・水産加工品	5.7	チーバくんグッズ
5.8	漬物	1.6	その他（具体的に　　）
		2.4	無回答

【千葉県の農林水産物について】

問29　あなたは、千葉県産農林水産物を購入したいと思いますか。　　ｎ＝1,456（○は１つ）

44.0　そう思う	11.5　どちらかといえばそう思わない
38.0　どちらかといえばそう思う	4.7　そう思わない
	1.8　無回答

（問 29 で「１」、「２」のいずれかをお答えの方に）

問29－１　その主な理由は何ですか。　　ｎ＝1,194（○は１つ）

18.7　千葉県に愛着があるから	2.1　価格が安いから
50.2　鮮度が良い（美味しい）から	1.9　その他（具体的に　　）
26.5　地元のものは安心だから	0.7　無回答

（問 29 で「３」、「４」のいずれかをお答えの方に）

問29－２　その主な理由は何ですか。　　ｎ＝236（○は１つ）

36.4　産地にこだわらず価格で選ぶから	10.6　千葉県以外で買いたい産地があるから
44.1　産地にこだわらず旬や鮮度で決めるから	5.5　その他（具体的に　　）
	3.4　無回答

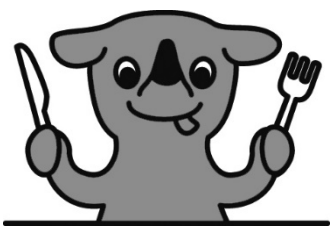
問 30　あなたは、農薬や化学肥料の使用量の低減などにより、環境に配慮して生産される次の農産物や制度を知っていますか。　　ｎ＝1,456（○はいくつでも）

63.0　有機農産物	14.1　ちばエコ農産物
13.9　特別栽培農産物	28.8　どれも知らない
15.6　エコファーマー	2.2　無回答

※「有機農産物」：ＪＡＳ法に基づき化学肥料・農薬を使わず栽培し、登録機関で認定された農産物
「特別栽培農産物」：国のガイドラインに基づき化学肥料・農薬を通常の１/２以下で栽培し、生産者が定める責任者が確認した農産物
「エコファーマー」：持続性の高い農業生産方式の導入計画を作成し、県が認定した農業者
「ちばエコ農産物」：県の基準に基づき化学肥料・農薬を通常の１/２以下で栽培し、県が認証した農産物

問31　千葉県では、千葉のさかなの認知度を高め、広く県内外にアピールするため、「銚子つりきんめ」、「外房イセエビ」、「九十九里地はまぐり」などの優良な県産水産物を「千葉ブランド水産物」として認定しています。
あなたは、「千葉ブランド水産物」を知っていますか。　　ｎ＝1,456（○は１つ）

6.5　よく知っている	50.1　知らない
42.3　多少は知っている（聞いたことがある）	1.2　無回答



【防災に関する取り組みについて】

問32　平成23年３月11日に発生した東日本大震災では、千葉県内でも震度６弱を記録し、大きな被害が出ました。また、県外では平成28年熊本地震（震度７が２回発生）や、記録的な大雨や台風により浸水害や土砂災害なども発生しております。あなたは、自分の住んでいる地域で、大地震や風水害が起こるのではないかという不安を感じていますか。　ｎ＝1,456（○は１つ）

46.2　強く感じている	8.0　ほとんど感じていない
43.1　少し感じている	1.5　わからない
	1.3　無回答

問33　市町村では、災害から住民を守るために「避難勧告」や「避難指示」を発令することがあります。あなたは、これらの意味や違いを知っていますか。　ｎ＝1,456（○は１つ）

73.1　知っている	24.9　知らない	2.1　無回答

問34　大規模な災害が発生した場合、避難所に飲料水や食料などの支援物資が届くまで時間がかかることが予測されます。あなたは、災害に備えて、冷蔵庫にあるものを含めて、飲料水や食料をおよそ何日分、備蓄していますか。　ｎ＝1,456（○は１つ）

16.3　４日分以上	21.6　２日分	21.4　備蓄していない
31.0　３日分	8.2　１日分	1.5　無回答

問35　固定電話や携帯電話（音声及びメール）は、災害が発生した際には利用が急増し、平常時のように使用できなくなります。実際に東日本大震災でも、使用できなくなりました。
あなたは、災害時に利用できる災害伝言板や災害用伝言ダイヤルを知っていますか。
ｎ＝1,456（○は１つ）

56.4　知っている	41.7　知らない	1.9　無回答

問36　あなたは、地震による被害を防ぐため、どのような対策を行っていますか（行う予定ですか）。
ｎ＝1,456（○はいくつでも）

57.8　家具（冷蔵庫、食器棚、本棚、タンス、テレビなど）の固定化
9.4　住宅（昭和５６年以前に建築されたもの）の耐震化
5.4　住宅（昭和５６年以前に建築されたもの）の建替え
6.5　家具や建築資材の不燃化・防災化
1.2　液状化対策
47.1　地震や津波が来た場合の避難所と避難経路の確認
2.7　その他（具体的に　　）
11.4　無回答

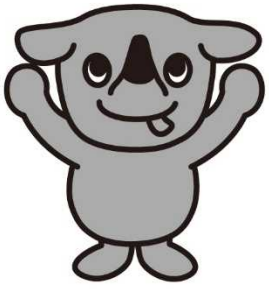
【地方分権について】

問37　「地方分権」とは、自分の住む地域のことは、その地域の住民が自ら決められるようにするため、国から、身近な県や市町村に権限や財源を移していこうとするものです。
あなたは、こうした「地方分権」について、今後さらに進めていくべきと思いますか。
n＝1,456（○は１つ）

31.7　地方分権を進めるべきである。進めたほうがいい
14.1　今のままの制度で特に支障がない。現状の制度を維持すべきである
22.1　どちらともいえない
29.3　わからない
0.6　その他（具体的に　　）
2.2　無回答

（問37で「１」とお答えの方に）
問37－１　あなたは、国から身近な県や市町村に権限や財源を移す「地方分権」を進めることにより、主にどのような効果を期待しますか。　n＝462（○は１つ）

36.8　国の画一的な行政が是正され、地方の自由度が増すことにより、地域の特性に応じた事業が可能となる
（例）社会福祉施設の整備にあたり、安全に配慮した上で、国の定めた基準を緩和することにより、施設建設のコストを削減することができる
11.3　国と地方が行っている事務を一体的に実施することが可能となり、事業の効率化を図ることができる
（例）ハローワークの事務を国から県に移譲することなどにより、国が行う職業紹介と県が行う生活・就労相談を併せて実施し、効率的な雇用施策を行うことができる
38.3　従来必要だった国との協議などが不要・簡素化され、事業の迅速化を図ることができる
（例）道路や公園、住宅地等の位置・規模など、まちづくりの基本方針を定める都市計画に係る国への協議を廃止することにより、計画決定までの期間が短縮化され、早期に事業着手することができる
11.5　住民に身近な県や市町村において、申請や相談などの対応が可能となる
（例）未熟児等の医療費支給に係る認定権限を県から市町村に移譲することにより、より身近な窓口で手続きが可能となり、住民の利便性向上を図ることができる
1.3　その他（具体的に　　）
0.9　無回答



【広報・広聴活動について】

問38　あなたは、県の施策や政策などについて関心がありますか。　　n＝1,456（○は１つ）

5.6　大変関心がある	38.3　あまり関心がない
49.2　まあ関心がある	4.2　まったく関心がない
	2.7　無回答

問39　あなたは、県政に関する情報をどのような手段で得ていますか。n＝1,456（○はいくつでも）

63.7　県広報紙「ちば県民だより」
9.7　千葉県ホームページ（パソコン版）
7.8　千葉県ホームページ（スマートフォン版）
0.6　千葉県ホームページ（携帯版）
5.2　千葉日報による新聞紙面広報「県からのお知らせ」、「特集」
12.1　千葉テレビによる県広報番組
「千葉県インフォメーション」、「ウィークリー千葉県～ちばの旬な話題をお届け～」
3.8　ベイエフエムによる県広報番組「サタデイ・ブレイシング・モーニング」、
「チバ・プリフェクチャー・アップデイツ」
31.0　５・６・７以外の新聞記事、テレビ・ラジオの番組やニュース
1.3　その他（具体的に　　）
6.3　無回答

（※）「５・６・７以外の新聞記事、テレビ・ラジオの番組やニュース」における、５・６・７とは、「千葉日報による新聞紙面広報『県からのお知らせ』、『特集』」「千葉テレビによる県広報番組『千葉県インフォメーション』、『ウィークリー千葉県～ちばの旬な話題をお届け～』」「ベイエフエムによる県広報番組『サタデイ・ブレイシング・モーニング』『チバ・プリフェクチャー・アップデイツ』」を指す。

問40　あなたは、県広報紙「ちば県民だより」を読んでいますか。　　n＝1,456（○は１つ）

21.6　ほとんど毎回読んでいる	20.5　読んだことがない
41.3　ときどき読んでいる	1.6　無回答
15.0　あまり読まない	

→（問 40 で「１」～「３」のいずれかをお答えの方に）
問 40－１　県広報紙「ちば県民だより」をどこで入手していますか。n＝1,133（○はいくつでも）

74.7　新聞の折り込み
4.4　コンビニエンスストア・スーパーなどの商業施設
11.9　県・市町村などの公共施設
2.2　銀行・信用金庫・郵便局
3.6　駅の県政ふれあいコーナー（パンフレットラック）
1.9　千葉県ホームページ
3.0　その他（具体的に　　）
7.9　無回答

（問 40 で「１」～「３」のいずれかをお答えの方に）

問 40－２　県広報紙「ちば県民だより」の内容についておたずねします。

ｎ＝1,133（○はそれぞれ１つずつ）

情報・内容のわかりやすさ		デザイン	
10.2　良い	72.4　普通	8.2　良い	70.8　普通
2.6　悪い	14.8　無回答	4.1　悪い	16.9　無回答

問41　あなたは、千葉県ホームページを利用していますか。　ｎ＝1,456（○は１つ）

1.1　よく利用している	56.7　利用していない
11.4　ときどき利用している	10.4　普段からインターネットを利用していない
19.0　ほとんど利用しない	1.5　無回答

（問 41 で「１」～「３」のいずれかをお答えの方に）

問41－１　千葉県ホームページの情報・内容のわかりやすさはいかがですか。ｎ＝458（○は１つ）

4.8　良い	83.2　普通	6.3　悪い	5.7　無回答

問42　県では、千葉テレビ放送において、県の広報番組「千葉県インフォメーション」、「ウィークリー千葉県～ちばの旬な話題をお届け～」を毎週放送しています。あなたは、これらの番組をどの程度ご覧になっていますか。　ｎ＝1,456（○は１つ）

1.5　よく見る	27.7　あまり見ない
12.6　ときどき見る	56.0　見たことがない
	2.2　無回答

問43　あなたは、観光や食事、レジャーなどをする上で、どのような媒体を通じて情報収集をしていますか。　ｎ＝1,456（○はいくつでも）

37.6　新聞・雑誌等の全国誌の記事又は広告	20.4　LINE・Twitter・Facebook 等の SNS
27.9　テレビ・ラジオ等の番組又はＣＭ	3.0　イベント
19.4　地域のフリーペーパー	2.7　その他（具体的に　　）
14.4　駅や街頭のポスター	8.9　特にない
5.8　街頭配布のチラシやリーフレット	1.7　無回答
42.5　ホームページ、ブログ、ニュースサイト等のウェブサイト	

（問 43 で「７」をお答えの方に）

問43－１　どのようなSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を利用して情報収集をしていますか。　ｎ＝297（○はいくつでも）

45.1　LINE	24.6　YouTube
29.0　Twitter	1.0　その他（具体的に　　）
27.6　Facebook	22.9　特にない
26.9　Instagram	

問44　あなたは、県のどのような情報が知りたいですか。　　n＝1,456（○はいくつでも）

25.4　県事業の内容や進みぐあい	5.5　各種調査や統計資料の紹介
28.1　県予算の使いみち	11.7　地域住民の活動情報
40.2　新しくできた制度や事務手続きの情報	50.0　県の観光・レジャー情報
10.6　県民の県政に対する意見や要望の紹介	21.9　県の歴史や文化、伝統工芸
34.1　県行事や催し物などのお知らせ	1.8　その他（具体的に　　）
38.7　県施設の紹介や利用案内	11.3　特にない
	1.4　無回答

問45　あなたは、県に対してご自分の意見を積極的に述べ、県政に反映させたいと思いますか。

n＝1,456（○は１つ）

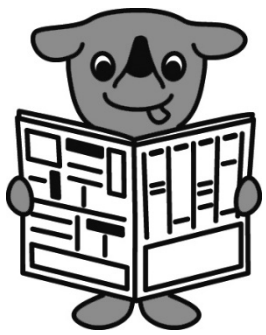
5.7　そう思う	49.9　どちらかといえばそう思わない
24.7　どちらかといえばそう思う	16.8　そう思わない
	2.9　無回答

→（問45で「１」、「２」とお答えの方に）

問45－１　どのような方法で、県に対するご意見を述べたいと思いますか。

n＝442（○は３つまで）

53.4　電子メール	13.1　会議・集会の場（タウンミーティングなど）
26.9　郵便（「知事への手紙」など）	11.3　県民相談窓口などへの訪問
10.9　電話	24.0　LINE・Twitter・Facebook 等の SNS
7.9　ファックス	3.6　その他（具体的に　　）
	1.6　無回答



【県政への要望】

問46　県政全般について、今後あなたが特に力をいれてほしいと思われることを、次の県政への要望項目の中から３つまで選んで番号に○をつけてください。

なお、必ず「問47」の具体的要望項目欄（１６～２０ページ）をご覧になってから、回答してください。各要望項目の内容について、例示を記載していますので参考にしてください。

ｎ＝1,456

37.7	災害から県民を守る
4.5	消費生活のトラブルに関する対策をすすめる
12.7	食品の安全を守る
10.8	交通事故から県民を守る
5.2	中心市街地の活性化を推進する
2.0	国際交流や国際協力をすすめる
15.5	便利な交通網を整備する
6.4	障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する
4.6	母子、寡婦、父子家庭等の福祉を充実する
28.2	高齢者の福祉を充実する
16.3	次世代を担う子どもの育成支援を充実する
4.1	青少年を健全に育てる
1.2	男女共同参画を推進する
0.9	市民活動団体やボランティアへの活動支援を充実する
7.9	健康づくりをすすめて、病気を予防する
20.1	医療サービス体制を整備する
3.6	大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる
6.3	自然を守り、緑を育てる
2.0	省資源やリサイクルをすすめる
2.1	廃棄物対策をすすめる
3.3	商工業を振興し、地域経済の担い手を育成する
4.2	観光を振興する
7.0	雇用の場を広げる
11.7	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する
2.7	農林水産業を振興し新鮮な農林水産物を供給する
11.7	道路を整備する
3.3	下水道を整備する
1.4	住宅対策を充実する
3.3	公園・緑地を整備する
4.6	安心して飲める良質な水道水を供給する
9.1	学校教育を充実する
3.8	生涯学習・スポーツ・レクリエーションを振興する
1.9	芸術・文化活動を振興する
10.4	犯罪防止対策をすすめる
1.4	施策実現や地域活性化のためのＩＴの利活用をすすめる
1.2	その他（具体的に　　）
2.3	要望はない
2.8	無回答

（問46で「１」～「35」のうち１つでもお答えの方は、次の問47にお進みください。
問46で「36」または「37」だけにお答えの方は、20ページのＦ１にお進みください。）

問47　問46で選んでいただきました県政の要望について、具体的にどのようなことを望まれますか。
問 46 で選んだ３項目についてのみ、具体的要望項目から１つずつ選んで番号に○をつけてください。

問 46 の番号及び項目		具体的要望項目（問 46 で選んだ項目についてのみお答えください）
1　ｎ＝549 災害から県民を守る を選んだ方	⇒	17.3　災害対応マニュアルの作成・防災マップ等の公表 36.2　災害時の支援、救援活動 16.8　避難場所・避難経路の整備 12.2　危険箇所の事前解消 5.1　災害に対する意識啓発、情報提供 2.2　放射性物質への対応 0.9　その他（具体的に　　）9.3　無回答
2　ｎ＝66 消費生活のトラブルに関する対策をすすめる を選んだ方	⇒	33.3　悪質商法などによる消費者トラブルの相談・救済 25.8　悪質な事業者の指導・処分 4.5　食品や生活用品などの適正な表示 3.0　商品・サービスに係る危害・危険の防止 1.5　消費者教育などの消費者の自立支援策の充実 7.6　高齢者や若者等の消費者被害の防止 10.6　安心して相談できる相談窓口などの情報提供 3.0　その他（具体的に　　）10.6　無回答
3　ｎ＝185 食品の安全を守る を選んだ方	⇒	28.6　食品の安全確保　　11.4　適正な食品表示 20.0　検査の強化　　2.2　情報提供 24.9　添加物や農薬の規制　0.5　その他（具体的に　）12.4　無回答
4　ｎ＝157 交通事故から県民を守る を選んだ方	⇒	33.8　交通事故多発箇所の点検、整備　2.5　交通安全教育の推進 12.7　自転車通行環境の整備　　7.6　その他 26.1　自転車利用者のマナー向上　　（具体的に　　） 10.2　ドライバーのマナー向上　　7.0　無回答
5　ｎ＝75 中心市街地の活性化を推進する を選んだ方	⇒	24.0　再開発などのまちづくり推進 53.3　駅周辺の活性化 13.3　商業中心による活性化 2.7　その他（具体的に　　）6.7　無回答
6　ｎ＝29 国際交流や国際協力をすすめる を選んだ方	⇒	13.8　海外の良い点を県政に反映 17.2　外国人にも住みやすいまちづくり 13.8　姉妹都市をはじめとする世界との交流・協力 31.0　市民レベルでの文化交流・外国人交流の機会の提供 6.9　在住外国人向けの相談・情報提供の充実 6.9　海外への千葉県の魅力に関する情報発信 3.4　その他（具体的に　　）6.9　無回答
7　ｎ＝225 便利な交通網を整備する を選んだ方	⇒	22.7　鉄道の増便などによる利便性の向上 19.6　バスの増便などによる利便性の向上 21.3　鉄道新設などによる交通網の見直し 12.0　鉄道とバスとの乗り継ぎの円滑化 14.7　その他（具体的に　　）9.8　無回答
8　ｎ＝93 障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する を選んだ方	⇒	19.4　就労・社会参加の促進 20.4　入所施設やグループホームなど住まいの場の充実 24.7　障害のある人が暮らしやすいまちづくり 24.7　経済的な支援・負担の軽減 2.2　その他（具体的に　　）8.6　無回答

問 46 の番号及び項目		具体的要望項目（問 46 で選んだ項目についてのみお答えください）
9　　n＝67 母子、寡婦、父子家庭等の福祉を充実する を選んだ方	⇒	43.3　母子、寡婦、父子家庭への子育て・生活支援体制の充実 4.5　母子、寡婦、父子家庭への就業支援体制の充実 34.3　母子、寡婦、父子家庭への経済的支援体制の充実 3.0　その他（具体的に　　）14.9　無回答
10　　n＝410 高齢者の福祉を充実する を選んだ方	⇒	37.1　在宅で暮らし続けるための医療・福祉・生活支援 25.4　特別養護老人ホーム等の入所施設の充実 13.9　高齢者が暮らしやすい住まいやまちづくりの支援 5.1　高齢期を充実して過ごすための生きがい対策 2.0　団塊世代や高齢者等の地域活動参加支援 0.5　高齢者虐待防止対策の強化 4.4　認知症対策の強化 0.5　その他（具体的に　　）11.2　無回答
11　　n＝238 次世代を担う子どもの育成支援を充実する を選んだ方	⇒	55.5　子育てに対する経済的な支援・負担軽減 12.2　地域住民参加の多様な子育て支援・子育て力の充実 10.1　幼稚園や保育所の特長を生かした就学前の子どもの教育･保育の充実 3.8　児童虐待防止対策の推進 9.2　妊娠期から子育て期にわたる支援体制の充実 0.4　その他（具体的に　　）8.8　無回答
12　　n＝60 青少年を健全に育てる を選んだ方	⇒	5.0　青少年のボランティア活動等社会参加の促進 26.7　家庭・学校・地域の連携強化 16.7　子どものしつけなどに関する家庭教育への支援 3.3　専門家による相談窓口の充実 15.0　ネットパトロールの実施・有害メディアの規制 15.0　非行・犯罪防止・立ち直り支援 8.3　ニート・引きこもり等への支援 1.7　その他（具体的に　　）8.3　無回答
13　　n＝18 男女共同参画を推進する を選んだ方	⇒	22.2　男性も女性もともに暮らしやすい社会の構築 5.6　ドメスティックバイオレンス（ＤＶ）やセクハラなどの根絶 44.4　子育てや介護、家庭生活と仕事を両立するための支援・環境整備 5.6　女性の再就職支援 11.1　働く場での男性・女性の均等な機会及び待遇の確保 0.0　教育・学習の推進 0.0　広報・啓発活動の推進 0.0　男女共同参画に関する条例を制定する 0.0　その他（具体的に　　）11.1　無回答
14　　n＝13 市民活動団体やボランティアへの活動支援を充実する を選んだ方	⇒	53.8　活動への資金的支援　　23.1　各団体の運営能力強化の支援 0.0　活動への理解促進　　0.0　その他 7.7　活動への参加促進　　（具体的に　　） 7.7　他団体との連携支援　　7.7　無回答
15　　n＝115 健康づくりをすすめて、病気を予防する を選んだ方	⇒	18.3　運動の機会の増大　　8.7　心の健康づくり 35.7　高齢者の健康維持　　2.6　歯科保健の充実 7.0　禁煙の推進　　8.7　がんその他の生活習慣病対策 7.8　生活改善の支援　　0.0　その他（具体的に　）11.3　無回答
16　　n＝292 医療サービス体制を整備する を選んだ方	⇒	18.8　医師・看護師等医療技術者の確保 14.0　病院と診療所（かかりつけ医）との連携強化 20.9　医療施設の整備 22.6　休日・夜間等時間外診療の充実 10.6　救急医療体制の整備 3.4　その他（具体的に　　）9.6　無回答

問46の番号及び項目		具体的要望項目（問46で選んだ項目についてのみお答えください）
17　n＝52 大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる を選んだ方	⇒	7.7　ディーゼル車対策による大気汚染の改善 21.2　光化学スモッグ・ＰＭ２.５対策 1.9　アスベスト対策 13.5　航空機や自動車による騒音・振動に対する対策 26.9　河川・湖沼・海域の水質改善 0.0　建設残土の適正な埋立て 11.5　環境中に排出される有害な化学物質対策 5.8　その他（具体的に　　）11.5　無回答
18　n＝91 自然を守り、緑を育てる を選んだ方	⇒	63.7　自然環境・自然景観の保全　0.0　環境保全に関する啓発・教育 6.6　希少な野生動植物の保全　2.2　県民参加での野生動植物調査 3.3　特定外来生物の防除　4.4　その他（具体的に　　） 7.7　地球温暖化対策　12.1　無回答
19　n＝29 省資源やリサイクルをすすめる を選んだ方	⇒	27.6　ごみ分別徹底化 34.5　廃棄物の再資源化促進 6.9　容器包装ごみの発生抑制（マイバッグの利用など） 3.4　再生可能エネルギーの導入促進 17.2　バイオマスの利活用（飼料化・堆肥化・燃料利用など） 0.0　その他（具体的に　　）10.3　無回答
20　n＝30 廃棄物対策をすすめる を選んだ方	⇒	30.0　産業廃棄物の不法投棄防止対策 40.0　安心できる廃棄物処理施設の設置 13.3　廃棄物処理に関する広報・啓発活動 0.0　その他（具体的に　　）16.7　無回答
21　n＝48 商工業を振興し、地域経済の担い手を育成する を選んだ方	⇒	35.4　新たな企業の誘致、産業拠点の整備 8.3　中小企業への資金支援の充実 6.3　創業及び新たな事業展開の支援 4.2　研究・技術開発の支援 0.0　販路開拓の支援 31.3　商店街の整備・活性化 0.0　その他（具体的に　　）14.6　無回答
22　n＝61 観光を振興する を選んだ方	⇒	9.8　観光地の美化　8.2　観光地へのアクセスの改善 23.0　観光施設・宿泊施設の充実　3.3　その他 31.1　千葉県観光の積極的なＰＲ　（具体的に　　） 13.1　新たな観光地づくりの促進　11.5　無回答
23　n＝102 雇用の場を広げる を選んだ方	⇒	27.5　若年者に対する就業支援　5.9　障害のある人に対する就業支援 48.0　中高年齢者に対する就業支援　2.0　その他（具体的に　　） 9.8　女性に対する就業支援　6.9　無回答
24　n＝171 仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する を選んだ方	⇒	8.2　女性の再就職支援 2.9　両立支援相談窓口の設置 21.1　ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の普及 7.0　男性の育児参加など働き方の見直しの啓発 29.2　短時間勤務制度等多様な働き方の普及 2.9　企業に対する税制上の優遇措置の創設 12.9　一時預かり、時間外保育等保育内容の充実 1.8　その他（具体的に　　）14.0　無回答
25　n＝40 農林水産業を振興し新鮮な農林水産物を供給する を選んだ方	⇒	27.5　新鮮でおいしい農林水産物の供給 17.5　価格の安定 20.0　県産農林水産物の販売量の拡大 22.5　安全で安心して食べられる農林水産物の供給 7.5　その他（具体的に　　）5.0　無回答

問 46 の番号及び項目		具体的要望項目（問 46 で選んだ項目についてのみお答えください）
26　　n＝171 道路を整備する を選んだ方	⇒	53.2　交通渋滞対策 5.8　交通事故多発箇所の改修 4.1　沿道環境の改善（騒音・排ガス対策・景観形成） 7.6　観光、買い物などを支援する道路の整備 8.8　自然災害に強い道路の整備 10.5　その他（具体的に　　）9.9　無回答
27　　n＝48 下水道を整備する を選んだ方	⇒	75.0　下水道の普及・改善　　6.3　水洗化への支援 0.0　下水道施設の耐震化　　0.0　その他（具体的に　　） 6.3　下水の高度処理化　　12.5　無回答
28　　n＝20 住宅対策を充実する を選んだ方	⇒	35.0　安くて入居を拒まれない住宅の整備 20.0　子育て世帯や高齢者世帯に対応した住宅の整備 5.0　防犯や耐震性の向上など、安全で快適な住宅の整備 20.0　住み替えやリフォームに必要な市場の整備や情報の提供 5.0　省エネなど環境に優しい住宅の整備 5.0　その他（具体的に　　）10.0　無回答
29　　n＝48 公園・緑地を整備する を選んだ方	⇒	33.3　公園・緑地等の設置・管理 16.7　公園等の緑化推進 29.2　子どもの遊び場の整備 6.3　公園・緑地等の管理への住民参加の機会充実 0.0　催物・講習会等の開催 4.2　その他（具体的に　　）10.4　無回答
30　　n＝67 安心して飲める良質な 水道水を供給する を選んだ方	⇒	46.3　上水道の水質の改善・維持 7.5　上水道の整備 37.3　水源となる湖沼や川の汚染対策 1.5　その他（具体的に　　）7.5　無回答
31　　n＝132 学校教育を充実する を選んだ方	⇒	32.6　教職員の資質向上・増員　　3.0　障害のある児童生徒の教育の充実 11.4　学力の向上 3.0　健康と体力の向上　　9.1　学校施設の整備 7.6　特色ある教育活動の充実　　2.3　その他（具体的に　　） 13.6　道徳や心の教育の充実　　11.4　無回答 6.1　いじめ・不登校対策
32　　n＝56 生涯学習・スポーツ・ レクリエーションを 振興する を選んだ方	⇒	5.4　指導者育成の支援 21.4　学習機会の充実 23.2　スポーツ・レクリエーション活動の充実 0.0　情報提供の充実 32.1　施設の整備・充実 7.1　その他（具体的に　　）10.7　無回答
33　　n＝27 芸術・文化活動を振興 する を選んだ方	⇒	33.3　文化・芸術に触れる機会の拡充 14.8　文化・芸術に関する情報提供の充実 14.8　文化・芸術活動への支援 7.4　伝統文化や文化財などの継承と活用 3.7　文化施設等の幅広い活用 14.8　その他（具体的に　　）11.1　無回答

問 46 の番号及び項目		具体的要望項目（問 46 で選んだ項目についてのみお答えください）
34　　n＝151 犯罪防止対策を すすめる を選んだ方	⇒	27.2　警察官によるパトロールの強化 32.5　防犯カメラなどの防犯設備の整備・拡充 0.7　犯罪情報の発信や防犯対策等の広報活動を強化 4.0　警察官や交番相談員の増員による交番の不在時間短縮 7.3　人口や事件が増えている地域に警察署、交番、駐在所の新設 3.3　少年の非行防止対策 9.9　暴力団、不良来日外国人等による犯罪の防止 0.7　ボランティア、自治会等、地域主導型の防犯組織づくりの推進 2.6　その他（具体的に　　）11.9　無回答
35　　n＝21 施策実現や地域活性化 のための IT の利活用を すすめる を選んだ方	⇒	28.6　安全で豊かなくらしの実現のためのＩＴ利活用 （防災・環境・医療・福祉・健康等） 0.0　千葉県の未来を担うこどもの育成のためのＩＴ利活用 （子育て・教育・国際交流･文化・スポーツ等） 0.0　経済の活性化と交流基盤の整備のためのＩＴ利活用 （観光・商工業・農林水産業・街づくり・交通網の整備等） 19.0　行政事務の利便性の向上、効率化へのＩＴ利活用 9.5　情報セキュリティ対策の推進 14.3　Wi-Fi 環境の整備促進 0.0　その他（具体的に　　）28.6　無回答

以上で質問は終わりですが、調査結果を統計的に分析するために必要なことがらをお聞かせください。

Ｆ１　あなたの性別は。　　n＝1,456（○は１つ）

45.4　男性	52.3　女性	2.3　無回答

Ｆ２　あなたは満何歳ですか。　　n＝1,456（○は１つ）

0.7　18～19 歳	17.5　40～49 歳	35.3　65 歳以上
6.8　20～29 歳	16.1　50～59 歳	2.3　無回答
12.6　30～39 歳	8.6　60～64 歳	

Ｆ３　あなたのご職業は何ですか。　　n＝1,456（○は１つ）

自営業主	家族従業者	勤め人	無職
1.6　農林漁業	0.6　農林漁業	7.2　管理職	32.3　主婦・主夫
1.8　商工サービス業	0.2　商工サービス業	21.1　専門技術･事務職	2.6　学生
2.7　自由業	0.5　自由業	10.2　販売・サービス職	8.9　その他
		6.0　労務職	（　　）
			4.1　無回答

Ｆ４　あなたは、主としてあなたのご家庭の家計を支えている方ですか。　ｎ＝1,456（○は１つ）

52.0　はい	45.1　いいえ	3.0　無回答

（Ｆ４で「２」とお答えの方に）
→Ｆ４－１　あなたのご家庭の家計を主として支えている方のご職業は何ですか。ｎ＝656（○は１つ）

自営業主	家族従業者	勤め人	無職
2.3　農林漁業	0.3　農林漁業	17.7　管理職	27.3　無職
3.0　商工サービス業	0.6　商工サービス業	22.4　専門技術･事務職	
5.8　自由業	0.2　自由業	9.6　販売・サービス職	
		8.1　労務職	2.7　無回答

Ｆ５　あなたは、結婚していらっしゃいますか。　ｎ＝1,456（○は１つ）

18.5　未婚	66.7　既婚（配偶者有）	11.5　既婚（配偶者離死別）	3.2　無回答

Ｆ６　あなたは、お子さんが何人いらっしゃいますか。同居、別居は問いません。ｎ＝1,456（○は１つ）

17.4　１人	11.5　３人	0.5　５人以上	
40.3　２人	1.5　４人	24.2　子どもはいない	4.6　無回答

（Ｆ６で「１」～「５」のいずれかをお答えの方に）
→Ｆ６－１　一緒にお住まいのあなたのお子さんで次の中にあげるような方はいらっしゃいますか。
ｎ＝1,037（○はいくつでも）

7.0　０～２歳の子ども	6.3　大学・大学院在学中の子ども
9.7　３歳以上の未就学の子ども	23.3　学校を終えた未婚の子ども
19.5　小学校・中学校在学中の子ども	17.2　結婚した子ども
8.5　高校在学中の子ども	21.8　同居している子どもはいない
1.9　短大・高専・各種学校・専修学校に在学中の子ども	7.0　無回答

Ｆ７　あなたと一緒にお暮らしのご家族の構成は次の中のどれに該当しますか。ｎ＝1,456（○は１つ）

12.4　単身	46.8　二世代世帯（親と子）	1.2　その他（具体的に　　）
25.1　夫婦のみ	8.9　三世代世帯（親と子と孫）	5.6　無回答

Ｆ８　お宅には 65 歳以上の方がいらっしゃいますか。あなたご自身も含めてお答えください。
ｎ＝1,456（○は１つ）

51.4　いる	46.3　いない	2.3　無回答

Ｆ９　あなたのお住まいは、次のどれにあたりますか。　ｎ＝1,456（○は１つ）

63.4　持家（一戸建）	4.1　公社・ＵＲ都市機構・県市町村営住宅
14.0　分譲マンション	1.6　社宅などの給与住宅
1.4　民間の借家（一戸建）	0.3　住み込み・寮・寄宿舎
12.4　賃貸のアパート・マンション	0.3　その他（具体的に　　）
	2.5　無回答

F10　あなたは、千葉県に通算して何年くらいお住まいですか。　　n＝1,456（○は１つ）

0.8	１年未満	5.1	５年～10年未満	14.9	20年～30年未満
2.7	１年～３年未満	4.4	10年～15年未満	63.6	30年以上
1.6	３年～５年未満	5.8	15年～20年未満	0.1	わからない
				1.2	無回答

F11　あなたは、次のどの市町村にお住まいですか。　　n＝1,456（○は１つ）

16.0	千葉市	5.8	柏　市	1.2	印西市	0.5	山武郡九十九里町
1.0	銚子市	0.7	勝浦市	0.8	白井市	0.0	山武郡芝山町
7.3	市川市	4.6	市原市	0.5	富里市	0.4	山武郡横芝光町
9.8	船橋市	2.8	流山市	0.5	南房総市	0.4	長生郡一宮町
1.0	館山市	2.8	八千代市	0.5	匝瑳市	0.0	長生郡睦沢町
1.9	木更津市	1.8	我孫子市	1.2	香取市	0.0	長生郡長生村
7.9	松戸市	0.6	鴨川市	0.5	山武市	0.4	長生郡白子町
2.1	野田市	2.3	鎌ケ谷市	0.5	いすみ市	0.0	長生郡長柄町
1.7	茂原市	2.3	君津市	1.3	大網白里市	0.0	長生郡長南町
2.3	成田市	1.0	富津市	0.3	印旛郡酒々井町	0.5	夷隅郡大多喜町
3.0	佐倉市	1.9	浦安市	0.0	印旛郡栄町	0.0	夷隅郡御宿町
1.0	東金市	1.7	四街道市	0.0	香取郡神崎町	0.0	安房郡鋸南町
0.7	旭　市	0.5	袖ケ浦市	0.5	香取郡多古町	1.1	無回答
2.4	習志野市	1.5	八街市	0.0	香取郡東庄町		

以上で質問はすべて終わりです。
このほかにも、県へのご意見があればご自由にお書きください。

また、この「世論調査」について、ご意見やご提案があればお書きください。

お忙しいところをご協力いただき、ありがとうございました。
ご記入いただいた調査用紙は、同封の返信用封筒に入れて、
１月１０日（水）までに、ポストにご投函ください。なお、切手は不要です。

平成 29 年度

（第 54 回）

県 政 に 関 す る 世 論 調 査

平成 30 年 5 月発行
（平成 29 年 12 月実施）

千葉県総合企画部報道広報課

千葉市中央区市場町１番１号
（広聴室）電話０４３－２２３－２４６９